

平成28年度

主要施策の成果等説明書

高 松 市

地方自治法第233条第5項の規定により、平成28年度
高松市一般会計及び特別会計決算に係る主要施策の成果等
説明書を提出します。

平成29年9月6日

高松市長 大西 秀人

目 次

I 総括

1	会計別決算概況	2
2	一般会計決算概況前年度比較	3
3	市債及び基金の状況	3
4	一般会計歳入決算前年度比較	4
5	一般会計歳出決算前年度比較（目的別）	5
6	一般会計歳出決算前年度比較（性質別）	6
7	一般会計歳出決算前年度比較（節別）	7
8	歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況	8

II 第6次高松市総合計画に係る主要施策の成果

1	まちづくりの目標別総括表	11
2	まちづくりの目標別主要施策の成果	
(1)	健やかにいきいきと暮らせるまち	19
(2)	心豊かで未来を築く人を育むまち	75
(3)	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	119
(4)	安全で安心して暮らし続けられるまち	173
(5)	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	239
(6)	市民と行政がともに力を発揮できるまち	263

(参考)

第6次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績	295
------------------------	-----

I 総括

1 会計別決算概況

(単位:千円)

区分		予算現額	収入済額	支出済額	差引残額	翌年度への繰越財源	実質収支
会計別							
一般会計		181,102,874	170,047,188	163,972,355	6,074,833	2,307,221	3,767,612
特別会計	国民健康保険事業	53,416,404	51,435,887	51,435,887			
	(事業勘定)	53,369,961	51,395,797	51,395,797			
	(直診勘定)	46,443	40,090	40,090			
	後期高齢者医療事業	5,121,155	5,179,795	5,100,813	78,982		78,982
	介護保険事業	37,946,052	37,845,618	37,107,534	738,084		738,084
	(保険事業勘定)	37,691,162	37,600,917	36,862,833	738,084		738,084
	(介護サービス事業勘定)	254,890	244,701	244,701			
	母子福祉資金等貸付事業	164,005	292,605	112,826	179,779		179,779
	食肉センター事業	517,589	507,745	507,745			
	競輪事業	14,877,183	14,771,172	14,021,100	750,072		750,072
	卸売市場事業	414,241	396,414	396,414			
	中小企業勤労者福祉共済事業	118,595	110,254	108,556	1,698		1,698
	駐車場事業	727,520	722,946	716,919	6,027	6,027	
	計	113,302,744	111,262,436	109,507,794	1,754,642	6,027	1,748,615
	合計	294,405,618	281,309,624	273,480,149	7,829,475	2,313,248	5,516,227

2 一般会計決算概況前年度比較

(単位:千円)

区 分	平成28年度 A	平成27年度 B	対前年度比	
			金 額 A-B=C	増減率 C/B
1 歳 入 総 額	170,047,188	163,439,819	6,607,369	4.0 %
2 歳 出 総 額	163,972,355	156,755,781	7,216,574	4.6 %
3 歳入歳出差引額 (形式収支 1 - 2)	6,074,833	6,684,038	△ 609,205	△ 9.1 %
4 翌年度への繰越財源	2,307,221	1,757,627	549,594	31.3 %
5 実質収支(3 - 4)	3,767,612	4,926,411	△ 1,158,799	△ 23.5 %
6 財政調整基金積立金	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	△ 20.0 %
7 翌年度予算計上可能 額 (5 - 6)	1,767,612	2,426,411	△ 658,799	△ 27.2 %

3 市債及び基金の状況

(単位:千円)

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成27年度末 現 在 高	増減額	増減率
一 般 会 計	165,347,912	157,219,523	8,128,389	5.2 %
(臨時財政対策債を除く。)	92,298,452	86,901,908	5,396,544	6.2 %
財政調整基金・減債基金 施設整備基金	17,977,382	20,910,726	△ 2,933,344	△ 14.0 %

4 一般会計歳入決算前年度比較

(単位:千円)

款名	平成28年度		平成27年度		対前年度比	
	収入済額 A	構成比	収入済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 市 税	63,517,175	37.3 %	63,439,069	38.8 %	78,106	0.1 %
2 地 方 譲 与 税	999,601	0.6 %	1,012,277	0.6 %	△ 12,676	△ 1.3 %
3 利 子 割 交 付 金	101,514	0.1 %	177,921	0.1 %	△ 76,407	△ 42.9 %
4 配 当 割 交 付 金	310,635	0.2 %	473,931	0.3 %	△ 163,296	△ 34.5 %
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	150,477	0.1 %	404,293	0.3 %	△ 253,816	△ 62.8 %
6 地 方 消 費 税 交 付 金	8,049,380	4.7 %	8,892,013	5.4 %	△ 842,633	△ 9.5 %
7 ゴルフ場利用税交付金	28,836		30,133		△ 1,297	△ 4.3 %
8 自動車取得税交付金	210,777	0.1 %	210,101	0.1 %	676	0.3 %
9 国有提供施設等 所在市町村助成交付金	672		744		△ 72	△ 9.7 %
10 地方特例交付金	222,265	0.1 %	212,326	0.1 %	9,939	4.7 %
11 地 方 交 付 税	16,401,660	9.6 %	17,230,500	10.5 %	△ 828,840	△ 4.8 %
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	97,976	0.1 %	107,119	0.1 %	△ 9,143	△ 8.5 %
13 分担金及び負担金	1,994,113	1.2 %	2,282,755	1.4 %	△ 288,642	△ 12.6 %
14 使用料及び手数料	3,231,460	1.9 %	3,160,479	1.9 %	70,981	2.2 %
15 国 庫 支 出 金	26,107,564	15.3 %	24,288,692	14.9 %	1,818,872	7.5 %
16 県 支 出 金	9,633,452	5.7 %	9,241,127	5.7 %	392,325	4.2 %
17 財 産 収 入	290,124	0.2 %	297,205	0.2 %	△ 7,081	△ 2.4 %
18 寄 附 金	156,356	0.1 %	74,584		81,772	109.6 %
19 繰 入 金	6,554,725	3.9 %	4,198,979	2.6 %	2,355,746	56.1 %
20 繰 越 金	4,184,038	2.5 %	4,237,767	2.6 %	△ 53,729	△ 1.3 %
21 諸 収 入	4,131,634	2.4 %	3,894,397	2.4 %	237,237	6.1 %
22 市 債	23,672,754	13.9 %	19,573,407	12.0 %	4,099,347	20.9 %
合 計	170,047,188	100.0 %	163,439,819	100.0 %	6,607,369	4.0 %

5 一般会計歳出決算前年度比較【目的別】

(単位:千円)

款名	平成28年度		平成27年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 議会費	773,522	0.5 %	820,845	0.5 %	△ 47,323	△ 5.8 %
2 総務費	17,199,230	10.5 %	17,144,519	10.9 %	54,711	0.3 %
3 民生費	69,561,767	42.4 %	64,124,640	40.9 %	5,437,127	8.5 %
4 衛生費	14,468,810	8.8 %	14,222,499	9.1 %	246,311	1.7 %
5 労働費	361,014	0.2 %	274,943	0.2 %	86,071	31.3 %
6 農林水産業費	2,450,438	1.5 %	2,372,032	1.5 %	78,406	3.3 %
7 商工費	1,270,922	0.8 %	2,342,047	1.5 %	△ 1,071,125	△ 45.7 %
8 土木費	14,154,339	8.6 %	13,031,087	8.3 %	1,123,252	8.6 %
9 消防費	5,494,338	3.3 %	5,699,833	3.6 %	△ 205,495	△ 3.6 %
10 教育費	20,526,141	12.5 %	20,240,052	12.9 %	286,089	1.4 %
11 災害復旧費	102,811	0.1 %	60,019	0.1 %	42,792	71.3 %
12 公債費	16,811,023	10.3 %	16,423,265	10.5 %	387,758	2.4 %
13 諸支出金	798,000	0.5 %			798,000	皆増
合計	163,972,355	100.0 %	156,755,781	100.0 %	7,216,574	4.6 %

6 一般会計歳出決算前年度比較【性質別】

(単位:千円)

区 分	平成28年度		平成27年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 人 件 費	29,462,505	18.0 %	29,926,744	19.1 %	△ 464,239	△ 1.6 %
2 物 件 費	16,967,478	10.3 %	17,351,029	11.1 %	△ 383,551	△ 2.2 %
3 維 持 補 修 費	1,589,175	1.0 %	1,564,873	1.0 %	24,302	1.6 %
4 扶 助 費	38,616,094	23.5 %	38,718,979	24.7 %	△ 102,885	△ 0.3 %
5 補 助 費 等	17,187,743	10.5 %	17,111,972	10.9 %	75,771	0.4 %
6 建 設 事 業 費	28,311,352	17.3 %	22,313,399	14.2 %	5,997,953	26.9 %
(1) 普通建設事業費	28,208,541	17.2 %	22,253,380	14.2 %	5,955,161	26.8 %
ア 補助事業費	6,787,461	4.1 %	4,452,151	2.8 %	2,335,310	52.5 %
イ 単独事業費	21,421,080	13.1 %	17,801,229	11.4 %	3,619,851	20.3 %
(2) 災害復旧事業費	102,811	0.1 %	60,019		42,792	71.3 %
7 公 債 費	16,811,023	10.2 %	16,423,265	10.5 %	387,758	2.4 %
8 積 立 金	1,516,880	0.9 %	151,819	0.1 %	1,365,061	899.1 %
9 投 資 及 び 出 資 金	984,439	0.6 %	811,632	0.5 %	172,807	21.3 %
10 貸 付 金	1,100,500	0.7 %	372,450	0.2 %	728,050	195.5 %
11 繰 出 金	11,425,166	7.0 %	12,009,619	7.7 %	△ 584,453	△ 4.9 %
合 計	163,972,355	100.0 %	156,755,781	100.0 %	7,216,574	4.6 %
(参考) 義 務 的 経 費 (人件費+扶助費+公債費)	84,889,622	51.7 %	85,068,988	54.3 %	△ 179,366	△ 0.2 %

7 一般会計歳出決算前年度比較【節別】

(単位:千円)

区 分	平成28年度		平成27年度		対前年度比	
	支出済額 A	構成比	支出済額 B	構成比	金額 A-B=C	増減率 C/B
1 報 酬	4,430,998	2.7 %	4,308,784	2.8 %	122,214	2.8 %
2 給 料	11,101,513	6.8 %	11,182,637	7.1 %	△ 81,124	△ 0.7 %
3 職 員 手 当 等	9,820,575	6.0 %	10,259,492	6.6 %	△ 438,917	△ 4.3 %
4 共 済 費	4,453,889	2.7 %	4,513,872	2.9 %	△ 59,983	△ 1.3 %
5 災 害 補 償 費	3,928		9,158		△ 5,230	△ 57.1 %
6 恩 給 及 び 退 職 年 金	4,616		5,866		△ 1,250	△ 21.3 %
7 賃 金	666,665	0.4 %	602,753	0.4 %	63,912	10.6 %
8 報 償 費	369,938	0.2 %	361,198	0.2 %	8,740	2.4 %
9 旅 費	202,704	0.1 %	219,512	0.1 %	△ 16,808	△ 7.7 %
10 交 際 費	2,628		4,594		△ 1,966	△ 42.8 %
11 需 用 費	3,453,109	2.1 %	3,547,745	2.3 %	△ 94,636	△ 2.7 %
12 役 務 費	733,920	0.4 %	751,140	0.5 %	△ 17,220	△ 2.3 %
13 委 託 料	19,252,852	11.7 %	19,443,953	12.4 %	△ 191,101	△ 1.0 %
14 使用料及び賃借料	1,805,483	1.1 %	1,898,355	1.2 %	△ 92,872	△ 4.9 %
15 工 事 請 負 費	21,477,427	13.1 %	16,802,350	10.7 %	4,675,077	27.8 %
16 原 材 料 費	12,417		12,232		185	1.5 %
17 公 有 財 産 購 入 費	1,560,715	1.0 %	1,074,075	0.7 %	486,640	45.3 %
18 備 品 購 入 費	780,072	0.5 %	580,355	0.4 %	199,717	34.4 %
19 負担金、補助及び交付金	18,661,774	11.4 %	17,907,726	11.4 %	754,048	4.2 %
20 扶 助 費	32,402,673	19.8 %	32,563,622	20.8 %	△ 160,949	△ 0.5 %
21 貸 付 金	1,100,500	0.7 %	372,450	0.2 %	728,050	195.5 %
22 補償、補填及び賠償金	450,667	0.3 %	211,579	0.1 %	239,088	113.0 %
23 償還金、利子及び割引料	17,266,248	10.5 %	17,114,244	10.9 %	152,004	0.9 %
24 投資及び出資金	984,439	0.6 %	811,633	0.5 %	172,806	21.3 %
25 積 立 金	1,516,880	0.9 %	151,819	0.1 %	1,365,061	899.1 %
26 寄 附 金	30,541		35,000		△ 4,459	△ 12.7 %
27 公 課 費	18		18			
28 繰 出 金	11,425,166	7.0 %	12,009,619	7.7 %	△ 584,453	△ 4.9 %
合 計	163,972,355	100 %	156,755,781	100 %	7,216,574	4.6 %

8 歳入歳出決算の総計及び繰入繰出金の状況

区分 会計名	歳入		
	決算額	うち繰入金	
		繰入先の計 会	決算額
一般会計	千円	母子福祉 資金等 貸付事業 特別会計	千円 28,156
	170,047,188	競輪事業 特別会計	100,000
		計	128,156
国民健康保険事業	51,435,887	一般会計	4,291,149
後期高齢者医療事業	5,179,795	一般会計	1,123,718
介護保険事業	37,845,618	一般会計	5,255,095
母子福祉資金等貸付事業	292,605	一般会計	3,022
食肉センター事業	507,745	一般会計	432,731
競輪事業	14,771,172		
卸売市場事業	396,414	一般会計	43,314
中小企業勤労者福祉共済事業	110,254	一般会計	9,961
駐車場事業	722,946	一般会計	313,641
計	111,262,436		11,472,631
合計	281,309,624		11,600,787

歳 出		
決 算 額	う ち 繰 出 金	
	繰 出 先 の 会 計	決 算 額
千円		千円
163,972,355	国民健康保険事業特別会計	4,291,149
	後期高齢者医療事業特別会計	1,123,718
	介護保険事業特別会計	5,255,095
	母子福祉資金等貸付事業特別会計	3,022
	食肉センター事業特別会計	432,731
	卸売市場事業特別会計	43,314
	中小企業勤労者福祉共済事業特別会計	9,961
	駐車場事業特別会計	313,641
	計	11,472,631
51,435,887		
5,100,813		
37,107,534		
112,826	一 般 会 計	28,156
507,745		
14,021,100	一 般 会 計	100,000
396,414		
108,556		
716,919		
109,507,794		128,156
273,480,149		11,600,787

Ⅱ 第6次高松市総合計画 に係る主要施策の成果

(注)

1 事業費の記載について

「施策の概要調書」の事業費及び「主な事務事業の内容一覧」の事業費の合計は、特別会計への繰出金等を含むため、一致しないことがあります。

2 行政評価結果に関する記載について

(1) 「政策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における政策評価の結果を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	(政策を構成する施策の総合評価の平均得点率) A：86%以上、B：71%以上86%未満、C：56%以上71%未満、D：56%未満

(2) 「施策の概要調書」の総合評価は、当該年度の行政評価における施策評価の結果を記載しています。

また、成果指標の達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。

評価項目	評価内容
総合評価	(成果指標の達成度から算定した得点率) A：86%以上、B：71%以上86%未満、C：56%以上71%未満、D：56%未満
成果達成度	(当該年度の目標値に対する実績値の割合) 晴れ：100%以上、薄日：90%以上100%未満、曇り：80%以上90%未満、 小雨：60%以上80%未満、雨：60%未満

(3) 「主な事務事業の内容一覧」の各事務事業において、成果達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合を記載しています。また、妥当性、有効性、効率性、総合評価及び今後の方向性については、当該年度の行政評価における事務事業評価の結果を記載しています。なお、評価の記載がない事務事業（事務事業名の前に「(評価対象外)」と記載している事業）は、内部事務や裁量の余地のない事業など一定の要件により事務事業評価の対象外となったものです。

評価項目	評価内容
成果達成度	当該年度の目標値に対する実績値の割合
妥当性	(市民ニーズや社会情勢を考慮した、事業の目的や手法の妥当性) A：妥当である、B：改善の余地がある、C：大幅な見直しが必要である、D：市民ニーズ等に合っていない
有効性	(上位施策目標及び住民福祉の向上への貢献度) A：貢献が大きい、B：貢献が中程度、C：貢献が小さい、D：全く貢献していない
効率性	(費用対効果) A：向上している、B：同程度、C：低下している、D：10%以上低下している
総合評価	(成果達成度、妥当性、有効性、効率性を得点化した得点率) A：86%以上、B：71%以上86%未満、C：56%以上71%未満、D：56%未満
今後の方向性	拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止

3 市民満足度調査結果に関する記載について

「政策の概要調書」及び「施策の概要調書」における市民満足度調査結果については、当該年度の市民満足度調査結果から、各施策に対する「満足」と「やや満足」を合わせた「満足度」、「やや不満」と「不満」を合わせた「不満度」及び「重要」と「やや重要」を合わせた「重要度」を記載しています。

(参考) 施策全体の満足度24.7%、施策全体の不満度17.5%

1 まちづくりの目標別総括表

目指すべき都市像

「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」

273, 480, 149千円

1 健やかにいきいきと暮らせるまち

164, 678, 592千円

2 心豊かで未来を築く人を育むまち

7, 894, 963千円

3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

12, 682, 135千円

4 安全で安心して暮らし続けられるまち

20, 479, 958千円

5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

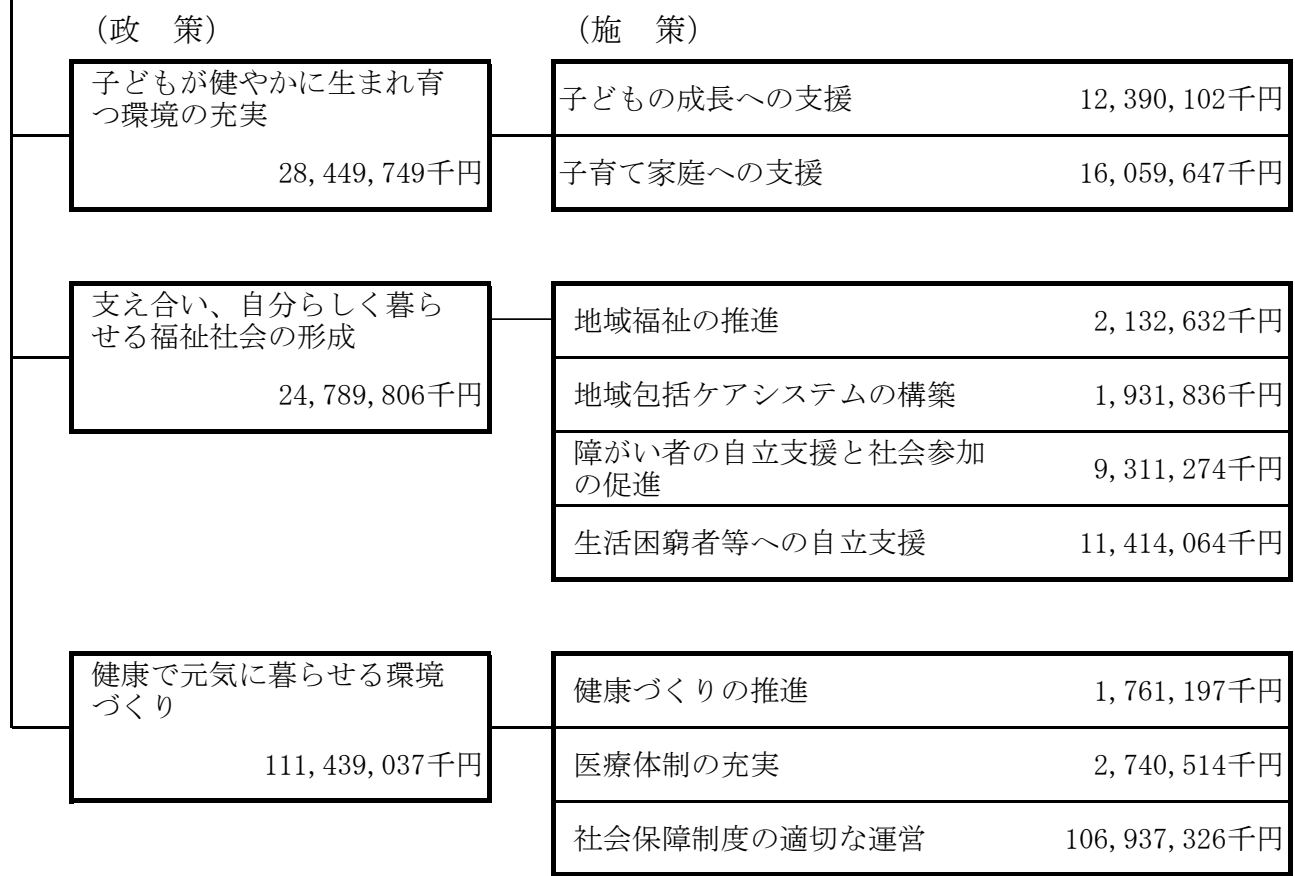
3, 431, 539千円

6 市民と行政がともに力を発揮できるまち

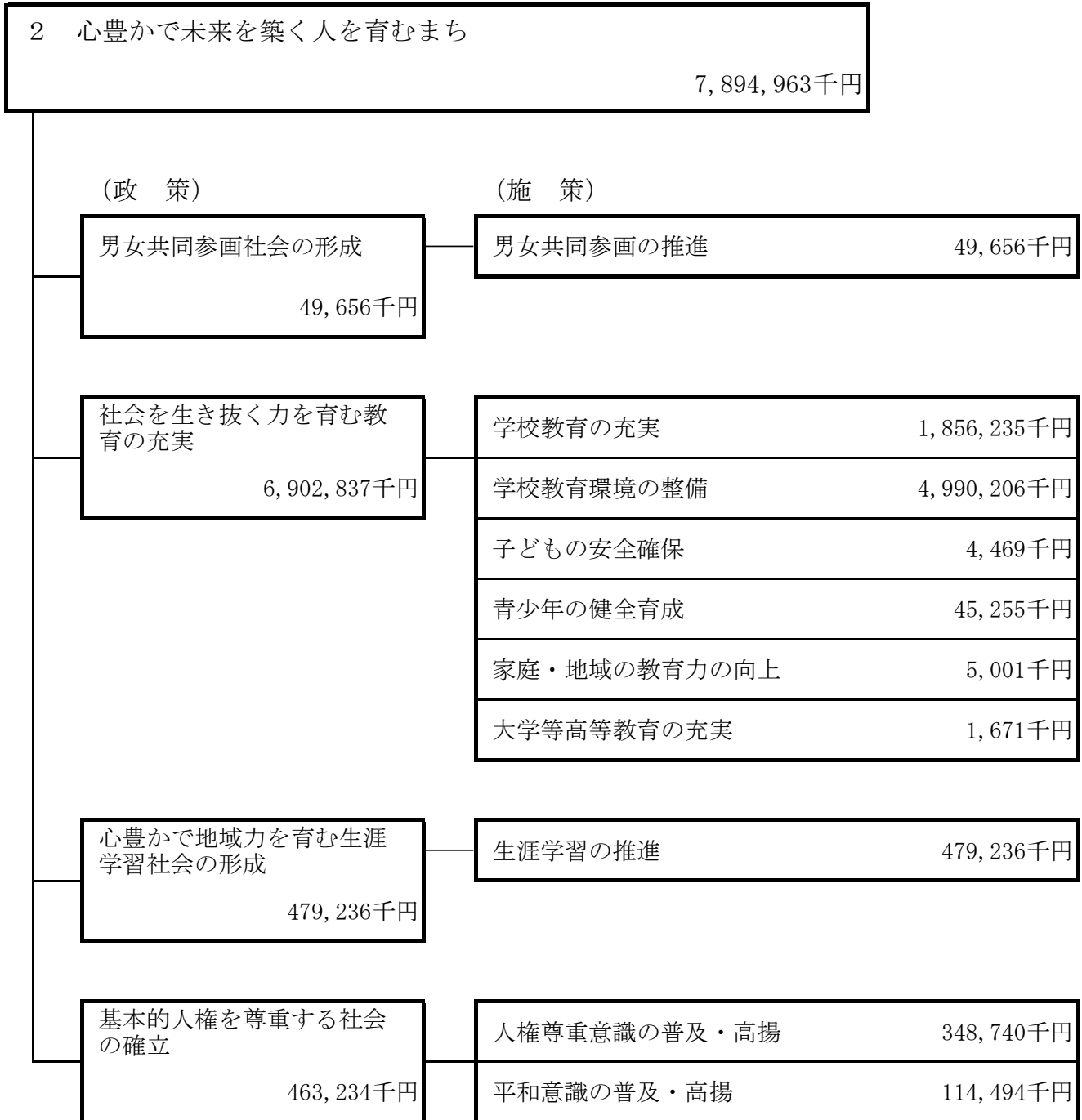
64, 312, 962千円

(まちづくりの目標)

1 健やかにいきいきと暮らせるまち	164,678,592千円
-------------------	---------------



(まちづくりの目標)



(まちづくりの目標)

3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
12,682,135千円

(政策)	(施策)
地域を支える産業の振興と経済の活性化 3,627,758千円	商工業の振興 272,166千円
	農林水産業の振興 2,863,220千円
	特産品の育成・振興とブランド力の向上 19,051千円
	就業環境の充実 473,321千円
文化芸術の振興と発信 2,294,366千円	文化芸術の振興 1,021,439千円
	文化財の保存・活用 1,272,927千円
元気を生み出すスポーツの振興 6,059,968千円	スポーツの振興 6,059,968千円
訪れたい観光・MICE(マイス)の振興 658,529千円	観光客受入環境の整備 333,400千円
	観光客誘致の推進 325,129千円
国際・国内交流の推進と定住の促進 41,514千円	国際・国内交流の推進 23,837千円
	移住・交流の促進 17,677千円

(まちづくりの目標)

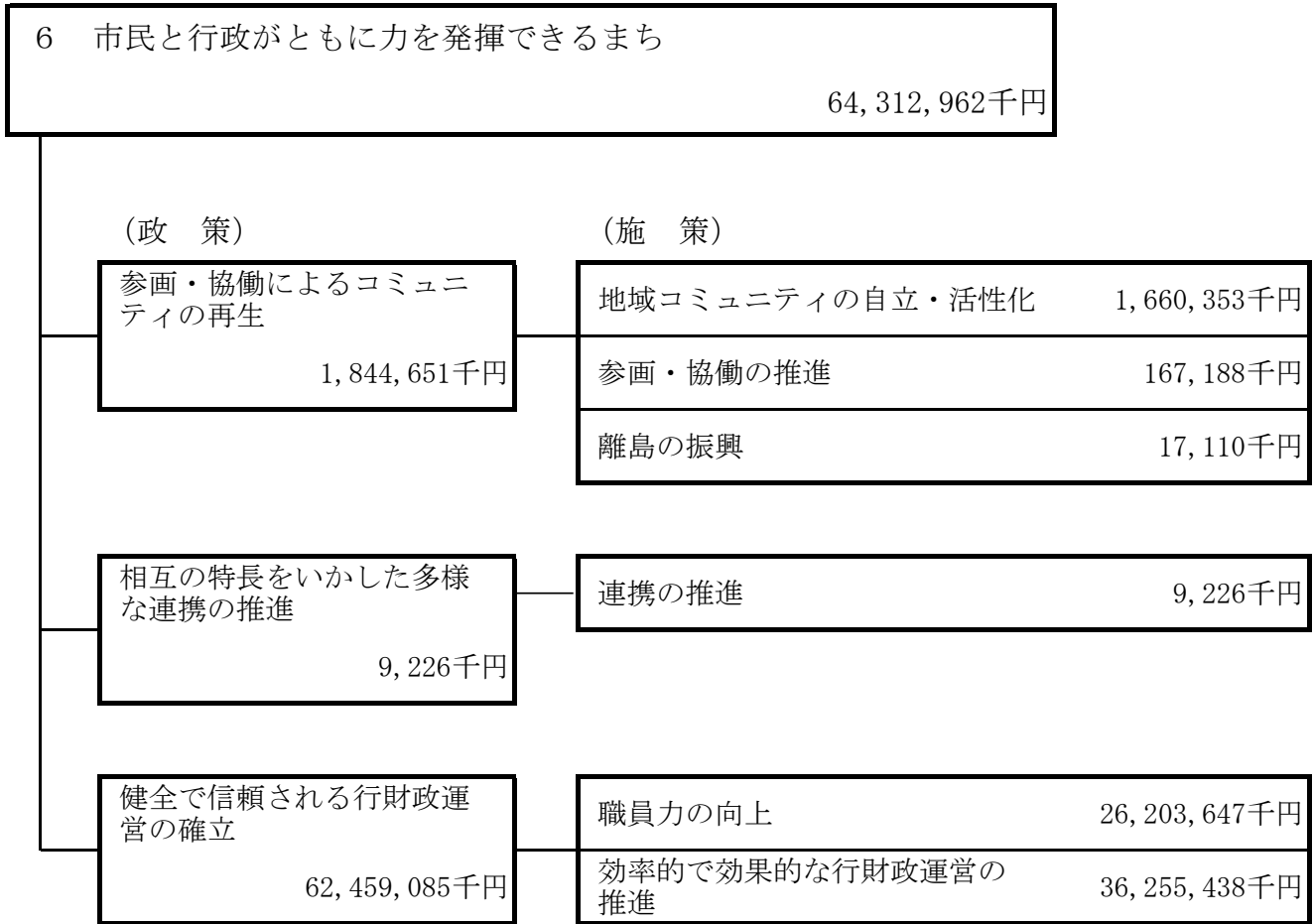
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	20,479,958千円
---------------------	--------------

(政 策)	(施 策)
安全で安心して暮らせる社会環境の形成 4,757,342千円	消防・救急の充実強化 1,605,015千円
	防災・減災対策の充実 2,372,035千円
	交通安全対策の充実 142,696千円
	防犯体制の整備 148,849千円
	生活衛生の向上 474,175千円
	消費者の権利保護と自立促進 14,572千円
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成 5,591,708千円	ごみの減量と再資源化の推進 374,874千円
	廃棄物の適正処理 5,061,044千円
	不法投棄の防止 860千円
	地球温暖化対策の推進 71,574千円
	環境保全活動の推進 83,356千円
豊かな暮らしを支える生活環境の向上 10,130,908千円	居住環境の整備 1,673,836千円
	身近な道路環境の整備 2,544,988千円
	河川・港湾の整備 559,908千円
	みどりの保全・創造 608,623千円
	水の安定供給 286,586千円
	汚水・雨水対策の充実 4,456,967千円

(まちづくりの目標)

5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち		3,431,539千円
(政策)	(施策)	
コンパクトで魅力ある都市空間の形成 559,661千円	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	528,858千円
	景観の保全・形成・創出	30,803千円
快適で人にやさしい都市交通の形成 1,601,178千円	公共交通の利便性の向上	1,345,122千円
	自転車の利用環境の向上	256,056千円
拠点性を発揮できる都市機能の充実 1,270,700千円	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	460,333千円
	拠点性を高める道路ネットワークの整備	680,922千円
	中心市街地の活性化	129,445千円

(まちづくりの目標)



(1) 健やかにいきいきと暮らせるまち

2 まちづくりの目標別主要施策の成果

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実

総合評価
A

1 政策の概要

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図るため、母子の健康の確保と増進、病気の予防や早期発見への取組に加え、子どもの生きる力を育てる教育や体験学習環境の整備・充実に努めるとともに、障がいのある子どもや様々な理由により配慮が必要な子どもを始め、全ての子どもが、地域の中で安心して生活し、成長・自立していけるよう、子どもの成長への支援に努めます。

また、子育て家庭が孤立することなく、心身ともにゆとりをもって子育てができるよう、地域社会全体で支援するとともに、男女が共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できるよう、子育て家庭への支援に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
子どもの成長への支援	84%	B
子育て家庭への支援	92%	A
平均	88%	A

3 政策の評価

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実に向けて、2施策に取り組んだ。

「子どもの成長への支援」では、設定する3つの成果指標のうち、認定こども園数において幼稚園からこども園への移行を予定していた施設の整備が1年遅れたことなどから目標に届かなかったものの、他の2つの指標については目標を達成又は概ね達成しており、施策の得点率は84%となった。

「子育て家庭への支援」では、設定する3つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は88%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
子どもの成長への支援	31.4%	12.9%	74.5%
子育て家庭への支援	31.8%	15.5%	74.7%
平均	31.6%	14.2%	74.6%


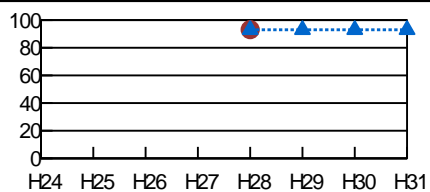

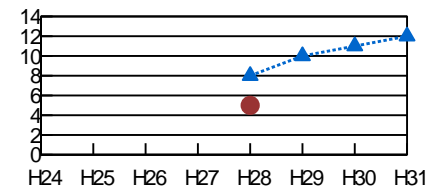

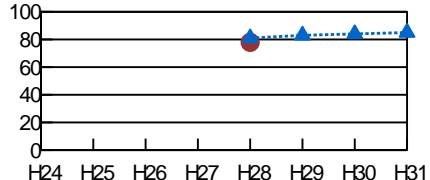
施策	子どもの成長への支援
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
12,390,102千円	B	31.4%	74.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局

対象	市内の18歳未満の児童及びその保護者	意 図	全ての子どもの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを生き育てやすいまちづくりを推進する。

概要(実績)	妊婦や乳幼児に対する健康診査を始め、子どもの成長・発達についての情報提供や相談を実施し、子どもと親の心身の健康保持に寄与したほか、ひとり親家庭の自立に向けた就労支援などにも取り組んだことにより、子どもと保護者への支援の充実につながった。		
--------	--	--	--

成果指標	指標名	1歳6か月児健康診査受診率	H28実績	H28目標	達成度	
			93.1%	93%	100.1%	
	状況	受診率は、目標値に達した。健診受診により、必要な支援へつながり、保護者の育児に関する不安や負担を軽減できている。	達成度の推移			
						
	指標名	認定こども園数	H28実績	H28目標	達成度	
			5施設	8施設	62.5%	
状況	幼稚園から認定こども園への移行を予定していた施設が施設整備補助金を活用することになり、整備が1年遅れたことなどにより、目標が達成できなかった。	達成度の推移				
						
指標名	自立支援プログラム策定者の就職率	H28実績	H28目標	達成度		
		77.9%	81%	96.2%		
状況	目標値には達しなかったが、就職件数としてカウントされないプログラム策定者の中には、当初転職を希望していたものの結果的に継続就労を選択した者や、専門性の高い職に就くため、学校に通い始めた者等が含まれており、就労支援という点において、一定の役割を果たすことができている。	達成度の推移				
						

施策の課題	子どもの健やかな学びを支援するために、子ども一人一人の発達段階に応じた質の高い教育・保育を安定的に提供することが必要である。 また、地域ぐるみでの子育て支援の充実が求められていることから、様々な形態や種類の子育て支援団体との相互交流とネットワークづくりや連携強化など、体制強化が必要である。
-------	--

施策の方向性	平成27年3月に策定した、「子ども・子育て支援推進計画」に基づき、子どもの心身の健やかな育ちへの支援、健やかな成長を促す学びへの支援、配慮を要する子どもと保護者への支援などに取り組むことにより、子どもの成長と子育てを社会全体で支援していく。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) こども未来館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	25,428千円							
健康福祉局 こども未来館		(事業概要、事業実績等) こども未来館施設に係る空調設備等保守点検及び建物設備運転等管理として保守点検等を行い、適正な施設管理を行った。 また、こども未来館の運営業務として、非常勤嘱託職員を適正に配置し、業務を行った。						
2	各種医療給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	141,624千円		97.0%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 子どもの健全育成を推進するため、未熟児養育医療、育成医療、小児慢性特定疾病対策事業を実施し、患者家族の医療費負担の軽減に寄与した。						
3	こんにちは赤ちゃん事業(新生児訪問指導)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,864千円		76.3% 92.0%	A	A	B	B	継続
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 生後間もない乳児がいる家庭を、助産師や保健師などが家庭訪問し、専門的な立場から様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報の提供、母子の養育環境等の把握や助言、育児支援を行った。 訪問率は昨年度と比較し横ばいであったものの、助産師・保健師の、きめ細やかな支援や情報提供等により、産婦の不安や負担の軽減ができた。						
4	妊娠期からの子育て世代包括支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,436千円	特別重点	153.4%	A	A	C	A	拡充
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 子育て世代包括支援センターを開設し、母子保健コーディネーターの配置、妊娠届出時のアンケート実施、保健師等による面接を充実させたことにより、妊娠期からの相談件数が増加した。						
5	(評価対象外) 妊婦・乳児及び歯科健康診査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	428,407千円							
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 妊婦・乳児健康診査や妊婦歯科健康診査の助成をすることにより、必要な時期に健康診査を受けることができ、健やかな妊娠出産に寄与した。 平成28年度からは多胎妊婦に対して、妊婦一般健康診査の受診券を2枚追加し、多胎妊娠における異常の早期支援につなぐことができた。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	不妊治療費助成事業 97,537千円 健康福祉局 保健センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			84.5%	A	B	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 特定不妊治療を行っている夫婦に治療費の一部を助成したことにより、経済的負担の軽減に寄与した。						
7	母子健康相談事業 11,043千円 健康福祉局 保健センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			93.7%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 妊娠期には保健師等の専門職による、はじめてのパパママ教室やふたごのママ ティー教室を開催し、沐浴や着替えの体験、講義や相談により育児に必要な知識 や育児支援の情報提供などを行なった。また、4か月児相談、ことば相談、ひまわり 個別相談、のびのび教室等を実施し、子育て中の悩みや不安を聞き、子どもとの 関わり方のアドバイスや子育て支援情報の提供などを行い、育児の不安感・負担 軽減の軽減に寄与した。						
8	(評価対象外) 幼児健康診査事業 25,774千円 健康福祉局 保健センター	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 幼児健診の受診率は横ばいであるが、健診時の保健師や心理士、言語聴覚士等 の専門職による個別相談や子どもとの具体的なかかり方などのアドバイス、子育 て支援情報の提供等により、子どもの発育・発達や育児に対する不安や負担を軽 減することができた。						
9	年長児童の赤ちゃん出合い・ふれあ い交流事業 1,440千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.7% 50.0%	A	A	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 次代の親となる子どもの豊かな人間性を育成するため、地域子育て支援拠点事 業実施団体と協働して、中学生を対象に、乳幼児や保護者と出合い・ふれあ い・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかり方などの学習及び抱き方、遊 び方などの体験学習を行った。事業に対する学校の理解が得られ、実施校が増加した。 実施校数 9校(学年全クラス)						
10	私立保育所・幼稚園等施設整備補助 事業 630,722千円 健康福祉局 こども園総務課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	84.9% 100.0%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 待機児童の解消や施設の老朽化への対応を行うため、私立保育所が実施する大 規模修繕などの施設整備に対して助成を行うことにより、保育環境が向上した。 なお、国庫補助事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業の 一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：52,875,000円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
	事業名	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		11	公立保育所・幼稚園等施設整備事業	特別重点	100.0%	A	B	B
	1,571,202千円	(事業概要、事業実績等) 公立保育所・幼稚園の施設や設備機器などの老朽化の状況に対応するため、大規模な修繕工事等を実施した。また、保育環境の向上を図るため、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：1,120,077,000円) (また、前年度からの繰越事業である新川東保育所改築工事等及び大野地区統合保育所改築工事等については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：267,118,800円)						
	健康福祉局 こども園総務課							
12	私立幼稚園施設型給付事業		84.9%	A	B	B	B	継続
	121,595千円	(事業概要、事業実績等) 子ども・子育て支援新制度に移行する私立幼稚園に対し、法で定める公定価格に基づき、施設型給付として給付することにより、私立幼稚園の適正かつ円滑な運営を助長し、就学前教育の充実につながった。						
	健康福祉局 こども園総務課							
13	私立認定こども園施設型給付事業		84.9%	A	B	B	B	継続
	585,924千円	(事業概要、事業実績等) 子ども・子育て支援新制度において、私立認定こども園に対し、法で定める公定価格に基づき、施設型給付として給付することにより、保育サービスの充実に繋がった。						
	健康福祉局 こども園総務課							
14	(評価対象外) 公立保育所等運営事業							
	1,627,388千円	(事業概要、事業実績等) 児童福祉施設最低基準に基づき、公立保育所・こども園に正規職員及び非常勤嘱託職員等を配置し、社会状況や地域の保育ニーズに沿った保育事業を実施した。また、給食の提供や食育を実施した結果、入所(園)児童の健やかな育成につながった。 なお、制度改正に伴うシステム改修期間の関係により、年度内に事業の完了が不可能になったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：1,269,000円) (また、前年度からの繰越事業であるシステム改修事業については、完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：2,592,000円)						
	健康福祉局 こども園運営課							
15	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	一般重点	95.0%	A	B	B	A	継続
	37,617千円	(事業概要、事業実績等) 芸術士と派遣先である保育所・こども園及び幼稚園児童が協同し、継続して創作活動を実施したことにより、子どもたちが持っている感性や創造力を伸ばすことができた。 また、平成29年1月開催の活動報告展では、多くの市民に事業内容や成果を広報したほか、活動報告展の冊子を作成し、市内外に事業内容を周知した。						
	健康福祉局 こども園運営課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	(評価対象外) 幼稚園管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	261,561千円	(事業概要、事業実績等) 幼稚園設置基準に基づき、公立幼稚園の維持管理を適正に行うことにより、保育している幼児の心身ともに健やかな育成に寄与した。 また、前年度からの繰越事業であるシステム改修事業については完了した。 (平成27年度繰越明許費繰越額：2,862,000円)						
	健康福祉局 こども園運営課							
17	(評価対象外) 新規採用保育教育士等実地研修指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,302千円	(事業概要、事業実績等) 教育委員会主催の新規採用研修が行われない保育所配属の新規採用保育教育士に対し、退職した保育所長が訪問し、職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施したほか、具体的な相談を受けることにより、使命感や実践力を養うことができた。 また、新任保育所長等に対しても、適切な施設運営に関する指導や、相談を受けることにより、組織マネジメント力を養うことができた。						
	健康福祉局 こども園運営課							
18	(評価対象外) 公立保育所等管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	152,006千円	(事業概要、事業実績等) 児童福祉施設最低基準に基づき、公立保育所・こども園の維持管理を適正に行うとともに、安全で快適な保育環境を整えたことにより、保育している乳幼児の健やかな育成に寄与した。						
	健康福祉局 こども園運営課							
19	こども未来館学習体験事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	24,731千円	124.1%	A	A	A	A	継続	
	健康福祉局 こども未来館	(事業概要、事業実績等) 平成28年11月23日に開館してから年度末までの間に、市内の小学校21校がこども未来館学習を実施し、1,737人の生徒が学習体験を行った。						
20	子ども・子育て支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,769千円	350.8%	A	A	A	A	継続	
	健康福祉局 こども未来館	(事業概要、事業実績等) 平成28年11月23日に開館したばかりの新しい施設ということもあり、みんなのひろばとプレイルームの利用者が35,082人と多くの人に利用され、子どもと保護者の居場所提供事業として貢献できた。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
21	こども未来館整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,879,933千円	一般重点	100.0%	A	A	B	A	完了
健康福祉局 こども未来館		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>施設整備については、前年度に引き続き建設工事や展示製作等に取り組み、平成28年11月23日に開館した。また、事業面では「高松市こども未来館運営協議会」を設置し、こども未来館における各種の事業の企画、運営等について協議を行った。なお、前年度からの繰越事業である、こども未来館整備事業については、完了した。(平成27年度繰越明許事業費：2,132,169,360円)</p>						
22	高松市こども未来館等開館記念事業 (こども未来館分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,836千円	一般重点	130.0%	A	A	A	A	完了
健康福祉局 こども未来館		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>開館記念事業として、公募プログラム(冬・春休み)、アート体験プログラム、科学体験・遊び体験プログラム等、様々なプログラムを開催したことにより、来館者数6,694人の効果があった。</p>						
23	(評価対象外)母子家庭等自立支援 給付金事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	37,033千円							
健康福祉局 こども家庭課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>看護師等の資格取得を目的として、1年以上養成機関で修業するひとり親家庭の父母等に対し高等職業訓練促進給付金を支給することにより、修業期間中の経済的不安の軽減や父母等の自立意識向上につながった。また、修業期間終了時には修了支援給付金を支給した。</p> <p>支給人数 25人 支給額 19,807千円</p>						
24	(評価対象外)母子福祉資金等貸付 事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	112,840千円							
健康福祉局 こども家庭課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>ひとり親家庭の父母等に対し、母子福祉資金等を貸し付けることにより、対象世帯の経済的自立と生活意欲の向上が図られ、当該家庭の児童の福祉の増進につながった。</p> <p>貸付件数 42件(母子41件、寡婦1件) 貸付金額 22,559千円(母子21,923千円、寡婦636千円)</p>						
25	ひとり親家庭子育て支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	410千円		94.7%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 こども家庭課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>生後6か月から小学校6年生までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、たかまつファミリー・サポート・センターの利用料金の一部を助成することにより、ひとり親家庭の父母等の就労支援及び育児の負担軽減につながった。</p> <p>登録者数 41人 補助額 410千円</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
26	ひとり親家庭自立支援事業 11,781千円		110.6%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) 母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の自立に関する相談に応じ、必要な情報提供及び指導を行った。 母子・父子自立支援員 3人 相談件数 1,659件						
27	ひとり親家庭等医療費助成事業 434,017千円			A	A	B	A	継続
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) ひとり親家庭等を対象に、保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を県内現物給付方式で助成することにより、対象世帯の経済的負担を軽減できた。 年間支給件数 152,487件 年間助成額 418,945千円						
28	ひとり親家庭無料職業紹介事業 6,252千円		63.3% 60.0%	A	B	B	C	継続
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) 児童扶養手当受給者、DV被害者を対象に、各人の状況に応じた自立支援プログラムを策定し、きめ細やかな継続的な就労支援を実施した。また、本庁舎2階エコーコーナーと連携し、就労につながる職業紹介や求人情報の提供などを行ったほか、こども家庭課内に開設している無料職業紹介所から職業紹介を行うなど、効果的に就労を支援した。 プログラム策定件数 95件 プログラム策定者の就職数 74件 職業紹介件数 112件						
29	母子家庭等就業・自立支援事業 6,693千円		77.8% 115.0%	B	B	B	B	継続
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) ひとり親家庭の父母等を対象とし、「母子家庭等就業・自立支援センター事業」を香川県母子就業支援センターに委託し、就業支援や職業生活支援事業を実施した。また、高松市社会福祉協議会と連携し、NPO法人等と連携し、就業支援サービスを一時的に提供する「ひとり親家庭等日常生活支援事業」を実施した。 母子家庭等就業・自立支援センター事業参加者数 14人 面会交流支援利用対象者数 12組 ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録者数 23人						
30	(評価対象外) 児童扶養手当支給事業 1,880,493千円							
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) ひとり親家庭の生活の安定及び自立を促進するため、18歳到達最初の3月31日までの間にある児童(政令で定める程度の障害の状態にある児童は20歳未満)を養育しているひとり親家庭の父又は母等に、「児童扶養手当」を支給した。 受給者数 3,782人 支給額 1,868,979千円						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
31	発達障がい児等支援事業 174,990千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 こども園運営課	<p>(事業概要、事業実績等) 市内の公立保育所・こども園及び公立幼稚園に発達障がい児等支援員の配置を行い、関係機関と連携しながら早期に専門的保育・教育支援や親子支援を実施したことにより、発達障がい等のある子どもたちに対する適切な支援につながった。また、私立保育所に対して、要支援児童を保育するために必要な経費の一部を支援したほか、専門家による継続した訪問支援を行い、具体的な指導を行った。</p>						
32	(評価対象外) 要保護児童対策事業 5,071千円							
	健康福祉局 こども女性相談室	<p>(事業概要、事業実績等) 社会問題となっている児童虐待の増加を防止、減少させるために必要な事業であり、予防のための各種啓発活動、具体的な事例の解決のためのケース会議、関係児童を対象とした講演の実施など、積極的に行ってきた。また、通告のあった児童の進行と理を確実に行うことができた。</p> <p>高松市児童対策協議会 1回 代表者会議 17回 (情報交換会を含む) 個別ケース検討会 165回</p>						
33	(評価対象外) 養育支援訪問事業 5,192千円							
	健康福祉局 こども女性相談室	<p>(事業概要、事業実績等) 養育支援が特に必要と判断した家庭に対し、保健師、助産師、保育士等の資格を持つ養育支援員が家庭訪問し、養育に関する指導助言を行うことにより、適切な養育の実施を確保し、児童虐待の未然防止につながった。</p> <p>養育支援員 10人 主任養育支援員 5人 養育指導・相談 延べ 465人日 家事支援 延べ 0人日 計 465人日 (訪問回数 282回)</p>						
34	(評価対象外) 子育て短期支援事業 272千円							
	健康福祉局 こども女性相談室	<p>(事業概要、事業実績等) 保護者が病気・仕事、育児疲れなどで、一時的に養育が困難となった場合に、児童養護施設等で児童を一時的に養育・保護することにより、保護者の子育てと仕事の両立に寄与した。</p> <p>利用延べ人数 45人日</p>						
35	(評価対象外) 児童家庭相談事業 9,854千円							
	健康福祉局 こども女性相談室	<p>(事業概要、事業実績等) 子どもや家庭に関する様々な悩みや問題等に対して、児童相談所等の関係機関・団体と連携し、家庭相談員等による相談援助業務を実施した。特に児童虐待の相談や通告に関して、適切な対応支援を行うことにより、状況の改善につながった。</p> <p>家庭相談員 3人 相談日時 月～金曜日 9時～16時 延べ相談対応件数 7,257件</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
36	(評価対象外) 母子生活支援施設運営事業							
	23,043千円	(事業概要、事業実績等) 配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子(DV被害にあった女子等)と子どもの保護を平成20年度から市の直営から指定管理者制度に移行し、管理運営を社会福祉法人に委託している。7世帯17人(実入所世帯・入所者数)						
	健康福祉局 こども女性相談室							


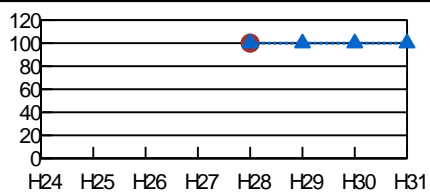

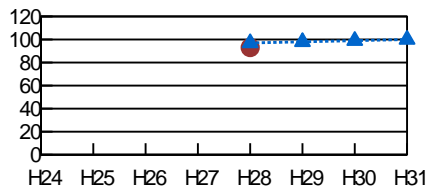

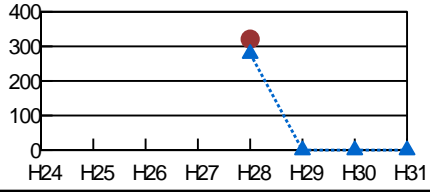
平成28年度 施策の概要調査

施策	子育て家庭への支援	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		16,059,647千円	A	31.8%	74.7%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
担当局	健康福祉局、教育局

対象	市内の18歳未満の児童及びその保護者	意図	全ての子育て家庭が、心身共にゆとりをもって子育てができる環境を整える。

概要（実績）
 子ども医療費の助成や多子世帯の保育料の減免など、各種の経済的な支援を行ったほか、地域子育て支援拠点事業など、子育て家庭に対するサポート体制の充実を図り、子育てしている保護者の負担を軽減した。また、延長保育、一時預かり、休日保育、病児保育など、市民ニーズに即した保育サービスを提供した結果、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に一定の効果が得られた。

成果指標	指標名	子育て支援拠点施設設置割合	H28実績	H28目標	達成度	
			100%	100%	100.0%	
	状況	教育・保育提供区域全てにおいて、子育て支援拠点施設を設置できており、目標は達成できている。	達成度の推移			
						
	指標名	放課後児童クラブ入会率	H28実績	H28目標	達成度	
			93%	97%	95.9%	
状況	放課後児童クラブ教室を新たに7教室開設（直営5教室、民営2教室）し、待機児童0へ向けた取組が推進できている。	達成度の推移				
						
指標名	保育施設待機児童数（4月1日現在）	H28実績	H28目標	達成度		
		321人	279人	84.9%		
状況	「子ども・子育て支援推進計画」に基づき、認定こども園の創設等により、受入れ枠を増やしたものの、それを上回る保育需要の伸びがあったことや、保育士不足により、定員分の受け入れができない施設があったため、目標が達成できなかった。	達成度の推移				
						

施策の課題
 【健康福祉局】平成28年版「少子化社会対策白書」（内閣府）によれば、女性の育児休業取得率は9割近くに達するなど、育児休業や短時間勤務等の両立支援制度の成果が現れてきている一方、女性の就業状況を見ると、第1子出産を機に、依然として約5割の女性が離職している現実があり、仕事と子育てが両立できる職場環境整備を、国・県・企業等と連携を図りながら、推進していくことが求められている。
 【教育局】ボランティアや保健師等の連携・協力の下、引き続き、4か月児相談を活用したブックスタート事業を積極的に実施し、読書活動の更なる推進が必要である。

施策の方向性
 平成27年3月に策定した、「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、地域における子育て支援や、子育てと仕事の両立支援などに取り組むことにより、安心して子育てできる環境の充実を図っていく。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	子育て支援対策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,726千円		139.1% 98.3%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 子育て支援総合情報発信事業(父親手帳及び子育てハンドブックの発行、らっこネット運営)や子育てに関するネットワークづくり(地域組織活動育成事業、こども未来ネットワーク会議開催)を支援することにより、地域ぐるみで幅広い分野での子育て支援を効果的に推進することができた。						
健康福祉局 子育て支援課								
2	子育て世代親元近居等支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,584千円	特別重点	88.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 離れて暮らす子ども世帯及びその親世帯等が引越しにより、高松市内で同居又は同一小学校区内に近居する場合には、転居の一部を助成した。子育ての負担軽減やワーク・ライフ・バランスの実現につながった。 助成件数：県内転居48件、県外転居18件						
健康福祉局 子育て支援課								
3	(評価対象外) 児童厚生施設管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	46,545千円							
		(事業概要、事業実績等) 児童厚生施設管理運営事業を実施することにより、子どもが安心・安全に遊べる場を提供し、子どもの健全育成に寄与した。 利用者数 70,494人						
健康福祉局 子育て支援課								
4	地域子育て支援拠点事業(子育て支援課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	110,352千円		101.0%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 地域子育て支援拠点事業の実施により、子育て家庭の抱える育児への不安・負担感、閉塞感を和らげ、安心して子育て・子育てができる環境の整備につながった。 実施か所：委託10か所、直営2か所 利用者：79,753人						
健康福祉局 子育て支援課								
5	(評価対象外) 健やか子ども基金管理事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	31千円							
		(事業概要、事業実績等) 子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる環境整備を推進するために設置した健やか子ども基金の適切な管理を行った。 【基金を用いた平成28年度の事業】 風しん予防接種等補助事業 施設等遊具整備事業(保育所等)						
健康福祉局 子育て支援課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	子ども医療費助成事業 1,747,478千円			B	A	B	B	継続
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) 子ども医療費のうち、通院については小学校卒業まで、入院については中学校卒業までの保険診療に係る高額療養費までの自己負担分を県内現物給付方式で助成することにより、対象世帯の経済的負担を軽減できた。 【受給者数(月平均)】 乳幼児・小学生 45,452人 中学生 342人 【支給額】 乳幼児・小学生(入院・通院) 1,639,577千円 中学生(入院) 18,965千円						
7	児童福祉団体等補助事業 190千円		106.3%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) ひとり親家庭等を対象に香川県母子寡婦連合会高松支部が主催した「親子ふれあいデー」事業運営費の一部を助成した。平成28年度は、「淡路ファームパーク」へ行き、34世帯85人の参加があった。						
8	(評価対象外) 児童手当等支給事業 7,191,433千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 こども家庭課	(事業概要、事業実績等) 家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な成長に資するため、中学校修了前の児童を養育している父又は母等に「児童手当」を支給した。 受給者数 33,524人 支給額 7,166,050千円						
9	地域子育て支援拠点事業(こども園運営課分) 143,664千円		124.4%	A	A	A	A	継続
	健康福祉局 こども園総務課	(事業概要、事業実績等) 保育所を拠点として、育児・保育に関する専門的知識・経験を有する保育士としての能力を活用し、子育て中の親子の支援を実施したことにより、子育て家庭の育児不安の解消に寄与した。 実施場所 「5日型」 17か所 「6~7日型」 1か所 「小規模型」 1か所 利用者数 70,784人(子ども、保護者合計)						
10	就園等奨励事業 503,749千円			A	A	B	A	継続
	健康福祉局 こども園運営課	(事業概要、事業実績等) 幼稚園教育の振興と少子化対策事業の一環として、国の就園奨励費補助金を始め、本市の就園費補助金や、第2子以降幼児保育料等補助金を交付することにより、保護者の子育てに係る経済的な負担の軽減に寄与した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
11	多子世帯保育料等減免事業 健康福祉局 こども園運営課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		特別重点	100.0%		A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 多子世帯に対し保育料等を減免することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、2人目、3人目の子どもを持ちたいと思えるような子育て環境の整備に寄与した。							
12	ブックスタート事業 2,78千円 教育局 中央図書館	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			94.6%		A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 4か月児相談時に、ブックスタートパック(絵本・ブックリスト・図書館案内)の配布や読み聞かせを行ったことにより、子育て支援と子どもの読書活動の推進につながった。 ブックスタートパック配布数 3,287セット							
13	(評価対象外)助産施設運営事業 10,92千円 健康福祉局 こども女性相談室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		(事業概要、事業実績等) 保健上必要があるにもかかわらず、生活保護世帯及び市県民税非課税世帯などの経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦に対して、助産を援助し、福祉の向上に寄与した。 年間利用件数 24件							
14	(評価対象外)子育て相談事業 2,202千円 健康福祉局 こども女性相談室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		(事業概要、事業実績等) 養育に不安を持つ保護者に対し、専門の相談員が、助言を行うだけでなく適切な窓口や専門機関を紹介することができた。 年間相談件数 221件							
15	病児保育事業 107,503千円 健康福祉局 子育て支援課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			102.8%		A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 病児・病後児保育事業を実施することにより、保護者の子育てと仕事の両立支援やワーク・ライフ・バランスの推進など、安心して子育てができる環境の整備につながった。 平成28年度の年間利用者は延べ7,687人で、前年度比1.07倍となった。 病児対応型：医療機関4か所 病後児対応型：直営施設1か所							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課									
16	放課後子ども教室事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		特別重点	90.8%	91.6%	A	B	B	A	拡充
	21,593千円	(事業概要、事業実績等) 放課後子ども教室事業を推進することにより、放課後、児童に安心安全な居場所を提供し、子育てと仕事の両立支援に貢献した。 実施校区数 33校区							
	健康福祉局 子育て支援課								
17	放課後児童クラブ事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		特別重点	97.0%		A	B	B	A	継続
	669,475千円	(事業概要、事業実績等) 放課後児童クラブ事業を実施することにより、児童にとって安全な居場所を提供するとともに、保護者が安心して就労できる環境を整え、子育てと仕事の両立支援に貢献した。 なお、年度内に事業の完了が不可能となった施設整備については、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：49,416,000円) (平成27年度繰越明許費繰越額：4,487,134円) (開設校区数 46校区 入園児童数 3,451人 民間学童保育実施団体に対する補助 12団体 施設整備 改修 6校区)							
	健康福祉局 子育て支援課								
18	認可外保育施設支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			84.9%		A	B	B	B	継続
	42,149千円	(事業概要、事業実績等) 認可外保育施設に対して補助を実施したことにより、認可外保育施設の保育水準及び入所児童の福祉の向上に一定の効果があつたほか、認可外保育施設に入所している第2子以降の児童の保護者に対して補助を実施したことにより、子育てに係る経済的負担の軽減につながった。							
	健康福祉局 こども園総務課								
19	私立保育所運営支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			84.9%		A	B	B	B	継続
	5,205,857千円	(事業概要、事業実績等) 通常の保育事業に加えて、私立保育所が実施する各種特別保育事業にかかる経費を支弁したことにより、保育所の安定的な経営につながった。 また、前年度からの繰越事業である保育所等における業務効率化推進事業については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：26,993,464円)							
	健康福祉局 こども園総務課								
20	小規模保育事業等地域型保育給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
			84.9%		A	B	B	B	継続
	169,413千円	(事業概要、事業実績等) 子ども・子育て支援新制度において、小規模保育事業等に対し、法で定める公定価格に基づき、地域型保育給付として給付することにより、保育サービスの充実につながった。							
	健康福祉局 こども園総務課								

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成

総合評価
A

1 政策の概要

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成を図るため、ユニバーサルデザインの普及啓発や、福祉施設の適正な運営など、地域福祉の推進に努めるとともに、高齢者が、住み慣れた地域社会で共に支え合い、健康で生きがいを持ち、尊厳を保ちながら、安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

また、障がい者の自己決定を尊重し、適切な意思決定等を行えるよう支援するほか、障がい者の個別性に応じた支援を推進するとともに、ライフステージに応じた切れ目ない支援や、社会的障壁の除去と合理的配慮の普及に向けた取組を推進するなど、障がい者の自立支援と社会参加の促進に努めます。

また、生活困窮者等について、早期の自立に向けた支援等を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
地域福祉の推進	80%	B
地域包括ケアシステムの構築	100%	A
障がい者の自立支援と社会参加の促進	81%	B
生活困窮者等への自立支援	100%	A
平均	90%	A

3 政策の評価

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成に向けて、4施策に取り組んだ。

「地域福祉の推進」では、設定する2つの成果指標のうち、指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合において大幅な改正のあった社会福祉法人制度への対応が十分にできていない法人が増加したことなどにより目標に届かなかったものの、他の指標については目標を概ね達成しており、施策評価の得点率は80%となった。

「地域包括ケアシステムの構築」では、設定する3つの成果指標について目標を達成した。

「障がい者の自立支援と社会参加の促進」では、設定する2つの成果指標のうち、福祉施設から一般就労への移行者数において受入可能な企業が少ないことなどから目標に届かなかったものの、他の指標については目標を達成しており、施策評価の得点率は81%となった。

「生活困窮者等への自立支援」では、設定する2つの成果指標について目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は90%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
地域福祉の推進	21.0%	18.1%	74.3%
地域包括ケアシステムの構築	23.9%	22.0%	80.3%
障がい者の自立支援と社会参加の促進	19.7%	15.4%	72.3%
生活困窮者等への自立支援	12.6%	19.9%	49.7%
平均	19.3%	18.9%	69.2%

施策	地域福祉の推進
----	---------

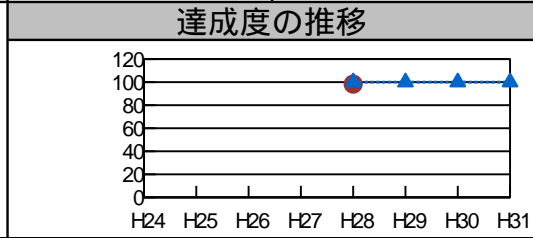
事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,132,632千円	B	21.0%	74.3%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局、市民政策局

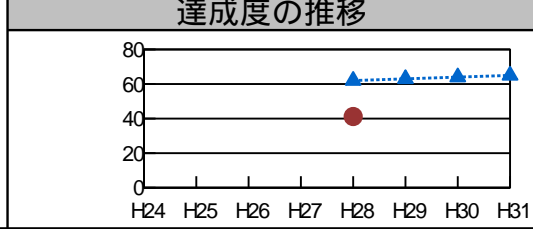
対象	市民	意図	地域福祉の推進や福祉施設の適正な運営に関する各種事業を展開し、みんなで支え合う地域福祉を推進する。

概要(実績)	民生委員・児童委員の一齐改選に伴い、改選事務説明会を開催し、各地区コミュニティ協議会長や民生委員児童委員協議会長に対し、各地区での候補者の推薦について依頼することで、目標に対し98.3%の達成率であった。また、第3次高松市地域福祉計画の周知や、民生委員・児童委員に対する研修等、社会福祉法人の指導監督、ユニバーサルデザイン基本指針に基づくユニバーサルデザインの普及・啓発、臨時福祉給付金給付事業の実施により、本市の地域福祉を推進した。		
--------	---	--	--

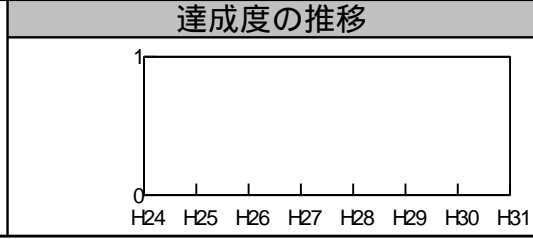
成果指標	指標名	民生委員・児童委員の充足率	H28実績	H28目標	達成度
	状況	民生委員・児童委員は全国的に、なり手不足の状況ではあるが、一齐改選に伴い、改選事務説明会を開催するなど、各地区コミュニティ協議会長や地区民生委員児童委員協議会長に対し、各地区での候補者の推薦を依頼することで、概ね目標を達成することができた。	98.3%	100%	98.3%



成果指標	指標名	指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	H28実績	H28目標	達成度
	状況	日頃から、社会福祉法人等への制度周知や実地監査を行い、適正な運営を指導しているが、大幅な制度改正等があったことから、その改正に十分対応できない社会福祉法人等が増えたため、達成度は67%程度にとどまった。	41.2%	62%	66.5%



成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況				



施策の課題	市民の防災に対する意識啓発に努めるとともに、災害時要援護者台帳の整備や、災害時緊急物資の備蓄体制を強化していくことで、安全・安心なまちづくりを推進していく必要がある。
-------	---

施策の方向性	引き続き、安全・安心に暮らせる福祉環境を実現することにより、みんなで支え合う地域福祉の推進に取り組む。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 民生・児童委員活動支援等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	116,528千円							
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>職務上必要な知識・技術を習得するため、民生委員児童委員連盟大会、民生委員児童委員研修会を開催し、約84%の民生委員・児童委員の参加を得て、資質の向上に寄与した。</p> <p>また、地区間の連携強化のため、地区民生委員児童委員協議会会長研修や主任児童委員研修を実施したほか、一斉改選による新任者には、新任研修を実施した。</p>						
2	災害援護事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,795千円		104.0%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>災害時要援護者の新規対象者に対して、登録希望調査票を個別に送付し、登録を直接呼びかけたほか、広報たかまつ等を通じた広報活動を積極的に行うことにより、災害時要援護者の登録者増につながった。</p>						
3	社会福祉団体活動助成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	121,814千円		100.0%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>広く市民の相談に応じるなど、地域福祉推進のための事業を実施する高松市社会福祉協議会に対して、補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実に寄与した。</p> <p>また、社会福祉諸団体に補助金を交付することにより、地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。</p>						
4	(評価対象外) 臨時福祉給付金給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,717,554千円							
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成26年4月からの消費税率引き上げに際し、低所得者への影響に鑑み実施する臨時福祉給付金等給付事業を、臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。</p> <p>(繰り越明許額：1,308,536,000円)</p> <p>なお、前年度から繰り越した臨時福祉給付金給付事業(低所得の高齢者向け年金生活者等支援臨時給付金)については完了した。</p> <p>(平成27年度繰り越明許事業費：1,315,086,504円)</p>						
5	戦争犠牲者追悼式等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,647千円		100.0%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 健康福祉総務課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>遺族の高齢化や、若年層の戦争に対する関心の希薄化に伴い、追悼式への参列者が減少傾向にあるため、遺族に向けて案内状を個別に発送するとともに、関係団体に対しても出席依頼を行うなど、広く周知することで、ほぼ例年通りの参列者数があった。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	(評価対象外) 社会福祉事業 1,586千円 健康福祉局 健康福祉総務課							
	(事業概要、事業実績等) 各種社会福祉統計調査を実施した結果、市民の現状やニーズを踏まえた国の施策立案の実現に貢献するとともに、本市の福祉行政の向上に寄与した。							
7	(評価対象外) 法外援護事業 11,371千円 健康福祉局 健康福祉総務課							
	(事業概要、事業実績等) 前年度の援護金支給者に対し、申請案内を送付するとともに、支給制度についての広報掲載を行うことにより対象者への周知を行った。							
8	(評価対象外) 総合福祉会館管理運営事業 137,426千円 健康福祉局 健康福祉総務課							
	(事業概要、事業実績等) 施設の利用を通して、身体障がい者や高齢者の生きがいづくりが図られるとともに、社会生活への適応性が高まるなど、市民福祉の向上に寄与した。また、施設情報を積極的にPRすることで、施設の利用増進に取り組んだ。							
9	(評価対象外) 社会福祉法人指導監督事業 625千円 健康福祉局 健康福祉総務課							
	(事業概要、事業実績等) 社会福祉法人及び施設等に対し指導監督を行った結果、適正な運営を確保することができ、引き続き、利用者や家族が安心して福祉サービスの提供を受けられるなど、市民福祉の向上に寄与した。							
10	ユニバーサルデザイン推進事業 286千円 市民政策局 ユニバーサルデザイン推進室	重点 一般重点	成果達成度 87.9%	妥当性 B	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 拡充
	(事業概要、事業実績等) 一人一人の多様性が尊重され、年齢や性別、国籍などに関わりなく、誰もが快適に過ごせることのできる、ユニバーサルデザイン社会の実現を目指し、その考えを周知啓発するため、ユニバーサルデザイン展の開催、小学生学習パンフレットの配布及びユニバーサルデザインアイデアコンテストを実施した。							

施策	地域包括ケアシステムの構築	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		1,931,836千円	A	満足度	重要度
				23.9%	80.3%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	高齢者等	意図	住み慣れた地域で、自分らしい人生を最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいなどが一体的に切れ目なく提供される状態となる。
----	------	----	---

概要（実績）
 高齢者保健福祉事業の取組として、シルバー人材センターや老人クラブへの補助による生きがいの促進、在宅生活支援、一人暮らし高齢者等への生活支援事業、認知症高齢者対策及び虐待防止、高齢者居場所づくり事業や、地域包括ケアの推進、地域ケア会議の開催、介護予防教室などを行い、介護予防の推進に取り組んだ。
 介護保険対象施設等の充実への取組として、特別養護老人ホームの計画的な整備、軽費老人ホームへの運営補助、地域密着型サービス施設整備の補助等を行うとともに、老人福祉施設等の指導監査を行った。
 地域包括支援センターにおいて、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護等のほか、認知症ケアの推進、地域ケア会議の開催、介護予防教室などを行い、介護予防の推進に取り組んだ。
 介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向け、多様な主体による様々なサービス提供体制を構築するとともに、地域の医療・介護関係機関との連携を推進した。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		要介護者の在宅比率	79.4%	78%
状況	在宅で生活している要介護認定者の割合は、目標値の78%を1.4ポイント上回っている。	達成度の推移 		
指標名	自立高齢者率	H28実績	H28目標	達成度
状況	介護・支援を必要としていない65歳以上の高齢者の割合は、目標値の78.2%を0.9ポイント上回っている。	79.1%	78.2%	101.2%
状況		達成度の推移 		
指標名	自立後期高齢者率	H28実績	H28目標	達成度
状況	介護・支援を必要としていない75歳以上の高齢者の割合は、目標値の59.3%を2.4ポイント上回っている。	61.7%	59.3%	104.0%
状況		達成度の推移 		

施策の課題
 高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、切れ目のない医療と介護の提供体制の構築を推進するほか、介護保険サービス基盤の充実、介護予防の推進、地域全体で高齢者を支える体制づくりに取り組んでいる。今後においても、高齢者一人一人の状態に応じて、様々な支援が切れ目なく提供される環境づくりや、共に支え合う社会づくりが求められている。

施策の方向性
 高齢者が住み慣れた地域で、安全に自分らしい生活を送ることのできる生活環境を整備するため、高齢者の生活支援の充実や、介護保険施設等の充実に努める。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	在宅医療・介護連携推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	15,576千円	特別重点	133.3%	A	A	A	A	継続
健康福祉局 地域包括ケア推進室		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>地域に在宅医療・介護連携体制の構築を推進するため、医師会等と連携し、在宅医療・介護関係機関との連携を図る。高松市在宅医療連携協議会を設立し、在宅医療・介護関係者による「在宅ケア便利帳」を作成し、市民公開講座を開催し、在宅療養に関する普及啓発を行う。昨年度に引き続き、多職種連携研修会を開催し、顔の見える関係づくりを行うとともに、在宅医療コーディネーター養成研修を実施し、相談支援体制の構築に向け、平成30年4月までに全市町村で取り組むこととして示された8事業項目について、全ての事業項目に着手できた。</p>						
2	介護保険補助金等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	31,166千円		100.0%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 介護保険課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>社会福祉人等における介護サービス利用者のうち、生活困難者に対して利用し難い高齢者の介護サービス提供を促進し、介護サービスを利用する高齢者の安心安全を確保し、事業者に対する施設等整備補助は、国の補助事業の執行が滞りなく進められたことにより、補助金の支出が一部不可能となったため、事業の繰越明許費を繰越額：37,187,000円</p>						
3	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	40,194千円	特別重点	100.0%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 地域包括ケア推進室		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>平成28年10月に、介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)への移行を円滑に実施することができた。実施主体として、シルバー人材センターや入ボートシムなど多様な画参課題を解決する中で、住民主体サービスの提供団体について1団体がサービスの提供を開始するなど、地域で高齢者を支える体制づくりを推進することができた。</p>						
4	(評価対象外) 介護予防推進事業(介護保険課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	112,858千円							
健康福祉局 介護保険課		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>香川県国民健康保険団体連合会に審査支払事務を委託するなど、適正な審査を経た事業費支給が行ったことにより、要支援・事業対象者に対し必要なサービスを提供することができた。</p>						
5	(評価対象外) 認知症高齢者等対策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,270千円							
健康福祉局 地域包括支援センター		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>地域において、認知症の人やその家族を支えるためには、まずは、ボランティアの人材育成が不可欠であるため、認知症サポーターを継続して養成した。</p> <p>認知症サポーター養成講座 受講者数 4,831人</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	介護予防推進等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	10,696千円		149.8% 359.4%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 要支援・要介護認定を受けていない高齢者等に対し、介護予防のための教室や健康教育等を実施し、介護予防意識及び運動機能向上を図った。また、元気を広げる人の養成講座、のびのび元気体操等、市民の介護予防ボランティア人材の養成に取り組んだ。						
健康福祉局 地域包括支援センター								
7	(評価対象外)介護予防推進事業(地域包括支援センター分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	57,577千円							
		(事業概要、事業実績等) 要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる者に対し、居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、介護予防教室等、個々の状態に応じた適切な介護予防プログラムを実施することで、要介護状態等の予防に寄与した。						
健康福祉局 地域包括支援センター								
8	(評価対象外)介護予防支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	273,261千円							
		(事業概要、事業実績等) 要支援1・2の要介護認定を受けた高齢者等に介護予防マネジメント(ケアプラン作成等)を行い、ケアプランに基づいた適切な介護予防サービスを提供し、心身の状態の維持・改善を図り、住み慣れた地域で、安心して自立した日常生活が送れるよう支援を行った。 介護予防ケアマネジメント件数 延べ 49,938件/年間						
健康福祉局 地域包括支援センター								
9	(評価対象外)介護予防推進事業(地域包括ケア推進室分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,690千円							
		(事業概要、事業実績等) 新しい総合事業の実施に当たり、住民主体によるサービス提供を行う団体に対し、立ち上げ及び運営に要する費用について補助を行い、地域での支え合い体制づくりを推進した。 立上補助 訪問型サービス 3団体 通所型サービス 1団体 運営補助 訪問型サービス 1団体						
健康福祉局 地域包括ケア推進室								
10	瓦町健康ステーション事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	24,800千円		117.1%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 平成27年10月にコトデン瓦町ビル8階I K O D E 瓦町内に開設した瓦町健康ステーションにおいて、各種講座を開催し、市民の健康づくりや生きがいつくり等に寄与した。 利用者実績 33,961人(平成28年4月~平成29年3月)						
健康福祉局 長寿福祉課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	軽度生活援助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	34,310千円		97.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 65歳以上の一人暮らし高齢者等に外出時の援助、家周りの清掃、家屋内の整理・整頓などの在宅の一人暮らし高齢者等の生活支援に資する軽易な日常生活上の援助を行うことで、自立した生活の継続を可能にするとともに、介護予防に資することができた。						
		登録者数 3,090人 延べ利用回数 17,402回						
健康福祉局 長寿福祉課								
12	敬老事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	52,976千円		100.0%	A	B	A	A	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 老人の日前後に各地区にて長寿をお祝いする催しを行うほか、88、99歳以上の節目を迎える方に祝金を、100歳の高齢者及び市内男女最高齢者の方には祝品を贈ること、長寿をお祝いし、高齢者の生活の向上に努める意欲を高めることができた。						
		敬老会対象者数 56,119人 敬老祝金支給対象者 88歳 1,907人 99歳以上 453人 敬老祝品贈呈者数 143人						
健康福祉局 長寿福祉課								
13	高齢者生きがいデイサービス事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,819千円		100.0%	C	B	C	B	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 要介護・要支援認定を受けていない一人暮らし等の高齢者に、趣味や創作活動、教養講座、レクリエーションなどのデイサービスを提供することで、高齢者の自立生活の助長及び要介護状態への予防ができた。						
		登録人数 474人 延べ利用者数 5,902人						
健康福祉局 長寿福祉課								
14	高齢者居場所づくり事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,004千円	特別重点	102.3%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 介護予防や健康増進、地域のボランティア活動、世代間交流など、様々な地域活動の場となる高齢者の居場所を設置することにより、高齢者の孤立化防止や、介護予防を促進することができた。						
		また、小学生以下の子どもとの交流を行った場合に、運営助成金に加算して交付する、子どもとのふれあい加算を新設したことにより、世代間交流を促進することができた。						
		28年度整備数 52か所 居場所数 240か所(平成29年3月31日現在) 子どもとの交流数 33か所						
健康福祉局 長寿福祉課								
15	高齢者と地域の交流事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,929千円		96.8%	A	A	B	A	拡充
		(事業概要、事業実績等) 地区のボランティアの協力により、コミュニティセンター等で月1回程度、会食方式の会食をすることで、高齢者の孤独感の解消及び地域社会との交流を図ることができ、高齢者福祉の向上及び共助と連携の地域福祉づくりに寄与した。						
		実施地区 29地区(31か所) 延べ食数 23,506食						
健康福祉局 長寿福祉課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	高齢者福祉施策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	15,289千円		95.6%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 長寿福祉課		(事業概要、事業実績等) 高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるよう、高齢社会にふさわしい保健福祉施策を推進した。 在宅福祉サービスリーフレット作成部数 35,000部						
17	高齢者福祉タクシー助成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	14,306千円		108.2%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 長寿福祉課		(事業概要、事業実績等) タクシー助成券を交付することで、外出することが難しい在宅の高齢者の外出を支援することができた。 交付人数 3,138人						
18	高齢者福祉通信機器貸与等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,349千円		94.0%	C	B	B	B	改善継続
健康福祉局 長寿福祉課		(事業概要、事業実績等) 福祉電話や緊急通報装置を貸与又は給付することで、一人暮らし高齢者等の孤独の解消を図るとともに、急病、災害その他緊急時に迅速かつ適切な対応ができる環境を整備することができた。 福祉電話貸与台数 135台 緊急通報装置設置台数 616台						
19	高齢者見守り事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	47,062千円	特別重点	90.0%	88.6%	A	A	A	A
健康福祉局 長寿福祉課		(事業概要、事業実績等) 地域で支え合う見守り協定、特別あんしん見守り事業などによる三層構造による見守り活動の推進や生活の不安を解消するための見守り機能を持つ専用ダイヤルを整えた。開設により、24時間さらさら緊急通報装置からの見守り機能の切り替えを実施したほか、平成28年10月から開始した。 地域で支え合う見守り協定事業所数 69事業所 介護相談専用ダイヤル相談件数 約9,400人 あんしん通報装置設置件数 311件 新規移行 407件 952件						
20	在宅高齢者家族支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	46,171千円		95.8%	B	B	A	A	継続
健康福祉局 長寿福祉課		(事業概要、事業実績等) 在宅で高齢者を介護している方に、寝たきり高齢者等介護見舞金、老人短期入所等のサービスを提案するのと、家族介護負担を軽減する結果、介護支援専門員や民生委員などの関係者に本事業の更なる啓発を行った。						
		介護見舞金支給者数 791人 短期入所事業利用日数 延べ1,067日						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	シルバー人材センター運営補助事業		89.3%	A	B	C	B	継続
	17,954千円	(事業概要、事業実績等) シニアワークプログラムの一実施による高齢者への技能講習や、会員の作品展・写真・社会活動への参加の場を設けて、高齢者への参加を促進することができた。 高齢者への参加を促進することができた。						
	健康福祉局 長寿福祉課	登録人数 1,812人 延べ受付件数 22,653件 就業延べ人員 162,097人						
22	高齢者と施設の交流事業		87.3%	A	B	B	B	拡充
	14,114千円	(事業概要、事業実績等) 委託先の特別養護老人ホーム等の給食施設において調理された食事を、社会福祉協議会や民生委員の協力を得て、独居高齢者等の家庭に配食することにより、食生活の充実を図ることができた。また、市内全域で本事業が利用できるよう実施施設の拡充に努めた結果、利用者数が増加した。						
	健康福祉局 長寿福祉課	利用者数 464人 延べ食数 34,760食 19施設 26地区 20施設 26地区						
23	在宅福祉サービス事業補助事業		54.8%	C	C	C	D	廃止
	29,222千円	(事業概要、事業実績等) 高松市社会福祉協議会が実施する在宅福祉サービス事業に対し補助金を交付し、食事サービス利用を促進することで、市内の食事準備が困難な者の栄養状態を改善し、在宅での生活を援助することができた。						
	健康福祉局 長寿福祉課	利用者数 362人 延べ食数 106,220食 (うち 利用料助成食数 93,298食)						
24	寝たきり高齢者等支援事業		95.6%	A	A	A	A	改善継続
	56,636千円	(事業概要、事業実績等) 寝たきり等の高齢者に紙おむつ給付等のサービスを提供することで、日常生活上の不安を和らげ、在宅での生活を支援することができた。						
	健康福祉局 長寿福祉課	寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業登録人数 1,640人 延べ給付人数 18,261人						
25	老人クラブ活動助成事業		96.5%	A	A	B	A	継続
	36,753千円	(事業概要、事業実績等) 地域でのボランティア活動や交通キャンペーンなどの社会奉仕活動や、伝統文化の継承など地域を豊かにする社会貢献活動を展開することにより、高齢者の生きがいづくりと社会活動への参加を促進することができた。						
	健康福祉局 長寿福祉課	老人クラブ数 366クラブ 会員数 18,501人						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
26	(評価対象外)老人福祉センター等運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	52,062千円							
健康福祉局 長寿福祉課		(事業概要、事業実績等) 高齢者が、住み慣れた地域社会で安心して自立生活を営むことができるよう、老人福祉センター、老人いこいの家などで地域に密着した既存施設の有効活用を行うことで、高齢者の生きがいがいつくりと社会活動への参加を促進することができた。 なお、ふれあい福祉センター勝賀については、総合センター整備工事のため、平成28年4月から休館していたが、同年11月に再開した。 香南ふれあい館等 延べ 1,280人 ふれあい福祉センター勝賀 延べ 20,356人 老人いこいの家 延べ 12,187人						
27	介護相談員派遣等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,633千円	一般重点	123.2%	A	A	A	A	拡充
健康福祉局 介護保険課		(事業概要、事業実績等) 介護相談員の派遣施設を7事業所増やし、合計21事業所に拡充したことにより、利用者からの相談件数が増加するなど、利用者の利便性の向上と派遣施設におけるサービス内容の改善につながった。						
28	地域ケア会議推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	185千円	特別重点	52.3% 107.0%	A	A	B	B	継続
健康福祉局 地域包括支援センター		(事業概要、事業実績等) 地域包括ケアシステムを実現するために、地域ケア会議・地域ケア小会議を開催するほか、介護支援専門員からの相談体制を整えるとともに、専門職のスキルアップを図るための研修会を開催した。 地域ケア会議 延べ 2回 地域ケア小会議(個別課題) 延べ 39回 地域ケア小会議(地域課題) 延べ 139回 居宅介護支援事業所等の介護支援専門員からの相談件数 655件						
29	認知症ケア推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,038千円	特別重点	84.2% 11.1%	A	A	B	C	拡充
健康福祉局 地域包括支援センター		(事業概要、事業実績等) 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指し、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」を配置し、「認知ケアパス」や「認知症あんしんサポート手帳」の普及を促進するとともに、認知症の人やその家族に複数の専門職が訪問支援を行う「認知症初期集中支援チーム」を10月に設置した。 認知症初期集中支援チーム 対応件数 6件						
30	(評価対象外)地域包括支援センター運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	170,204千円							
健康福祉局 地域包括支援センター		(事業概要、事業実績等) 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などが連携し、高齢者に関する総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント等を行い、介護予防の推進に取り組んだ。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
31	軽費老人ホーム事務費補助事業 205,443千円		102.8%	A	A	B	A	改善継続
	健康福祉局 長寿福祉課	(事業概要、事業実績等) 軽費老人ホームの運営に要する経費の一部を補助することで、自立した生活を営むことに不安のある高齢者が、収入に応じた低額な料金で利用できる施設を確保することができた。 交付法人数 13法人(13施設) 軽費老人ホーム定員数 488人 軽費老人ホーム延べ入所者数 556人						
32	高齢者住宅改造助成事業 5,14千円		45.0%	B	B	B	D	改善継続
	健康福祉局 長寿福祉課	(事業概要、事業実績等) 在宅で生活している高齢者が利用する、浴室・玄関などの手すりの取付けや段差の解消、和式便器の洋式便器への取り替えなどの改造工事に対して助成金を交付することで、高齢者の在宅生活を支援するとともに、介護者の負担を軽減することができた。 高齢者住宅改造助成件数 16件 うち課税世帯 9件 非課税世帯 7件						
33	高齢者住宅等安心確保事業 9,125千円		149.7%	B	A	B	A	改善継続
	健康福祉局 長寿福祉課	(事業概要、事業実績等) 高齢者世帯付住宅へ生活援助員を派遣し、日常生活の相談・指導、安否確認、緊急時の対応等のサービスを入居者に提供することにより、高齢の入居者が自立して安全かつ快適に生活できる場を確保することができた。 県営住宅1棟 28戸 市営住宅3棟 61戸						
34	(評価対象外)老人保護施設措置事業 347,515千円							
	健康福祉局 長寿福祉課	(事業概要、事業実績等) 居宅において養護を受けることが困難な高齢者を、養護老人ホームに措置入所させることで、保護することができた。 養護老人ホーム入所者数 162人						
35	老人福祉施設整備支援事業 151,508千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 長寿福祉課	(事業概要、事業実績等) 老人福祉施設整備のため社会福祉法人が、独立行政法人福祉医療機構から借入れた資金について、その利子の一部を同法人へ補助すること及び施設整備に対する補助金を交付することにより、老人福祉施設整備が促進され、入所者の生活の場を確保する効果があった。 また、第6期高松市高齢者保健福祉計画で計画した特別養護老人ホームの整備目標床数を達成した。 なお、国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：26,908,000円) 利子補給補助金交付法人数 16法人(23施設) 平成28年度施設整備補助金 135,642千円						


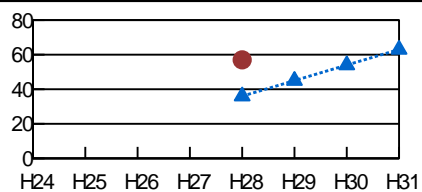

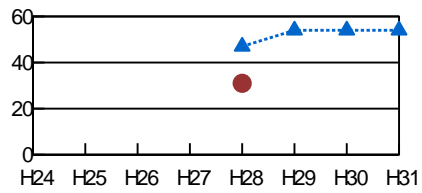
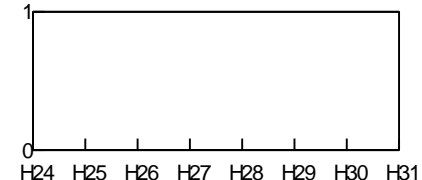
平成28年度 施策の概要調書

施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		9,311,274千円	B	満足度	重要度
				19.7%	72.3%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

対象	障がい者及び障がい児	意図	必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行うことにより、障がい者及び障がい児が自ら選択した場所に居住し、自立した日常生活を送ることができるようにします。

概要 (実績)	障がい者及び障がい児が、自立した日常生活又は社会生活を送ることができるよう、必要な支援を実施した。		
	障がい者サービス利用者数	2,689人	
	障がい児サービス利用者数	727人	
	障害者医療受給者	12,053人	
	更生医療支給認定者	1,005人	

成果指標	指標名	施設入所者の地域生活への移行者数（累積）	H28実績	H28目標	達成度	
			57人	36人	158.3%	
	状況	障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、施設入所者の地域移行を推進した結果、目標値を達成できた。	達成度の推移			
						
	指標名	福祉施設から一般就労への移行者数	H28実績	H28目標	達成度	
			31人	47人	66.0%	
状況	障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、福祉施設から一般就労への移行を推進したが、受入可能な企業が少なかったこと等により、目標値を達成できなかった。今後、地域生活支援拠点等を整備し、数値の改善を図っていきたい。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題	支援の対象となる障がいの多様化に伴い、障害福祉サービスコストの増加が予想されるため、より効果的なサービス提供について検討する必要がある。
-------	--

施策の方向性	障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、積極的に社会活動に参加できる地域社会づくりを目指し、より一層効果的で適正な施策の実施に取り組み、成果の向上を図る。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(評価対象外) 障害者施策推進事業						
1	75千円							
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 高松市障害者施策推進懇談会を開催するなど、関係団体等との連携を図ったことにより、「たかまつ障がい者プラン」を適切に推進した。						
2	188,025千円		102.2%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 障がい者(児)に対し、補装具や日常生活用具の給付を行ったことにより、本人及びその家族の精神的・経済的負担が軽減した。						
3	3,956千円		127.5% 125.5%	A	A	A	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 障害者福祉施設等の整備を実施したことにより、障害者福祉施設等の利用促進に効果があった。 なお、障害者福祉施設等における防犯対策整備に当たり、実施期間を確保するため、事業を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：12,580,000円)						
4	13,325千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 障がい福祉課	一般重点	100.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 中央商店街の空き店舗を利用して、障がい者を雇用し事業を行う事業者等への支援を実施することにより、知的障がい者・精神障がい者等の就労促進、社会的・経済的な自立に寄与することで、障がい者の一般就労に向けた支援に効果があった。						
5	3,750千円		40.0%	A	B	B	D	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 成年後見人制度利用の支援を行ったことにより、財産管理やサービスの利用契約などについて、後見人制度を利用できることから、障がい者の権利擁護の促進に効果があった。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	(評価対象外) 福祉手当支給等事業 270,488千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当の支給を行うことにより、障がい者及びその家族等の経済的負担等が軽減した。							
7	(評価対象外) 障害者福祉施設等運営事業 11,184千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 障害者施設等を運営し、障がい者(児)に対し、必要とされるサービスを提供したことにより、障がい者の自立支援や社会活動への参加促進に効果があった。							
8	障害者医療費助成事業 1,671,300千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 障がい者を対象に医療費(保険診療の自己負担額(高額療養費及び入院時食事(生活)療養費に係る標準負担額は除く。))の全部又は一部を助成したことにより、障がい者の医療費に係る経済的な負担が軽減した。							98.0% A B B A 継続
9	障害者相談支援事業 90,521千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 在宅福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供を総合的に実施したことにより、障がい者やその家族等の不安解消、生活の利便性の向上に効果があった。							89.1% A B B A 継続
10	(評価対象外) 介護給付費等審査会事業 3,654千円 健康福祉局 障がい福祉課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	(事業概要、事業実績等) 審査会を開催し、障害支援区分認定基準に照らして適正な審査及び判定を行ったことにより、障害福祉サービス等の支給決定手続きの透明化・公平化に効果があった。							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	障害者手帳交付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	43,037千円		130.8%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 障がい者からの手帳交付申請に基づき、適正な障害認定を行い、障害者手帳の交付を行ったことにより、障がい者の福祉が増進した。						
健康福祉局 障がい福祉課								
12	(評価対象外) 障害程度区分認定事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	22,250千円							
		(事業概要、事業実績等) 障害支援区分の認定等のために調査を実施するとともに、医師の意見書を作成したことにより、審査会事業が効果的に実施できた。						
健康福祉局 障がい福祉課								
13	福祉用品助成等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	34,541千円		104.5%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 障がい者(児)に対し、紙おむつの給付、車いすの貸与、福祉電話の貸与、住宅改造の助成等を行ったことにより、本人及びその家族等の精神的・経済的負担が軽減した。						
健康福祉局 障がい福祉課								
14	障害児放課後支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,132千円		100.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 養護学校に通う児童のうち、放課後帰宅しても保護者の監護を受けられない児童に対し、放課後支援事業を実施したことにより、障がい児の健全な育成、保護者の負担軽減の効果があつた。						
健康福祉局 障がい福祉課								
15	(評価対象外) 障害者自立支援医療事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	550,262千円							
		(事業概要、事業実績等) 自立支援医療を認定し、医療費の自己負担額軽減を行ったことにより、障がい者の自立と社会参加の促進に効果があつた。						
健康福祉局 障がい福祉課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	発達障害者サポート事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,456千円		101.8%	A	B	A	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 発達障がい支援コーディネーターを配置して各種相談を行った結果、発達障がい児の早期発見につながり、障害児(児)のサポートサービス受給者数が増加した。また、発達障がい者(児)の基本的理解を深めるとともに、ライフサイクルに応じた支援や、地域で生活していくための支援ができる人材の育成に効果があった。 障害児通所サービス受給者数 662人						
17	障がい者地域生活支援拠点等整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 障がい福祉課	特別重点		A	A	B	A	継続
	(事業概要、事業実績等) 相談、体験の機会・場の提供、緊急時の受入れ、地域の体制づくりなど、居住支援のための機能を強化し、様々な支援を切れ目なく提供する地域生活支援拠点を整備する準備を進めることで、障がい者の自立支援の促進に効果があった。							
18	(評価対象外) 障害福祉サービス給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,047,024千円	(事業概要、事業実績等) 障害福祉サービス費を支給することにより、障がい者(児)の自立した日常生活や社会生活が向上した。 障がい者サービス利用者数 2,689人 障がい児サービス利用者数 727人						
	健康福祉局 障がい福祉課							
19	福祉のまちづくり推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	30千円		118.2%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 香川県福祉のまちづくり条例に基づき、特定施設新築等届出書等の提出を促し、審査・指導・助言を行ったことにより、市民の誰もが安全かつ円滑に利用できるような公共的建物等の福祉的環境の整備促進に効果があった。						
20	障害者地域活動支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	101,413千円		104.4%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 地域活動支援センター事業や意思疎通支援事業等を行うことにより、障がい者(児)の自立支援や社会活動への参加促進に効果があった。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	障がい者アートリンク事業 15,354千円	一般重点	191.2%	A	A	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 希望する障害福祉サービス事業所へアーティストを派遣し、継続して芸術活動 するなかで、作品展などを通じて社会参加の促進に効果があった。 認知され、障がい者の社会参加の促進に効果があった。 なお、前年度からの繰越事業である障がい者アートリンク事業(瀬戸内国際芸 術祭2016後援事業)については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費:1,999,790円)						
22	障害者社会活動支援事業 7,543千円		38.8%	A	B	B	D	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 障害者団体への支援を行うことにより、障がい者(児)の自立支援や社会活動 の参加促進に効果があった。						
23	障害者福祉タクシー事業 38,267千円		102.2%	A	B	B	A	継続
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 障害者福祉タクシー事業を行うことにより、障がい者(児)の外出機会を創出 し、自立支援や社会参加の推進に効果があった。						
24	(評価対象外)障害者移動支援等事 業 170,687千円							
	健康福祉局 障がい福祉課	(事業概要、事業実績等) 外出の際の移動の支援、創作活動及び生産機会の提供を行うことにより、障が い者(児)の社会活動への参加の促進に効果があった。 サービス利用者数 977人						

施策	生活困窮者等への自立支援
----	--------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
11,414,064千円	A	12.6%	49.7%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
担当局	健康福祉局

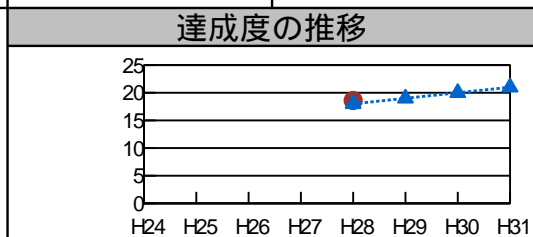
対象	生活困窮者	意図	困窮の程度に応じ、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。 生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき早期の支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を図る。
	概要(実績)		生活困窮者に対し、困窮の程度に応じ、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長した。生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき、困窮者それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な自立相談支援事業等を実施したほか、高松市生活困窮者自立支援事業連絡会を設置し、庁内外の関係機関等の連携体制の強化を図るとともに、庁内の連絡会構成課の担当者研修会を実施した。また、就労訓練事業所として、新たに2事業所の認定を行った。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
	状況	達成度の推移		

勤労収入の増加による生活保護廃止率

H28実績	H28目標	達成度
18.6%	18%	103.3%

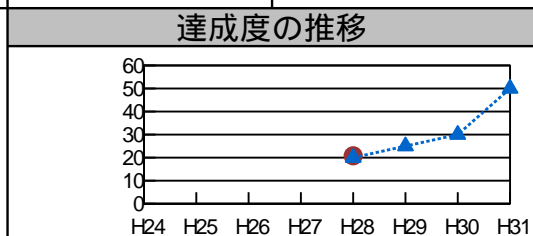
稼働能力のある者には、ハローワーク等と連携して就労指導するとともに、被保護者の状況を把握しながら、段階的に就労機会を増やすなど、経済的自立を目標に取り組んだ。



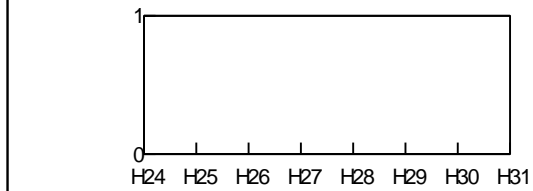
支援プラン作成率

H28実績	H28目標	達成度
20.8%	20%	104.0%

生活困窮者それぞれの状況に応じて、継続的かつ包括的な支援を実施するための支援プランを作成し、困窮者の早期自立を促した。



指標名	H28実績	H28目標	達成度
状況	達成度の推移		



施策の課題	経済状況と雇用環境を反映し、生活保護受給者数はやや減少傾向にあるが、ケースワーカー及び査察指導員数の充足を図るなど、実施体制の整備が必要である。 生活困窮者自立支援事業については、早期支援を実現するため、地域における生活困窮者の把握など、地域ネットワークを活用した包括的な取組が必要である。
-------	--

施策の方向性	引き続き、生活困窮者に対して健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立支援施策を推進することにより、自立を助長する。 生活困窮者自立支援事業については、ニーズに応じた支援を計画的かつ継続的に行う。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) ホームレス自立支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5千円	(事業概要、事業実績等) 療養の確保及び日用品等の援助物資を支給した結果、ホームレスの生存が保障され、生活の安定を確保した成果が得られた。						
	健康福祉局 生活福祉課							
2	(評価対象外) 行旅死亡人等取扱事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,652千円	(事業概要、事業実績等) 行旅死亡人等に対して適切に葬祭・埋葬や旅費等の救護を行った結果、公衆衛生が維持され、行旅人に係る行旅中の生活を安定させる成果が得られた。						
	健康福祉局 生活福祉課							
3	(評価対象外) 中国残留邦人生活支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	42,127千円	(事業概要、事業実績等) 中国残留邦人等の置かれている特別な事情に鑑み、老後の生活の安定と地域での生き生きとした暮らしを実現するため、支援給付や日常生活の助言等の支援を行った。						
	健康福祉局 生活福祉課							
4	(評価対象外) 生活保護扶助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,342,608千円	(事業概要、事業実績等) 要保護者に対して、生活保護の実施及び被保護者就労支援事業を通じて日常生活への自立支援を行った結果、要保護者の最低生活が保障されるとともに、自立を助長した成果が得られた。						
	健康福祉局 生活福祉課							
5	(評価対象外) 生活困窮者自立支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	25,672千円	(事業概要、事業実績等) 平成27年度から施行された生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者が抱える複合的な課題を十分に把握し、他の機関と連携して支援計画を作成するなど、それぞれの状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行う自立相談支援事業等を実施し、困窮状態からの早期脱却に向けて支援した。						
	健康福祉局 生活福祉課							

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり

総合評価
A

1 政策の概要

健康で元気に暮らせる環境づくりを図るため、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、健康づくりの普及啓発や生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底を推進し、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた健康づくりの推進に努めるほか、感染症の発生予防、まん延防止に努めます。

また、医療人材の確保や監視指導などによる医療機関等の適正な運営の確保とともに、市立病院の充実や、救急医療体制の確保に努め、市民が安心できる医療体制の充実を図ります。

また、国民健康保険を始め、介護保険や後期高齢者医療などの社会保障制度の適切な運営に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
健康づくりの推進	67%	C
医療体制の充実	96%	A
社会保障制度の適切な運営	100%	A
平均	87%	A

3 政策の評価

健康で元気に暮らせる環境づくりに向けて、3施策に取り組んだ。

「健康づくりの推進」では、設定する3つの成果指標のうち、介護保険の要介護2～5の認定率において目標を達成したものの、がん検診受診率については国による受診率算定方法の変更が影響し目標を大きく下回ったことなどから、施策評価の得点率は67%となった。

「医療体制の充実」及び「社会保障制度の適切な運営」では、設定する6つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は87%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
健康づくりの推進	44.6%	14.5%	76.4%
医療体制の充実	42.4%	20.4%	84.1%
社会保障制度の適切な運営	27.2%	20.1%	76.9%
平均	38.1%	18.3%	79.1%


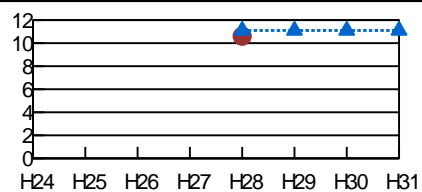

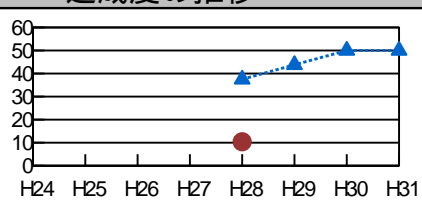

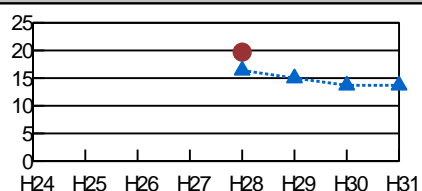
施策	健康づくりの推進
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,761,197千円	C	44.6%	76.4%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局

対象	市民	意図	健やかで心豊かに生活できる。
----	----	----	----------------

概要(実績)	各種健康診査や健康教室、食育の推進等の取組により、市民の心身両面の健康づくりを推進した。また、予防接種事業等の感染症予防対策を推進した。		
--------	--	--	--

成果指標	指標名	介護保険の要介護2～5の認定率	H28実績	H28目標	達成度	
			10.6%	11.1%	104.5%	
	状況	現時点では、目標値以上に達成できている状況である。引き続き、市民の健康づくりの取組を進め、更なる向上を目指していきたい。	達成度の推移			
						
	指標名	がん検診受診率	H28実績	H28目標	達成度	
			10.4%	37.5%	27.7%	
状況	がん検診の対象者数の変更に伴い、受診率が低下しており、目標達成が困難な状況であるが、引き続き、がん検診の周知啓発に努めることにより、受診率の向上を目指していきたい。	達成度の推移				
						
指標名	内臓脂肪症候群該当者出現率(国保ベース)	H28実績	H28目標	達成度		
		19.7%	16.4%	79.9%		
状況	現時点では、目標値を達成できていない状況である。市民の健康づくりの取組を、一層、効果的に推進することなどにより、目標達成を目指していきたい。	達成度の推移				
						

施策の課題	各種検診の充実や食育の推進、予防接種事業等の感染症予防対策など、市民主体の健康づくりの取組を、引き続き推進するとともに、多様化・高度化する市民ニーズを踏まえた、より効果的な事業の実施が必要である。
-------	--

施策の方向性	健康都市高松の推進に向け、乳幼児期から高齢期に至る、それぞれのライフステージに応じた心と体の健康づくりや食育の推進などの取組を通じて、市民の健康づくりへの意識を高めることなどにより、市民一人一人が健やかに暮らせる環境づくりを推進していく。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	骨髄等移植ドナー支援事業 200千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 保健対策課			A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 本市では8月に骨髄等移植ドナーに対する助成制度を開始し、ドナーに対する助成を2件行った。						
2	(評価対象外) 保健統計調査事業 3,489千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 保健対策課							
		(事業概要、事業実績等) 統計法など関係法令、厚生労働省通知等に基づき、人口動態調査、国民生活基礎調査、医療施設動態調査等各種保健衛生統計調査を実施し、調査結果の成果を得た。						
3	(評価対象外) 保健所管理運営事業 26,231千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 保健対策課							
		(事業概要、事業実績等) 効率的な保守点検に努め、必要な修繕措置を行った結果、施設・設備とも適正に維持管理できた。						
4	(評価対象外) 栄養改善指導事業 4,730千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 保健センター							
		(事業概要、事業実績等) 特定給食施設等への指導及び助言や、立入検査を実施したことにより、対象施設の適切な衛生管理に資することができた。						
5	(評価対象外) 原爆被爆者健康診断事業 78千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 保健センター							
		(事業概要、事業実績等) 原子爆弾被爆者を対象にした健康診断の通知を行うなど、被爆者の健康の保持増進に寄与した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外) 国民健康・栄養調査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,716千円							
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 国及び県から委託を受け、国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査を実施した結果により、市民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況についての調査結果が得られ、健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料とすることができた。</p>						
7	自殺対策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,436千円	一般重点	111.1%	100.0%	A	A	B	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 自殺予防について、地域や職場で広く市民に健康教育や啓発事業に取り組んだほか、ゲーミングセンターの啓発も推進した。特に9月の自殺予防週間には、F町駅での「A.G.展」や図書館での「自殺予防」の啓発活動を行い、市民の自殺対策強化を図った。また、若者層への自殺予防対策として「この体温計システム」を新たに導入し、中学生の期始時、高校(文化祭)成人(成人式)に合わせた、自殺予防啓発に取り組んだ。さらに、自殺予防相談対応の知識・技術等の向上を図るために、職員及び相談従事者研修を開催した。</p>						
8	精神障害者社会復帰支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,401千円		99.8%		A	B	B	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 精神障害者社会復帰支援事業の事業の一つとしてデイケアを実施し、グループ活動を通して、精神障害者同士の交流を図り、仲間づくりの場を提供できた。また、当事者のための生活スキルアップセミナーを実施し、精神障害者の社会参加や自立を促した。支える家族会に対して、運営補助を行い、家族活動の充実に資することができた。</p>						
9	精神保健福祉普及啓発・相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,557千円		104.0%		A	A	B	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) こころの健康相談を随時開催したのをはじめ、こころの健康セミナーやアルコールセミナーなどを実施し、市民に対して、こころの健康づくりやこころの病気の理解と正しい知識の周知啓発活動に取り組んだ。特に、こころの健康セミナーでは開催場所をF町FLAGで実施したことなどにより、参加者は前年度に比べ増加した。また、統合失調症やうつ病の家族教室なども実施し、家族に対して病気への対応と正しい知識の周知啓発を行い、精神保健福祉に係る普及啓発に寄与した。</p>						
10	地域食育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,333千円		90.4%	85.6%	A	A	B	A
健康福祉局 保健センター		<p>(事業概要、事業実績等) 野菜摂取量増加に向けた取組を「たまたま野菜たっぷり生活プロジェクト」として、食育フェスタや野菜たっぴ生活プロジェクトの推進や、食生活改善推進協議会活動の支援や、「食」の大切さを伝えること、ターゲット運動を継続的に実施した結果、市民の「食」への関心を高めることができた。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	地域保健推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,200千円		100.1% 98.1%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 地域に密着したきめ細やかな保健活動を推進するため、保健委員会連絡協議会の運営に対して支援を行ったことにより、市民の健康意識が向上した。また、委託運動教室を開催したほか、あらゆる機会を通じて日常生活の中で運動に取り組むよう普及啓発を行い、市民の健康づくりの気運が向上した。						
12	難病患者地域支援ネットワーク事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	17千円		111.1%	A	A	A	A	継続
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 原因不明で治療法が確立していない難病患者及び家族に対して、地域における保健医療・福祉の充実と連携を図るため、総合的な相談や在宅療養上の適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と生活の質の向上に寄与した。						
13	8020(歯科保健)推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			123.4%	A	A	A	A	継続
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) ライフステージに応じた歯科保健事業を実施し、歯と口腔の健康づくりを推進した。新たに、協会けんぽとの連携により、歯科健康教室を企業へ出向き実施することで、働く世代への歯科保健の普及啓発を行うことができた。						
14	保健活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	34,258千円		82.1%	A	A	B	B	継続
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 保健師等による訪問指導、健康相談、事務所相談、健康診査、健康教育、地区組織活動を実施することにより、市民の健康増進に寄与した。						
15	(評価対象外)保健センター管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	80,626千円							
健康福祉局 保健センター		(事業概要、事業実績等) 施設運営に支障をきたさないよう、年間を通して各種保守点検業務を実施したほか、修繕について、緊急性の高いものから順次取り組んだ結果、安全かつ良好な施設の維持管理ができた。また、国分寺、庵治の各保健センターについて、香川、勝賀、国分寺、牟礼の各総合センターへ統合整備を行うとともに、旧保健センターを地域保健活動センターと位置付け、引き続き地域の保健事業等に活用したことを踏まえ、総合センターにおける相談機能の充実や、各地域での市民の健康の保持及び増進に寄与することができた。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	(評価対象外) ほっとぴあん運営事業							
	21,400千円	(事業概要、事業実績等) ハウス美装工業株式会社を指定管理者として運営を委託し、適切に維持管理を行ったことにより、市民の健康増進に資することができた。						
	健康福祉局 保健センター							
17	がん対策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	338,83千円	一般重点	27.7%	A	A	A	D	継続
	健康福祉局 保健センター	(事業概要、事業実績等) がんの早期発見・早期治療を図るため、がん検診の対象者の全市民に胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん検診推進事業に基き、個別検診を実施した。50歳代検診・託児付検診を実施した。また、若い世代へ子宮頸がん等の知識啓発や情報提供を行った。また、電車ラッピング、バスラッピング、懸垂幕のほか、新たに協会けんぽとの連携事業として被扶養者用リーフレットにがん検診実施機関を掲載し、周知啓発を行った。						
18	健康づくり推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	62,968千円		52.1% 80.1%	A	A	A	B	継続
	健康福祉局 保健センター	(事業概要、事業実績等) 健康増進法に基づき、生活習慣病予防、健康増進など、心身の健康に関する正しい知識の普及啓発を行い、壮年期からの健康保持・増進を行っている。これまでの健康教室を見直し、各保健ステーションにて、シリーズ化したテーマを実施することにより、健康意識を向上させることができた。						
19	(評価対象外) 予防接種事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,123,902千円	(事業概要、事業実績等) 予防接種法に基づく定期予防接種について、新たにB型肝炎予防接種を開始したほか、成人用肺炎球菌予防接種においては、心臓、腎臓、呼吸器等にリスクの高い高齢者に対して高松市行政措置として、予防接種を三医師会連合会等に委託して、適切に実施したことにより、感染症対策の推進に寄与した。						
	健康福祉局 保健センター							
20	(評価対象外) エイズ相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	246千円	(事業概要、事業実績等) 保健所でエイズ無料検査、相談等を行い、エイズについてのまん延防止、正しい知識の普及啓発を行った。また、従来からの一般市民を対象とした活動に加え、近年では青年層を対象とした講演や文化祭でのパネル展示を実施する等、積極的な啓発活動を行った。						
	健康福祉局 感染症対策室							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	(評価対象外) 感染症予防事業 16,164千円							
	健康福祉局 感染症対策室	<p>(事業概要、事業実績等) 研修会、出前講座といった職員や市民に対する啓発活動の機会を増やし、予防啓発を推進した。感染症発生時には、疫学調査、まん延防止対策等、迅速・適正な対応を行った。また、健康教育や講演会を開催する等、市民に対して結核についての正しい知識の普及啓発を行った。</p>						
22	(評価対象外) 結核予防事業 28,260千円							
	健康福祉局 感染症対策室	<p>(事業概要、事業実績等) 保健所と医療機関が連携を密にして、結核患者に対し適正な指導を行い、再発防止のために服薬支援を実施した。家族等の接触者には健康診断を実施する等、早期発見に取り組んだ。また、健康教育や講演会を開催する等、市民に対して結核についての正しい知識の普及啓発を行った。</p>						

施策	医療体制の充実	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		2,740,514千円	A	42.4%	84.1%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局、市民政策局、病院局

対象	市民	意図	安定した医療供給体制を整えることにより、市民が安心して暮らすことができる環境づくりを目指す。
----	----	----	--

概要（実績）
 市立病院運営 市民病院では、「救急医療」や「がん医療」などの提供による「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院では、保健、医療、福祉が一体となった「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所では、「わたしの健康」の発行や健康教室の実施による「住民参加型医療の提供」を基本方針として病院運営に当たり、地域医療に貢献した。
 新病院整備事業 「建設工事」を施工するとともに、新病院における医療器械の導入計画を策定し、一部の大型医療器械（MRI及びリニアック）の選定を行った。
 医療安全支援センター運営事業 市民からの医療に関する相談対応など、医療安全の確保を図った。
 医薬品監視指導事業 薬局・医薬品販売事業者等の許認可申請に対する審査・薬事監視指導を実施することにより、医薬品等の有効性・安全性を確保し、市民の保健衛生の向上に寄与した。

成果指標	指標名	立入検査違反率	H28実績	H28目標	達成度
			20.3%	48%	157.7%
	状況	平成28年度の立入検査件数は過去の件数と比較して微増であったが、違反件数が大きく減少したため、違反率は減少した。	達成度の推移		
	指標名	地域医療機関からの紹介率	H28実績	H28目標	達成度
			61%	60%	101.7%
状況	地域医療支援病院として、地域医療機関への訪問や地域医療連携カンファレンス、セミナー等の症例検討会を通して、顔の見える関係を築き、スムーズな連携・受入を行うことで、目標を達成することができた。	達成度の推移			
指標名	地域医療機関への逆紹介率	H28実績	H28目標	達成度	
		79%	85%	92.9%	
状況	後方支援病院として、かかりつけ医の推奨などの入退院のスムーズな連携に取り組んでいるが、救急車で来院した初診患者数、初診時間外患者数が減少したことにより、逆紹介率は低下した。	達成度の推移			

施策の課題
 【健康福祉局】医療監視では、立入検査の間隔が長期の歯科・無床診療所において指摘事項が多いなどの課題がある。また、災害時医療体制を整備するため、具体的な活動マニュアルを作成する必要がある。
 【病院局】医師の確保や患者の増加を図るなどにより、経営基盤を強化する必要がある。さらに、新病院の整備については、平成30年度前半の開院に向け、計画に遅れが生じることのないよう取り組むとともに、附属医療施設を新病院の開院後、できる限り早期に開院する必要がある。

施策の方向性
 【健康福祉局】医療現場での医療人材不足等の問題を解決する必要がある。
 【病院局】各病院・診療所の役割を踏まえ、医療の「質」、「透明性」、「効率性」の確保を一層図る中で、国の病床機能や地域包括ケアの方向性に的確に対応する必要がある。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	医療安全推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,302千円		110.0%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 保健対策課		<p>(事業概要、事業実績等) 医療安全支援センターの運営により、医療に関する市民の相談に対応したほか、医療機関へ医療安全に関する情報提供を行うなど、市民の医療に対する信頼の確保に寄与した。</p>						
2	(評価対象外)薬事監視指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	556千円							
健康福祉局 生活衛生課		<p>(事業概要、事業実績等) 保健衛生上の見地から、医薬品医療機器等法に基づき薬局、医薬品販売業者、医療機器販売業者等の許可申請・届出に対する審査・指導及びこれらの施設に医療機器監視指導を実施することにより、市民の保健衛生の向上に寄与した。また、温泉法に基づき、温泉利用施設の許可申請等に対する審査・指導及び温泉監視指導を実施することにより、温泉利用の適正化及び公共の福祉の増進に寄与した。</p>						
3	看護師養成所運営補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,135千円		100.0%	A	A	B	A	改善継続
健康福祉局 地域医療対策室		<p>(事業概要、事業実績等) 看護師及び准看護師の養成所の運営に対して助成を行うことにより、医療人材の確保に努め、医療体制の充実に寄与した。対象養成所の一学年の入学定員数は計125人で、平成28年度の卒業生数は計129人で、資格試験の合格者は129人(合格率100%)であった。</p>						
4	災害時医療救護事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	514千円		100.0%	100.0%	A	A	B	A
健康福祉局 地域医療対策室		<p>(事業概要、事業実績等) 災害時の医療救護班の派遣体制を確保するため、高松市内3医師会連合会及び高松市歯科医師会の医療救護事業に対して助成を行った。また、災害時に応急救護所で使用するための備蓄医薬品等のうち、期限切れのものについて更新を行った。</p>						
5	産科医等確保支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,892千円		100.0%	A	A	B	A	継続
健康福祉局 地域医療対策室		<p>(事業概要、事業実績等) 医療施設が産科医と助産師に支給する分娩手当に係る費用の一部を助成することにより、処遇改善を通して産科医等の確保に寄与した。 (負担割合は国・県1/2、市1/6、事業者1/3) 平成28年度は、6施設において医師・助産師46人が従事し、1,107件の分娩に対して助成を行った。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	寄附講座開設事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	29,541千円		50.0%	33.3%	A	A	A	C
		(事業概要、事業実績等) 高松市市民病院に、また、専門的の向上に寄与した。						
健康福祉局 地域医療対策室								
7	(評価対象外) 離島救急患者輸送事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,989千円							
		(事業概要、事業実績等) 本市の離島において救急患者が発生し、船舶を借り上げて輸送した場合の輸送費補助を実績として、離島住民等の福祉の向上に寄与した。						
市民政策局 地域振興課								
8	在宅当番医制事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,780千円		100.0%	103.7%	A	A	B	A
		(事業概要、事業実績等) 地区医師会へ委託し、各医師会調整のもと、休日(日曜、祝祭日)に当番制で休日診療(原則9:00~18:00)を行うことにより、休日における初期救急医療の確保に寄与した。						
健康福祉局 地域医療対策室								
9	歯科救急医療センター休日・夜間救急歯科診療事業運営補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,607千円		100.0%	103.7%	A	A	B	A
		(事業概要、事業実績等) 休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して運営費の一部について助成を行うことにより、休日・夜間における歯科救急医療体制の確保に寄与した。						
健康福祉局 地域医療対策室								
10	病院群輪番制運営補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	65,871千円		100.0%	103.7%	A	A	B	A
		(事業概要、事業実績等) 夜間における重症患者の受入れ体制を確保するため、輪番病院の運営・調整に係る費用に対して助成を行った。						
健康福祉局 地域医療対策室								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	病院群輪番制病院設備整備費補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,600千円		100.0% 103.7%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>輪番病院の設備整備に係る費用に対して助成を行い、診療に必要な設備を整備することにより、二次救急医療体制の充実に寄与した。平成28年度の対象は1病院で救急医療機器の購入費に対して助成を行った。</p>						
健康福祉局 地域医療対策室								
12	(評価対象外) 夜間急病診療所運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	181,604千円							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>夜間における初期救急医療を確保するため、高松市医師会を指定管理者として夜間急病診療所の運営を行った。診療時間は19:30~23:30で、毎日の内科・小児科に加え、木曜日には耳鼻咽喉科、土曜日に眼科の診療を行うとともに、重症患者は二次輪番病院へ転送するなど、二次救急医療機関との連携体制の確保を行った。平成28年度は365日診療を行い、患者数は16,026人(内科7,131人、小児科8,447人、耳鼻咽喉科231人、眼科217人)であった。</p>						
健康福祉局 地域医療対策室								

施策	社会保障制度の適切な運営	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		106,937,326千円	A	27.2%	76.9%

まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
政策	健康で元気に暮らせる環境づくり
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び国民年金制度の各事業の対象者）	意図	市民が健やかにいきいきと暮らせるよう、安心して医療・介護・年金を受けることができる社会保障制度を適切に運営する。
----	---	----	--

概要（実績）
 国民健康保険の保険料の賦課・徴収事務及び保険給付費の適正な執行により、国民健康保険事業の適切な運営を図るとともに、国民健康保険及び介護保険の保険給付費の適正化の周知活動に努めるとともに、新たな事業に取り組んだことにより、市民の健康保持に対する意識が向上した。また、直営診療施設事業により、離島の医療体制を確保し、住民の健康保持・増進に寄与した。また、後期高齢者医療制度の適切な運営の支援・促進を行った。さらには、介護を必要とする高齢者が、地域において安心して必要なサービスを受けられるよう、介護保険料の賦課・徴収事務や、介護保険給付、要介護認定、サービス事業所の指定等の事務の適正な執行とともに、介護給付費等適正化事業の推進やサービス提供事業所の指導監督の徹底など、介護保険事業の適切な運営を行った。また、国民年金制度について市民の意識と理解を得るため、「広報たかまつ」等を通じて周知するなど、市民の年金受給権確保に努めた。

成果指標	指標名	国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費	H28実績	H28目標	達成度	
			335,817円	335,817円	100.0%	
	状況	人間ドック・特定健康診査等の受診率の向上に取組、疾病発生防止、早期発見による重症化の防止等を図り、国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費の上昇抑制の目標を達成することができた。	達成度の推移			
			達成度の推移			
	指標名	介護保険サービス利用率	H28実績	H28目標	達成度	
			83.1%	83.1%	100.0%	
状況	要支援・要介護認定（更新）申請時に、適切な介護サービスの利用について助言の指導などを行い、目標を達成することができた。	達成度の推移				
		達成度の推移				
指標名	1人当たり介護サービス費用額	H28実績	H28目標	達成度		
		143,799円	143,799円	100.0%		
状況	介護予防の推進や給付費適正化を図り、達成することができた。	達成度の推移				
		達成度の推移				

施策の課題
 ・国民健康保険の被保険者一人当たりの保険給付費を抑制するため、生活習慣病予防の取組みや重症化予防、また、介護予防の取組みとともに、地域包括ケアシステムの構築による在宅医療・介護連携を推進する必要がある。・後期高齢者数の急増に伴い、介護給付費が増加する中、介護保険料収納率の向上や、適正な保険給付が課題となっている。・公正かつ確かな要介護（要支援）認定のほか、介護サービスの質の向上を始め、見込量の適切な把握とともに、これを充足する介護サービス提供体制を確保する。・国民年金制度について、更に積極的な周知・啓発に努める必要がある。

施策の方向性
 ・国民健康保険の保険料の賦課・徴収事務及び保険給付費の適正な執行により、国民健康保険事業の適切な運営を図る。また、後期高齢者医療制度の適正な運営の支援を行う。・介護保険制度の安定的な運営を図るため、介護保険料の賦課・徴収、保険給付事務や要介護（要支援）認定を適正に行うとともに、サービスの質の向上を図ることにより、介護や支援を必要とする高齢者が、適切かつ効果的に介護サービスを利用できるようにする。・国民年金制度について市民の理解を得るため、広報たかまつ等を通じて周知するなど、市民の年金受給権の確保に努める。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	(評価対象外) 後期高齢者医療事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,080,848千円	(事業概要、事業実績等) 広域連合が保険者である後期高齢者医療制度の窓口業務等を行い、適正に運営した。人間ドック・歯科ドックの助成をすることで、早期発見による疾病の発生や重症化・長期化を防止し、市民の健康保持に対する意識の向上に寄与した。						
	健康福祉局 国保・高齢者医療課							
2	(評価対象外) 国民健康保険運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,527,593千円	(事業概要、事業実績等) 適正な資格管理のほか、保険料の賦課限度額の引き上げ等、適正な賦課を行うとともに、一般会計からの繰入金を充当することにより、国民健康保険事業の適正で安定的な運営ができた。						
	健康福祉局 国保・高齢者医療課							
3	(評価対象外) 国民健康保険給付事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	32,326,325千円	(事業概要、事業実績等) 国民健康保険被保険者に対し、疾病・負傷の治療を目的とした療養の給付や出産・死亡に関する給付等適正な保険給付を行い、被保険者の社会保障と保健に寄与し、国民健康保険制度の安定的な運営が行えた。						
	健康福祉局 国保・高齢者医療課							
4	国民健康保険保健事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	453,945千円	100.0%	A	A	B	A	継続	
	健康福祉局 国保・高齢者医療課	(事業概要、事業実績等) 生活習慣病予防を目的とした特定健康診査や人間ドック・歯科ドックの助成をすること、早期発見による疾病の発生や重症化を防止し、国民健康事業に取り組んだことにより、市民の健康保持に対する意識が向上した。						
5	(評価対象外) 国民健康保険料収納事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	59,945千円	(事業概要、事業実績等) 保険料等納付推進員の雇用、休日・夜間開庁による納付相談、電話催告、臨戸訪問、またコールセンターを活用した電話催告を実施し、保険料の収納を確保した。さらに、長期滞納者に対し、滞納処分を適切に執行し、滞納保険料からの収納につながった。口座振替の推進、コンビニエンスストアでの収納により、納付の際の利便性が向上した。						
	健康福祉局 国保・高齢者医療課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外) 国民健康保険直営診療施設運営事業 40,090千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 国保・高齢者医療課	(事業概要、事業実績等) 離島(女木島・男木島)の医療体制を確保するとともに、診療所事業の適正な運営を行ったことにより、住民の健康保持・増進に寄与した。						
7	(評価対象外) 介護保険認定事業 291,755千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 介護保険課	(事業概要、事業実績等) 要介護等認定の申請件数が増加する中、認定に係る調査及び審査会の適正かつ効率的な運営を実施し、適正な要介護等区分の認定を行ったことにより、要介護・要支援状態になった方には必要な介護サービスを提供し、保険給付を行うことができた。						
8	(評価対象外) 介護給付等費用適正化等事業(地域支援任意事業) 20,695千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 介護保険課	(事業概要、事業実績等) サービス内容や負担額の再認識による適正利用を意図付けるとともに、利用者への通知を発送し、サービス利用の再確認及び家族に点検を促したことをはじめ、利用者へのケアプランの作成及びサービス提供がされていることを確認し、ケアマネジャーへの指導・助言を行ったほか、住宅改修において申請者の実態確認や施工状況を確認したことなどにより、不適切な給付を抑制する効果があった。						
9	(評価対象外) 介護保険運営事業 679,338千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 介護保険課	(事業概要、事業実績等) 保険料の適正賦課や納付における口座振替制度への利用促進のほか、保険料等納付推進員制度を活用することで保険料収入が確保されたことにより、介護保険事業の安定的運営が達成できた。 なお、前年度からの繰越事業である制度改正に対応するためのシステム改修事については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：12,528,000円)						
10	(評価対象外) 介護保険給付事業 34,806,894千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	健康福祉局 介護保険課	(事業概要、事業実績等) 香川県国民健康保険団体連合会に審査支払事務を委託するなど、適正な審査を経た保険給付を行ったことにより、要介護・要支援認定者に対し必要な介護サービスを提供することができたほか、一部の利用者に対し自己負担の軽減等を行うことができた。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外) 国民年金事務							
	7,276千円	(事業概要、事業実績等) 国民年金制度について市民の意識と理解を得るため、「広報たかまつ」等を通じて周知したことにより、市民の年金受給権確保に貢献した。						
	市民政策局 市民課							

(2) 心豊かで未来を築く人を育むまち

平成28年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	男女共同参画社会の形成

総合評価
A

1 政策の概要

男女共同参画社会の形成を図るため、社会のあらゆる分野の政策・方針決定過程への女性の参画拡大を促進するとともに、基本的人権としての男女平等の実現に向けた取組を着実に推進します。

また、長時間労働の是正等による働き方改革を進め、仕事と家庭を両立できる環境を整備することなどにより、女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを推進し、男女が共に、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
男女共同参画の推進	93%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

男女共同参画社会の形成に向けて、1施策に取り組んだ。

「男女共同参画の推進」では、設定する3つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
男女共同参画の推進	14.0%	15.4%	48.4%
平均	14.0%	15.4%	48.4%


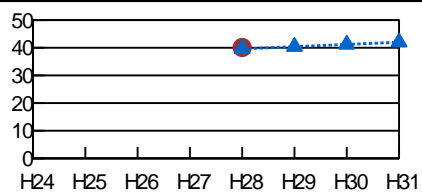

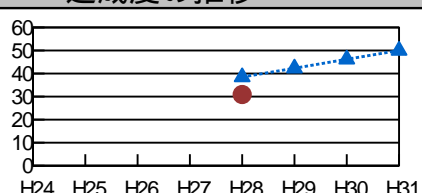

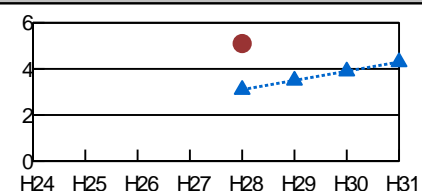
施策	男女共同参画の推進
----	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
49,656千円	A	14.0%	48.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	男女共同参画社会の形成
担当局	市民政策局、健康福祉局、教育局

対象	市民	意図	男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進める。
----	----	----	--

概要(実績)	女性活躍推進法に基づく女性の活躍促進事業として、企業等の一般事業主行動計画策定支援のためのアドバイザー派遣や企業表彰などを行うとともに、女性の就労相談事業を行った。また、コミュニティセンター等において女性教室を開催し、女性の自主的な学習や社会活動への参画を促した。さらに、女性相談業務において、配偶者等からの暴力(DV)を受けた被害者を始め、様々な悩みを抱える女性に対する事情に即した情報提供や、必要性・緊急性に応じて、関係機関と連携しながら適切な保護を実施する等の支援を行った。
--------	--

成果指標	指標名	審議会等における女性委員の割合	H28実績	H28目標	達成度	
			40.1%	39.6%	101.3%	
	状況	平成28年度における目標数値は達成しているが、今後とも、高松市における審議会等委員への女性の登用推進要綱等に基づき、女性委員の割合拡大を推進する必要がある。	達成度の推移			
						
	指標名	事業所における女性従業員の割合	H28実績	H28目標	達成度	
			30.9%	38.5%	80.3%	
状況	目標達成状況としては8割程度であるが、今後とも意識啓発に努め、女性が活躍できる職域の拡大を必要とする必要がある。	達成度の推移				
						
指標名	男性の育児休業者がいた事業所の割合	H28実績	H28目標	達成度		
		5.1%	3.1%	164.5%		
状況	目標は上回ったが、今後とも男性の育児休業取得に向けた意識啓発を行う必要がある。	達成度の推移				
						

施策の課題	【市民政策局】女性の活躍推進や子育て世代の女性の就労環境など、経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応するため、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。【健康福祉局】配偶者等からの暴力(DV)を受けた被害者を始め、離婚問題や生活困窮等さまざまな悩みを抱える女性に対し、自立に向けた支援が必要であり、女性相談業務の専門性の向上や関係機関との連携強化等、更なる支援体制の充実を図ることが必要である。【教育局】社会情勢の変動等に伴い、多様化する女性の価値観やニーズを的確に把握して、時代に即応した講座の実施が求められている。
-------	---

施策の方向性	男女共同参画社会の形成に向け、これまでの取組を継承しつつ、「第4次たかまつ男女共同参画プラン」において取り組むこととしている各種啓発活動や相談事業などについて、市民参画の手法を用いながら、総合的・計画的に実施する。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 女性相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	7,880千円							
健康福祉局 こども女性相談室		(事業概要、事業実績等) 配偶者等からの暴力(DV)を受けた被害者を始め、様々な悩みを抱える女性に対して、事情に即した情報提供を行うことや、必要性・緊急性に応じて、関係機関と連携しつつ適切な保護を実施する等の支援を行った。 平成28年度 相談延べ件数2,768件(実人員502件) うちDV被害相談件数1,064件(実人員178件)						
2	女性団体育成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,000千円		78.8%	100.0%	A	A	B	A
市民政策局 男女共同参画推進室		(事業概要、事業実績等) 男女共同参画の視点から、地域社会の発展に寄与することを目的とした女性団体の活動を支援した。						
3	女性の活躍促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,978千円	特別重点	158.7%	100.0%	A	B	B	A
市民政策局 男女共同参画推進室		(事業概要、事業実績等) 女性活躍推進法に関するセミナーの開催や女性活躍企業表彰の実施など、女性の管理職登用やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を増加させる事業を実施したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。						
4	女性の就労相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	100.0%	120.0%	A	B	B	A
市民政策局 男女共同参画推進室		(事業概要、事業実績等) 女性のための就労相談窓口を設置するなど、働くことを希望する女性の就業機会を増加させる事業を推進したことにより、女性の職業生活における活躍を推進し、男女が共に、あらゆる分野で活躍できる社会の形成に寄与した。						
5	女性教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,467千円		68.3%		A	B	C	C
教育局 生涯学習課		(事業概要、事業実績等) 女性が豊かな人間性を培い、自らの資質や能力の向上を図るとともに、社会活動への積極的な参画を促進するため、地域コミュニティセンター等において女性教室を開設し、多種多様な学習や体験活動の機会を提供した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	高松市こども未来館等開館記念事業 (男女共同参画推進室分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	300千円	一般重点	146.7%	A	B	A	A	完了
市民政策局 男女共同参画推進室		(事業概要、事業実績等) 開館記念行事に合わせ、男女共同参画市民フェスティバルを開催したことにより、多くの方の来館を促し、男女共同参画の中核施設としての周知を行った。						
7	男女共同参画社会推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,316千円		92.9% 80.6%	A	B	B	B	継続
市民政策局 男女共同参画推進室		(事業概要、事業実績等) 男女共同参画都市宣言の趣旨を踏まえ、男女共同参画週間に講演会や弁護士相談を実施したほか、男女共同参画市民フェスティバルなどの機会に、広く市民に対する啓発活動を行うなど、男女共同参画社会の推進に寄与した。						
8	男女共同参画センター移転整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,134千円	一般重点	100.0%	A	A	A	A	完了
市民政策局 男女共同参画推進室		(事業概要、事業実績等) 建物が老朽化し、耐震診断の結果、再整備が必要とされた男女共同参画センターについて、こども未来館や平和記念館等と同一の建物内へ移転整備し、平成28年11月23日に開館した。						
9	(評価対象外)男女共同参画センター管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	26,581千円							
市民政策局 男女共同参画推進室		(事業概要、事業実績等) 男女共同参画社会の実現に向けた市民活動拠点である高松市男女共同参画センターの管理運営を、前年度に引き続き、特定非営利活動法人たかまつ男女共同参画ネットに委託し、学習研修事業や相談事業を実施するなど、男女共同参画社会の実現に寄与した。						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実

総合評価
A

1 政策の概要

社会を生き抜く力を育む教育の充実を図るため、次代を担う青少年が、心豊かにたくましく育つよう、基礎・基本を身につける確かな学力の育成や豊かな心と体を育てる教育の推進など、学校教育の充実を図るとともに、学校教育施設の整備や教育機能と就学支援の充実などの学校教育環境の整備、大学等高等教育の充実に努めます。

また、家庭及び地域の教育力の向上を図るとともに、青少年の健全育成や、子どもの安全確保対策を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

学校教育の充実	得点率	総合評価
学校教育の充実	98%	A
学校教育環境の整備	100%	A
子どもの安全確保	100%	A
青少年の健全育成	100%	A
家庭・地域の教育力の向上	98%	A
大学等高等教育の充実	100%	A
平均	99%	A

3 政策の評価

社会を生き抜く力を育む教育の充実に向けて、6施策に取り組んだ。

「学校教育の充実」、「学校教育環境の整備」、「子どもの安全確保」、「青少年の健全育成」、「家庭・地域の教育力の向上」及び「大学等高等教育の充実」の6施策では、設定する11の成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
学校教育の充実	22.7%	19.0%	74.1%
学校教育環境の整備	27.2%	13.6%	68.8%
子どもの安全確保	36.5%	15.6%	81.8%
青少年の健全育成	20.3%	14.6%	65.4%
家庭・地域の教育力の向上	20.6%	17.3%	68.9%
大学等高等教育の充実	12.4%	18.6%	56.8%
平均	23.3%	16.5%	69.3%



施策	学校教育の充実
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,856,235千円	A	22.7%	74.1%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	高松の子どもたち（児童生徒）、学校、家庭及び地域	意 図	教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、高松の子どもたちの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い相互に連携して学校教育を充実させる。
----	--------------------------	--------	---

概要（実績）	<p>学習指導要領の趣旨に沿った授業、少人数学級の推進等で、総合的な学力の向上を図り、また、特別支援教育、帰国児童生徒・外国人児童生徒指導援助、高等学校教育等を充実して、確かな学力の育成に努めた。</p> <p>道徳教育や学校人権教育の推進、体験活動による地域の人々との交流、読書活動による本とのふれあい、児童生徒が運動に親しむ習慣づくりや家庭との連携による基本的な生活習慣の育成により、豊かな心と体を育てる教育の推進に努めた。</p> <p>教員に対する研修を充実させ、教員の資質向上を図り、また、特別支援教育支援員配置や学校評価推進による学校運営の改善等により、教育指導体制の充実を図った。</p>
--------	---

成果指標	指標名	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	H28実績	H28目標	達成度	
			3.15点	3.2点	98.4%	
	状況	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や総合的な学力向上を図るため、学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成や少人数学級の推進、学校ニーズに応じた特別支援教育支援員、英語指導補助員等を配置するなど、きめ細かな指導に取り組んだ。	達成度の推移			
指標名	学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	H28実績	H28目標	達成度		
		3.23点	3.2点	100.9%		
状況	家庭や地域と連携して、体力の向上、食育の推進と心身の健康づくり等に取り組み、豊かな心と体を育てる教育の推進を図ることにより目標は達成できた。	達成度の推移				
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				

施策の課題	本施策については、日々教育活動を充実していくことが重要であり、また、子どもの健全育成のために、地域や家庭の教育力の向上を支援する取組の充実、また、確かな学力の定着と個性と創造性を伸ばす教育を更に進めるため、わかりやすい授業の創造や授業内容を向上させる具体的な取組が課題として挙げられる。
-------	---

施策の方向性	学校・家庭・地域の連携を基本に子どもの健全な育成を推進するとともに、教育環境の変化に対応した特色ある教育内容・方法の開発、学校図書館の充実などの学習環境を整備し、学校教育の充実を図る。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	高等学校英語教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,811千円		75.0%	A	A	B	B	継続
教育局 高松第一高等学校事務局		(事業概要、事業実績等) 選抜コースの国際文科コースにおいて、外国からの招聘講師による授業や、外国講師による英語での授業、海外語学研修を実施するなど、多様な手法により国際化に対応できる人材を育成した。						
2	高等学校教材研究等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,075千円		88.6%	A	A	B	A	継続
教育局 高松第一高等学校事務局		(事業概要、事業実績等) 教師用教科書・指導用図書及び理科・数学を始めとする教材の購入のほか、ピアノの調律、パソコン等の賃借など、教材等の管理・整備を行うことにより、教育環境が充実した。						
3	児童生徒副読本支給事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	35,330千円		100.0%	A	B	B	A	継続
教育局 学校教育課		(事業概要、事業実績等) 学校教育における補助教材として、小学校1年生から6年生に体育用と道徳用、小学校3・4年生に社会科用、中学校1年生から3年生に道徳用の副読本を支給することにより、教育の充実に寄与するとともに、保護者の負担を軽減した。						
4	教材研究等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	42,926千円		100.0%	A	B	B	A	継続
教育局 学校教育課		(事業概要、事業実績等) 教職員が使用する教科書及び指導書等の整備を行い、義務教育の充実を図ったほか、新学習指導要領の移行措置に対応した教師用指導書を支給し、確かな学力を育てる教育を推進した。						
5	教育研究研修事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	10,191千円		91.7%	A	B	B	A	継続
教育局 学校教育課		(事業概要、事業実績等) 「高松市子ども議会」を開催し、小・中学校の児童生徒の代表が、より良いまちづくりについてテーマごとにグループ会議を行い、児童生徒の市政についての関心が深まるとともに、未来の有権者としての自覚を促す効果があった。また、学校現場における自主的研修に助成し、教員の資質向上に寄与した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	(評価対象外)教材整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	102,593千円							
	教育局 教育局総務課	(事業概要、事業実績等) 概ね計画どおりに小学校及び中学校の教材を整備し、児童・生徒の学習環境が充実した。						
7	(評価対象外)学校教育管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,694千円							
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 学校教育課で嘱託職員を雇用することにより、学校教育に対する様々なニーズに対応し、学校教育の円滑な運営につながった。						
8	総合的な学習の時間活性化推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,330千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 総合的な学習の時間の充実や地域等の教育力の有効活用のため、市立小中学校72校全校に経費補助を行ったことにより、各学校において効果的な活用が図られ、家庭、学校、地域、行政などの緊密な連携づくりに寄与した。						
9	帰国児童等指導援助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,918千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 市立小中学校に在籍する児童生徒で、日本語指導を必要としている帰国児童生徒・外国人児童生徒に、学習や生活についての指導援助を行う指導者を派遣し、外国人児童生徒等が日本語で学習に参加できるよう日本語指導が行われた結果、学校生活を支援する上で成果が得られた。						
10	教育相談・就学指導委員会開催事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,604千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 平成28年度は、小学校新入学児への就学等教育相談を220件、就学指導委員会においては、在籍児童を含めた就学判定を計386件行うなど、適正な就学指導に寄与した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	少人数学級推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	24,594千円	一般重点	100.0%	100.0%	B	B	B	A
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 少人数学級推進事業を実施した8校から生徒指導上の問題が減少し、学校が安定してきたとの報告もあり、学校教育の充実に繋がった。						
12	理科教育支援員配置事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,505千円		100.0%		A	A	B	A
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 小学校の指定校に支援員を配置することにより、児童の科学への興味・関心、学習への意欲を高めるとともに、担任が指導する理科授業の内容を向上させることができた。						
13	英語教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	111,353千円	一般重点	100.0%	100.0%	B	B	B	A
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)による外国語指導助手(ALT)22名を各学校に派遣することにより、中学校英語教育や小学校英語活動、国際理解教育が充実した。 また、小学校において、小学1年生から実施する英語教育において、学級担任を補助する「英語指導補助員」を全小学校に配置することにより、英語教育が充実した。						
14	特別支援教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	113,530千円	一般重点	100.0%		A	B	D	A
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 支援員の配置促進とともに、障害の種別や程度に対応した適切な支援の充実を図ることにより、対象児童生徒の教育環境が整備され、保護者や教員の負担軽減につながった。						
15	学校給食推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,166千円		103.2%		A	A	B	A
	教育局 保健体育課	(事業概要、事業実績等) 給食関係職員等に対して、専門知識を深める研修会等を実施し、資質の向上を図るとともに、各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底に取り組んだ。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	学校教育における食育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,445千円		88.3% 100.0%	A	A	B	A	継続
教育局 保健体育課		(事業概要、事業実績等) 朝日新町学校給食センターで各種食育関連行事を開催し、同センターを食育の拠点として活用するとともに、私立幼稚園に市費栄養士を派遣し、園児・保護者への指導を行い、幼児期からの食育の推進に効果があった。						
17	学校体育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	30,462千円		100.0%	A	A	B	A	継続
教育局 保健体育課		(事業概要、事業実績等) 児童生徒の交流の場として体育大会を開催し、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、学校体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成に取り組んだ。						
18	高等学校カウンセラー配置事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	461千円		95.3%	A	A	B	A	継続
教育局 高松第一高等学校事務局		(事業概要、事業実績等) 生徒の不登校や問題行動等に対応するため、専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者等へのカウンセリングを行い、生徒の快適な学校生活を支援した。						
19	高松市学校給食会補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	58,935千円		101.4%	A	A	B	A	継続
教育局 保健体育課		(事業概要、事業実績等) 高松市学校給食会に補助金を交付することにより、学校給食の食材等給食用物資を適正かつ円滑に供給し、学校給食の質の向上及び学校給食に係る保護者の負担軽減に取り組んだ。						
20	児童生徒指導推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	98,260千円	特別重点	152.0% 158.1%	A	A	C	A	拡充
教育局 学校教育課		(事業概要、事業実績等) 学校、地域に関わりの深い人材40名を「ハートアドバイザー」として、小学校40校に配置し、学習支援、生活支援、教育相談等にあたることにより、問題行動等の未然防止と解消の寄与を促した。また、社会福祉士等資格を有するスクールソーシャルワーカー12名を中学校23校に配置し、専門的知識や技術、関係機関とのネットワークを活用し、対応策を立てることで、問題行動等の未然防止を図るとともに、学校生活に悩む児童生徒の相談窓口を確保し、140名に委嘱するなどの取り組みを行い、児童生徒の健全育成を推進した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	(評価対象外) 学校保健推進事業							
	45,223千円	(事業概要、事業実績等) 環境衛生検査を実施することにより、学校における教育活動が安全な環境の下で行われ、学校内の環境衛生が向上することに貢献した。また、教職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見と教職員の健康の保持増進に貢献した。						
	教育局 保健体育課							
22	(評価対象外) 日本スポーツ振興センター負担金事業							
	33,946千円	(事業概要、事業実績等) 学校管理下における児童生徒等の災害に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターにおいて、災害共済給付(医療費・障害見舞金・死亡見舞金)を行ったことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の経済的負担を軽減した。						
	教育局 保健体育課							
23	(評価対象外) 給食センター管理運営事業							
	355,136千円	(事業概要、事業実績等) 学校給食センターにおいて、適切な施設管理に努め、円滑な運営を行うことにより、安全安心な学校給食の安定的な提供ができた。						
	教育局 保健体育課							
24	(評価対象外) 給食調理場管理運営事業							
	199,518千円	(事業概要、事業実績等) 学校給食センター以外の調理場において、機器類の整備等、適切な維持管理を行うことにより、安全安心な学校給食を提供することができた。						
	教育局 保健体育課							
25	(評価対象外) 共同調理給食運搬事業							
	67,819千円	(事業概要、事業実績等) 学校給食調理場から、受配校への学校給食の配送及び回収を業務委託により、迅速・確実・安全に行うと同時に、学校給食共同調理場等における配膳用務に係る嘱託職員を雇用することにより、配膳用務の円滑化を図り、安全安心な学校給食を提供することができた。						
	教育局 保健体育課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
31	(評価対象外) 生徒等健康診断事業 147,279千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		教育局 保健体育課						
<p>(事業概要、事業実績等) 児童生徒の健康診断を実施し、疾病の早期発見と適切な予防に役立てたほか、小児生活習慣病予防検診を全小学校の4年生を対象に実施し、さらに小学校で小児生活習慣の改善が継続できているかの確認をするため、全中学校1年生のうち肥満度・腹囲などから抽出した者を対象に実施するなど、健康診断を充実させた。また、就学時健康診断を実施し、小学校入学予定者の健康状態等を把握し、円滑な学校教育の推進と学校保健の向上に取り組んだ。</p>								
32	教育文化振興事業 5,621千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			101.4%	A	A	B	A	継続
<p>(事業概要、事業実績等) 教育文化祭音楽会においては、小学校12校(568名)、中学校20校(716名)の児童生徒が参加し、合唱・音楽劇・合奏・吹奏楽で日頃の音楽活動の成果を発表したとにより、保護者等、多くの来館者を得た。科学展、展覧会等を開催することにより、児童生徒の豊かな創造力と表現力の育成に寄与した。</p>								
教育局 学校教育課								
33	不登校対策事業 21,574千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			62.0%	A	A	A	B	拡充
<p>(事業概要、事業実績等) 適応指導教室推進事業として「虹の部屋」「みなみ」を運営する他、教育相談や学習支援、体験活動を行ない、「虹の部屋」72名「みなみ」15名が通室し、27名が学校復帰した。また、フレンドシップ事業として、本市小中学校の不登校傾向のある児童生徒を対象に、自立心や社会性を育てるための活動を行い、延べ198人が参加した。また、年間2回の不登校に関する援助推進委員会を開き、より効果的な支援策について検討した。電話相談4件、来所相談110件の教育相談にも応じた。なお、設計内容の検討に時間を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：5,650,000円)</p>								
教育局 総合教育センター								
34	小中一貫・連携教育推進事業 7,191千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	115.0%	100.0%	B	B	B	A
<p>(事業概要、事業実績等) 児童生徒や教員へのアンケート調査から、子どもたちの活動と交流の幅が広がるとともに、これまで以上に興味・関心を持って、意欲的に学習に取り組む状況が認められるなど、小中一貫教育が安定した学校生活に繋がっている。</p>								
教育局 学校教育課								
35	高等学校教育研究研修事業 53,047千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			88.6%		A	B	B	A
<p>(事業概要、事業実績等) 各種の研究會等への参加や、研究用の雑誌を購読し、教員の資質の向上と授業の質を高め、生徒の学力向上に寄与した。</p>								
教育局 高松第一高等学校事務局								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
36	(評価対象外)教職員能力向上事業 16,87千円							
	教育局 総合教育センター	(事業概要、事業実績等) 学校職員の資質・能力を向上させることを目的として、平成28年度は、基本研修、職務研修、専門研修等の55研修を実施し、学校課題の解決および学校教育の充実を図った。						
37	学校評議員制度推進事業		100.0%	A	B	B	A	統合
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携し、一学体な運営を推進し、学力向上を図る。また、学校評議員の役割を明確にし、協議による地域住民の意見や要望を反映させることにより、学校運営の透明性を高め、地域住民の理解と協力を図ることができた。						
38	教育に関する調査研究推進事業 14,288千円		102.7%	A	A	A	A	継続
	教育局 総合教育センター	(事業概要、事業実績等) 大学教授等を指導者として、研究委員会を設け、市立小・中学校に研究協力校を委嘱し、実践研究を研究概要にまとめ、各校(園)・関係機関に配布するとともに、総合教育センターWebページに掲載した。また、調査研究の成果について、提言し、その普及と発展を図るために、市立学校・園の教職員を対象に、研究発表会を開催した。参加者数152人						
39	研究指定校研究推進事業 2,205千円		127.3%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 国・県から研究指定校等事業を受けることにより、学校課題の解決及び学校教育活動の改善・充実や、教職員の資質・能力の向上に一定の効果を得ることができた。平成28年度は、教育課程研究指定校事業(屋島小、学力向上モデル校事業(三野小)、思考力等向上モデル校事業(木太小)、道徳教育地域支援委託事業(大野小)、香東中)、中学国語力向上事業(木太小、田中、屋島西小、屋島中)を実施した。また、自然防止事業(屋島小、屋島東小)を実施した。						
40	特別支援教育体制整備推進事業 243千円		100.0%	A	B	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 未来を担う子どもたちの「生きる力を育む教育の充実」には、障害に応じた支援の充実を図ることが重要であり、そのために支援体制を整備し指導力や相談力の強化につながった。						

平成 2 8 年度 施策の概要調書

施策	学校教育環境の整備
----	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,990,206千円	A	27.2%	68.8%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市立小・中学校、高松第一高等学校の児童及び生徒	意図	子どもたちが、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備する。

概要(実績)	<p>計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、施設情報データベースを基に整備内容について検討し、学校施設整備指針(小学校15校、中学校8校)、屋上防水(小学校7校、中学校4校)等の工事を実施したほか、高松第一高等学校においては改築実施設計業務に着手した。</p> <p>平成28年度PC更新機器(教育用ノートPC及びPC教室用デスクトップPC)246台のうち、100台をタブレットPCに変更することにより、全体としての配置割合が23.6%となった。</p>
--------	--

成果指標	指標名	学校施設長寿命化整備の進捗率	H28実績	H28目標	達成度	
			0%	0%		
	状況	計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、中・長期的視点に立った学校施設整備指針の策定を行った。	達成度の推移			
	指標名	教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合	H28実績	H28目標	達成度	
			23.6%	23.6%	100.0%	
状況	平成28年度PC更新機器246台のうち、100台をタブレットPCに変更することにより、全体としての配置割合が23.6%となった。	達成度の推移			☀️	
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				

施策の課題	<p>今後、学校施設の老朽化がさらに進行し、学校施設の改修・改築の需要が集中することが想定される中、施設の長寿命化対策は喫緊の課題であり、計画的に実施する必要がある。</p> <p>機器更新年度に合わせ、順次タブレットPCへの更新を実施していく中で、技術革新、ICT教育環境の急激な変化を見極めながら、最適な機器選定を行っていく必要がある。</p>
-------	--

施策の方向性	<p>建築後30年以上経過した施設を対象に老朽化の状況を把握し、29年度を目途に学校施設整備計画(仮称)を策定し、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む。</p> <p>情報技術の進歩状況とICT教育環境推進状況に応じ順次PC更新時期に合わせタブレットPCへの更新を検討していく。</p>
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
1	給食センター整備事業	特別重点	100.0%	100.0%	A	A	A	A	継続
	5,821千円	(事業概要、事業実績等) 校区内の児童増加により、給食センターの増設が必要と認められた。また、老朽化した給食センターの建て替えも必要と認められた。本年度は、給食センターの増設と建て替えの工事を実施し、校区内の児童増加に対応できるようになった。また、老朽化した給食センターの建て替えも必要と認められた。本年度は、給食センターの増設と建て替えの工事を実施し、校区内の児童増加に対応できるようになった。							
	教育局 保健体育課								
2	高松第一高等学校校舎等改築事業	特別重点	100.0%		A	B	B	A	継続
	161,431千円	(事業概要、事業実績等) 生徒が安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した校舎等の全面改築を実施した。また、プール棟の解体撤去工事を実施し、学校教育環境の整備に寄与した。また、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。							
	教育局 高松第一高等学校事務局								
3	小学校校舎等整備事業	重点	100.0%		A	A	B	A	継続
	442,478千円	(事業概要、事業実績等) 学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。また、契約の締結に不測の日時を要したことなどにより、仏生山小学校外壁改修等の一部を翌年度に繰り越した。							
	教育局 教育局総務課								
4	中学校校舎等整備事業	重点	100.0%		A	A	B	A	継続
	270,351千円	(事業概要、事業実績等) 学校施設の整備を行い、良質な学校教育施設を維持するために、修繕・改修工事等を実施した。また、契約の締結に不測の日時を要したことなどにより、太田中学校外壁改修等の一部を翌年度に繰り越した。							
	教育局 教育局総務課								
5	小・中学校校舎等増・改築事業	特別重点			A	A	B	A	継続
	1,748,478千円	(事業概要、事業実績等) 校区内の急激な児童増加により、教室不足が生じている小・中学校等の増・改築等の整備を行った。また、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、栗林小学校、林小学校、多肥小学校、屋島中学校校舎等建設事業の一部を翌年度に繰り越した。							
	教育局 教育局総務課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	小学校管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	734,705千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 学校の現状を十分に把握して非常勤講師の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことで、学校運営の充実に貢献した。						
7	中学校管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	359,854千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 学校の現状を十分に把握して非常勤講師の適切な配置を行うとともに、優れた知識や技術を有する地域人材を学校教育に活用したことで、学校運営の充実に貢献した。						
8	学校施設緑化事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,780千円		100.0%	A	A	B	A	改善継続
	教育局 教育局総務課	(事業概要、事業実績等) 本事業を実施することにより、環境教育の推進や体力向上をはじめ、みどり豊かな学校教育環境の向上、また、地球温暖化対策にも貢献するものである。						
9	(評価対象外) 高等学校管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	60,272千円							
	教育局 高松第一高等学校事務局	(事業概要、事業実績等) 安全で快適な学習環境を確保するため、施設の維持管理や管理用品を整備したほか、老朽化した施設の改修工事を実施し、生徒の学力の向上に寄与した。なお、設計内容の検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：13,000,000円)						
10	(評価対象外) 高松市総合教育センター整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	138,460千円							
	教育局 総合教育センター	(事業概要、事業実績等) 学校の教育力向上を支援する研修の充実や学校教育の課題に対応した学校支援・教職員支援を行う施設として学校教育環境の整備に貢献している。また、前年度から繰り越した総合教育センター北棟等解体工事については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：123,814,170円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	小・中学校施設老朽化対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点		A	A	A	A	継続
	7,838千円	(事業概要、事業実績等) 計画的かつ効率的な老朽化対策を行うための学校施設整備指針を策定した。						
	教育局 教育局総務課							
12	(評価対象外)教育情報通信ネットワークシステム(TENS)管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	537,371千円	(事業概要、事業実績等) 国の教育の情報化の方針に基づき、小中学校の教職員に校務用ノートパソコンを整備するとともに、校務の効率化および情報セキュリティの確保のために、TENSネットワークのクラウド化で学校情報を一元管理し、校務支援システムを整備するなど、情報教育支援事業を行った。						
	教育局 総合教育センター							
13	(評価対象外)高等学校図書整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,324千円	(事業概要、事業実績等) 学校図書館法に基づき、生徒及び教員の利用に供する図書等を整備し、学校教育の充実や調査研究等に寄与した。						
	教育局 高松第一高等学校事務局							
14	(評価対象外)学校図書館図書整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	37,093千円	(事業概要、事業実績等) 各小・中学校の学校図書館図書標準達成率に基づき、小・中学校に図書整備費を配当し、廃棄も行いながら各校において図書整備を進めたことから、全小・中学校の学校図書館図書標準達成率が、概ね100%を維持し、各校における読書や学習に必要な図書が整備されたことにより、読書活動の活性化が図られ、児童生徒の一人当たりの年間貸出冊数の増加につながった。						
	教育局 学校教育課							
15	遠距離児童・生徒等通学費助成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		100.0%	A	A	B	A	継続	
	23,440千円	(事業概要、事業実績等) 遠距離通学児童生徒等の保護者の経済的負担を軽減することで、義務教育の円滑な実施に寄与している。						
	教育局 学校教育課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
16	(評価対象外) 就学奨励事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	422,076千円							
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 経済的な理由によって、小・中学校に就学することが困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行い、保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施に役立てた。						
17	教育資金支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	32,434千円		100.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 就学者の経済的負担が軽減され、教育環境の充実に結びついた。						

施策	子どもの安全確保
----	----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
4,469千円	A	36.9%	81.8%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	児童生徒及び関係機関・団体	意図	児童生徒を事件や事故、犯罪から守るための安全対策を推進する。
----	---------------	----	--------------------------------

概要(実績)	<p>(概要) 子どもたちを事件や事故、犯罪から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保を図るため、防犯の専門家である警察官OBのスクールガード・リーダーを小学校などに派遣するとともに、不審者情報のメール配信、学校における相談体制の充実や安全教育の推進などに取り組む。</p> <p>(実績) 安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園・小学校などへのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行った。</p>		
--------	---	--	--

成果指標	指標名	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	H28実績	8.3件	H28目標	7.9件	達成度	105.1%
	状況	関係団体等の会合の場において、不審者情報メール配信の内容や登録について説明し、配信先の拡大に努めた結果、目標を達成できた。	達成度の推移					
	指標名	通学路合同点検計画における達成率	H28実績	72%	H28目標	72%	達成度	100.0%
	状況	「高松市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図った結果、目標を達成できた。	達成度の推移					
	指標名		H28実績		H28目標		達成度	
	状況		達成度の推移					

施策の課題	スクールガード・リーダーの人員確保やメール配信先の拡充、さらには、学校における相談体制の充実や安全教育の推進など、安全対策強化への取組が必要である。
-------	--

施策の方向性	地域ぐるみで子どもを見守り育てる活動を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関等がより一層、連携、協力して安全対策に取り組むことが求められている。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	学校安全対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	A	B	B	A	継続
	教育局 学校教育課	(事業概要、事業実績等) 相談体制の充実、安全教育の推進、下校時の巡回強化などの安全対策の推進について成果が見られた。						
2	子どもの安全確保活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			105.1%	A	A	B	A	継続
	4,469千円	(事業概要、事業実績等) 安全体制の構築、安全教育の実施、不審者情報のメール配信等の安全対策を推進した。また、市内の各幼稚園、小学校などへのスクールガード・リーダーの派遣に伴い、地域の警察派出所との情報交流を行うなど、子どもの安全確保に努めた。						
	教育局 生涯学習課(少年育成センター)							

平成28年度 施策の概要調書

施策	青少年の健全育成	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		45,255千円	A	20.3%	65.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市内の青少年	意図	子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指す。

概要（実績）
 青少年の非行防止活動を始めとする青少年健全育成事業やPTA・子ども会など社会教育団体との協働による子どもたちの幅広い交流体験活動等を通じて、青少年が心身ともに健やかに成長できる取組を推進する。
 ・非行防止活動事業
 少年育成センターでは、市内を13ブロックに分け、毎日2～3班で補導・巡視活動を実施した。また、インターネット利用に係るトラブルの未然防止を図るため、小学校4年生及びその保護者を対象とした情報モラル教育推進事業に取り組んだ。
 ・少年団体育成・仲間づくり推進事業
 高松市子ども会育成連絡協議会との共催による新春子どもフェスティバルやフットベースボール大会等、様々な体験活動を通じて、異年齢の子どもたち同士が交流し、親交を深めた。

成果指標	指標名	子ども会加入率	H28実績	H28目標	達成度	
			68.2%	68%	100.3%	
	状況	あらゆる機会を捉えて子ども会加入促進を図り、目標を達成できた。	達成度の推移			☀️
	指標名	少年人口千人当たりの補導人数	H28実績	H28目標	達成度	
			13人	19.9人	134.7%	
状況	学校及び関係機関・団体等との連携を密にするとともに、より効果的で温かい巡視・補導活動に努めた結果、目標を達成できた。	達成度の推移			☀️	
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				

施策の課題
 地域、学校、関係機関などとの多面的かつ緊密な連携強化が必要である。

施策の方向性
 引き続き、補導活動や情報モラル教育の推進により、非行やネットトラブルの未然防止に努めるとともに、地域での体験活動に取り組む機会を設定するなど、地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制の構築とともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図る。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	社会教育団体育成支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,650千円		100.0%	A	B	B	A	改善継続
	教育局 生涯学習課	(事業概要、事業実績等) 高松市PTA連絡協議会や高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育関係団体を支援し、団体の自立を図ることにより、団体の自主的な活動を促進し、加入児童等の健全育成に寄与した。						
2	少年教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,604千円		74.7%	A	B	B	B	拡充
	教育局 生涯学習課	(事業概要、事業実績等) 子どもたちが土に親しみ、農作物を育てる喜びや労働の尊さを体験し、健康で情操豊かな子どもの育成に資するため、子ども農園を開いたほか、新子どもフェスティバル、フットベースボール大会や子ども会リーダー研修会等、子ども会との共催で実施することにより、子ども会活動の充実・発展に寄与した。						
3	成人式式典事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,768千円		106.8%	A	B	A	A	継続
	教育局 生涯学習課	(事業概要、事業実績等) 新成人となる青年が、大人になったことを自覚するとともに、自立していく決意を新たにしてもらうため、成人式を開催したところ、全対象者のうち約64%の新成人の参加があり、厳粛に式典を実施したことで、大人になるという大きな節目の行事として一定の役割を果たした。						
4	青年教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	470千円			C	B	B	C	縮小
	教育局 生涯学習課	(事業概要、事業実績等) 青年教育の振興を図るため、関係団体を支援したほか、市民ボランティアの協力により、知的障がい者青年教室を年間8回実施し、知的障がいのある青年が、人とふれあう喜びを実感し、様々な学習・体験活動を通して知識・技能を習得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者に対する理解を深める機会を提供した。						
5	非行防止活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	31,763千円		134.7% 98.0%	A	A	B	A	拡充
	教育局 生涯学習課(少年育成センター)	(事業概要、事業実績等) 少年育成センターでは、市内を13ブロックに分割し、毎日2～3班の巡視活動、地域においては、少年育成委員会を中心として47校区で、月1回以上の巡視活動を実施した。						


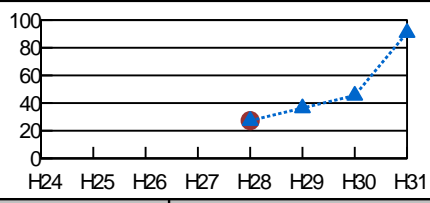

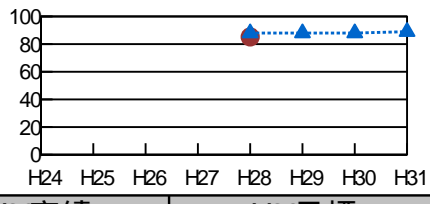
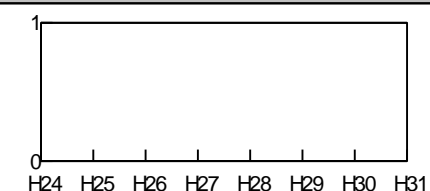
施策	家庭・地域の教育力の向上
----	--------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
5,001千円	A	20.6%	68.9%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	教育局

対象	市民（家族に子どもがいる家庭、地域住民）	意図	学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力が向上することを目指す。

概要（実績）
 子育て力向上応援講座を市立の全小学校及び全幼稚園・こども園等で実施したことにより、子育てやしつけ等の向上に寄与した。
 家庭教育学級の開設により、家庭教育の向上を推進した。
 早寝早起き朝ごはん運動の啓発のため、就学時健康診断時に全小学校で啓発資料を保護者に配布し、子どもたちの基本的な生活習慣の形成を推進したほか、小・中学校の児童・生徒を対象に「生活リズムチェックシート」を配布し、自らの生活習慣を見直す機会を提供した。
 子どもを中心とした地域交流事業を通して、地域の子どもと保護者並びに地域の大人が顔見知りになることで、地域の教育力の向上に寄与した。

成果指標	指標名	地域交流事業を実施している割合	H28実績	H28目標	達成度	
			27.3%	27.3%	100.0%	
	状況	新規で4地域が増え、継続分を含めて12地域において地域交流事業を実施できた。	達成度の推移			
						
	指標名	朝ごはん摂取率	H28実績	H28目標	達成度	
			85.2%	88%	96.8%	
状況	早寝早起き朝ごはん運動の啓発をしているが、目標には達しなかった。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題
 真に家庭教育の啓蒙・啓発が必要な保護者に対する、継続的なアプローチの方策を講じるほか、地域、学校、関係団体、家庭などとの多面的連携の強化を図る必要がある。

施策の方向性
 現行事業の実施・拡充だけでなく、社会における環境変化や市民ニーズを的確に把握し、家庭と地域の教育力の向上に最も効果的な事業展開を目指す。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	家庭教育推進事業			A	A	C	B	拡充
	2,803千円	(事業概要、事業実績等) 小学校・幼稚園等において、保護者を対象とした「家庭教育学級」を開設したるほか、就学時健康診断等「機会を活用して、子育てに精通した専門の講師による子育て力向上講座」を実施することにより、家族の役割や子育てに関する多様な学習機会・関連情報を提供し、家庭の教育力の向上に寄与した。						
	教育局 生涯学習課							
2	子どもを中心にした地域交流事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,080千円	一般重点	231.3% 159.9%	A	B	B	A	拡充
	教育局 生涯学習課	(事業概要、事業実績等) 地域の子ども会、PTA、婦人会など複数の各種団体が構成された実行委員会が実施する、子どもとその保護者並びに地域の大人が交流する事業や通学合宿事業を支援することにより、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運が高まり、地域の教育力の向上に寄与した。						
3	早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,118千円		97.0%	A	A	B	A	継続
	教育局 生涯学習課	(事業概要、事業実績等) 子どもたちが生活リズムを向上させ、学習やスポーツ、読書など様々な活動にいきいきと取り組むよう、小学校に「早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発」の保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発」の啓発用チラシを配布し、生活リズムチェックシートを配布し、生活リズムの形成に寄与した。						


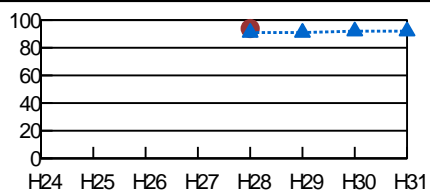

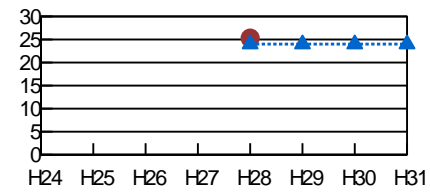
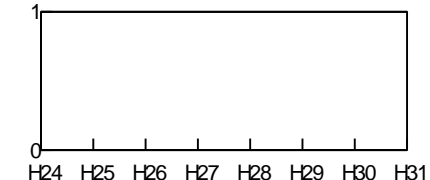
施策	大学等高等教育の充実
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
1,671千円	A	12.4%	56.8%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実
担当局	市民政策局

対象	大学等高等教育機関への進学者 大学等高等教育機関の在学者 大学等の高等教育機関	意図	高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、高等教育機関の充実と教育環境の整備を図り、市内及び近隣の高等教育機関への進学者を増加させる。
----	---	----	---

概要（実績）
 この施策では、施策目標に直結する具体的な事務事業は実施していないが、「連携の推進」施策の事務事業として「大学等との連携事業」があり、香川大学、香川高等専門学校、高松大学・高松短期大学、四国学院大学、徳島文理大学と調査研究・共同事業を実施している。こうした研究活動を通じて、学生が地域とかかわる大学等の地域貢献の機会を創出し、地域における地元大学等への親近感を深めるとともに、地元大学等への入学の機運を高めた。

成果指標	指標名	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	H28実績	H28目標	達成度	
			93.9%	91%	103.2%	
	状況	前年度よりも、入学者が82名増加し、目標を達成した。	達成度の推移			
						
指標名	包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	H28実績	H28目標	達成度		
		25.3%	24%	105.4%		
状況	前年度よりも、市内出身の入学者が52名増加し、目標を達成した。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題
 本市が行っている大学等との連携が、高等教育の充実に対して、より大きな影響を与えるよう検討する必要がある。

施策の方向性
 大学等との連携事業の充実を図るほか、取組効果の情報発信をするなど、地元大学等の地域への貢献やその必要性を市民に周知する機会を増加させる。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	大学等連携による地域の魅力発信事業	特別重点	98.7%	A	A	A	A	継続
	1,671千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>本市における地域活性化策の検討と地域での実践活動を行い、活力のある地域再生を図るため、瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備事業等への支援を行った。</p> <p>また、県内大学等との一層の連携協力を推進するため、若者から選ばれる大学づくり・まちづくりを議題として、市長と学長・校長との懇談会を開催した。</p> <p>大学等との連携事業数 75事業</p>						
	市民政策局 政策課							

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成

総合評価
A

1 政策の概要

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成を図るため、生涯学習センターを始めとした学習機会の充実や学習施設・機能の充実により、生涯学習を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
生涯学習の推進	98%	A
平均	98%	A

3 政策の評価

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成に向けて、1施策に取り組んだ。
 「生涯学習の推進」では、設定する2つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。
 以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
生涯学習の推進	27.5%	15.8%	54.4%
平均	27.5%	15.8%	54.4%



施策	生涯学習の推進
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
479,236千円	A	27.9%	54.4%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成
担当局	教育局

対象	高松市民	意図	心豊かな生涯学習の形成を図るため、学習機会の拡充や、学びの場の充実と活用により生涯にわたって学習することができる環境を整える。
----	------	----	---

概要(実績)	生涯学習センターと地域のコミュニティセンターが連携して様々な講座を開催したほか、市民の幅広い学習ニーズに応えるよう、市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指し、公募型企画講座を実施するなど市民の生涯学習の機会を充実に努めた。 また、中央図書館及び地域館4館においてのネットワーク環境の充実を図り、図書館間での資料の貸出・返却・予約を可能とするほか、移動図書館車による巡回と、「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏形成に係る連携協約」に基づき直島町への巡回を実施した。 さらに、コミュニティセンター内にある図書館分室の活性化を図るとともに、子ども読書活動を推進するため、子ども読書まつり等を開催し、子どもの学習機会の充実に努めた。
--------	---

成果指標	指標名	まなびCAN及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	H28実績	H28目標	達成度	
			602,195人	610,000人	98.7%	
	状況	前年度よりも講座の参加者数は減少しており、目標を達成していない。個々の講座について問題点を洗い出し、さらなる内容の充実を図る必要がある。	達成度の推移			
	指標名	市民1人当たりの図書館図書貸出冊数	H28実績	H28目標	達成度	
			6.8冊	6.8冊	100.0%	
状況	夢みらい図書館を開館するなど、環境整備を図ることにより目標を達成することができた。	達成度の推移				
	指標名		H28実績	H28目標	達成度	
	状況		達成度の推移			

施策の課題	生涯学習センターやコミュニティセンターで実施する講座の開催回数や内容を精査することで、地域における生涯学習の推進を図るとともに、より実践的・効果的なものとなるよう努める。
-------	---

施策の方向性	講座の回数や内容を精査し、改善を加えながら、地域における生涯学習の推進を継続し実施していく。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
1	高齢者教育推進事業	84.0%	A	A	B	B	継続	
	2,119千円	(事業概要、事業実績等) 超高齢化社会の到来に向け、より一層高齢者の生きがいづくりや高齢者間のネットワークづくりは重要になっており、高齢者を中心に高年齢者教室を開設し、多種多様な学習機会を提供することにより、高齢者の生きがいづくりや社会活動への参画を促進した。						
教育局 生涯学習課(生涯学習センター)								
2	コミュニティセンター講座事業	100.0%	A	A	B	A	継続	
	21,478千円	(事業概要、事業実績等) 52コミュニティセンターにおいて、人権・環境問題などの現代的課題に対応した各種講座のほか、高齢者教室、家庭教育学級等を実施するとともに、自主的な学習活動の場を提供し、地域住民の学習意欲に応えた。						
教育局 生涯学習課(生涯学習センター)								
3	市民参画促進事業	75.0%	A	A	B	B	継続	
	685千円	(事業概要、事業実績等) 「市民と行政との協働によるまちづくりの実現を目指す」として、公募型の自主企画講座の「センター遊友塾」や、地域で生涯学習の推進を図る「デイネーター養成講座」のほか、市民による自主的な生涯学習の推進を図る「市民参画促進委託事業」を実施し、生涯学習事業等の企画・運営などに、市民が積極的に参加できる環境の整備に努めた。						
教育局 生涯学習課(生涯学習センター)								
4	生涯学習推進事業	100.0%	A	A	B	A	継続	
	2,476千円	(事業概要、事業実績等) 少子高齢化や情報化、環境問題など現代的課題をテーマとした講座や大学等との連携による各種の専門講座のほか、多様な団体等と連携し、市民の活用が得られるよう、まなび映画CANや市民ギャラリー活用事業等を行った。						
教育局 生涯学習課(生涯学習センター)								
5	(評価対象外)いきいき高松まなびプラン(高松市生涯学習基本計画)推進事業							
		(事業概要、事業実績等) 平成25年度から5年間を計画期間とし、「ともに学び・支えあふ、地域力を育む生涯学習社会の創造」を目標に掲げ、定めた「いきいき高松まなびプラン」とも高松市生涯学習基本計画に基づき、市民の生涯学習の振興を図るとともに、市民が自らの学習成果を地域や社会で活かす活動ができるよう、各種施策・事業を実施した。						
教育局 生涯学習課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外) 公共施設利用総合情報システム管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	458千円							
教育局 生涯学習課(生涯学習センター)		(事業概要、事業実績等) かがわ電子自治体システムの施設利用申込サービスを活用し、インターネットを通じた生涯学習センターの施設の空き状況照会や予約ができるサービスを提供するとともに、効果的な管理運営に努めた。						
7	(評価対象外) ふれあい創作館管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	579千円							
教育局 生涯学習課		(事業概要、事業実績等) ふれあい創作館の施設を適切に維持管理したことにより、地域活動拠点の場を提供した。						
8	図書館文化活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	675千円	100.0%		A	A	A	A	継続
教育局 中央図書館		(事業概要、事業実績等) 子どもの読書活動を推進するため、子ども読書まつりや子ども向け講座を開催したほか、子どもを対象としたおはなし会や読書ボランティアの技能向上を図るため、講座・研修会を実施するとともに、ビジネス関係のセミナー等を開催した。 第12回子ども読書まつり参加者 約2,000人 各種講座開催回数 15回						
9	図書館運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	267,949千円	98.0%	98.5%	B	B	B	A	継続
教育局 中央図書館		(事業概要、事業実績等) 平成28年度に夢みらい図書館を開館し、中央図書館及び地域館4館においてのネットワーク環境の充実を図り、図書館間での資料の貸出・返却・予約を可能とするほか、移動図書館車3台により市内86か所の巡回と、「瀬戸・高松広域連携中核都市圏形成に係る連携協約」に基づき、直島町2か所への巡回も行った。また、資料収集については、資料の選定や収集を工夫し、多様化する市民の生涯学習意欲に心えられるよう努めたほか、地域課題解決支援の一環として、子育て支援事業、ビジネス支援事業も積極的に行った。 なお、図書館外施設での予約図書取次事業も継続的に実施した。						
10	(評価対象外) 図書館管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	137,011千円							
教育局 中央図書館		(事業概要、事業実績等) 中央図書館・菊池寛記念館・歴史資料館及び各地域館の施設維持管理事業で開館後20数年を経過し、老朽化が進んでいるサンクリスタル高松の建物を適切に維持管理するところにより、図書館等利用者への安全で快適な環境を提供した。 なお、前年度から繰り越していた一部事業については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：120,000円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	(評価対象外)生涯学習センター管理運営事業 42,014千円							
	教育局 生涯学習課(生涯学習センター)	(事業概要、事業実績等) 生涯学習の拠点施設である生涯学習センターの適切な運営と施設の維持管理を行った。 なお、改修内容の検討に不測の日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、多目的ホール天井改修検討委託業務等の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額: 6,467,000円)						
12	図書館分室活性化事業 750千円	重点 一般重点	成果達成度 93.3%	妥当性 A	有効性 B	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 拡充
	教育局 中央図書館	(事業概要、事業実績等) コミュニティセンター内にある図書館分室の活性化を図り、市民の読書意欲を向上させるとともに、生涯学習の支援、推進につなげるため、5分室(林・太田南・屋島・三谷・古高松)をモデル的に実施した結果、年間実績貸出冊数が平成27年度と比較して、平均2.2倍の増となった。						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立

総合評価
D

1 政策の概要

基本的人権を尊重する社会の確立を図るため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進するとともに、人権啓発活動拠点の機能を充実し、人権を大切にする社会づくりを進めます。

また、平和意識の高揚を図るため、平和記念館を中心に、平和意識の普及啓発に取り組み、平和を大切にする社会づくりを推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
人権尊重意識の普及・高揚	73%	B
平和意識の普及・高揚	30%	D
平均	51%	D

3 政策の評価

基本的人権を尊重する社会の確立に向けて、2施策に取り組んだ。

「人権尊重意識の普及・高揚」では、設定する成果指標の人権啓発事業等参加人数について目標に届かなかったことから、施策の得点率は73%となった。

「平和意識の普及・高揚」では、設定する成果指標の平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数について戦争遺品展や高松空襲写真展の開催場所の変更などにより目標を大きく下回ったことから、施策の得点率は30%となった。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は51%となり、政策の目指す目標に向けて一層の取組が必要であることから、本政策の総合評価は「D」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足	重要度
人権尊重意識の普及・高揚	19.8%	9.3%	43.6%
平和意識の普及・高揚	20.0%	13.1%	47.1%
平均	19.9%	11.2%	45.4%

施策	人権尊重意識の普及・高揚
----	--------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
348,740千円	B	19.8%	43.6%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局、教育局

対象	市民	意図	同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し人権を尊重する社会の実現を図る。
----	----	----	---

概要(実績)	<p>人権啓発推進員への支援、人権・同和問題指導者研修講座、ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展、人権フェスティバルの開催など、各種の啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。</p> <p>人権・同和問題指導者研修講座 477人 人権啓発推進員研修会 39人参加 ハンセン病を正しく理解する講演会 180人 「人権啓発推進員」による啓発事業 6,119人 ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 743人</p>
--------	---

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		人権啓発事業等参加人数	10,216人	13,400人
状況	参加者数については中期目標値に届かなかった。会場変更等、参加者が大きく減少する可能性もあったなかで、事業を継続することで一定数の支持は得ていると思われる。	達成度の推移 		
	達成度の推移 			
指標名		H28実績	H28目標	達成度
状況		達成度の推移 		
指標名		H28実績	H28目標	達成度
状況		達成度の推移 		

施策の課題	<p>【市民政策局】同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人ひとりが正しい認識と理解を深めることができるよう、なお一層の効果的な取組が求められる。</p> <p>【教育局】同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図っているが、市民一人一人の人権教育に対する意識・関心が十分でないことから、今後とも、社会人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。</p>
-------	--

施策の方向性	市民一人ひとりが、あらゆる問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現に努める。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課									
	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
1	人権啓発推進事業		95.0%	151.5%	A	A	B	A	継続
	43,117千円	(事業概要、事業実績等) 人権啓発推進員への支援、人権・同和問題指導者研修講座、ハンセン病を正しく理解する講演会、パネル・作品展、人権フェスティバルの開催など、各種の啓発推進事業等を実施したことにより、市民の人権意識の普及・高揚につながった。 人権・同和問題指導者研修講座 477人 人権啓発推進員研修会 39人参加 「ハンセン病を正しく理解する講演会」 180人 「人権啓発推進員」による啓発事業 6,119人 ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 743人							
	市民政策局 人権啓発課								
2	文化センター・児童館整備事業	重点	77.9%		A	B	B	B	継続
	222,418千円	(事業概要、事業実績等) 文化センター・児童館改修計画に基づき、適切な管理運営を図るため、修繕・改修工事等を実施したことにより、地域における福祉の向上や児童の健全育成につながった。中原文化センター及び田村文化センター大規模改修工事において、契約の締結に不測の日時を要したことから、年度内の事業完了が不可能となったため、繰越明許費の繰越額：51,104,000円(繰越前年度からの繰越事業である国分寺文化センター大規模改修工事及び田村文化センター大規模改修実施設計業務については完了した。(平成27年度繰越明許事業費：62,777,040円)							
	市民政策局 人権啓発課								
3	隣保館・児童館管理運営事業	重点	84.8%	92.8%	A	A	C	B	継続
	37,727千円	(事業概要、事業実績等) 各種相談事業や啓発・広報活動事業等を実施したことにより、地域住民の福祉の増進及び教育水準の向上並びに地域児童の健全育成に寄与した。 文化センター(隣保館)・児童館利用者 60,585人							
	市民政策局 人権啓発課								
4	人権教育事務	重点	88.8%		A	A	B	A	継続
	499千円	(事業概要、事業実績等) 人権教育課職員が多様化する人権・同和教育の正しい理解と実践について研究を行うため、全国人権・同和教育研究会、四国地区人権教育研究会等に参加したことにより、知識の向上、新たな人権問題に対する理解が進み、市民に対し、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。							
	教育局 人権教育課								
5	学校人権教育推進事業	重点	117.2%		A	A	B	A	継続
	6,505千円	(事業概要、事業実績等) 高松市立の幼稚園、こども園、小学校、中学校、高等学校に対して、人権教育指導資料の作成、発行、人権教育教員研修会の開催、人権教育研究会への参加補助、人権教育資料の購入等を行ったことにより、人権教育、啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。							
	教育局 人権教育課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	人権啓発活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	736千円		83.3%	A	A	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 幼児・児童生徒及び保護者等による合唱、手話コーラス、スィングベル演奏などを発表する「みんなで人権を考える会2016」を開催し、幼児・児童生徒及び保護者等を始めとする市民の人権意識の高揚につながった。						
教育局 人権教育課								
7	社会人権教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,881千円		51.5%	A	A	B	C	継続
		(事業概要、事業実績等) 市民に対し、人権教育市民講座や人権教育研修会の開催、人権教育指導用資料の作成、視聴覚教材の購入、人権尊重都市たかまつ市民会議への助成等を行ったことにより、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現に寄与した。						
教育局 人権教育課								
8	社会教育指導員設置事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	17,594千円		34.3%	A	A	B	D	継続
		(事業概要、事業実績等) 地域における子どもの学習指導、生活指導を充実させ、進路保障を実現するために社会教育指導員を配置することにより、子ども達の基礎学力や進学意欲等の向上に寄与した。 また、課内配置の社会教育指導員を人権教育市民講座等に派遣したことにより、人権教育、啓発の推進や人権を尊重する社会の実現に寄与した。						
教育局 人権教育課								
9	文化交流推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,558千円		69.7% 168.6%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 地域住民を対象に文化センターや児童館主催で教養を高める各種講座(社会教育学級)や大学生によるボランティア活動、二世交代交流した地域により、地域住民の教育水準の向上や、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化や自立意識の高揚及び社会的自覚の促進につながった。						
教育局 人権教育課								
10	子ども教育推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,705千円		65.6% 56.9%	A	A	B	C	継続
		(事業概要、事業実績等) 地区小・中学生を対象とした補充学習や保護者も対象とした進路・進学等についての教育相談、大学生ボランティアによる学習支援等を行ったことにより、地区小・中学生の基礎学力や進学意欲の向上につながった。						
教育局 人権教育課								

施策	平和意識の普及・高揚
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
114,494千円	D	20.0%	47.1%

まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち
政策	基本的人権を尊重する社会の確立
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭などの開催、小学校4年生などを対象とした平和学習の実施により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。
----	----	----	---

概要(実績)	市民に対する平和意識の普及・啓発事業として「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」、「高松市戦争遺品展」、「教職員のための平和教育講演会」等を開催したほか、平和記念だよりを発行したことにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴えることができた。また、平和学習の機能充実を図るため、平成28年11月、たかまつミライエ内に高松市平和記念館を開館し、これに併せて「平和のつどい」等の開館記念事業を実施した。		
--------	---	--	--

成果指標	指標名	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	H28実績	H28目標	達成度
	状況	戦争遺品展や高松空襲写真展の開催場所の変更などにより、参加者数が目標値を下回った。	2,462人/年	7,900人/年	31.2%
			達成度の推移		
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況				
			達成度の推移		
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況				
			達成度の推移		

施策の課題	戦争体験者が高齢化し、戦争を知らない世代が大半となっていることから、平和を守り育てるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、戦争遺品展などの各種ソフト事業や小学校4年生などを対象とした平和学習を継続的かつ積極的に実施することが必要である。
-------	---

施策の方向性	引き続き、平和意識の普及・啓発と向上に努める。
--------	-------------------------

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	平和啓発推進事業 9,035千円 市民政策局 人権啓発課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					22.5% 105.3%	A	A	B
		(事業概要、事業実績等) 「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」、「高松市戦争遺品展」、「教職員のための平和教育講演会」等を開催したほか、平和記念館を発行したことなどにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の啓発・普及を推進する ことなどができた。 なお、平和記念室の閉館に伴い、平成24年3月から収蔵品等の常設展示は休止していたが、28年11月の平和記念館開館により再開した。						
2	平和記念館整備事業 104,781千円 市民政策局 人権啓発課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	A	A	A	A	完了
		(事業概要、事業実績等) 戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和を願う市民の心を継承していくため、平成7年7月に設置された平和記念室は、設置していた市民文化センターの老朽化等による廃止のため、平成24年3月閉館した。「高松市男女共同参画センター」と一体的に、新たに「高松市平和記念館」として整備することにより、平和学習の機能を充実させることができた。						
3	高松市子ども未来館等開館記念事業（人権啓発課分） 678千円 市民政策局 人権啓発課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	121.0%	A	A	B	A	完了
		(事業概要、事業実績等) 平和記念館の開館を記念して、開館記念事業を実施し、幅広い世代の市民の来館を促した。また、併設する子ども未来館、夢みらい図書館、男女共同参画センターが実施するイベントと合わせて「高松市子ども未来館等開館記念事業」と位置付け、相互連携を図りながら実施することにより、施設全体のにぎわいを創出することができた。						

**(3) 産業の活力と文化の魅力あふれる
創造性豊かなまち**

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化

総合評価
A

1 政策の概要

<p>地域を支える産業の振興と経済の活性化を図るため、市外からの企業の誘致及び市内の中小企業等の支援による雇用の創出や、商店街のにぎわいづくりを推進し、商工業の振興に努めるほか、農地や森林の保全や、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、生鮮食料品等の流通の強化など、農林水産業の振興を図ります。</p> <p>また、庵治石や盆栽、漆器など特産品の育成と振興に努めるとともに、効果的な情報発信を行うなど、ブランド力の向上に向けた取組を推進します。</p> <p>また、いきいきと働ける環境の充実のため、就業支援を推進するとともに、勤労者福祉の充実に努めます。</p>

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
商工業の振興	93%	A
農林水産業の振興	97%	A
特産品の育成・振興とブランド力の向上	92%	A
就業環境の充実	96%	A
平均	94%	A

3 政策の評価

<p>地域を支える産業の振興と経済の活性化に向けて、4施策に取り組んだ。</p> <p>「商工業の振興」、「農林水産業の振興」、「特産品の育成・振興とブランド力の向上」及び「就業環境の充実」の4施策では、設定する10の成果指標について目標を達成又は概ね達成した。</p> <p>以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。</p>
--

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
商工業の振興	14.7%	36.0%	69.9%
農林水産業の振興	22.8%	23.0%	67.8%
特産品の育成・振興とブランド力の向上	31.7%	12.5%	64.0%
就業環境の充実	16.5%	26.4%	71.3%
平均	21.4%	24.5%	68.3%


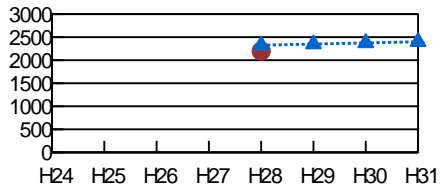

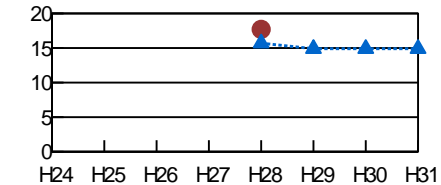

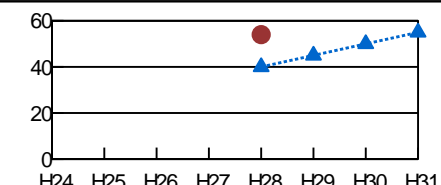
平成28年度 施策の概要調査

施策	商工業の振興	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		272,166千円	A	14.7%	69.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の商工業者	意図	経営の改善・向上

概要（実績）
 関係機関との共催による中小企業経営講習会・合同就職面接会の開催、中小企業融資の実施等により、市内中小企業の育成と振興に寄与した。
 企業誘致・立地活動については、企業誘致専門員を中心に、県や関係機関と連携・情報共有を図り、助成措置対象企業の指定や助成金の交付を行った。

成果指標	指標名	中小企業経営講習会の年間受講者数	H28実績	H28目標	達成度	
			2,198人	2,325人	94.5%	
	状況	講習会の開催内容を企業ニーズに合わせて見直し、開催回数も増やしたことから、目標に近い受講者数を獲得することができた。	達成度の推移			
						
	指標名	中央商店街の空き店舗率	H28実績	H28目標	達成度	
			17.7%	15.7%	87.3%	
状況	商店街共同施設の改修等や中央商店街にぎわい促進事業と効果的に組み合わせ、利用者のニーズに合った効果的な空き店舗活用支援を実施しているが、目標達成には至らなかった。	達成度の推移				
						
指標名	企業誘致助成制度指定件数	H28実績	H28目標	達成度		
		54件	40件	135.0%		
状況	平成21年4月に施行された高松市企業誘致条例に基づき、24年度から配置した企業誘致専門員を中心に、県や関係機関と連携し、本市において新たに立地等を希望する企業等の情報共有を図ることで、目標を上回る指定を行うことができた。	達成度の推移				
						

施策の課題
 事業者が本市で創業するよう周辺環境の整備や本市経済の持続的な発展のため、中小企業の育成と振興を図ることが求められている。
 中央商店街のにぎわいを向上させるため、空き店舗率の改善、また地域経済の発展、産業の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致の強化が必要である。

施策の方向性
 人口減少・少子超高齢社会の進展等を背景として、地域経済には厳しい状況が続くことが予想されることから、引き続き、商工業の振興に取り組むことが必要である。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	中小企業金融対策事業 112,888千円			A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 市内の中小企業者に対する融資の拡充を図るため、関係団体と共催で講習会及び研修会を実施した。</p> <p>また、中小企業者に対する融資の拡充を図るため、関係団体と共催で講習会及び研修会を実施した。</p> <p>滞りなく、支払いを模して事業者の経営改善を図るため、関係団体と共催で講習会及び研修会を実施した。</p>						
2	中小企業経営講習会等事業 1,640千円		94.5%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 中小企業経営の近代化・合理化の促進並びに従業員の資質及び技術水準の向上を図るため、関係団体と共催で講習会及び研修会を実施した。</p> <p>中小企業経営講習会「プレゼンテーションスキルアップセミナー」ほか15回(全16回) 中小企業経営講習会共催負担金等 1,640千円</p>						
3	中小企業指導団体等育成事業 38,088千円			A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 中小企業等の経営の近代化・共同化及び地場産業の育成・指導の推進に努めるとともに、その構成員の文化的・経済的な改善を図っている指導団体に対し、高松市中小企業振興助成条例に基づき事業助成を行うことにより、その活動を支援した。</p>						
4	中小企業人材確保・就業機会拡大事業 285千円		108.3%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 合同就職面接会を、高松商工会議所、香川労働局、高松公共職業安定所、香川県などとの共催により開催したことにより、中小企業の労働力及び人材の確保を促し、経営の安定につながる効果が得られた。</p> <p>かがわーくフェア(合同就職面接会)の開催 日時：平成28年11月2日(水)午後1時～午後4時 場所：サンメッセ香川 大展示場 参加企業数：122社、参加求職者数115人</p>						
5	貿易振興事業 3,284千円		61.7%	A	B	A	C	継続
	創造都市推進局 産業振興課	<p>(事業概要、事業実績等) 貿易振興に係る事業を実施している独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)香川支店と連携し、貿易振興の推進を図るため、関係団体等と連携し、高松市貿易振興推進協議会を組織した。</p> <p>また、貿易振興の推進を図るため、関係団体等と連携し、高松市貿易振興推進協議会を組織した。</p> <p>また、貿易振興の推進を図るため、関係団体等と連携し、高松市貿易振興推進協議会を組織した。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	中央商店街にぎわい促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	33,955千円	一般重点	87.3% 106.3%	A	B	A	A	継続
創造都市推進局 産業振興課		(事業概要、事業実績等) 平成21年度に常盤町商店街に開設したブリーザーズスクエアを活用した商店街活性化事業や、平成27年度12月に開始された新規出店者に対する補助事業の実施により、中央商店街の魅力向上によるにぎわい促進を図り、地域小売商業の振興に寄与した。						
7	企業誘致・起業支援による地域産業活性化促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	81,499千円	特別重点	135.0%	A	A	B	A	拡充
創造都市推進局 立地・創業・イノベーション支援室		(事業概要、事業実績等) 企業誘致専門員を配置し、企業誘致や立地に向けた情報収集やネットワークづくりに取り組むとともに、企業誘致優遇制度を活用した支援を行い、企業立地を促進した。 また、平成27年度に策定した創業支援事業計画に基づき、関係団体等との連携を強化しながら創業者支援に取り組むとともに、四番丁スクエア内に設置した携創支援センターを活用して、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の支援を行った。 なお、前年度からの繰越事業である企業誘致助成事業については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：15,785,000円)						

平成 28 年度 施策の概要調書

施策	農林水産業の振興	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		2,863,220千円	A	22.8%	67.8%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局、農業委員会事務局

対象	市内の農林漁業者	意図	農林漁業者の生産販売額の増加

概要（実績）
 経営所得安定対策制度の推進や園芸産地育成推進事業、林業振興事業、水産増養殖事業等により、生産性が向上したほか、農林水産業団体育成事業や人・農地プラン推進事業等により、生産体制が充実・強化された。また、土地改良事業や土地改良施設管理事業、林道施設整備事業、漁場保全補助事業等により、生産基盤が整備されたほか、鳥獣被害対策の実施により農業経営が安定した。その他、グリーン・ツーリズム事業や市民農園整備事業等により、農業体験者数が増加した。

成果指標	指標名	認定農業者数	H28実績	H28目標	達成度	
			298経営体	314経営体	94.9%	
	状況	平成28年度は認定農業者を新たに15名確保したが、認定期間（5年）の終期を迎える者が多い年であり、高齢化等の理由により再認定を見送る者が多くなった。今後は新規就農者からのステップアップを円滑に進めるなど、認定農業者の確保・育成に努める。	達成度の推移			
	指標名	農畜産物販売額（JA取扱金額に限る）	H28実績	H28目標	達成度	
			41.6億円	38.2億円	108.9%	
状況	ブロッコリー等の露地野菜の面積拡大による生産量の増加や肉牛価格の高騰等により目標を上回ることができており、今後もこの状況を継続していきたい。	達成度の推移				
指標名	卸売市場の取扱金額	H28実績	H28目標	達成度		
		345億円	323億円	106.8%		
状況	取扱金額の実績値は、目標を上回って推移しており、今後もこの状況を継続していきたい。	達成度の推移				

施策の課題
 農業においては、農業者の高齢化や後継者等の担い手不足、農産物の価格低迷などの課題解決による早急な農業経営の安定化を図る必要がある。林業においては、従事者の不足と木材価格の低迷から、管理不十分となっている森林が増加しており、適正管理の推進が必要である。水産業においては、漁業従事者の高齢化や後継者不足、水産資源の減少などにより、経営状況が一層厳しくなっており、これらの課題への対策の強化が重要である。
 【農業委員会事務局】農地等利用の最適化の推進に向け、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を促進するための有効な対策が必要である。

施策の方向性
 農林水産業の振興のため、農産物等の品質向上や規模拡大のほか、6次産業化の促進や森林・漁場保全等の環境整備、担い手等の確保・育成に努める。また、有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、効果的な捕獲や防護の支援に努める。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 盆栽集出荷施設管理運営事業 705千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課							
		(事業概要、事業実績等) 国分寺町盆栽集出荷場の管理運営及び維持管理を委託し、盆栽の生産振興と流通の円滑化を促進した。 また、剪定枝の堆肥化作業を専門業者に委託し、資源の有効利用を図った。						
2	荒廃竹林整備事業 705千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課		0.0%	A	B	B	D	継続
		(事業概要、事業実績等) 平成28年度においては、分収造林地内の侵入竹林整備事業は行わなかった。						
3	森林団体育成事業 6,989千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課		332.3%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 山間地域の活性化と林業並びに森林の管理運営の活性化を図るため、森林組合等への支援を行った。 これにより、関係団体が森林関係補助事業などの国等への要望や、森林・林産業の陳情活動及び啓蒙活動・情報誌等の発行を行い、林業発展に一定の効果があつた。						
4	治山施設建設事業 2,968千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課		100.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 平成28年度は、庵治町及び亀水町において治山事業を行った。 ・庵治町治山事業 406千円 ・亀水町治山事業 2,562千円						
5	農業経営対策事業 18,609千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課		105.0%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 農業の担い手の経営規模拡大と農地の有効利用を図るため、農地中間管理事業の推進、経営規模を拡大する認定農業者に対する支援等を実施することにより、農地の効率的な利用と担い手への利用集積を促進し、遊休農地の拡大を防止するとともに、地域農業の振興と生産性が向上した。 認定農業者への助成対象面積 37.6ha 農地中間管理機構への集積面積 52.5ha						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	農業後継者育成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,802千円		100.0%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 農業後継者の高齢化、農業従事者の減少が進む中、新規技術や市内の経営者などとの連携を密に推進し、農業後継者の育成に努めた。						
7	農業団体育成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,900千円		108.9%	A	A	A	A	継続
創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 農業協同組合、農業共済組合、高松市農業委員会及び香川県東讃農業改良普及センター等との緊密な連携のもと、各種団体の活動を支援することにより、時代に即応した農業生産基盤の確立を図り、高松市農業の振興に寄与した。						
8	人・農地プラン推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	46,839千円		100.0% 108.4%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 市内農業者に対して、「人・農地プラン」に関する一定の周知が図られるとともに、新規就農者・担い手に対する支援及び耕作放棄地の防止に効果があった。						
9	遊休農地有効活用事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,367千円	一般重点	81.7%	A	A	C	B	改善継続
創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 国の耕作放棄地再生利用対策等を活用して、耕作放棄地再生利用事業に取り組んでいる高松市地域農業再生協議会に補助金を交付したことにより、耕作放棄地の再生利用に効果があった。(協議会の構成員は、市、農業委員会、農協、県普及センターなど) 再生利用事業による耕作放棄地解消面積 99a						
10	林道施設整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	36,194千円		100.0%	A	B	B	A	継続
創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 林道の拡幅等を実施したことにより、山間地域が活性化し、森林の管理運営も活性化した。 ・宮谷線開設工事 31.5m なお、前年度からの繰越事業である塩江琴南線法面工事及び宮谷線開設工事については、完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：31,773,432円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
11	畜産団体育成事業 1,140千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課		84.3%	A	B	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市畜産振興協議会に助成し、畜産振興に寄与した。また、高松市畜産共進会や肉牛枝肉共励会等の開催を支援し、農家の技術研鑽、情報収集及び地産地消が促進された。						
12	(評価対象外)財産区管理事務 204千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課							
		(事業概要、事業実績等) 4財産区管理会(弦打財産区・雌雄島財産区・塩江財産区・上西財産区)を適切に運営することにより、その住民の福祉の増進に寄与した。						
13	漁業近代化資金等利子補給事業 1,532千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課		78.0%	A	A	A	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 漁家の施設整備資金等の借入金に対し、利子補給を行ったことにより、漁業の近代化が促進された。 利子補給件数110件						
14	(評価対象外)市有山林管理事業 5,018千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課							
		(事業概要、事業実績等) 市有林の適切な維持管理を実施した。 また、生活環境保全林等にある遊歩道の草刈り等の里山保全活動や市有林内にあるトイレの維持管理を行なったことにより、市有林の保全と利用者の利便が向上した。						
15	水産団体育成事業 3,242千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 農林水産課		78.0%	A	A	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 7水産団体(漁業種別協議会、漁業後継者クラブ等)に助成することで、栽培漁業や資源管理型漁業を推進したほか、後継者の育成が進んだ。また、県水産振興協会の事業やあじっこ市場を通じ、魚食普及や水産物の消費が拡大した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	海浜清掃補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,522千円		106.7%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 市内の海浜及び漁港を漁業者が清掃することにより、漁港機能の確保や海浜の美観が維持できた。 参加者数 654人						
創造都市推進局 農林水産課								
17	漁場保全補助事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,740千円		78.0%	A	A	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 海底に堆積した汚泥物質を海底耕うんすることにより、分解を促進し、漁場の機能及び生産力を回復させ、底質が改善向上した。 海底耕うん事業 作業船220隻						
創造都市推進局 農林水産課								
18	(評価対象外) 農業振興地域整備計画策定事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 平成24年度に現在の農用地区域内の農地面積を確保することを基本として、本市全域を対象とした新たな「高松市農業振興地域整備計画」を策定した。その後、農業振興地域整備計画(農用地利用計画)変更を行うとともに農用地の確保を行った。 農業振興地域面積 28,799ha つち農用地面積 4,746ha						
創造都市推進局 農林水産課								
19	(評価対象外) 農村環境改善センター管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,002千円							
		(事業概要、事業実績等) 農村環境改善センターの適正な管理運営を行ったことにより、農家の生活の改善、健康増進及び市民相互交流が活発になるなどの効果があった。						
創造都市推進局 農林水産課								
20	(評価対象外) 林道施設管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,702千円							
		(事業概要、事業実績等) 林道の維持管理として、危険箇所等の修繕、除草、竹林等の除去を実施し、利用者の安全の確保及び森林環境の維持に寄与した。 林道管理延長 82km						
創造都市推進局 農林水産課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
21	中山間地域等直接支払事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	43,628千円		95.9%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 農林水産課		<p>(事業概要、事業実績等) 中山間地域などの農業生産条件が不利な指定地域内の農用地区域において集落協定を締結し、5年以上農業を継続する農業者に交付金を交付したことにより、耕作放棄地の発生を防止し、農業の多面的機能を確保した。</p> <p>協定集落数 51 協定農家数 717 協定面積 281ha</p>						
22	(評価対象外) 畜産競争力強化整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	99,820千円							
創造都市推進局 農林水産課		<p>(事業概要、事業実績等) 畜産クラスター事業に取組み、経営規模の拡大や機器整備に助成することにより、高品質牛乳の増産及び良質の堆肥の生産・販売並びに乳製品の新たな開発を促進した。国の畜産競争力強化整備事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、事業の全額を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：79,040,000円) なお、前年度からの繰越事業である、畜産競争力強化整備事業については完了した。 (平成27年度繰越明許費事業費：99,819,851円)</p>						
23	土地改良施設管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	40,733千円		100.0% 108.9%	A	B	B	A	継続
創造都市推進局 土地改良課		<p>(事業概要、事業実績等) 農業生産性の向上、農業総生産の増大等に資するため、土地改良事業関係各種団体へ負担、補助を行うとともに、土地改良施設の維持管理・環境整備を行うことにより、農業生産基盤の整備を促進した。</p>						
24	土地改良事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	892,954千円		87.8%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 土地改良課		<p>(事業概要、事業実績等) 県営・団体営・県単・市単によるかんがい排水施設改修など399件の実施に県費補助により、年度内に工事が完了できなかったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：61,468,000円) また、前年度からの繰越事業である単独県費補助土地改良事業補助金等については完了した。 (平成27年度繰越明許費事業費：36,807,520円) 【28年度事業内訳(27繰越件数を含む)】県営事業13件、団体営事業4件(単独県費補助事業11件(内繰越3件)、単独市費補助事業等245件(内繰越6件)、災害復旧事業費26件)</p>						
25	(評価対象外) 農地利用最適化推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	27,605千円							
農業委員会事務局 農政課		<p>(事業概要、事業実績等) 10月を「農地パトロール月間」と定め、全ての農地の利用状況調査を実施し、約574haの耕作放棄地の実態把握や分布地図の更新に取り組むとともに、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業を活用して、企業2社が経営規模(キウイフルーツ栽培)を拡大した。さらに、再生利用が可能な耕作放棄地の所有者等に対し、香川県農地機構へ貸付けを促す利用意向調査を行うなど、耕作放棄地対策を強化した。 また、利用権設定に係る農業相談会を18回開催し、認定農業者等担い手へ、約189haの農地を集積することにより、農地の有効利用及び担い手等の経営確立を支援し、地域を支える農業が振興した。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
26	(評価対象外) 農業委員会事務事業							
	6,121千円 農業委員会事務局 農政課	<p>(事業概要、事業実績等) 農地転用申請書の審査、農地利用の指導、農業振興の推進等を実施し、農業の発展に貢献した。</p>						
27	有害鳥獣被害対策事業	重点 一般重点	成果達成度 357.8%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 継続
	22,863千円 創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) イノシシ、シカ、野ウサギ、アライグマ等の被害防止対策として、罠設置、防除機材の整備、駆除補助金の交付等を実施し、被害の拡大を防止した。</p>						
28	(評価対象外) 農業振興事業							
	60千円 創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市農業基本対策審議会及び専門委員会を合同で開催し、高松市農業振興計画(計画期間:平成28年度~35年度)における進捗状況の点検・評価など、本市農業施策に関する重要事項について審議した。</p>						
29	(評価対象外) 食肉センター周辺施設管理運営事業							
	1,874千円 創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 茜町会館を適正に管理運営することにより、市民に集会、レクリエーション、文化等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与した。</p>						
30	園芸産地育成推進事業	重点	成果達成度 110.7%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	65,402千円 創造都市推進局 農林水産課	<p>(事業概要、事業実績等) 個性のある多彩な園芸産地を育成するため、県等の補助事業を積極的に活用し、独自の付加価値の高い農産物を安定的に生産する体制を整備することにより、園芸産地の生産性が向上した。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
							31	6,744千円
森林整備事業 創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 森林の公益的機能の重要性から、松くい虫防除事業を実施した結果、森林資源の育成・保全の成果が得られた。 伐倒駆除事業 10.2ha 樹幹注入 1,273本						
32	8,978千円	97.4%		A	A	C	A	継続
水田農業振興事業 創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 米麦作の生産面積の拡大、作業の効率化を図るため、農業機械等の整備に支援するほか、麦の種子助成を行うなど水田農業の振興に寄与した。 乗用コンバイン 1台ほか 麦種子更新助成 スクミリンコガイ被害軽減対策						
33	22,091千円	93.4%	104.8%	A	A	B	A	継続
農業経営安定対策事業 創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 経営所得安定対策について、市内の農業生産者へ制度の周知を行うほか、JA・農業共済組合等の関係機関との連携により、経営所得安定対策等を推進し、農業者の経営安定に寄与した。						
34	12,324千円	156.0%	113.3%	A	A	B	A	継続
林業振興事業 創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 森林の公益的機能の重要性から、森林整備加速化・林業再生事業を活用した分収造林事業や、造林助成事業を実施した結果、森林資源の育成・保全の結果が得られた。 ・森林整備事業 間伐等 8.79ha ・造林助成 63.58ha						
35	5,313千円	80.8%		A	B	B	B	継続
畜産振興事業 創造都市推進局 農林水産課		(事業概要、事業実績等) 家畜法定伝染病予防事業に助成したことにより、家畜法定伝染病の予防を図った。また、家畜環境衛生対策事業に助成したことにより、環境保全と家畜衛生の改善が図られた。上質肉牛の生産拡大に寄与した。 【家畜法定伝染病予防事業】 ・牛対策 983頭・豚対策 625頭 【肉用牛生産振興事業】 ・優良家畜導入 44頭・繁殖和牛等増産対策 673頭・優良繁殖雌牛導入 4頭・優良子牛保留 2頭 【家畜環境衛生対策事業】 ・スチットステアロータ 1台						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
36	水産振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			94.1%	A	A	B	A	継続
	10,278千円	(事業概要、事業実績等) 栽培漁業推進事業、水産増養殖事業等に助成したことにより、水産資源の培養および養殖漁業の振興に繋がる成果が得られた。 【栽培漁業推進事業】 クルマエビ38万尾・ガザミ25万尾・ヒラメ19,900尾・タコ1,135kg 【水産増養殖事業】 のり養殖278枚・大型クルマエビ4万尾・のり色落ち対策 【淡水魚種苗放流事業】 フナ15,000kg・アユ30kg・ウナギ種苗1,000尾、アメゴ種苗2,100尾						
	創造都市推進局 農林水産課							
37	(評価対象外)鳥獣飼養許可等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,248千円	(事業概要、事業実績等) 有害鳥獣の捕獲許可事務を実施し、農作物等の被害防止を推進した。 捕獲許可件数 684件						
	創造都市推進局 農林水産課							
38	多面的機能支払事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.3%	A	A	B	A	継続
	138,463千円	(事業概要、事業実績等) 水源涵養や景観形成、防災など、農業・農地が有する多面的な機能を維持・発揮させるため、耕作継続に必要な農道・水路などの保全活動や施設の修繕、長寿命化を図る活動を促すことを目的として、農業者や地域住民で構成される活動組織へ支援を実施した。 平成28年度実績 農地維持活動組織数 33組織 対象面積 2,319.8ha 対資源向上(共同)活動組織数 22組織 対象面積 302.4ha 対資源向上(長寿命化)活動組織数 14組織 対象面積 1,158.8ha						
	創造都市推進局 土地改良課							
39	(評価対象外)農村公園等運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,456千円	(事業概要、事業実績等) 農村公園等(14施設)の日常的な維持管理(指定管理)を行い、市民に憩いとふれあいの場を提供し、市民の日常的な健康増進及び相互の交流が行われた。						
	創造都市推進局 農林水産課							
40	(評価対象外)香南アグリーム管理運営等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,225千円	(事業概要、事業実績等) 農業体験施設である香南アグリームの運営管理(指定管理)を行い、園地を利用した農業体験、工房では園内で取れた野菜等を使った調理体験を実施し、来場者の農業に対する理解を深め、食育を推進した。 また、香南朝市(産地直売所)では香南町を中心とした農家が出荷した農産物の販売をするなど、地域農業の振興及び地産地消を推進した。						
	創造都市推進局 農林水産課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
41	グリーン・ツーリズム推進事業 300千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			97.5%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 近年、心のゆとりとやすらぎを求める都市住民の意識が高まる中、農業・農村に対する理解の増進を図るとともに、都市住民のニーズに対応したグリーン・ツーリズムを推進することにより、農村と都市との交流促進を通じた地域活性化に繋がった。 グリーン・ツーリズム推進事業 1団体						
42	市民農園整備事業 1,536千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			102.3% 94.9%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 市民農園の新規開設に支援し、遊休水田の有効利用を図るとともに、農園の利用者に農業に対する理解を深め、農作業を通じた健康的でゆとりのある生活の提供を図った。また、開設初期(3年以内)の市民農園の運営補助を行い、円滑な運営を支援した。 市民農園の新規開設補助 1か所 開設初期の市民農園の運営支援 2か所						
43	水産教室開催事業 360千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			114.3%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 少年水産教室の開催に助成したことにより、地元漁業への児童の理解を深めることができた。(料理教室・タッチプール) 開催回数 8回						
44	(評価対象外)研修集会施設管理運営事業 3,770千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 研修集会施設の適切な維持管理を行い、農業振興のための研修及び集会、レクリエーション、文化等の場を提供したことにより、市民福祉の増進に寄与した。						
45	(評価対象外)食肉センター管理運営事業 507,745千円 創造都市推進局 農林水産課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 本市食肉センターは、平成18年4月1日に指定管理者制度の導入後、平成23年4月1日からの5年間、再度、指定管理者に指定した高松食肉事業協同組合により、円滑な施設管理が行われた。 27年度と畜頭数 9,580頭						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
46	(評価対象外)卸売市場管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	274,955千円	(事業概要、事業実績等) 中央卸売市場及び公設花き地方卸売市場施設・設備の適切な維持管理、修繕及び保守点検を行った。 また、衛生環境を整えるため、市場内の清掃やごみの分別収集を徹底し、美化に努めるとともに、市場内警備を行い、安全を確保するなど、健全な市場運営を行った。						
	創造都市推進局 市場業務課							
47	卸売市場整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,625千円	特別重点	106.8%	A	A	A	A	拡充
	創造都市推進局 市場業務課	(事業概要、事業実績等) 青果棟移転候補地の土壌評価分析及び現地整備を含めた新市場の整備方法の検討を行い、調査結果・検討内容を市議会経済環境調査会で報告し、「高松市朝日町三丁目」を移転候補地とした。						
48	卸売市場活性化推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,229千円	一般重点	99.6% 107.2%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 市場業務課	(事業概要、事業実績等) 現行の市場の活性化に関するマスタープランに基づき、市場見学、市場フェスタ、市場の特別開放及び夏休み市場D E自由研究などを実施した。						


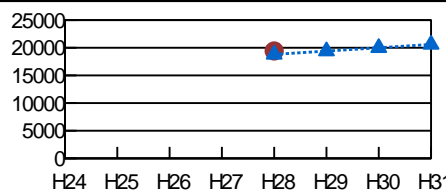

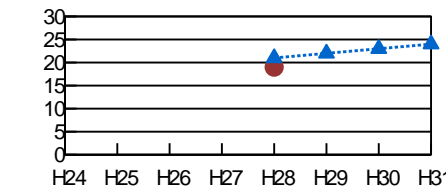

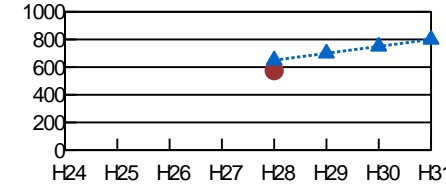
平成28年度 施策の概要調書

施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		19,051千円	A	満足度	重要度
				31.7%	64.0%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の特産品生産者・製造者及び購入者	意図	高松ブランド化の推進に向けた取組を実施し、特産品の育成・振興を図る。

概要(実績)	伝統的ものづくり製品や特産品・農作物について、普及啓発事業・販路拡大事業等を実施し、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化に寄与した。
--------	--

成果指標	指標名	販路開拓事業等来場者数	H28実績	H28目標	達成度	
			19,421人	18,800人	103.3%	
	状況	特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、販路開拓事業の支援を実施しており、目標を上回る来場者となった。	達成度の推移			
						
	指標名	盆栽輸出登録申請者数(EU)	H28実績	H28目標	達成度	
			19人	21人	90.5%	
状況	高齢化が進む中で盆栽輸出登録申請者数については、概ね達成することができた。	達成度の推移				
						
指標名	伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	H28実績	H28目標	達成度		
		574人	650人	88.3%		
状況	特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、普及啓発事業を実施しているが、開催数に限りのため、目標達成には至らなかった。	達成度の推移				
						

施策の課題	伝統的ものづくり製品や特産品、農作物について、一定の評価はあるものの、その価値や評価を高めることが求められている。今後も関係団体と連携して、販路拡大や後継者育成等に取り組むとともに、国内だけでなく、国外への輸出拡大を見据えた新たな取組が必要である。
-------	--

施策の方向性	地域経済の活性化を図る上で、地場産業の振興は重要性を増しており、継続実施していく必要がある。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	伝統的ものづくり支援事業（産業振興課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,695千円	特別重点	88.3% 103.3%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 産業振興課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>高松市伝統的ものづくり振興条例に基づき、伝統的ものづくり支援事業を実施し、伝統的ものづくりや普及啓発、販路拡大等の成果が得られた。夏休み親子体験教室、n事業、み親川盆栽大会、n事業、香川盆栽大会、n事業、なのお前年の線越事業である伝統的ものづくり観光資源PR事業については完了した。（平成27年度線越明許事業費：998,984円）</p>						
2	特産品育成・振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,350千円			A	A	B	A	継続
創造都市推進局 産業振興課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>高松市の特産品等を広くPRするとともに、交流都市等を中心とした各種物産展等へ出展し、特産品の振興を図るとともに、高松産品を扱った商品に関する活用法・調理法を紹介するなど、より特徴的な特産品のPRを推進した。</p>						
3	伝統的ものづくり支援事業（農林水産課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,506千円	特別重点	90.5%	A	A	A	A	拡充
創造都市推進局 農林水産課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>高松市伝統的ものづくり振興条例の基本理念に基づき、高松盆栽の総合的な推進を図るための各種事業を実施し、認知度の向上や輸出の拡大を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盆栽大会出展事業 ・高松盆栽PR事業 ・盆栽生産振興事業 ・盆栽輸出振興事業 						
4	高松ブランド農産物育成支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,500千円		95.0% 100.1%	A	A	B	A	拡充
創造都市推進局 農林水産課		<p>（事業概要、事業実績等）</p> <p>市内で生産された新鮮・安全な農産物の地産地消と農業体験・地元農産物を使用した料理教室を通じた食育の推進を図った。高松産品（29品目）を主とした地元農産物のPR活動・加工品の開発等を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信・食育推進等の推進 ・展示・即売・試食等の開催 ・生産振興対策事業等の開催 						

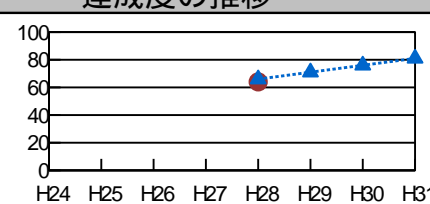

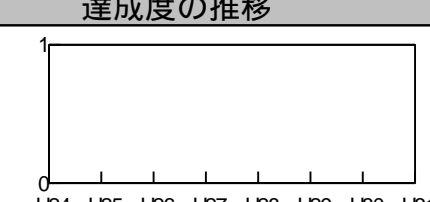
平成28年度 施策の概要調書

施策	就業環境の充実	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		473,321千円	A	16.5%	71.3%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化
担当局	創造都市推進局

対象	市内の事業所及び勤労者	意図	市内事業所の就業環境の充実及び勤労者の勤労意欲の向上を目指す。

概要（実績）
 ・平成18年度に創設した子育て支援中小企業等表彰制度に基づき、28年度は4事業所を表彰・PRするなど、市内事業所のワーク・ライフ・バランス推進の成果が得られた。
 ・中小企業勤労者支援事業では、市内の勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資により住宅資金を貸し付けた。利用状況は好調であり、勤労者の就業意欲・環境の向上につながった。
 ・中小企業勤労者福祉共済事業において、新規事業所の加入促進に努めたことにより、新たに14事業所（被共済者96人）の加入を得て、被共済者数が8,200人へと増加するとともに、福利事業利用者数も増加するなど、市内の中小企業に働く勤労者の福利厚生が向上した。

成果指標	指標名	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	H28実績	H28目標	達成度	
			64団体	66団体	97.0%	
	状況	応募案内企業からの自主的な応募があまりない中で、各企業の取組みを調査し、表彰に値する企業を発掘、ヒアリングも実施して、目標に近い企業・団体数の表彰を行うことができた。	達成度の推移			
			達成度の推移			
	指標名		H28実績	H28目標	達成度	
状況		達成度の推移				
		達成度の推移				
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
		達成度の推移				

施策の課題
 施策を構成する各事務事業においては、目標を上回るか、目標に近い成果を上げているが、経済の先行きが不透明な状況下において、本市が就業環境の充実や雇用対策に取り組んでいくためには、これまで以上に国・県・関係機関との連携・協力が必要である。

施策の方向性
 従業員のワーク・ライフ・バランスの推進を始めとする就業環境の向上に取り組む事業所を支援・PRすることは、勤労者福祉はもとより、企業における人材確保の面でも重要性を増しており、今後も国、県、関係機関と連携しながら施策を継続していく必要がある。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	就業支援推進事業 3,609千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				97.0%		A	B	B
		(事業概要、事業実績等) 労働関係情報の発信、許可・登録業者人権研修講座等を実施するとともに、一般事業主行動計画を策定し、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいる市内の4企業・団体を表彰した。その他、雇用促進対策、勤労者福祉に関する事業を行っている団体に補助を行った。これらのことにより、市内事業所の就業環境の向上、求職者支援につながった。						
2	中小企業勤労者支援事業 181,100千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 四国労働金庫との協調融資により、住宅資金の貸付け(融資限度額は600万円)を行うとともに、優遇措置として、融資額の0.1%(最高6千円)を1回返済(四国労働金庫が費用負担)することによって、勤労者の持ち家促進の成果が得られた。 融資件数：148件、融資額：873,760,000円 利子還付件数：109件、利子還付額：652,000円 利用率：121.36%						
3	中小企業勤労者福祉共済事業 102,346千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.9%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 福利事業や給付事業等のほか、会報紙を年9回発行し、事業の案内や決算状況だけでなく、新規会員登録事業所の紹介などを行った。また、未加入事業所の訪問勧誘や、加入事業所の要望を聴くなど、加入確保対策を実施した。これらにより、市内の中小企業に働く勤労者の福祉の増進と中小企業振興の成果が得られた。 平成29年3月31日現在の高松市中小企業勤労者福祉共済事業加入事業所数：722事業所、加入被共済者数：8,200人						
4	(評価対象外)高松テルサ管理運営事業 176,305千円 創造都市推進局 産業振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 高松テルサの管理運営を指定管理者である穴吹エンタープライズ株式会社に委託を贈呈した。その他、自主企画事業である「高松テルサ音楽祭」において高松市長賞を贈呈した。これらにより、高松テルサを利用する勤労者等の福祉を増進することができた。 高松テルサ平成28年度利用者数：397,832人。 なお、前年度からの繰越事業である中央監視装置更新工事(同工事監理業務)及び外壁等劣化診断調査業務については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：87,312,600円)						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	文化芸術の振興と発信

総合評価
A

1 政策の概要

文化芸術の振興と発信を図るため、瀬戸内国際芸術祭や高松国際ピアノコンクールの開催を始め、市民の近くに出向いて行う、文化芸術のアウトリーチ活動など、優れた文化芸術に触れる機会を拡充させるほか、文化芸術施設の整備と機能の充実に努めるとともに、学校と連携したプログラムの推進や菊池寛の顕彰事業など、教育普及活動や効果的な情報発信を図ります。

また、国の特別史跡讃岐国分寺跡や史跡高松城跡、史跡石清尾山古墳群の整備など、長い歴史と伝統に育まれ、伝承されてきた文化財の保存と活用に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
文化芸術の振興	96%	A
文化財の保存・活用	96%	A
平均	96%	A

3 政策の評価

文化芸術の振興と発信に向けて、2施策に取り組んだ。
 「文化芸術の振興」及び「文化財の保存・活用」の2施策では、設定する5つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。
 以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
文化芸術の振興	46.8%	9.0%	58.5%
文化財の保存・活用	29.0%	9.0%	47.4%
平均	37.9%	9.0%	53.0%

平成28年度 施策の概要調書

施策	文化芸術の振興	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		1,021,439千円	A	満足度	重要度
				46.8%	58.9%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。
----	----	----	---

概要(実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・デリバリーアーツ事業 公演回数 16回 鑑賞者数 1,657人 ・文化芸術活動推進事業 学校巡回芸術教室 21校 学校巡回音楽教室 6校 ・文化芸術活動補助 44件 文化団体活動補助 13件 ・美術館運営事業 常設展 5回 特別展 6回 ・菊池寛顕彰事業 文学展等の開催 香川菊池寛賞及び菊池寛ジュニア賞 の作品募集選奨等 ・文化芸術ホール管理運営事業 文化芸術ホール管理運営、自主事業 等
--------	---

成果指標	指標名	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	H28実績	H28目標	達成度	
			198,728人	216,250人	91.9%	
	状況	目標値には達成しなかったが、今後も公演内容の充実や施設の整備を行いながら、利用者により満足いただけるホールを目指し、本市の文化振興に繋げる。	達成度の推移			
	指標名	アウトリーチ事業の参加者数	H28実績	H28目標	達成度	
			103,549人	72,500人	142.8%	
状況	平成28年度は瀬戸内国際芸術祭2016の開催年でもあり、長期目標値を上回った。今後も、内容の充実を図りながら市民のニーズに応じた事業展開を目指す。	達成度の推移				
指標名	美術館来場者数	H28実績	H28目標	達成度		
		161,640人	156,500人	103.3%		
状況	リニューアルオープンし、魅力的な展覧会ラインナップや教育普及活動の広がりにより、目標に達した。今後も、幅広い層から利用され、親しみのある美術館事業の展開を目指す。	達成度の推移				

施策の課題	優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援など、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。
-------	--

施策の方向性	今後の施策を取り巻く環境変化や市民満足度調査の結果を踏まえ、デリバリーアーツ事業や美術館運営事業などにより、効果的かつ継続的に文化芸術活動を推進することが必要である。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
1	市民文化祭開催事業	80.1%		A	B	B	B	継続
	8,039千円	(事業概要、事業実績等) 市民が創造・参加する市民企画提案型の文化の祭典として、高松市市民文化祭 アーツフェスタたかまつ2016を実施した。文化活動の発表の場と関係各団体 の相互交流及び作品鑑賞の機会を提供した。19事業の実施となった。						
	創造都市推進局 文化芸術振興課							
2	デリバリーアーツ事業	92.1%		A	A	B	A	継続
	4,245千円	(事業概要、事業実績等) 市民に身近な場所で文化芸術を体験する機会づくりを推進し、外には 出られない人にも、和太鼓、落語、連歌、人形浄瑠璃、踊りなど、地域を クラシック音楽、瀬戸・高松、瀬戸・高松、瀬戸・高松、瀬戸・高松、瀬戸・高松 の参加者と併せて1,657人となった。						
	創造都市推進局 文化芸術振興課							
3	(評価対象外)文化奨励賞贈呈事業							
	325千円	(事業概要、事業実績等) 平成27年度に引き続き、顕彰部門、新人部門の2部門での選考を行った。顕 彰部門2名、新人部門は該当者なしの結果となった。本事業は、本市の文化芸術 の発展、振興に寄与した。						
	創造都市推進局 文化芸術振興課							
4	文化芸術活動推進事業	107.6%		A	A	B	A	継続
	22,936千円	(事業概要、事業実績等) 文化団体の育成・援助及び文化芸術活動補助事業を実施し、文化団体の自主的 な活動を促進し、優良な文化芸術活動の振興を図るとともに、市民の文化芸術 施設を中心としたコンサルティング事業を実施し、市民の文化芸術活動の振興に 取り組む機会を提供した。						
	創造都市推進局 文化芸術振興課							
5	アート・シティ高松プロモーション 事業	420.9%		A	A	B	A	拡充
	17,911千円	(事業概要、事業実績等) 高松市文化芸術振興計画に基づき、アート・シティ高松プロモーション事業、アート ト・イン・レジデンス事業、0才から通するアート事業、まちなかコンサート事 業を実施した。多様なアート展開を通して、市民に対し、活動の場や機会を拡充 し、文化芸術を生かしたまちづくりを進め、さらには、パフォーマンス事業負担金につい ては完了した。なお、前年度からの繰越事業であるまちなかパフォーマンス事業負担金につい ては完了した。(平成27年度繰越明許事業費：10,000,000円)						
	創造都市推進局 文化芸術振興課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	菊池寛顕彰事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,247千円		97.3% 142.0%	B	A	B	A	継続
	創造都市推進局文化財課	(事業概要、事業実績等) 高松市が生んだ偉大な文化発展に、市民の中高生を対象とした講演会、文芸座振興会など、市民の文化意識を高めるための事業を実施し、市民の文化意識の向上を図った。						
7	美術教育普及事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,527千円		99.6%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局美術館美術課	(事業概要、事業実績等) 美術教育普及の一環として、特別展等の開催に併せて、子どものアトリエや各種ワークショップ、また新設の「こども+」での未就学児を始め、幅広い層の方々のプログラムや活動を展開するほか、塩江美術館では陶芸教室を開催し、美術教育の充実と推進に効果があつた。						
8	瀬戸内国際芸術祭推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	81,157千円	特別重点	136.0% 100.0%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局文化芸術振興課	(事業概要、事業実績等) 瀬戸内国際芸術祭2016は、会期を春、夏、秋の3つに分けて、2016年3月20日から10月8日間開催された。本市会場は女木島、男木島、大島、高松港周辺の来場者が増え、地元にはお祭りの盛り上がり、また芸術祭の開催に合わせ、芸術祭の推進に協力した。						
9	高松国際ピアノコンクール事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,800千円	特別重点		A	A	B	A	継続
	創造都市推進局文化芸術振興課	(事業概要、事業実績等) 高松国際ピアノコンクール推進事業として、入賞者等による4回の学校訪問リサイタル、審査員による演奏会、審査員によるマスタークラス等事業を実施し、第4回コンクールの機運を高めるとともに、より市民に親しまれ、地域に育まれていくコンクールとなるよう推進した。						
10	(評価対象外)元香南陶芸館管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	245千円							
	創造都市推進局文化芸術振興課	(事業概要、事業実績等) 元香南陶芸館を香南陶芸クラブに貸し付けるとともに、施設の維持管理を行った。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外) 高松国分寺ホール管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	41,133千円	(事業概要、事業実績等) 日本管財・JTBコミュニケーションズ共同事業体を高松国分寺ホールの指定管理者として指定し、同ホールの管理運営を行い、自主事業に対し助成を行った。						
創造都市推進局 文化芸術振興課								
12	(評価対象外) 文化芸術ホール管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	596,180千円	(事業概要、事業実績等) 公益財団法人高松市文化芸術財団を文化芸術ホールの指定管理者として指定し、同ホールの効果的な管理運営を実施するとともに、同財団が実施する情報誌等発行事業、ホームページ運用事業、文化庁補助金を活用した国立劇場ハレ工業団を推進した。また、財団自主事業に対し、助成を行うことにより、文化芸術振興事業なお、工法の検討に時間を要したことにより、年度内に高松市文化芸術ホール舞台機構改修工事の事業完了が不可能となったため、翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：4,158,000円)						
創造都市推進局 文化芸術振興課								
13	(評価対象外) 瓦町アートステーション管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,422千円	(事業概要、事業実績等) 交通の結節点における文化芸術活動の創造・発表・交流の拠点とし、文化芸術を創造する環境を整えた。						
創造都市推進局 文化芸術振興課								
14	菊池寛記念館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,543千円	104.3%		B	A	B	A	継続
創造都市推進局 文化財課		(事業概要、事業実績等) 菊池寛の業績を顕彰し、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、菊池寛や寛が創設した芥川賞・直木賞等に関する資料の収集、調査研究、保管及び展示を実施するなど、後世に残す適切な管理運営を行った。						
15	美術館運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	79,498千円	105.0%	98.8%	A	A	A	A	継続
創造都市推進局 美術館美術課		(事業概要、事業実績等) 高松市美術館において、市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するため、リニューアルオープンを記念して、所蔵品による「コレクション展」を始め、国内外の様々なジャンルの美術世界を紹介する特別展を開催。美術館ホール等によるギャラリートーク活動を行うなど、幅広い世代に対し美術館事業を推進した。また、江美美術館においても、「塩江アートプロジェクト」など地域に密着した各種展覧会を開催するとともに、企画展関連イベントとしてコンサート等を開催する。また、両美術館において、市民に親しまれ、魅力ある美術館となるよう「美術館の日」(8月第1土曜日)に展覧会の観覧料を無料とするとともに、親子で楽しめるイベントなどを実施した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	美術館資料収集事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,612千円		97.8%	A	A	A	A	継続
創造都市推進局 美術館美術課		<p>(事業概要、事業実績等) 美術品収集方針に基づき、美術品の系統的な収集を行い、これらを常設展示で紹介するほか、国内外の美術館に貸出しすることで、美術館のブランドを高めた。</p>						
17	(評価対象外)美術館管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	123,619千円							
創造都市推進局 美術館美術課		<p>(事業概要、事業実績等) 収蔵品を適切に保管するとともに、快適な鑑賞環境を維持するため、設備機器の点検や整備、清掃等の業務を委託し、美術館管理を行った。 なお、平成28年度に予定されていた「八郎川消火設備制御盤更新工事」については、工法の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：12,180,000円)</p>						

平成28年度 施策の概要調書

施策	文化財の保存・活用	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		1,272,927千円	A	満足度	重要度
				29.0%	47.4%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	文化芸術の振興と発信
担当局	創造都市推進局

対象	本市の歴史文化遺産のなかで、国・県・市において指定する等、調査・保存・活用するのに相応しいもの。	意図	本市の歴史文化遺産の保存・管理と公開・活用を図る。
----	--	----	---------------------------

概要（実績）
 史跡天然記念物屋島等で文化財的価値を明らかにするための確認調査や、開発事業に伴う事前の発掘調査を実施するとともに、特別史跡讃岐国分寺跡等において公有地化を行ったほか、指定文化財の管理や伝承に係る補助金の支出、ふるさと探訪や史跡石清尾山古墳群等をテーマにした連載講座等の学習会を開催し、文化財の活用を進めた。各施設においては、埋蔵文化財センターでは埋蔵文化財の情報発信、歴史資料館をはじめ各資料館・郷土館では企画展及び講座等を開催し適切な運営を行い、市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。史跡高松城跡・玉藻公園では、桜御門の石垣修理等を実施し、城下町高松の顔・シンボルとしての風格ある景観の創出により、玉藻公園の入園者数が前年度比で約2万人増加した。

成果指標	指標名	歴史資料館等利用者数	H28実績	H28目標	達成度
			144,517人	140,000人	103.2%
	状況	歴史資料館の瀬戸内国際芸術祭パートナーシップ事業としての企画展開催や石の民俗資料館の教育普及活動の充実で利用者数を伸ばせたため、目標値を上回った。	達成度の推移 		
成果指標	指標名	文化財学習会・体験講座参加者数	H28実績	H28目標	達成度
			1,146人	1,200人	95.5%
	状況	ふるさと探訪について、悪天候の影響や他の大規模行事との開催日時及び場所が重複したことにより、期待した目標値に達しなかった。	達成度の推移 		
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況		達成度の推移 		

施策の課題
 指定文化財の件数増加や披雲閣の耐震補強等により、適正に維持管理するためのコスト増が予想される。

施策の方向性
 文化芸術の振興と発信という上位の政策を実現するためには、地域を特色づける文化財の保存と活用に関する事業を継続していくことは必要不可欠である。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課									
	事業名	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		1	史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	一般重点	71.4%	B	A	B	B
	8,978千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>紫雲山(稲荷山地区)に所在する積石塚について、国指定史跡石清尾山古墳群へ追加指定するに際し、調査を実施し、その文化財的価値を明らかにした。また、国指定史跡として鶴尾神社4号墳の保存に必要な調査を実施した。</p>							
	創造都市推進局 文化財課								
2	(評価対象外) 史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
	94,917千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>国の特別史跡讃岐国分寺跡及び史跡讃岐国分尼寺跡は、文化財保護法によって建築等の現状変更が許可されない地域となっている。このため、本市は史跡内に土地を所有する住民の財産を補償するものとして、国庫補助を受けて土地買上を実施しており、28年度も実施したことにより、公有地化を進めることができた。また、市民が訪れやすい環境を整えるため、植栽整備を国分寺跡史跡公園において実施し、文化財の活用に寄与した。</p>							
	創造都市推進局 文化財課								
3	史跡天然記念物屋島保存・整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
	5,970千円	一般重点	100.0%	A	B	B	A	継続	
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>史跡・天然記念物屋島の価値の再確認及び新たな価値を発見するため、史跡・名勝・天然記念物の各分野において実施しているものである。28年度は、屋嶋城跡浦生地区及び北嶺千間堂跡の発掘調査を行い、屋島の文化財的価値の一端を明らかにすることができた。</p>							
	創造都市推進局 文化財課								
4	高松城跡等整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
	82,488千円	一般重点	125.3%	71.4%	A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>桜御門石垣の積直しが完了するとともに、歴史的建造物である桜御門の復元整備工事実施設計を作成し、城下町高松の顔・シンボルとしての風格ある景観の創出に寄与した。なお、前年度からの繰越事業である重要文化財建造物の消火設備改修工事については完了した。(平成27年度繰越明許事業費：27,235,440円)</p>							
	創造都市推進局 文化財課								
5	(評価対象外) 玉藻公園整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
	893,111千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>土地開発社から玉藻公園西側の整備事業用地を取得することにより、史跡高松城跡と一体となる都市公園を整備し、風格ある都市空間を形成できた。</p>							
	創造都市推進局 文化財課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外)文化財保存活用推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,114千円	(事業概要、事業実績等) 指定文化財の管理・修理・伝承公開事業に対する補助金の支出、本市が所有する史跡地の除草及び施設修繕等、さらに、ふるさと探訪等文化財学習会を開催し、文化財の保存と活用に寄与した。						
	創造都市推進局 文化財課							
7	埋蔵文化財公開活用事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,249千円		120.2%	A	B	B	A	継続
	創造都市推進局 文化財課	(事業概要、事業実績等) 「甦る屋嶋城」のアプリケーションの内容を充実させる機能追加を行うとともに、埋蔵文化財をテーマにした連載講座を6回にわたって開催したほか、遺跡の説明板やパンフレットの作成を行い、埋蔵文化財の公開活用を進めることができた。						
8	(評価対象外)古代山城屋嶋城跡城門遺構整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,028千円	(事業概要、事業実績等) 「日本書紀」に記述のある飛鳥時代に造られた古代山城屋嶋城の遺構を将来にわたって保存するため、城門及び城壁の保全と周辺整備を平成27年度に完了させ一般公開を開始したことにより、屋島の魅力が向上した。 なお、前年度からの繰越事業費である整備報告書の刊行については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：1,027,795円)						
	創造都市推進局 文化財課							
9	(評価対象外)文化財調査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,414千円	(事業概要、事業実績等) 市内の史跡及び埋蔵文化財包蔵地の内容確認を実施し、文化財の適切な保存及び活用を図る上で必要な資料の蓄積を行うことができた。						
	創造都市推進局 文化財課							
10	(評価対象外)玉藻公園管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	60,401千円	(事業概要、事業実績等) 玉藻公園に係る管理運営の指定管理者への委託や、披雲閣等の文化財のメンテナンスを行った結果、インバウンド効果等もあって入園者数が前年度比約2万人増加し約23万8千人となった。						
	創造都市推進局 文化財課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外) 四番丁スクエア等管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,478千円	(事業概要、事業実績等) 埋蔵文化財の整理作業及び展示等の普及啓発を実施するとともに、地域コミュニティ協議会連合会及び創造センターの複合施設並びに学校開放及び地域活動の場を維持する上で必要な管理業務の実施した。また、周知の埋蔵文化財包蔵地の適切な管理を目的に遺跡地図システムの構築を行い、文化財のデータ化を進めることができた。						
	創造都市推進局 文化財課							
12	(評価対象外) 歴史資料館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,891千円	(事業概要、事業実績等) 本市の歴史・民俗資料等の収集、調査研究及び保管など適切な管理運営を行い、歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与した。						
	創造都市推進局 文化財課							
13	歴史資料館常設展事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,961千円	92.1%	157.1%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 文化財課	(事業概要、事業実績等) 高松の歴史や文化に関わる資料の収集及び保存、収蔵資料の整理調査を行い、収蔵品情報システムへの登録を進め、HPアクセス数が前年度比で2,518回増加し29,380回となった。回・ロビー展10回を開催するとともに、資料館サポーター等による展示解説を年間を通して26回開催した。						
14	歴史資料館教育普及活動事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,993千円	105.7%	105.6%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 文化財課	(事業概要、事業実績等) サンクリスタル学習の受入れ、企画展での講演会、夏休み子ども歴史講座等の各講座を開催した。郷土の歴史や文化についての興味を喚起し、知識を深められるような教育普及事業を行い、その内、サンクリスタル学習の参加校数が前年度比で1校増加し38校、講座の受講者数に関しては前年度比で33人増加し843人となった。						
15	石の民俗資料館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	23,670千円	103.9%		A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 文化財課	(事業概要、事業実績等) 石と人間の関わりの文化を観点に資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示等の情報発信及び体験学習などの教育普及活動を行った。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	讃岐国分寺跡資料館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,980千円		98.8%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 文化財課	(事業概要、事業実績等) 特別史跡讃岐国分寺跡の歴史的意義等を説明するため、展示等の情報発信及び講座などの教育普及活動を行った。						
17	香南歴史民俗郷土館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,284千円		108.2%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 文化財課	(事業概要、事業実績等) 香南地区の有力豪族由佐氏の居城跡という立地を生かして、高松平野南部地域の資料の収集・保管・調査を行うとともに、展示等の情報発信及び講座などの教育普及活動を行った。						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	元気を生み出すスポーツの振興

総合評価
A

1 政策の概要

元気を生み出すスポーツの振興を図るため、スポーツ活動の促進や屋島競技場などスポーツ施設の整備を行うほか、市民スポーツフェスティバルの見直しやスポーツ関係団体間の連携強化に取り組むとともに、地域密着型トップスポーツチームの支援や、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う事前合宿の誘致等により、市民が、スポーツを「する、観る、支える（育てる）」ことのできる環境を整えます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
スポーツの振興	86%	A
平均	86%	A

3 政策の評価

元気を生み出すスポーツの振興に向けて、1施策に取り組んだ。
「スポーツの振興」では、設定する3つの成果指標について目標を概ね達成した。
以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
スポーツの振興	21.2%	15.3%	47.7%
平均	21.2%	15.3%	47.7%

施策	スポーツの振興
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
6,059,968千円	A	21.2%	47.7%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	元気を生み出すスポーツの振興
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	スポーツ活動の推進やスポーツ施設の整備を行い、スポーツの振興を図る。
----	----	----	------------------------------------

概要(実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設等管理運営事業 ・屋島陸上競技場再整備事業 ・市民スポーツ活動推進事業 ・市民スポーツフェスティバル開催事業 ・学校体育施設開放事業 ・地域密着型トップスポーツチーム支援事業 ・南部地域スポーツ施設(仮称)整備事業 ・ヨット競技場再整備事業
--------	--

成果指標	指標名	トップスポーツチーム試合観戦者数	H28実績	H28目標	達成度	
			118,455人	135,900人	87.2%	
	状況	香川オリーブガイナースの試合数減及び一試合平均観戦者数の大幅減を始め、全体の約65%を占めるカマタマーレ讃岐の観戦者数がほぼ前年並であったことから、87.2%の達成率に留まった。	達成度の推移			
	指標名	社会体育施設利用者数	H28実績	H28目標	達成度	
			1,861,146人	2,181,500人	85.3%	
状況	目標に対する実績値の達成度は85.3%であった。平成27年度に比べ、平成28年度は大規模なスポーツ大会(全国大会等)が少なかったため、前年度より利用者数が減少したことなどから、85.3%の達成率に留まった。	達成度の推移				
指標名	トップスポーツ4チームの後援会等会員(高松市民)数	H28実績	H28目標	達成度		
		980人	1,075人	91.2%		
状況	新たにBリーグが開幕し、名称変更した香川ファイアローズ(旧・高松)がB2リーグに参戦したが、後援会員の大幅な増員に繋がらなかったことなどから、91.2%の達成率に留まった。	達成度の推移				

施策の課題	市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興のさらなる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。
-------	--

施策の方向性	引き続き、高松市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ振興の推進を図る。
--------	------------------------------------

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	市民スポーツ活動推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	47,652千円		91.7%	A	A	A	A	継続
創造都市推進局 スポーツ振興課		(事業概要、事業実績等) 本市と地区体育協会が主催するソフトボール等大会を、各小学校に男女各1人ずつ委嘱(一部の小学校を除く)している。また、本市が主催しているサンポート高松トライアスロン大会や市民早朝野球大会等に係る経費の一部を補助した。						
2	(評価対象外)スポーツ施設等管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,031,732千円							
創造都市推進局 スポーツ振興課		(事業概要、事業実績等) スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営を行った。改修工事等については、工法の検討に日時を要したことにより、工事請負費等を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：57,864,000円) (また、前年度からの繰越事業である仏生山公園温水プール天井等改修工事等については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：119,898,240円)						
3	市民スポーツフェスティバル開催事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	7,500千円		91.2%	A	A	B	A	継続
創造都市推進局 スポーツ振興課		(事業概要、事業実績等) 生涯スポーツの振興と市民の体力づくりの増進を図ることを目的に、12競技種目を小学校区によって競つ小学校区対抗競技大会(約3,200人参加)を始め、キンボールスポーツのニュースポーツやウォークなど誰もが楽しく参加することができるトリムの祭典(述べ約6千人参加)を開催した。						
4	学校体育施設開放事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,910千円		97.2%	A	B	B	A	継続
創造都市推進局 スポーツ振興課		(事業概要、事業実績等) 市民が気軽に利用できる体力づくりや生涯スポーツの場を提供し、市民スポーツの振興に寄与した。						
5	障がい者スポーツ推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	800千円	特別重点	98.4%	A	A	C	A	継続
創造都市推進局 スポーツ振興課		(事業概要、事業実績等) 平成29年4月23日にニューアルオープンした屋島競技場に車いす用サークルを整備した。また、当該競技場において、29年度から3年間、中国・四国パラ陸上競技大会、30年度日本パラ陸上競技選手権大会の開催が決定したことに伴い、当該大会に係る審判講習会を実施した。 なお、屋島競技場の車いす設備の工法等の検討に日時を要したことにより、工事請負費を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,327,000円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性			
							一般重点	100.0%	C
6	屋島陸上競技場再整備事業 4,757,596千円	(事業概要、事業実績等) 陸上競技だけでなくサッカーやその他スポーツイベントなど多種多様なニーズ に対する市民の健康づくりや憩いの場として広く親しまれる施設として、平成29年 3月に整備事業を完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：1,496,560,000円)							
	創造都市推進局 スポーツ振興課								
7	南部地域スポーツ施設(仮称)整備 事業 83,762千円	(事業概要、事業実績等) 平成28年7月より、国道からの進入路整備工事に着手し、平成29年2月に は、施設全体の造成工事の業者が決定し、地元説明会等を終え、工事に着手し た。 なお、全体整備事業については、工法の検討に日時を要したことにより、工事 請負等を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：215,221,000円) (また、前年度からの繰越事業である高松市南部地域スポーツ施設(仮称)実施 設計修正業務については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：2,666,000円)							
	創造都市推進局 スポーツ振興課								
8	ヨット競技場再整備事業 85,684千円	(事業概要、事業実績等) 平成27年12月から建設工事に着手し、平成28年度も引き続き建設工事を 行った。 なお、平成28年度分の建設工事については、平成27年度分の建設工事に日 時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、工事請負費 を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：536,093,000円) (また、前年度からの繰越事業である建設工事の工事請負費については出来高予 定を達成したため、完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：64,830,000円)							
	創造都市推進局 スポーツ振興課								
9	地域密着型トップスポーツチーム支 援事業 26,332千円	(事業概要、事業実績等) 地域密着型スポーツチームに対する支援として、ホームタウンデーやパブリッ クビューイングなど、市民に試合観戦・応援の機会を提供することにより、認知 度の向上や市民のスポーツへの関心等に繋げた。							
	創造都市推進局 スポーツ振興課								

平成28年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	訪れたい観光・MICE（マイス）の振興

総合評価
B

1 政策の概要

訪れたい観光・MICE（マイス）の振興を図るため、観光に携わる様々な主体が連携・協力し、魅力あるイベントの振興など、観光資源の活用と創出に取り組むとともに、旅行者が安心して快適に、移動、滞在、観光ができる受入環境を整備します。

また、本市の観光都市としてのブランドイメージを創出するとともに、国内外への、様々な媒体を活用した効果的・戦略的な情報発信と、MICE（マイス）による観光客誘致の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
観光客受入環境の整備	83%	B
観光客誘致の推進	88%	A
平均	85%	B

3 政策の評価

訪れたい観光・MICE（マイス）の振興に向けて、2施策に取り組んだ。

「観光客受入環境の整備」では、設定する2つの成果指標のうち、香川県への再来訪意向割合において香川県が実施する再来訪意向調査の調査方法の変更が影響し目標に届かなかったものの、他の指標については目標を達成しており、施策評価の得点率は83%となった。

「観光客誘致の推進」では、設定する2つの成果指標について目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は85%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
観光客受入環境の整備	24.8%	19.2%	64.1%
観光客誘致の推進	22.8%	15.3%	56.0%
平均	23.8%	17.3%	60.1%


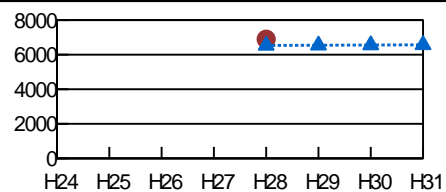

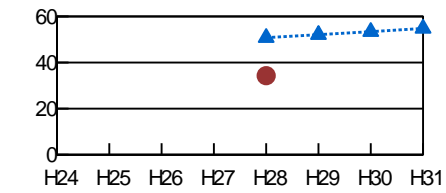
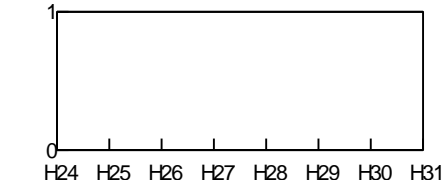
平成28年度 施策の概要調査

施策	観光客受入環境の整備	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		333,400千円	B	24.8%	64.1%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	訪れたい観光・MICEの振興
担当局	創造都市推進局、市民政策局、上下水道局

対象	観光資源及び観光客・MICEに係わるすべての事業者、市民、行政機関等	意図	受入態勢を充実させ、訪れる人の満足度が向上し、再来訪意向の割合が高まる。

概要(実績)	塩江温泉郷観光活性化基本構想を策定した。また、高松観光キャッチコピーを公募し、「気持ち高まる、高松。」に決定した。屋島山上拠点施設基本構想に基づき、当該施設の基本設計を作成した。		
--------	---	--	--

成果指標	指標名	観光関連施設等利用者数	H28実績	H28目標	達成度	
			6,895千人	6,533.4千人	105.5%	
	状況	栗林公園や高松城跡(玉藻公園)などの入場者数が増加したため、達成できた。	達成度の推移			
						
	指標名	香川県への再来訪意向割合	H28実績	H28目標	達成度	
			34.3%	50.8%	67.5%	
状況	平成27年度から再来訪意向調査の選択項目が変更になったため、目標を達成できなかったが、27年度の実績値17.9%からは大幅に増加している。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題	平成28年度に策定した高松市観光キャッチコピーと、今後決定するロゴマークを併せて活用し、関係者の機運の醸成を図るなど、行政、民間、市民が一体となった観光まちづくりの推進体制を構築していく必要がある。
-------	---

施策の方向性	高松ならではの歴史や文化などの資源に磨きをかけるとともに、新たな観光資源の創出、さらに行政が担うべきハード整備の実施や観光客を受け入れる市民等の機運の醸成を図るなど、来訪者に満足感を与えられる受入環境を形成し、魅力のある観光まちづくりを推進する。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	屋島活性化推進事業（政策課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	44,489千円	特別重点	72.4%	A	A	A	B	拡充
		（事業概要、事業実績等） 屋島ドライブウェイ無料化社会実験を実施し、通行台数が、過去3年間の平均に比べ、約1.4倍になるなど、気軽な訪れる環境づくりとして屋島ドライブウェイの無料化が有効であることの実証結果を得た。また、多くの市民から早期実現の声が寄せられる中、本格実施に向けた方針を取りまとめた。						
市民政策局 政策課								
2	（評価対象外）創造都市推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,094千円							
		（事業概要、事業実績等） 創造都市推進審議会・懇談会を開催したほか、夏休み親子探検隊チラシの作成を行い、それぞれ次年度につなげる効果を得ることができた。また、創造都市関係の創造都市政策セミナーの開催都市になるほか、他都市開催のセミナー等に参加し、国内の創造都市ネットワークとの連携・交流をより深化させることに寄与した。						
創造都市推進局 産業振興課								
3	温泉を生かした塩江地域の観光振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,994千円	特別重点	98.6%	B	B	C	A	拡充
		（事業概要、事業実績等） 観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に対応しながら、塩江温泉郷の活性化を図り、「オンリーワンの価値を持つ温泉郷」に磨き上げるための指針となる「塩江温泉郷観光活性化基本構想」を、塩江地域の観光関連事業者、コミュニティ関係者等からの意見を踏まえ、策定した。						
創造都市推進局 観光交流課								
4	観光イベント振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	122,254千円		93.1%	A	A	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 高松まつり、高松秋のまつり大名行列などの本市の代表的なまつりのほか、合併地区における地域のまつり・イベントに対し事業補助を行い、魅力ある観光イベントの振興・活性化のため、観光客の誘致推進に取り組んだ。 イベント補助件数 16件						
創造都市推進局 観光交流課								
5	観光団体育成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,490千円		105.8%	A	A	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 地域の伝統芸能やイベントの育成振興、またイベントの主催者になり得る観光協会等の団体育成のため、地域の活性化を支援した。 補助を行った観光協会等 15団体						
創造都市推進局 観光交流課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	観光ボランティアガイド育成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	570千円		85.7%	A	A	A	A	改善継続
	創造都市推進局 観光交流課	(事業概要、事業実績等) 高松を訪れる観光客等を対象に、市内の歴史・文化・自然及び特産品等の正しい知識を紹介し、観光客の満足度アップを図るため、本市の観光地を案内・紹介する観光ボランティアガイドの育成を行った結果、昨年度よりもガイド件数は増加した。 平成28年度観光ボランティアガイド件数 2,429件						
7	観光連携プラットフォーム推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	443千円		97.3%	A	B	B	A	継続
	創造都市推進局 観光交流課	(事業概要、事業実績等) 高松観光まちづくりネットワーク推進委員会と連携し、観光関連事業者や市民にとって、共通の考動指針となるキャッチコピーの作成やキャッチコピーの趣旨を共有するために講演会を開催した。						
8	源平屋島地域観光振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,289千円	一般重点	72.4%	97.6%	A	B	C	B
	創造都市推進局 観光交流課	(事業概要、事業実績等) 源平屋島地域運営協議会と連携し、光とあかりのファンタジー関連事業等を実施したほか、山上への唯一の公共交通手段であるシャトルバスの運行補助を実施した結果、山上の入込客数は、前年を上回った。						
9	高松城跡(玉藻公園)を活かした観光振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	17,347千円	特別重点	113.8%		A	B	B	A
	創造都市推進局 観光交流課	(事業概要、事業実績等) 高松城跡(玉藻公園)の魅力増進を図るため、夜間無料開放ライトアップやナイト観光イベント事業、バーチャル高松城事業、和船乗船体験、鉄砲隊事業などの事業を展開した。 入園者は目標数値を超え、徐々に増加している。 なお、前年度からの繰越事業である夜間ライトアップ事業及びナイト観光イベント事業については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：9,771,746円)						
10	屋島活性化推進事業(観光交流課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	34,944千円	特別重点	72.4%		A	A	B	B
	創造都市推進局 観光交流課	(事業概要、事業実績等) 芝生公園・多目的広場の維持・管理を継続することで、市民に憩いの場を提供したほか、屋島の自然を始め、文化財等の各分野にわたる特性や価値に関する情報等を屋島ナビより発信し、アクセス数は、前年比約1.9倍となり、入込客数は前年を上回った。 なお、前年度からの繰越事業である屋島山上拠点施設基本設計業務について完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：20,000,000円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外)高松食と文化のフェスタ等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,000千円							
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 平成20年度から「たかまつ食と文化のフェスタ」としてサンポート高松を会場に開催され、サンポート高松のにぎわいつくりに貢献している。平成28年度は、高松の食を気軽に体験してもらえよう「高松あじのみ物語2016」のパンフレット製作を行った。</p> <p>パンフレット配布部数(本市分) ・夏 600部 ・秋 1,200部</p>						
12	男木島灯台資料館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,640千円		93.5%	A	B	B	A	改善継続
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 男木島灯台資料館の管理運営を地元の男木島観光協会に委託し、観光客からの施設観覧の要望に応じて、開館し案内を行っている。瀬戸内国際芸術祭をきっかけに、男木島の認知度は高まっており、施設利用者数は増加している。</p> <p>施設利用者数 9,353人</p>						
13	(評価対象外)純愛の聖地庵治・観光交流館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,447千円							
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 映画のロケーション地としての観光資源を生かすこと等によって観光の振興を図り、観光客と市民に憩いと交流の場を提供するために設置された純愛の聖地庵治・観光交流館については、特定非営利活動法人はじめの一步を指定管理者として管理運営を行った。</p> <p>利用者数：19,297人</p>						
14	(評価対象外)太鼓の鼻オートキャンプ場等管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,607千円							
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 瀬戸内海を望むロケーションで自動車を利用したキャンプができる太鼓の鼻オートキャンプ場については、ハウス美装工業(株)を指定管理者として管理運営を行った。海水浴シーズンである夏季にはキャンセル待ちとなるなど、好評を博している。</p> <p>施設利用者：4,528人</p>						
15	(評価対象外)鬼ヶ島おにの館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	11,894千円							
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 女木島のフェリー発着所に鬼に関する資料の展示場とフェリーの待合所を兼ねた施設として整備した鬼ヶ島おにの館については、地元の特定非営利活動法人瀬戸内・女木アイランド振興会を指定管理者として管理運営を行った。</p> <p>来館者数 109,661人</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
16	(評価対象外) 香南楽湯管理運営事業 13,894千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課							
		(事業概要、事業実績等) 道の駅「香南楽湯」の物販・レストラン・公衆浴場部分について、(株)創裕を指定管理者として管理運営を行った。 また、同社に委託し、県整備部分(駐車場・手洗い)についても清掃等管理を行った。 利用者数 156,445人						
17	(評価対象外) 道の駅源平の里むれ管理運営事業 1,543千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課							
		(事業概要、事業実績等) 道の駅源平の里むれの物販・レストラン及び産直部分を(株)四国にぎわいネットワークを指定管理者として運営を行った。 また、同社に委託して国整備部分(駐車場・手洗い・情報提供施設)についても清掃等管理を行った。 利用者数 308,687人						
18	(評価対象外) 塩江湯愛の郷センター管理運営事業 12,388千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課							
		(事業概要、事業実績等) 浴場施設(行基の湯)・宿泊施設(自然休養村センター)・道の駅(物産施設)の3施設からなる塩江湯愛の郷センターについては、塩江温泉旅館飲食協同組合を指定管理者として管理運営を行った。 なお、行基の湯に係る改修検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額: 2,549,000円) 施設利用者数 行基の湯 44,933人 道の駅 140,610人 自然休養村センター 784人						
19	(評価対象外) 奥の湯温泉等管理運営事業 30,289千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課							
		(事業概要、事業実績等) 温泉資源を利用した浴場・旅館業施設である奥の湯温泉と豊かな自然と触れ合うことのできるレクリエーションの場を提供する塩江奥の湯公園について、(株)四国にぎわいネットワークを指定管理者として管理運営を行うことで、市民を始め、高松を訪れる観光客に保養及び憩いの場を提供した。 年間利用者数 34,212人 (入浴: 31,582人 宿泊: 2,630人)						
20	(評価対象外) 温泉水給水事業 3,087千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 観光交流課							
		(事業概要、事業実績等) 塩江町上西地区にある奥の湯温泉1号井から塩江地区まで約7キロを給水管を配管して公共施設のほか地域の旅館・ホテルに温泉水を送水した。 送水箇所 9箇所 使用量 9,146トン						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
21	観光案内所管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
				99.3%		A	A	A
	9,697千円	(事業概要、事業実績等) 高松市塩江町を訪れる観光客に、観光情報やその他旅行に関する情報提供を行い、観光客に利便の増進と、満足度の向上に寄与した。 塩江インフォメーションセンター 5,958件						
	創造都市推進局 観光交流課							


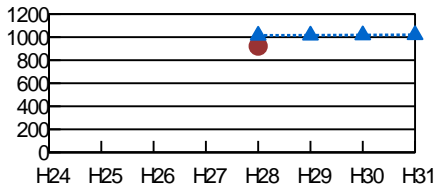

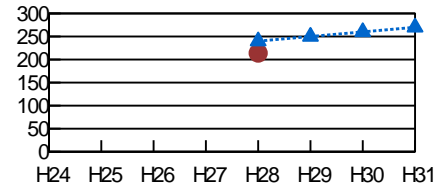
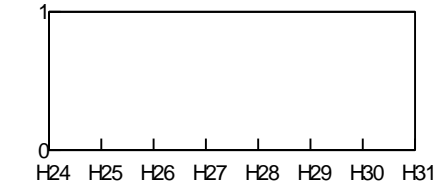
平成28年度 施策の概要調書

施策	観光客誘致の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		325,129千円	A	22.8%	56.0%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	訪れたい観光・MICEの振興
担当局	創造都市推進局、市民政策局

対象	国内外の観光旅行及びMICEを予定している人	意図	本市への観光客及び交流人口が増加する。

概要 (実績)	観光情報発信の強化を図るため、市内5か所に設置した、デジタルサイネージ及びサンポート高松地区エリアや高松中央商店街等において整備した公衆無線LANの運用を行うなど観光情報発信を行った。また、高松市MICE振興戦略を策定した。

成果指標	指標名	まつり・イベント入込客数	H28実績	H28目標	達成度	
			922千人	1,015千人	90.8%	
	状況	目標に届いていないが、今後、補助金交付団体が開催するイベントへの参加人数が増加をするよう支援啓発に取り組む。	達成度の推移			
						
	指標名	コンベンション数	H28実績	H28目標	達成度	
			214件	240件	89.2%	
状況	目標に届いていないため、今後、コンベンション誘致を強化し、コンベンション開催件数を増加させられるよう取り組む。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題	香川県MICE誘致推進協議会の発足など、大規模MICEや政府系MICEの誘致体制の強化が図られている。また、外国人観光客の誘致は大きな成果を収めているが、一過性のものとならないよう、国内からの誘客も含め、効果的な観光情報発信の方法等について検討し、集客に努める必要がある。
-------	--

施策の方向性	平成28年度に策定した高松市MICE振興戦略に基づき(公財)高松観光コンベンション・ビューローや香川県MICE誘致推進協議会等と連携しながら、各種事業を実施し、高松らしいMICE振興を図る。また、新しい高松の魅力を発信する観光宣伝活動を充実させるほか、周辺地域と連携した観光客等誘致政策の拡充に努める。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
1	海外誘客促進事業	特別重点	132.8%	A	A	C	A	継続	
	142,945千円	<p>(事業概要、事業実績等) 香川県と連携し、高松と台北、上海、ソウル、香港、成田を結ぶ航空路利用による観光客誘致を目的として、「ビジッパシ」を推進する。また、本市の観光振興を目的として、(公財)高松観光コンベンション・センターの28年度の結果は、前年比+70.3%となった。</p>							
創造都市推進局 観光交流課									
2	観光案内板整備等事業	重点	98.5%	A	B	B	A	改善継続	
	607千円	<p>(事業概要、事業実績等) 本市が設置する観光案内板等について、観光客の利便性向上を図るため、順次修繕を行った。</p> <p>整備件数 6件</p>							
創造都市推進局 観光交流課									
3	観光客誘致宣伝事業	重点	105.5%	B	A	A	A	継続	
	6,759千円	<p>(事業概要、事業実績等) 本市の観光振興に資するため、総合観光パンフレット等を最新の情報に更新するとともに、増刷した。</p>							
創造都市推進局 観光交流課									
4	観光情報発信・受入態勢整備推進事業	特別重点	132.8%	132.9%	A	A	B	A	改善継続
	29,555千円	<p>(事業概要、事業実績等) 本市の魅力と魅力を海外版インターネット上で発信する「アート・シテイル高松」の新規1店舗等を含めた観光情報発信。また、平成28年3月から前年と比較して、観光客誘致が好調で、手ぶら観光サービス等、外国人観光客受入環境整備事業(平成27年度線越区無業費：4,978,547円)</p>							
創造都市推進局 観光交流課									
5	共同観光宣伝事業	重点	68.9%	A	B	B	B	継続	
	10,492千円	<p>(事業概要、事業実績等) 本市の広域的な観光振興を図るため、近隣他都市等の関係機関と組織している協議会等へ負担金を拠出し、連携・共同して観光PRなどを行った。</p> <p>共同組織(9組織) ・備前観光協議会 ・四国市観光誘致促進協議会 ・高松観光協議会 ・高松観光振興協会 ・高松観光懇談会 ・高松観光推進協議会 ・高松観光協会 ・高松観光観光協議会 ・高松観光観光協議会</p>							
創造都市推進局 観光交流課									

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	国内誘客促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	15,469千円	特別重点	105.8%	A	A	B	A	改善継続
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 昨年度に引き続き航空会社と連携事業に取り組むとともに、高速道路のサービスエリアにパンフレットを設置した結果、市内の主要観光地の入込客数は増加した。</p>						
7	(評価対象外)高松観光プロモーション事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,825千円	<p>(事業概要、事業実績等) 法人及び団体が実施する事業活動で、高松市を中心とした広域連携中枢都市圏の知名度アップなど、観光客集客に資する取組に対して公開プレゼンテーションを経て認定し、補助を行った。</p> <p>実施5事業(応募38事業) ・日仏共同創作公演「空中パフォーマンス「YA!」」 ・ことだまマルチリンガルガイドブック作成 ・「大塚寧々 オトナ旅時間～琉球と瀬戸内海を巡る～」 ・たかまつdiary～瀬戸内の日常を毎日日記として3カ国語で発信します～</p>						
創造都市推進局 観光交流課								
8	MICE振興戦略(仮称)策定事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	7,163千円	特別重点	89.2%	A	A	B	A	完了
市民政策局 政策課		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の最大の特長であるシーフロント等の積極的活用を位置付けるとともに、新たに「高松Tゾーン」構想を掲げるなど、本市ならではのMICE振興を図ることとした、高松市MICE推進戦略を策定した。</p>						
9	観光コンベンション振興推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	107,014千円		103.3%	A	B	B	A	改善継続
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の外郭団体である(公財)高松観光コンベンション・ビューローに対し、年間の運営補助及び全国大会の開催補助を行っている。当財団に対し補助を行うことで、高松シンボルタワーの来場者数が増加し、サポート高松のにぎわいづくりに貢献している。</p> <p>全国大会等開催実績(平成28年度) 大会開催件数 214件 大会参加者数 76,288人</p>						
10	国際観光都市推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	300千円		93.0%	A	B	B	A	継続
創造都市推進局 観光交流課		<p>(事業概要、事業実績等) 国際観光振興機構の賛助会員となり、当機構のウェブサイトを通じて高松の魅力を海外に発信する等の観光誘致宣伝事業を実施した結果、香川・高松ツーリストインフォメーションセンターの外国人利用者が増加した。</p>						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進

総合評価
A

1 政策の概要

国際・国内交流の推進と定住の促進を図るため、海外の姉妹・友好都市等との親善交流や民間団体への助成を通して、国際交流の推進を図るとともに、地域に暮らす全ての人々が文化や習慣の違いを認めながら、共に生活していく多文化共生のまちづくりを進めます。

また、国内の各都市との交流を推進することにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めます。
また、移住フェアでの情報発信や地域おこし協力隊の受入など、移住・交流の促進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
国際・国内交流の推進	96%	A
移住・交流の促進	78%	B
平均	87%	A

3 政策の評価

国際・国内交流の推進と定住の促進に向けて、2施策に取り組んだ。

「国際・国内交流の推進」では、設定する2つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

「移住・交流の促進」では、設定する2つの成果指標のうち、高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数において目標に届かなかったものの、年間社会増については概ね目標を達成しており、施策評価の得点率は78%となった。なお、高松市移住ナビは開設後相当の年数を経過していることもあり改修を予定している。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は87%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足	重要度
国際・国内交流の推進	16.9%	10.6%	40.4%
移住・交流の促進	13.9%	21.0%	58.0%
平均	15.4%	15.8%	49.2%


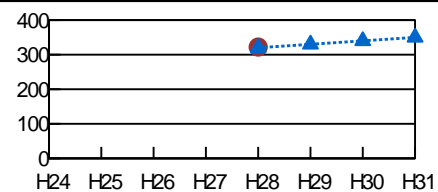

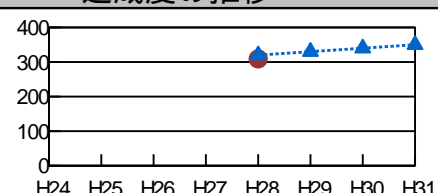
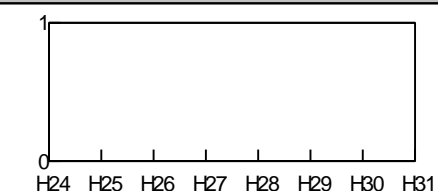
平成28年度 施策の概要調書

施策	国際・国内交流の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		23,837千円	A	満足度	重要度
				16.9%	40.4%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	創造都市推進局

対象	市民	意図	海外の姉妹・友好都市や国内の提携都市等との多彩な交流活動を推進し、国内外の様々な地域との相互理解を深める。

概要 (実績)	国際交流については、姉妹・友好都市等との交流活動を推進し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、(公財)高松市国際交流協会の運営に対する助成を行うことにより、市民レベルでの交流活動を促進した。 また、英語、フランス語、中国語に専門性を有する職員3人を配置し翻訳業務を行うほか、在住外国人への情報提供や市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行った。 国内交流については、都市提携をしている国内の各都市と交流を深めることにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めた。

成果指標	指標名	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	H28実績	H28目標	達成度	
			322人	320人	100.6%	
	状況	高松市国際交流協会や民間団体と協力して、姉妹・友好都市等との交流事業参加者数を増やすことができた。	達成度の推移			
						
指標名	国内の提携都市との交流事業参加者数	H28実績	H28目標	達成度		
		309人	320人	96.6%		
状況	国内の提携都市との交流を図り、交流事業参加者数を増やすことができた。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題	海外の姉妹・友好都市等との交流事業を行い、市民の国際感覚の涵養が図られた。 また、国内交流では、下野市などの提携都市との交流を推進した。 今後は、より多くの市民が交流事業に参加できるよう努めていく。
-------	---

施策の方向性	国際交流については、姉妹・友好都市等との交流を推進することにより、市民が異なる文化や習慣を理解し、尊重し合える国際感覚の醸成を図る。 国内交流については、提携都市との交流事業を推進することにより、人が行きかう、活力あるまちづくりを進める。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	国際交流推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,359千円		107.3%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 都市交流室	(事業概要、事業実績等) 国際交流事業を効果的かつ積極的に推進するため、(公財)高松市国際交流協会の運営に対して助成を行った。また、姉妹・友好都市から英語教師の招へいや親善研修生の相互派遣等を行うほか、トゥール市で開催された第5回日仏自治体交流会議に出席するなど、姉妹・友好都市との親善交流を推進した。						
2	多文化共生推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,070千円		104.1%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 都市交流室	(事業概要、事業実績等) 英語、フランス語、中国語に専門性を有する職員3人を配置し、翻訳業務を行うほか、在住外国人への情報提供や市役所を訪れる外国人に対して通訳支援を行った。						
3	姉妹城都市等観光交流事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,066千円		100.0%	A	B	B	A	改善継続
	創造都市推進局 観光交流課	(事業概要、事業実績等) 姉妹城都市等において開催される観光と物産展等に参加し、本市の観光及び特産品のPRに努めた。 6月4日・5日 金沢市観光と物産展(金沢市) 10月22日・23日 由利本荘市観光と物産展(由利本荘市) 11月3日～6日 姉妹城・親善都市と交流都市の観光と物産展(彦根市) 10月2日・23日 石川県×香川県合同観光PRキャンペーン(大阪市) また、源平合戦にゆかりのある都市が参加する、義経・与一・弁慶・静合同サミット(4月10日、神奈川県鎌倉市開催)に参加した。						
4	(評価対象外)高松市・帯広市 愛と幸福の観光都市交流事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	842千円							
	創造都市推進局 観光交流課	(事業概要、事業実績等) 平成19年度から、帯広市と「愛と幸福の都市交流」と銘打った都市交流を継続しており、高松冬のまつりへの表敬訪問や、物産展等を開催している。平成28年度は、この交流の一環として、「第54回帯広氷まつり」に本市PRブースを出展し、特産品振興・観光振興の両面から、本市のPRを行った。 平成29年2月3日～5日 第54回帯広氷まつり出展(帯広市) 配布パンフレット部数:780部 物販総売上高:137,705円						
5	国内交流推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	500千円		110.0%	A	A	A	A	継続
	創造都市推進局 都市交流室	(事業概要、事業実績等) 貴重な文化遺産と異なる自然環境を持つ、高松市国分寺地域と栃木県下野市との交流事業を行う団体に対し、事業補助金を交付することにより、多彩な地域間交流を支援した。						

平成28年度 施策の概要調査

施策	移住・交流の促進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		17,67万円	B	満足度	重要度
				13.9%	58.0%

まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
政策	国際・国内交流の推進と定住の促進
担当局	市民政策局

対象	市外に居住しており、地方への移住を考えている人	意 図	大都市圏に居住している現役世代層を中心に、本市への移住者を増加させることにより、たかまつ創生総合戦略に掲げる数値目標の一つである「平成31年に1年間の社会増を1,000人」の実現を目指す。

概要（実績）
 平成28年度は、香川県移住・定住推進協議会への参画などの従来の取組に加え、新たに移住促進家賃等補助制度を創設したほか、今後の移住・定住促進方策についての調査研究を行った。
 また、27年度から設置している、地域おこし協力隊については、28年12月から、男木担当の1名が加わり、従来の塩江、女木と合わせて、計3名体制で活動を行った。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	7,491件	10,000件
状況	平成28年度の高松市移住ナビ閲覧件数は目標値の約75%に留まった。 同ナビについては、24年度の開設以後、相当の年数を経過していることから、今後、アクセスする側にとって便利で、より移住後の生活をイメージしやすいサイトとなるよう、改修を行う必要がある。	達成度の推移 		
成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		年間社会増	590人	700人
状況	本市人口の社会動態としては社会増であるものの、目標値を110人下回っており、その内訳として、県内からの転入が多い実態がある。 今後、大都市圏居住者等を対象とした効果的なプロモーション方策を行うことなどにより、県外からの割合を高めていく必要がある。	達成度の推移 		
成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
状況		達成度の推移 		

施策の課題
 本市の平成28年人口動態では、自然減が社会増を上回ったことにより人口減となっていることから、大都市圏居住者等に効果のあるプロモーション等を強化する必要がある。
 また、地域おこし協力隊については、早急に欠員を解消し、計画している、本庁、男木、女木担当各1名、塩江担当2名の、計5名体制とする必要がある。

施策の方向性
 本市における人口減少を抑制する戦略の一環として、たかまつ移住応援隊の移住リーダーを中心とした移住者の受入体制の強化や効果的なプロモーションの実施など、各種の方策を展開することにより、更なる社会増の実現を目指す。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	移住・交流促進事業 10,176千円 市民政策局 政策課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	86.0%	44.0%	A	B	B	C
		<p>(事業概要、事業実績等) 香川県及び県内他市町等とともに構成する香川県移住・定住推進協議会に参画し、先進地の取組事例等の情報収集や大都市圏での情報発信などに取り組んだほか、新たに移住促進家賃等補助制度を創設した。また、たかまつ創生総合戦略に掲げる「平成31年に1年間の社会増を1,000人」の目標達成に向けて、今後の移住・定住促進方策についての調査研究を行った。</p> <p>【移住促進家賃等補助制度の利用実績】 補助交付決定件数 22件</p>						
2	地域おこし協力隊活動事業 7,501千円 市民政策局 地域振興課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	60.0%		B	B	B	C
		<p>(事業概要、事業実績等) 本市の中でも、特に人口減少により地域力が低下している、山間部や島しょ部における地域の活性化に資するため、平成27年度から「地域おこし協力隊」を配置している。 28年度は、前年度から活動を継続している塩江担当、女木担当の隊員に加え、28年12月からは男木担当の1名が加わり、3名体制で、イベント企画・運営や休耕田対策などの地域協力活動を行った。</p>						

(4) 安全で安心して暮らし続けられるまち

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成

総合評価
B

1 政策の概要

安全で安心して暮らせる社会環境の形成を図るため、防災体制の整備・充実により、南海トラフ地震を始めとする各種災害への対応能力の向上を図るとともに、災害・緊急時において、迅速かつ的確に対応できる消防・救急の充実強化や防災・減災対策の充実に努めます。

また、交通事故のない社会を目指し、市民及び警察等関係機関と連携した取組など、交通安全対策の充実に努めます。また、防犯体制の整備や食品・環境衛生対策など生活衛生の向上、消費者の権利保護と自立促進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
消防・救急の充実強化	58%	C
防災・減災対策の充実	100%	A
交通安全対策の充実	93%	A
防犯体制の整備	100%	A
生活衛生の向上	50%	D
消費者の権利保護と自立促進	96%	A
平均	82%	B

3 政策の評価

安全で安心して暮らせる社会環境の形成に向けて、6施策に取り組んだ。

「消防・救急の充実強化」では、設定する2つの成果指標のうち、出火率において目標を達成したものの、救命率については傷病者の容態等さまざまな要因が影響することもあり、目標を大きく下回ったことから、施策の得点率は58%となった。

「防災・減災対策の充実」、「交通安全対策の充実」及び「防犯体制の充実」の3施策では、設定する4つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

「生活衛生の向上」では、設定する2つの成果指標のうち、犬・猫の殺処分率において目標を達成したものの、食品衛生等違反指導率については食品表示法に基づく食品表示基準等の見直しへの対応が十分にできていない事業者が増加したことなどにより目標に届かなかったことから、施策の得点率は50%となった。

「消費者の権利保護と自立促進」では、設定する成果指標について目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は82%となり、政策全体として目指す方向に順調に概ね進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
消防・救急の充実強化	46.0%	6.3%	77.2%
防災・減災対策の充実	26.6%	16.7%	79.2%
交通安全対策の充実	19.6%	34.3%	82.4%
防犯体制の整備	21.9%	23.4%	77.9%
生活衛生の向上	25.5%	10.5%	60.9%
消費者の権利保護と自立促進	17.9%	8.1%	45.3%
平均	26.3%	16.6%	70.5%


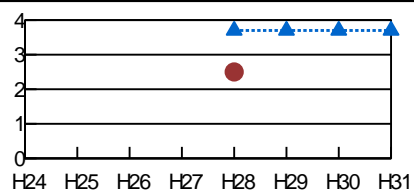

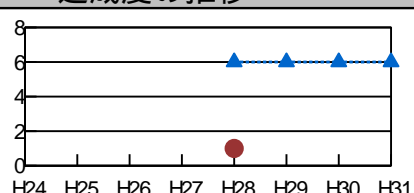
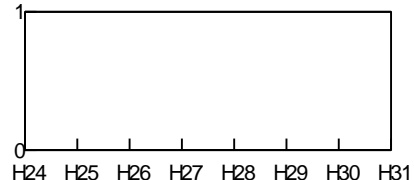
平成28年度 施策の概要調書

施策	消防・救急の充実強化	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		1,605,015千円	C	46.0%	77.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	消防局

対象	市民	意図	生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水 火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被 害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に 行う。

概要（実績）
 「消防体制の整備」においては、計画的な消防施設の整備を行い、総合的な消防力の充実強化を図るため、消防署
 所等適正配置計画に基づき、北消防署朝日分署を移転整備した。
 また、老朽化した消防車両を計画的に更新したほか、東部分団、木太分団第1部、川岡分団消防屯所の整備工事等
 を計画的に行った。
 さらに、高度化・複雑化する各種災害に対し、迅速かつ確に対処できる体制を構築するため、消防指令システム
 端末装置更新に着手するなど、消防体制を充実・強化させた。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		出火率	2.5%	3.7%
状況	住宅用火災警報器の設置率は高松市消防局管内で 80%と年々増加傾向にあり、さらに火災予防広報 の実施によって一般家庭の火気取扱いに係る意識向 上につながったため、出火率が減少した。	達成度の推移		
				
成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		救命率	1%	6%
状況	応急手当普及啓発活動を通じバイスタンダー（救 急現場に居合せた人）の救命処置向上に努めている が、傷病者の容体等さまざまな要因があり救命率の 向上に繋がっていない。	達成度の推移		
				
成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
状況		達成度の推移		

施策の課題
 消防署所等適正配置計画に基づき、消防署所の適正配置・耐震化に取り組むほか、高機能消防指令システム等の整
 備事業を推進するなど、総合的な消防力の充実強化を図りながら、更なるコスト縮減に努める。

施策の方向性
 大規模災害や人口減少社会に対応できるよう引き続き、効果的な消防体制の構築に努める。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	消防緊急情報システム整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	116,409千円	一般重点	94.7%	A	B	B	A	縮小
	消防局 消防局情報指令課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高度化・複雑化する各種災害に対し、迅速かつ的確に対処できる体制を構築するため、消防指令システム端末装置更新に着手した。また、消防救急無線のデジタル化が完了したことから、アナログ無線機器の撤去を行った。なお、消防指令システム端末装置更新については、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：131,315,000円)</p>						
2	(評価対象外) 消防署所管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	130,631千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>消防署所の電気、ガス、水道料、電話料をはじめ、電気工作物等保守点検費、ごみ収集、庁舎等清掃費、庁舎修繕等の経費を支出し、消防力を維持した。</p>						
3	(評価対象外) 消防事務管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	75,281千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>消防事務を円滑に実施するため、非常勤嘱託雇用の報酬をはじめ、職員の福利厚生や被服費、事務に関する経費を支出するとともに、消防施設整備のための消防施設整備基金の利子を積み立て、消防力を維持した。</p>						
4	(評価対象外) 消防業務受託事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	32,865千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>三木・綾川町の消防業務を受託するため、人件費を除いた消防活動に必要な各種経費を支出し、広域的な消防行政を推進した。</p>						
5	(評価対象外) 消防車輛整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	251,323千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>常備消防車両73台と非常備消防車両108台の燃料費、保険料、修繕等を行うとともに、老朽化した消防車両を計画的に更新整備し、消防体制を充実強化した。なお、契約の締結に不測の日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、消防ポンプ自動車購入費の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：44,158,000円)</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	(評価対象外) 消防屯所整備事業 21,713千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 市内97箇所の消防屯所における、建物の老朽度、狭あい度などを総合的に勘案し、計画的に屯所を整備するため、東部分団消防屯所建設工事を行ったほか、木太分団第1部消防屯所の用地購入、川岡分団消防屯所の基本設計業務を行い、消防力を充実させた。検討に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：19,636,000円) また、前年度からの繰越事業である古高松分団第2部消防屯所増築工事等については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：5,685,360円)</p>						
7	(評価対象外) 消防屯所管理事業 7,106千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 市内97箇所の消防屯所の光熱水費、土地賃借料及び施設修繕料など、維持管理に必要な経費を支出し、消防力を維持向上させた。</p>						
8	(評価対象外) 消防水利整備事業 16,517千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 消防水利の基準に基づき、消火活動に必要な消火栓63個を整備し、消防力を向上させた。</p>						
9	(評価対象外) 消防職員研修事業 17,318千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 高度化・複雑化する災害活動に、適切に対応できる消防職員を育成するため、消防大学校及び消防学校に職員を派遣するとともに、救急救命士を養成するための研修に派遣するなど、職員の資質を向上させた。</p>						
10	(評価対象外) 消防活動事業 51,560千円							
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 火災予防・消火防災・救急救助における、災害現場活動に必要な資機材の購入及び修繕などの経費や、各種訓練に必要な費用を支出し、消防力を維持向上させた。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
11	消防署所適正配置整備事業 622,065千円	重点 一般重点	成果達成度	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 「消防署所等適正配置計画」に基づき、北消防署朝日分署の移転整備を行い、計画的に消防署所の適正配置事業を推進することにより、消防力を充実強化し、安全で安心できる生活環境を整備した。また、北消防署朝日分署整備事業については、建設工事に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：5,025,000円) また、前年度からの繰越事業である北消防署朝日分署建設工事等については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：90,636,640円)</p>						
12	(評価対象外) 消防団活動推進事業 228,770千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 消防団活動に必要な報酬及び旅費をはじめ、退職・災害補償及び福祉共済に関する経費や、団員の研修、表彰、被服費等を支出することにより、地域防災力を維持した。</p>						
13	(評価対象外) 救急艇等管理事業 33,457千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	消防局 消防局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 女木・男木・大島などの本市島しょ部における、迅速な救急搬送体制を構築するため、救急艇を運航する船長等の報酬をはじめ、燃料、修繕費及び保険料などを支出し、消防力を向上させた。</p>						

平成28年度 施策の概要調書

施策	防災・減災対策の充実
----	------------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
2,372,035千円	A	26.6%	79.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	総務局、財政局、都市整備局、教育局、消防局

対象	市民等	意図	市民等の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策の充実を図る。
----	-----	----	--

概要（実績）
 災害発生時における本市の拠点施設とするため、常設の災害対策本部機能を備えた高松市防災合同庁舎（危機管理センター）の整備に向け、工事を着実に進めるとともに、高機能消防指令システム等の関連システム整備に取り組んだ。また、災害情報や避難に関する情報などを発信するため、防災ラジオの普及促進に努めた。避難所機能を維持するため、避難所となっている学校施設の非構造部分の耐震化を行うほか、公共施設や耐震診断を義務化された建築物などの耐震化に取り組んだ。防災訓練で使用する非常食品を助成するなどして、各地域における訓練の実施を推進したことにより、訓練の実施率が向上した。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度																								
		地域における防災訓練の実施率	95%	65%	146.2%																							
状況	防災訓練で使用する非常食品を助成するなどして、地域における訓練の実施を推進したところ、訓練の実施率が向上した。	達成度の推移																										
		<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th><th>目標</th></tr> <tr><td>H24</td><td>95%</td><td>65%</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>95%</td><td>65%</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr> </table>			年度	実績	目標	H24	95%	65%	H25			H26			H27			H28	95%	65%	H29			H30		
年度	実績	目標																										
H24	95%	65%																										
H25																												
H26																												
H27																												
H28	95%	65%																										
H29																												
H30																												
H31																												
指標名	状況	H28実績	H28目標	達成度																								
状況		達成度の推移																										
		<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th><th>目標</th></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr> </table>			年度	実績	目標	H24			H25			H26			H27			H28			H29			H30		
年度	実績	目標																										
H24																												
H25																												
H26																												
H27																												
H28																												
H29																												
H30																												
H31																												
指標名	状況	H28実績	H28目標	達成度																								
状況		達成度の推移																										
		<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績</th><th>目標</th></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr> </table>			年度	実績	目標	H24			H25			H26			H27			H28			H29			H30		
年度	実績	目標																										
H24																												
H25																												
H26																												
H27																												
H28																												
H29																												
H30																												
H31																												

施策の課題
 【総務局】災害時の緊急放送体制の整備【財政局】高松市防災合同庁舎（危機管理センター）の早期整備【都市整備局】大雨の発生頻度が高まっており、県と連携した急傾斜地崩壊防止事業を推進する必要がある。また、住宅・建築物の補助制度を活用した耐震化を促進する必要がある。【消防局】全ての地域で防災訓練の実施を目指すとともに避難所運営などの実効性のある訓練の実施促進【教育局】中学校の全面改築が完了し、小・中・高松第一高等学校の耐震化は終了した。今後は、非構造部材の耐震化について適切に対応していきたい。

施策の方向性
 安全で安心して暮らせる環境整備のため、着実に各事業を継続し実施する。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	危機管理センター（仮称）等整備事業 1,229,219千円	重点 一般重点	成果達成度 88.3%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	財政局 危機管理センター整備室	（事業概要、事業実績等） 常設の災害対策本部機能を引き継ぎ、高松市防合同庁舎（危機管理センター）をシステム等建設工事の日に一部を翌年度に繰り越した。また、平成27年度繰り越した事業費（平成27年度繰り越明許事業費：60,270,000円）は完了した。						
2	MCA移動系無線・衛星携帯電話整備事業 11,740千円	重点 一般重点	成果達成度 100.0%	妥当性 A	有効性 B	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 完了
	総務局 危機管理課	（事業概要、事業実績等） 老朽化した移動系防災行政無線の更新に当たり、MCA無線通信システムを導入した。						
3	デジタル式同報系防災行政無線整備事業 126,358千円	重点 一般重点	成果達成度 111.9%	妥当性 A	有効性 B	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	総務局 危機管理課	（事業概要、事業実績等） 市民の災害情報等を迅速に伝達し、被害の軽減を図るため、旧高松市及び旧合併町のアナログ式同報系とデジタル式同報系との関係と連携のため、平成26年度から関係機関との協議を進め、平成27年度に事業の完了が不可能となったため、事業費の一部を翌年度に繰り越した。また、平成27年度繰り越した事業費（平成27年度繰り越明許事業費：37,840,000円）は完了した。						
4	（評価対象外）防災行政無線事業 22,305千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課	（事業概要、事業実績等） 同報系デジタル式防災行政無線及び旧合併町のアナログ式防災行政無線の保守点検を実施した。						
5	住宅建築物耐震改修等事業 220,310千円	重点 一般重点	成果達成度 94.6% 104.8%	妥当性 A	有効性 B	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	都市整備局 建築指導課	（事業概要、事業実績等） 住宅・建築物の耐震化を促進し、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的・経済的被害を軽減するため、住宅のほか、緊急輸送道路沿いや耐震診断が義務化された民間建築物に対し、耐震診断、耐震改修等に要する費用の一部を助成した。なお、民間主体の事業の遅れにより、年度内の完了が不可能となった事業の一部を翌年度に繰り越した。また、平成27年度繰り越した事業費（平成27年度繰り越明許事業費：154,989,000円）は完了した。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	鉄道施設安全対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	28,648千円	一般重点	100.0%	100.0%	A	A	B	A
	都市整備局 都市計画課	<p>(事業概要、事業実績等) 鉄道事業者が実施する緊急輸送路と交差する鉄道施設の耐震補強及び老朽化施設の長寿命化事業に要する費用の軽減に寄与した。 ・耐震補強 栗林第2高架道橋(柱耐震補強) ・長寿命化 栗林山高架道橋(高欄改良 L=304.7m) 仏生山高架道橋(塗装)</p>						
7	急傾斜地崩壊防止事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	32,887千円		102.9%		A	A	B	A
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 香川県急傾斜地崩壊防止対策事業に補助要綱に基づき採択基準に合致した市内1箇所において、急傾斜地崩壊防止対策工事を実施した。また、香川県が実施する急傾斜地崩壊防止対策事業に對し、費用の一部を負担した。なお、香川県が実施する急傾斜地崩壊防止対策事業については、事業主体である香川となつたため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,270,000円) (また、前年度から繰り越した小・中学校施設耐震化事業分については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：10,481,308円)</p>						
8	小・中学校施設天井等落下防止対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	653,748千円	特別重点	100.0%		A	A	B	A
	教育局 教育局総務課	<p>(事業概要、事業実績等) 児童・生徒の安全を確保するため、屋内運動場や柔剣道場の天井などの非構造部材の耐震化を行った。なお、改修方法の検討に時間を要したことなどにより、小・中学校施設耐震化事業費の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：354,790,000円) (また、前年度から繰り越した小・中学校施設耐震化事業分については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：651,158,772円)</p>						
9	(評価対象外)水防対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	27,514千円							
	都市整備局 河港課	<p>(事業概要、事業実績等) 水防法に基づき市域内の水防責任を十分に果たすため、水防本部を設置し、水災害の軽減を図るため水防活動を推進したほか、水防用資機材の購入整備及び管理水防倉庫の修繕を実施し、安全で安心して暮らせる環境整備に寄与した。</p>						
10	自主防災組織等育成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,202千円	一般重点	138.3%		A	A	A	A
	消防局 消防局予防課	<p>(事業概要、事業実績等) 自主防災組織が主導で実施する防災訓練に非常食品を助成することにより、防災訓練の実施促進に寄与した。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外) 国民保護推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課							
		(事業概要、事業実績等) 高松市国民保護計画について、修正等の必要が生じた場合には、高松市国民保護協議会を開催するとともに、その内容を広く市民へ周知するため、広報たがまつ及び市ホームページなどで掲載する。						
12	地域防災対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課		54.0%	B	B	B	C	改善継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市地域防災計画の震災対策編に基づき、震災対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図るため、大地震を想定した震災対策総合訓練を、亀卓小学校において、47機関・団体、地域住民約800人が参加し実施した。						
		598千円						
13	(評価対象外) 地域防災計画見直し事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課							
		(事業概要、事業実績等) 高松市土砂災害ハザードマップ作成業務委託の契約を行ったが、関係機関等との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：10,282,000円)						
14	(評価対象外) 地震災害等救援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課							
		(事業概要、事業実績等) 平成28年に発生した熊本地震及び鳥取県中部地震の被災地へ職員派遣を行った。						
		12,489千円						
15	(評価対象外) 防災事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 危機管理課							
		(事業概要、事業実績等) 災害時に迅速に避難が行えるよう、指定避難所となる市立小・中学校などの標識修繕等の維持管理を行った。						
		2,017千円						


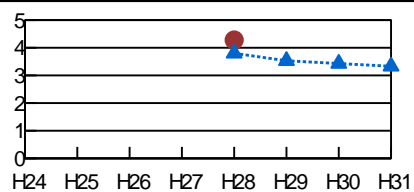

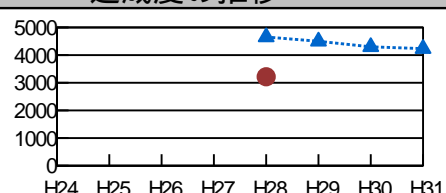
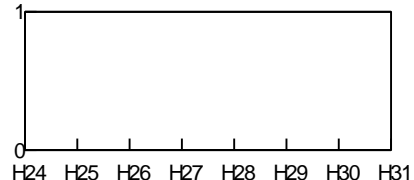
平成 2 8 年度 施策の概要調書

施策	交通安全対策の充実	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		142,696千円	A	19.6%	82.4%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	市民	意図	交通安全教育・啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図り、市民が道路を安心して、安全に通行できる環境を整える。

概要（実績）
 高松市交通安全都市推進協議会や交通安全母の会連絡協議会等の交通安全活動団体に対して助成を行ったほか、交通安全教室（1,337回）や交通安全フェアの開催、交通安全啓発街頭キャンペーン（86回）の実施や高齢者運転免許証返納促進事業（1,083人）を実施したことにより、市民の交通安全意識の向上と、高齢者の交通事故防止に寄与した。
 また、道路反射鏡（カーブミラー）などの交通安全施設を整備したほか、番町地下道や荷捌き駐車スペースの管理を関係機関と連携して行うとともに、放置自動車対策にも取り組むなど、交通環境を整備した。
 このほか、交通事故相談（381件）を実施したことにより、市民の安心な生活の確保に寄与した。

成果指標	指標名	人口10万人当たりの交通事故による死者数	H28実績	H28目標	達成度	
			4.28人	3.8人	87.4%	
	状況	交通事故による死者数は、平成27年の21人から28年は18人と3人減少したものの、目標値には達していないため、引き続き、交通安全教育・啓発の推進と交通環境の整備を推進していく。	達成度の推移			
						
指標名	交通事故発生件数	H28実績	H28目標	達成度		
		3,217件	4,655件	130.9%		
状況	平成18年をピークに交通事故発生件数は年々減少しており、平成28年も対前年比90%の件数と順調に推移している。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題
 【市民政策局・都市整備局】高齢者に対する交通安全対策を推進するとともに、地域との協働で交通マナーの一層の向上に取り組んでいるほか、交通安全施設整備による安全対策を図るなど、安全な道路環境整備を推進している。
 今後も、交通安全教育や啓発活動に取り組むとともに、道路環境整備の効果的な推進により、交通事故防止に努める必要がある。

施策の方向性
 市民満足度調査において不満度が高い現状も踏まえ、引き続き、交通安全対策の充実に向け、各種事業を推進していく。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	交通安全教育等推進事業 26,157千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 くらし安全安心課		95.0%	88.9%	A	B	B	A
		(事業概要、事業実績等) 高松市交通安全都市推進協議会等に助成を行うほか、市内の小・中学生、幼稚園児など交通安全教室の開催や、その交通安全意識の向上につなげた。 【交通安全教室1,337回開催】						
2	交通安全啓発推進事業 1,729千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 くらし安全安心課		83.3%	103.4%	B	B	B	B
		(事業概要、事業実績等) 交通安全フェアの開催のほか、市内一斉の交通安全啓発街頭キャンペーンの実施や交通安全フェアの管理を行い、市民の交通安全意識の向上につなげた。 【交通安全フェア参加者約30,000人】 【交通安全フェア街頭キャンペーン86回実施】 【県下統一交通安全啓発街頭キャンペーン3回実施】						
3	交通事故相談事業 2,545千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 くらし安全安心課		95.3%		B	B	B	A
		(事業概要、事業実績等) 交通事故相談を実施し、交通事故による悩みやトラブルに適切な助言を行い、市民の安心な生活の確保につなげた。 【交通事故相談381件】						
4	高齢者交通安全啓発推進事業 9,924千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 くらし安全安心課	特別重点	105.1%	88.9%	A	B	C	A
		(事業概要、事業実績等) 高齢者を対象としたシルバードライバーズスクールや高齢者交通安全自転車大会など交通安全教室を開催したほか、高齢者向け交通安全冊子を作成するなど、高齢者の交通安全意識の向上につなげた。 また、高齢者の運転免許返納促進事業の実施により、高齢者の自動車運転中の交通事故発生抑制に寄与した。 【高齢者運転免許返納促進事業申請者数1,083人】						
5	(評価対象外)交通安全施設整備事業 99,557千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路管理課							
		(事業概要、事業実績等) 交通安全施設整備事業については、道路反射鏡(カーブミラー)、防護柵、道路区画線、道路照明灯など交通安全施設の設置及び補修したことにより、交通安全対策を充実させた。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	放置自動車等対策事業 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
						A	B	B
		(事業概要、事業実績等) 対象となる放置自動車がなかったことから、廃物判定委員会は開催しなかったが、放置自動車の発生防止に関する指導、啓発を実施したことにより、公共の場所における機能の保全と生活環境の維持向上に寄与した。						
7	違法駐車防止対策事業 23千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			103.2%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 違法駐車防止重点地域に指定する5路線及び周辺8路線を含めた市街地中心部において、定期的に違法駐車の状態を調査するとともに、関係機関と協力して啓発活動を実施した。また、荷捌き駐車スペース及びタクシーベイの管理等に関係機関と連携して取り組むとともに、利用促進に向けた情報の発信を実施したことにより、違法駐車防止に寄与した。なお、関係機関との調整に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,300,000円)						
8	(評価対象外)番町地下道管理事業 2,553千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) クリエイティブ高松・中央通りプロムナード事業により整備された番町地下道において、エレベーター監視設備やモニタリング類の保守点検業務を実施したことにより、安全な歩行空間の確保、憩い・安らぎの場の提供に寄与した。						

平成28年度 施策の概要調書

施策	防犯体制の整備	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		148,849千円	A	満足度	重要度
				21.9%	77.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局


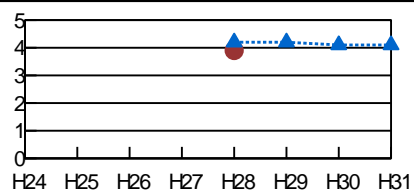
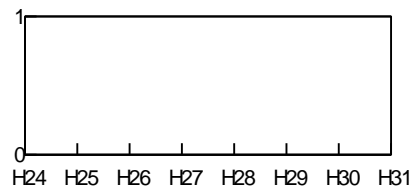
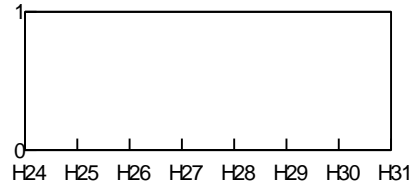
対象	市民	意 図	犯罪の未然防止や、犯罪などを発生させない環境づくりを推進し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組むとともに、各地域コミュニティ協議会が主体となった防犯活動を活性化する。

概要（実績）

防犯活動を行う地域コミュニティ協議会に対する防犯器材等の購入経費の助成や、香川県警が設置し、地域コミュニティ協議会が管理している防犯カメラ等の電気料金の助成を行ったことにより、安全で安心なまちづくりに寄与した。

地域の単位自治会が管理する防犯灯のLED化を促進し、新設、移設などに係る経費や、電気料金など維持管理に必要な経費の助成を高松市連合自治会連絡協議会に対して行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。

防犯協会の行う防犯活動事業に対する補助金の交付を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を交付した。

成果指標	指標名	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	H28実績	H28目標	達成度	
			3.9件	4.2件	107.1%	
	状況	全国の刑法犯認知件数は前年比9.4%減で14年連続の減少となっている。	達成度の推移			
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題

高齢者世帯が増加し、単位自治会への加入率も低下する中、地域自ら防犯意識の高揚を図り、地域が主体となった防犯体制を整備する必要がある。

施策の方向性

犯罪の未然防止や犯罪などを発生させない環境づくりを一層進めるため、引き続き、地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設や維持管理に要する費用に対し、支援を行うほか、防犯協会とも連携し、防犯意識の高揚を図るための取り組みを推進していく。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	防犯活動推進事業 980千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		特別重点	57.0%		A	B	B	C
	市民政策局 くらし安全安心課	(事業概要、事業実績等) 青色回転灯付車両による防犯パトロールを実施している1地区コミュニティ協議会に対して補助金を交付した。また、県警が推進する防犯カメラ等に係る電気料金について、地域コミュニティ協議会に対して助成を行った。						
2	防犯組織・環境整備事業 147,869千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			106.7%		A	A	B	A
	市民政策局 くらし安全安心課	(事業概要、事業実績等) 防犯協会の行う防犯活動事業に対する補助金の交付を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター・公益社団法人かがわ被害者支援センターへの負担金を交付した。地域の単位自治会が管理する防犯灯のLED化を促進し、新設、移設などに係る経費や、電気料金など維持管理に必要な経費の助成を高松市連合自治会連絡協議会に対して行ったことにより、夜間における犯罪の防止と通行の安全に寄与した。 防犯灯の新設 2,248灯 防犯灯のLEDへの切替 2,541灯						


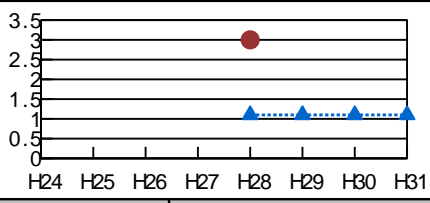

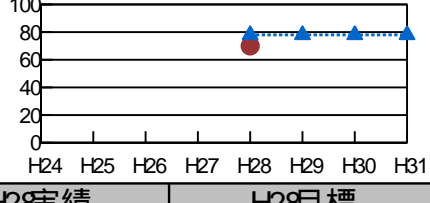
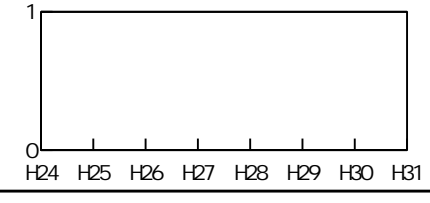
平成28年度 施策の概要調書

施策	生活衛生の向上	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		474,175千円	D	満足度	重要度
				25.5%	60.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	健康福祉局、市民政策局

対象	市民	意図	飲食店営業施設等の食品関係営業施設や毒物劇物営業施設、旅館業営業施設等諸営業施設、ペットショップ等の動物取扱施設における監視・指導や流通食品の収去検査等を行うことにより衛生水準の向上に努め、安全で快適な市民生活の推進に寄与する。
----	----	----	--

概要(実績)	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生監視指導事業 衛生試験検査事業 食肉衛生検査事業 毒物劇物監視指導事業 動物愛護管理事業 環境衛生諸営業等監視指導事業 	<ul style="list-style-type: none"> 食品営業施設の監視件数：6,365件 食品の収去等検査件数：677件 と畜検査頭数：9,807頭 毒物劇物販売業者等への監視件数：237件 動物愛護推進員数：24人 環境諸営業監視件数：333件
--------	--	--

成果指標	指標名	食品衛生等違反指導率	H28実績	H28目標	達成度	
			3%	1.1%	0.0%	
	状況	飲食店営業施設等への監視・指導や食品の収去・検査を実施したが、食品表示法の施行により、食品表示基準等の見直しが行われたことなどから、指導件数が増加し、目標値は達成できなかった。	達成度の推移			
						
	指標名	犬・猫の殺処分率	H28実績	H28目標	達成度	
			70%	78%	110.3%	
状況	収容された犬・猫の返還・譲渡数が増加したことにより、殺処分率が減少し、目標値は達成できた。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題	<p>【市民政策局】墓地環境の適正な維持管理、及び墓所需要に応じた墓所の供給が求められている。また、施設の適正な維持管理により、斎場業務を円滑に実施するほか、市民葬儀のあり方を検討し、適切に事業を実施する。</p> <p>【健康福祉局】食に関する市民の関心が高まったことから、食品の安全確保対策を、より一層強化するほか、各種衛生対策や動物愛護の普及啓発等を積極的に実施する。</p>
-------	---

施策の方向性	食品衛生法に基づく各種営業施設等に対する監視・指導などの食品衛生対策を推進するほか、動物愛護の推進や墓地、斎場の安定的な維持・運営等を実施することにより、引き続き、生活衛生の向上に取り組んでいく。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 食品衛生監視指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	20,905千円	<p>(事業概要、事業実績等) 飲食店(営業施設等)に対する監視指導や食品の回収・検査を実施し、食品による事故(食中毒等)を防止するとともに、家庭用品の買上げ検査を実施し、家庭用品による健康被害の防止に寄与した。</p>						
健康福祉局 生活衛生課								
2	(評価対象外) 食肉衛生検査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	22,201千円	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市食肉センターで処理される獣畜のと畜検査及びと畜場の衛生指導を行い、安全な食肉の流通に寄与した。また、食鳥処理場に対して立ち入り検査を行い、施設の衛生的管理及び食鳥肉の衛生確保に指導を立付けた。さらに、高松市食肉センターで処理される牛のうち、BSE(牛海綿状脳症)検査対象牛についてスクリーニング検査を実施し、BSEに感染した牛が食肉として流通しないよう努め、食肉衛生の向上に寄与した。</p>						
健康福祉局 生活衛生課								
3	(評価対象外) 衛生試験検査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	15,886千円	<p>(事業概要、事業実績等) 食品衛生法に基づき、高松市内で製造又は流通する食品、輸入食品の理化学・微生物の検査を実施し、有害物質を含む食料品や家庭用品の理化学検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。また、有害物質を含む食料品や家庭用品の理化学検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。また、有害物質を含む食料品や家庭用品の理化学検査を実施し、健康被害の防止に寄与した。</p>						
健康福祉局 生活衛生課								
4	(評価対象外) 毒物劇物監視指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,382千円	<p>(事業概要、事業実績等) 毒物及び劇物取締法に基づき、保健衛生上の見地から毒物劇物販売業者等の登録申請・届出に対する審査及び監視指導を実施することにより、毒物劇物の適正な販売及び管理等の体制を確保し、保健衛生上の危害の未然防止に寄与した。</p>						
健康福祉局 生活衛生課								
5	害虫駆除事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	34,336千円			A	B	A	A	継続
健康福祉局 生活衛生課		<p>(事業概要、事業実績等) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき、市内の用排水路等に薬剤散布を行い、害虫駆除を実施したことにより、快適な生活環境の確保に寄与した。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	公衆浴場施設改善事業等助成事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,014千円		100.0%	A	B	B	A	継続
健康福祉局 生活衛生課		<p>(事業概要、事業実績等) 公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律に基づき、物価統制令の適用を受ける公衆浴場の営業者に対し、使用した湯屋水道料金の2分の1を間接補助した。また、高松公衆浴場組合が実施する公衆浴場活性化事業に対して補助するとともに、公衆浴場の施設改善を行う営業者に対して補助対象限度額の3分の2以内を補助し、公衆浴場の経営の安定化に寄与した。</p>						
7	(評価対象外)水道施設等衛生管理指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,015千円							
健康福祉局 生活衛生課		<p>(事業概要、事業実績等) 簡易水道・簡易専用水道の設置者及び飲用井戸等を利用する者に対し、水道施設立入検査、簡易専用水道届出受付、水道水の水質定期検査及び飲用井戸等の水質検査を実施することにより、飲料水の衛生の向上に寄与した。</p>						
8	(評価対象外)環境衛生諸営業等監視指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	967千円							
健康福祉局 生活衛生課		<p>(事業概要、事業実績等) 旅館・興行場、公衆浴場、理容所・美容所、クリーニング所及び特定建築物の各施設に対し、関係法に基づき監視・指導等を行い、環境衛生の向上に寄与した。</p>						
9	(評価対象外)動物愛護管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	67,850千円							
健康福祉局 生活衛生課		<p>(事業概要、事業実績等) 犬の登録や狂犬病予防注射業務を実施したほか、野犬等の捕獲について、捕獲箱等による住民の協力や啓発活動などを実施した。また、適正飼養や不妊去勢手術等にさらなる動物に関する苦情相談等に対応するため、適正な飼育方法についての啓発活動と犬猫の不妊去勢手術費用補助金をおお、搬送の調達の必要を要し、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：2,752,000円)</p>						
10	動物愛護センター整備等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	19,793千円	特別重点	114.8%	83.3%	A	A	B	A
健康福祉局 生活衛生課		<p>(事業概要、事業実績等) 犬猫の殺処分数の減少に向け、動物愛護思想の普及や啓発や犬猫の返還・譲渡を推進するため、香川県と共同で進めている動物愛護センターの整備において、整備用地の造成工事や施設に基き実施した計画などにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：34,134,000円)</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
11	市民葬儀事業 12,446千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 市民やすらぎ課		96.4%	B	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 葬儀に対する経済的負担の軽減を図るため、市が葬儀の種類及び料金を定め、市民葬儀取扱指定業者に取り扱わせた。また、霊柩車運行料を補助し、火葬料及び市斎場の式場使用料(一定時間)を免除した。 市民葬儀利用件数 564件						
12	(評価対象外) 斎場等管理運営事業 138,103千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 市民やすらぎ課							
		(事業概要、事業実績等) 斎場公園ほか5施設の斎場業務等を円滑に実施するため、斎場公園の収骨室空調機撤去・更新工事や牟礼斎場の火葬炉設備修繕工事等を実施し、施設の適正な維持管理を行った。 火葬件数(人体のみ) 4,370件(市民葬儀利用分を含む。)						
13	墓園・墓地整備事業 84,841千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 市民やすらぎ課		88.8%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 市民の墓所需要に応じ、新規区画の整備や無縁墳墓の移転改葬を行い、安定的な墓所を供給することにより、良好な環境衛生を保持し、住民福祉の向上に寄与した。 なお、契約の締結に不測の日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額: 6,308,000円) また、前年度からの繰越事業である姥ヶ池東墓地の無縁墳墓改葬工事(第3期)及び平和公園墓園区画造成工事については、平成28年8月末に完了した。 (平成27年度繰越明許事業費: 77,195,600円)						
14	(評価対象外) 墓園・墓地管理事業 45,436千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 市民やすらぎ課							
		(事業概要、事業実績等) 市営墓園を適切に維持・管理するため、清掃、塵芥収集、植栽の剪定等を定期的に実施するとともに、施設の修繕等を行った。						

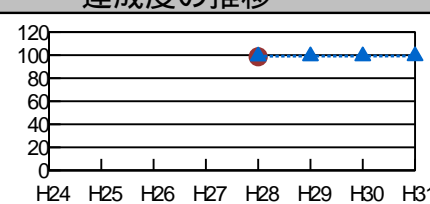

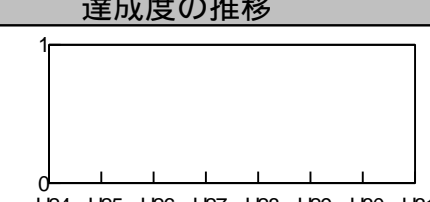
平成28年度 施策の概要調書

施策	消費者の権利保護と自立促進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		14,572千円	A	満足度	重要度
				17.9%	45.3%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
担当局	市民政策局

対象	市民	意図	消費者が安心・安全に暮らせるために、賢い消費者として自立促進を行う。
----	----	----	------------------------------------

概要（実績）
 第33回消費者ウィーク・第38回暮らしをみなおす市民のつどい、消費者月間記念講演会、夏休み親子消費者教室、多重債務問題研究会及び出前講座等の各種啓発事業を実施するとともに、消費者団体への支援を行い自立した賢い消費生活相談においても利用した覚えのない有料サイト等の未納料金と称して高額な料金を請求される「架空請求」をはじめとする「不当請求」に関する苦情・被害への対応だけでなく、相談員の助言・情報提供等により相談者自身で自主的に対応出来る賢い消費者を増やし、振り込め詐欺等防止の為、市広報、市ホームページ、CATVなどにより啓発を行った。また、環境に対する省資源意識の向上を図るため、廃食油収集ステーションを23か所（収集日数96日）設置、6,732リットル（前年度比5.1%増）を収集した。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		消費生活相談における解決割合	98.6%	99.1%
	状況	全体の相談件数は、ここ数年増加している。相談内容も、多様化・複雑化していることから、最新の傾向を把握し、消費者に対し適切な助言等の対応が必要である。また、相談員が、適切な助言等を行えるよう研修等に参加し相談業務等のスキルアップを行う。なお、成果指標の達成度は、ほぼ、達成出来た。		
	指標名	H28実績	H28目標	達成度
	状況	達成度の推移		
	指標名	H28実績	H28目標	達成度
	状況	達成度の推移		

施策の課題
 今後も消費者団体を支援しながら、より連携を強化していく。また、年々手口が巧妙化している悪質商法に対応できるよう、消費生活センターの相談体制堅持及び機能強化を行い、消費生活における安全安心を確保していくことが求められる。

施策の方向性
 消費者の利益の確保及び消費者被害のより一層の救済を目指す。そのために、消費者が参加できるイベント・機会の提供、消費生活相談員による相談事業はもとより、出前講座の実施及び消費者団体の支援等を実施し、賢い消費者の育成を行い、消費者保護を推進していく。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1	(評価対象外)消費生活相談事業 10,044千円 市民政策局 くらし安全安心課					
		(事業概要、事業実績等) 賢い消費者の育成とともに消費生活相談員による消費生活全般に関して相談を実施し、商品・サービスの購入等で生じたトラブルの解消、及び消費者から寄せられた苦情・意見・要望を的確に把握し消費者保護を行った。						
2	(評価対象外)計量検査事業 1,145千円 市民政策局 くらし安全安心課							
		(事業概要、事業実績等) 計量法等に基づき、特定計量器の定期検査、立入検査等を行った。						
3	消費者啓発事業 1,839千円 市民政策局 くらし安全安心課		107.0%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 質の高い消費生活の実現や消費生活の安定・向上を行うため、記念講演会、消費生活啓発パネル展等を開催し、環境、食生活、省資源、省エネルギーなど暮らしの問題について、消費者が考える機会を提供した。						
4	消費者団体支援事業 1,300千円 市民政策局 くらし安全安心課		277.4%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 市民の消費生活に関する各種の調査・研究の諸活動や啓発活動を推進するとともに、市民の消費生活の安定と向上及び加入団体相互の交流を行うため、消費者団体への支援をした。						
5	廃食油収集事業 244千円 市民政策局 くらし安全安心課		96.4%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 省資源意識の向上と環境汚染防止のため、廃食油収集ステーションを設置し廃食油収集を実施し、廃食油収集量の増加を行った。						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成

総合評価
A

1 政策の概要

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を図るため、ごみの減量と再資源化を推進するとともに、一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止に努めます。

また、環境保全意識の啓発等の環境保全活動を推進するとともに、再生可能エネルギーの利用促進などの地球温暖化対策を行い、低炭素社会の構築を目指します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
ごみの減量と再資源化の推進	95%	A
廃棄物の適正処理	100%	A
不法投棄の防止	100%	A
地球温暖化対策の推進	100%	A
環境保全活動の推進	100%	A
平均	99%	A

3 政策の評価

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成に向けて、5施策に取り組んだ。「ごみの減量と再資源化の推進」、「廃棄物の適正処理」、「不法投棄の防止」、「地球温暖化対策の推進」及び「環境保全活動の推進」の5施策では、設定する9つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
ごみの減量と再資源化の推進	37.7%	11.3%	69.2%
廃棄物の適正処理	31.6%	11.4%	65.5%
不法投棄の防止	22.9%	20.9%	66.1%
地球温暖化対策の推進	14.5%	13.4%	56.6%
環境保全活動の推進	18.9%	11.6%	54.0%
平均	25.1%	13.7%	62.3%

平成28年度 施策の概要調書

施策	ごみの減量と再資源化の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		374,874千円	A	満足度	重要度
				37.7%	69.2%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	ごみを排出する市内の家庭や事業所	意図	ごみの減量と再資源化の推進により、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。
----	------------------	----	--

概要（実績）
 まず、家庭系ごみ減量推進事業では、生ごみ処理機等の購入補助の結果、対前年度比で36基、15.7ポイントの増加となった。次に、事業系ごみ減量推進事業では、事業系一般廃棄物減量等計画書でのリサイクル率は、5年前締結事業者の店舗入口等への設置により、恒常的な意識啓発に効果があった。第3に、レジ袋等削減推進事業では、店舗内告知看板の協定締結の4種類に、「超特小」を加えて、5種類での運用を開始した結果、高齢者等ごみ排出量の少ない世帯の利便性が向上した。第5に、小型家電等リサイクル推進事業では、使用済小型家電の回収の結果、埋立ゴミの減量化と希少金属等の再資源化に効果があった。第6に、ごみ減量・資源化啓発事業では、新たに「ごみ分別アプリ」の配信開始の結果、成果指標の100パーセント目標を達成した。最後に、ごみ再資源化事業では、家庭系資源ごみの再資源化の1人1日当たりの資源化量は93.2%の達成率となった。

成果指標	指標名	1人1日当たりのごみ排出量	H28実績	H28目標	達成度	
			937g / 人・日	950g / 人・日	101.4%	
	状況	1人1日当たりのごみ排出量は、施策構成基本事業と事務事業の積極的かつ継続的推進と市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識の向上等により、平成28年度目標値950g / 人・日に対して、実績値は937g / 人・日となり、目標達成度は、101.4%であった。	達成度の推移 			
成果指標	指標名	1人1日当たりの資源化量	H28実績	H28目標	達成度	
			193g / 人・日	207g / 人・日	93.2%	
	状況	1人1日当たりの資源化量は、施策構成基本事業と事務事業の積極的かつ継続的推進と市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識の向上等により、平成28年度目標値207g / 人・日に対して、実績値は、193g / 人・日となり、目標達成度は、93.2%であった。	達成度の推移 			
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度	
	状況					

施策の課題
 市民・事業者の「ごみの減量と再資源化の推進」に対する意識の向上と分別の徹底等により、さらにごみの減量と再資源化を進める必要がある。

施策の方向性
 引き続き、「ごみの減量と再資源化の推進」に積極的に取り組むことにより、環境への負荷の低減と限りある資源の有効利用を通じて、上位目標である政策「環境と共生する持続可能な循環型社会の形成」を目指す。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	家庭系ごみ減量推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,536千円		115.8%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 家庭から出る生ごみの減量化を指標とし、生ごみ処理機等266基に対して購 入補助を行ったことにより、活動指標である成果指標は、対前年度比で36基、 15.7ポイントの増加となった。また、成果指標は、対前年度比で4,215kg上 回は、成果目標値の26933kgを4,215kg上回り、115.6パーセントの目標達成度とな った。						
環境局 環境保全推進課								
2	事業系ごみ減量推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4千円		100.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者(多量排出 事業者)に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めたところ、廃 棄物リサイクル率は、5年前の51.9%に対して、13ポイント増の64.9 %で、中期目標値の66.0%に対しても98.3%の達成率を示した。						
環境局 環境保全推進課								
3	レジ袋等削減推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	0千円		100.7%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 買い物袋持参によるレジ袋の削減を効果的に推進するため、店舗内告知用看板 を作製し、協定締結事業者の店舗入口やレジ横等視覚効果の高い場所に設置した ことにより、恒常的な意識啓発に効果があった。平成28年度末現在で、8事業 者、22店舗に設置している。						
環境局 環境保全推進課								
4	家庭系ごみ有料化事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	187,803千円		107.4%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 平成28年10月1日から従来の「大」、「中」、「小」、「特小」の4種類 に、新たに、5リットル相当の「超特小」を加えて、5種類での運用を開始した 結果、高齢者等ごみ排出量の少ない世帯の利便性が、確実に向上した。						
環境局 環境保全推進課								
5	小型家電等リサイクル推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	576千円	一般重点	35.0%	A	B	B	D	継続
		(事業概要、事業実績等) 市内22か所に設置した回収ボックス等で約1,324キログラム、また、南 部クリーンセンター及び西部クリーンセンターで実施したピックアップ回収で約 864キログラムの合計2,188キログラムに上る携帯電話やデジタルカメラ など2,1品目の使用済小型家電を回収したことにより、希少金属等の再資源化や 埋立ゴミの減量化に着実な効果があった。						
環境局 環境業務課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	ごみ減量・資源化啓発事業 3,585千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			101.6%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 「ごみ分別ガイドブック」・「ごみ収集カレンダー」が、小学校・社会科副読本の 作製・配布により、広く市民への普及・啓発に効果があった。また、平成28 年11月から、新たに「ごみ分別アプリ」の配信を開始し、高松市の推進に効果があ った。ンやタブレット端末利用者の利便性が向上した。また、高松市の推進に効果があ った。						
環境局 環境保全推進課								
7	ごみ再資源化事業 180,370千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0% 100.0%	A	A	A	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 日々家庭から出される缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙類等の資源 ごみを、再資源化のための中間処理を行い、プラスチック、色つきのびんについ ては日本容器包装リサイクル協会に引渡したほか、缶・びん・ペットボトル、紙 類など有価にて売却できるものは専門業者に売却を行った結果、成果目標を 100パーセント達成した。						
環境局 環境保全推進課								

施策	廃棄物の適正処理	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		5,061,044千円	A	満足度	重要度
				31.6%	65.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	一般廃棄物（し尿を含む）を排出する市民及び市内の事業者並びに産業廃棄物を排出する事業者や廃棄物の収集運搬・処分を行う者等。	意図	一般廃棄物及び産業廃棄物の排出を抑制し、適正かつ効率的な処理を推進するとともに、将来に向けた安定した処理体制を構築することにより、生活環境保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の形成に寄与する。
----	---	----	--

概要（実績）
 ・一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物（し尿を含む）の適正処理を行うとともに、ごみの減量・資源化を推進した。また、家庭から排出されたごみについて経済的で効率的な収集・運搬システムを運用した。・ごみステーションの適正管理を行うため、パトロールや看板配布等の啓発活動を行った。・南部・西部クリーンセンターの適正処分場の延命化を推進した。・西部クリーンセンター長寿化計画に基づき、焼却施設基幹的設備改良工事（H27～H29）を進めている。また、南部クリーンセンター埋立処分地第3区画の整備工事を完了した。・し尿及び浄化槽汚泥については、平成28年10月から、し尿等を衛生処理センター中継所から東部下水处理場へ移送し、下水と共同処理を試行した。また、衛生処理センターを平成29年3月末に廃止した。・大規模災害時に発生する廃棄物を迅速かつ適切に処理するため、「高松市災害廃棄物処理計画」を策定した。・許可事務や苦情処理等を通じて、産業廃棄物の排出抑制、適正処理等を促進した。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		一般廃棄物の年間埋立処分量	12,844t	13,200t
状況	家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報誌等により周知・啓発に努めたほか、西部クリーンセンターの基幹的設備改良工事に伴い、ガス化熔融炉である南部クリーンセンターでの可燃ごみの処理量の割合が増加し、焼却灰が減少したことなどにより、市有施設での年間埋立処分量が前年度よりも減少した。			
	産業廃棄物の不適正保管量			
状況	継続的・定期的な指導を行ったことにより、前年度と比較し、不適正保管量が減少し、目標値を達成した。			

施策の課題
 ごみの適正処理を確保した上で、より経済的で効率的な収集運搬体制を検討する必要がある。・西部クリーンセンター等施設の老朽化に伴い、適切な維持管理と効率的な運転管理で施設の延命化を図る必要がある。・し尿等の処理については、平成28年度に下水道との共同処理の試運転を行ったが、引き続き、適正に処理を行う必要がある。・排出事業者の責任や収集運搬・処分を行う者の責務について、更に理解を深めてもらい、適正処理を推進していく必要がある。

施策の方向性
 一般廃棄物の発生抑制、適正処理、資源化を推進し、ごみ処理施設の適切な維持管理を図ると共に、市の収集運搬体制の検討にも取り組み、公衆衛生の向上及び循環型社会の形成に貢献していく。・し尿等の処理については、下水道との共同処理を安定的かつ適正に推進していく。・大規模災害時における災害廃棄物処理計画の策定に伴い、収集、分別、再生等の適正な処分など必要な見直しを継続していく。・産業廃棄物については、排出事業者や許可業者等に指導や啓発活動により、排出抑制や適正処理及び再生利用の推進を図る。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	西部クリーンセンター大規模改修事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	961,942千円	一般重点	100.0%	A	A	A	A	継続
環境局 環境施設対策課		(事業概要、事業実績等) 西部クリーンセンター長寿計画に基づき、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事(平成27年度から平成29年度)を実施し、事業の完了が不可能となつたため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(平成27年度繰り越し事業費：224,195,945円)						
7	南部クリーンセンター次期運営方法等検討事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,760千円	特別重点	75.0%	A	B	B	B	継続
環境局 南部クリーンセンター		(事業概要、事業実績等) 南部クリーンセンターの管理運営業務委託が、平成30年度未だ契約期間が満了となることから、31年度から3年度にわたっての検討を行い、28年度に調査業務の実施が完了したため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰り越し費額：13,464,000円)						
8	ごみ適正処理指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,782千円		98.6%	B	A	B	A	継続
環境局 適正処理対策室		(事業概要、事業実績等) 市内全域のステーションの管理や、ポットロウに、不適正なごみステーションの発生を防止し、適正なごみ回収率を向上させることにより、平成26年度は1,050kgの回収率を達成した。						
9	(評価対象外)南部クリーンセンター場内整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,985千円							
環境局 環境施設対策課		(事業概要、事業実績等) 南部クリーンセンター場内の埋立処分終了用地等に、植栽を行った。また、総合防災調整池の浚渫を行った。						
10	(評価対象外)一般廃棄物最終処分場整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	184,437千円							
環境局 環境施設対策課		(事業概要、事業実績等) 陶最終処分場周辺対策事業として、ほ場整備事業に着手した。ほ場整備事業は、関係機関との協議・許可等を経て、平成27年度に完了した。また、平成27年度繰り越し事業費：174,079,320円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外)ごみ処理関連施設統廃合整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	465千円	(事業概要、事業実績等) 旧最終処分場の適正な管理を行った。						
環境局 環境施設対策課								
12	(評価対象外)ごみ処理計画推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,105千円	(事業概要、事業実績等) 廃棄物減量等推進審議会を開催し、廃棄物減量・再資源化等について審議するなど、高松市一般廃棄物処理基本計画の執行管理を行ったほか、高松市一般廃棄物処理実施計画を策定し、一般廃棄物の適正処理や減量・再資源化の推進を行った。						
環境局 環境総務課								
13	(評価対象外)衛生処理センター環境整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,225千円	(事業概要、事業実績等) 環境整備事業を行うことにより、衛生処理センター周辺地域の環境保全に寄与した。						
環境局 衛生センター								
14	災害時し尿処理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,302千円		100.0%	100.0%	A	B	A	A
環境局 衛生センター		(事業概要、事業実績等) 高松市災害物資備蓄計画に基づき、避難所へ計画的な簡易トイレ緊急物資の配備を行った。 また、浸水被災世帯に対し収集料金の2分の1の補助金を交付した。						
15	し尿中継貯留槽整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	16,415千円	一般重点	53.1%		A	B	B	C
環境局 衛生センター		(事業概要、事業実績等) 女木町及び男木町し尿中継貯留槽の実施設設計が完了し、女木町整備工事に着手した。また、男木町の整備用地を購入した。ことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：16,054,000円) また、前年度からの繰越事業である女木町し尿・浄化槽汚泥貯留施設整備に伴う実施設業務については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：3,694,000円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
16	(評価対象外) 離島し尿収集事業 8,085千円							
	環境局 衛生センター	(事業概要、事業実績等) 離島のし尿収集の円滑化と住民の負担軽減を図るため、収集業者に補助金を交付した。 また、定期の収集時に合わせて、浄化槽清掃を行う場合の航送料について補助金を交付した。						
17	(評価対象外) 衛生処理センター中継所運営事業 243,326千円							
	環境局 衛生センター	(事業概要、事業実績等) 本市及び処理を受託している三木町・綾川町で収集されたし尿及び浄化槽汚泥を衛生処理センターへ海上輸送するための中継貯留施設として、中継所の運営管理を適切に行った。 また、平成29年3月末の衛生処理センター廃止に伴い、下水処理施設での共同処理のため、前処理施設及びし尿等の移送試運転を行った。						
18	し尿処理施設跡地利用事業 21,727千円	重点 一般重点	成果達成度 91.2%	妥当性 A	有効性 B	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	環境局 衛生センター	(事業概要、事業実績等) 29年3月末に廃止の衛生処理センターの跡地を、公園として整備するため、土地調査測量、解体撤去工事に係る設計等を行った。 なお、関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：3,629,000円)						
19	(評価対象外) 衛生処理センター運営事業 128,177千円							
	環境局 衛生センター	(事業概要、事業実績等) 衛生処理センターの管理運営を適切に行うことにより、本市及び処理を受託している三木町・綾川町で収集されたし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することができた。 また、施設の老朽化及びし尿等処理量の減少により、し尿等を下水処理施設で下水と共同処理を行うことから、同センターを平成29年3月末で廃止した。						
20	(評価対象外) し尿中継貯留槽管理事業 5,038千円							
	環境局 衛生センター	(事業概要、事業実績等) 合併地区(塩江町、庵治町、香川町及び国分寺町)に設置している、し尿中継貯留槽の維持管理を適切に行うことにより、し尿等の衛生処理センター中継所への効率的運搬を行うことができた。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	(評価対象外)産業廃棄物適正処理 指導事業							
	8,870千円	(事業概要、事業実績等) 廃棄物の収集・運搬業、処分業及び施設設置の許可事務を通して処理業者への 適正処理の指導を行うとともに、パトロールによる不適正処理の未然防止や早期 発見、苦情処理及び事業場への立入検査による改善指導を行い、適正処理の促進 を行った。						
	環境局 環境指導課							

平成28年度 施策の概要調書



施策	不法投棄の防止
----	---------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
860千円	A	22.9%	66.1%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局

対象	高松市内全域における不法投棄が見られる地域	意図	不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で美しい高松を実現する。

概要(実績)	山間地や海岸線などの広範囲に渡る不法投棄ごみが見られる地域において、行政と住民が連携して、不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦を実施し、不法投棄されているごみの回収を行うことにより、地域の環境美化と環境意識の向上に努めた。		
--------	---	--	--

成果指標	指標名	不法投棄通報、相談件数	H28実績	H28目標	達成度	
			123件	130件	105.4%	
	状況	不法投棄の通報及び相談件数は目標に達している。しかし不法投棄はまだまだ後を絶たない状況であるため、引き続き市民の環境美化意識の高揚を図る必要がある。	達成度の推移			
	指標名	ボランティア清掃の参加者数	H28実績	H28目標	達成度	
			186,105人	156,000人	119.3%	
状況	ボランティア清掃の参加者については、目標を大きく超える参加者数であった。	達成度の推移				
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				

施策の課題	クリーン作戦の参加者については増加傾向にあり、市民の環境への取組意識が高まっている。しかしながら、平成29年3月に行った屋島クリーン大作戦において、ボランティアで参加した地元住民がイノシシに襲われけがをすといった事故があった。今後のクリーン作戦の実施方法や傷害保険等の加入について検討していく。
-------	---

施策の方向性	イノシシ対策を講じるとともに、地区衛生組合協議会やコミュニティ協議会等と早めの時期から協議を行い、安全面に重点を置いて取り組んでいく。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
1	高松ふれあいクリーン事業 100千円 環境局 適正処理対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
					103.0% 105.4%	B	A	A
(事業概要、事業実績等) 不法投棄が特に多く見られる山間部や海岸線地域において、不法投棄の撲滅に向けて、行政と市民及び企業がボランティアが協働して、不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦を実施し、不法投棄されているごみの回収を行った結果、地域の環境美化と市民の環境美化意識の高揚を図ることができた。								
2	不法投棄防止対策事業 760千円 環境局 適正処理対策室	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			85.0%	B	A	B	B	継続
(事業概要、事業実績等) 市内全域における不法投棄が見られる地域について、監視パトロールを強化し、不法投棄行為者の特定調査や指導を行い、不法投棄の撲滅を図る。また、不法投棄の抑止効果が高いと見られる地域に、メラや啓発看板を設置し、小・中学校等で次世代を担う子ども達に対し、環境啓発の取組を行った。								

平成28年度 施策の概要調書

施策	地球温暖化対策の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		71,574千円	A	満足度	重要度
				14.5%	56.6%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、財政局、上下水道局

対象	市民・事業者	意図	市民・事業者との協働を進めながら、温室効果ガスの排出抑制となる施策を推進し、地球温暖化対策を進める。
----	--------	----	--

概要(実績) 【地球温暖化防止活動の推進】計画を取り巻く状況の変化に対応し、「地球温暖化対策実行計画」及び「エコシティたかまつ環境マネジメントシステム」を改定。温暖化対策実践活動に取り組む団体に補助金を交付(1件、89千円)。(【再生可能エネルギー普及の促進】太陽光発電システム設置費補助(557件38,502千円)、蓄電システム設置費補助(81件8,100千円)、太陽熱利用システム設置費補助(2件155千円)を実施。【電気自動車等普及の促進】燃料電池自動車用水素ステーションを設置する事業者に補助金を交付(1件、14,933千円)。【緑のカーテン事業】家庭部門等3部門でコンテストを実施(112件の応募)。【東部下水処理場バイオマス発電事業】下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスを燃料としてバイオマス発電(発電量2,641kWh/年、売電量1,889kWh/年)を実施。

成果指標	指標名	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	H28実績	H28目標	達成度	
			3,284kW	3,817kW	100.2%	
	状況	これまで、小・中学校を中心に設置しており、平成28年度は屋島競技場など7施設に設置しており、目標は達成できた。	達成度の推移 			
成果指標	指標名	地球温暖化防止のための取組実施率	H28実績	H28目標	達成度	
			32.1%	38.1%	84.2%	
	状況	環境展やストップ!地球温暖化展でパネルを展示するなど、地球温暖化防止のための啓発活動を実施しているが、前年度と比較すると、50代以下の年齢層で、多くの項目で取組の実施率が低下しており、目標の達成には至らなかった(家庭における地球温暖化防止のための取組率)。	達成度の推移 			
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度	
	状況		達成度の推移 			

施策の課題 改定前の地球温暖化対策実行計画の基準年(平成2年)以降、家庭部門及び業務その他部門において、温室効果ガス排出量が倍増するなど、排出抑制に向けた取組が求められている。

施策の方向性 家庭部門及び業務その他部門等における温室効果ガスの排出抑制に向けて、市民・事業者に対する周知啓発を進める。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	低排出ガス・低公害車・省エネルギー車導入事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,663千円		97.6%	A	B	B	A	継続
(事業概要、事業実績等) 公用車の更新等において、平成17年度排出ガス基準75%低減レベル以上の環境性能に優れた車両を14台導入した。 2,663千円 財政局 財産経営課								
2	再生可能エネルギー普及促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	46,757千円	一般重点	102.8%	20.0%	A	A	B	C
(事業概要、事業実績等) 住宅用太陽光発電システム及び太陽熱利用システムの設置に対して助成を行い、二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーの利用によって地球温暖化防止を推進した。 なお、太陽光発電システムと同時に定置用リチウム蓄電システム又は電気自動車充給電設備を併設する場合に補助を行うプラスワン補助についても、平成26年度から引き続き実施した。 46,757千円 環境局 環境保全推進課								
3	(評価対象外) 市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
(事業概要、事業実績等) 再生可能エネルギーの普及促進を図るため、平成24年7月から開始された再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用して、市内4カ所の市有地を太陽光発電事業者の有償で貸し出し、発電している。 環境局 地球温暖化対策室								
4	(評価対象外) 地球温暖化対策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,617千円							
(事業概要、事業実績等) 計画を取り巻く状況の変化に対応し、「高松市地球温暖化対策実行計画」及び「エコシティたかまつ環境マネジメントシステム」を改定した。とともに、「ストアップ!地球温暖化展」の開催など啓発活動を実施した。 5,617千円 環境局 地球温暖化対策室								
5	電気自動車等普及促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	16,337千円	一般重点	84.6%	A	B	B	B	継続
(事業概要、事業実績等) 燃料電池自動車の燃料となる水素を充填するため水素供給設備を市内に整備する者への補助金を交付し、水素ステーションが設置された。走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車1台を市に導入するとともに、車体ラッピングを行い市内を走ることを促進した。(累計11台) また、電気自動車の利用を促すため、市内3カ所の道の駅(近隣地を含む)に設置した急速充電設備の運営を行った。 16,337千円 環境局 地球温暖化対策室								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	緑のカーテン事業		100.0%	A	C	B	A	継続
	200千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>つる性植物を建物の壁面にはわせることにより、夏の強い日差しを和らげ、電力エネルギーの節約が期待できる緑のカーテンを環境業務センター等で実施した。</p> <p>また、緑のカーテン・コンテストを実施し、家庭部門、学校・保育所部門及び事業所部門の3部門において入賞者の表彰を行うなど、緑のカーテンの啓発・普及を促進した。</p>						
	環境局 環境保全推進課							


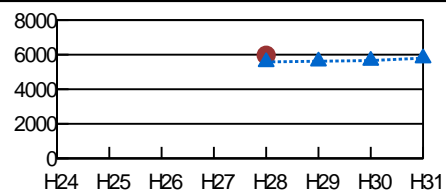
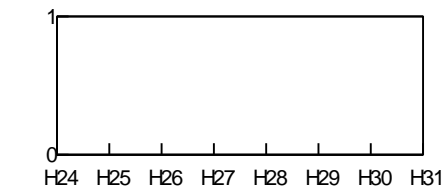
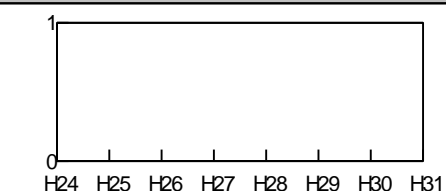
平成28年度 施策の概要調書

施策	環境保全活動の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		83,356千円	A	満足度	重要度
				18.9%	54.0%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
担当局	環境局、創造都市推進局、都市整備局

対象	市民・事業者	意図	一人一人が環境問題を考え、行動するとともに、市民・事業者・行政の協働を進めながら、あらゆる分野において、環境に配慮した持続可能な社会に向けた施策を推進し、人と環境にやさしいまちづくりとして、良質な環境の保全に努める。

概要（実績）
 環境保全推進事業においては、市民の環境意識向上のため、環境展や環境学習を実施するとともに、環境学習活動を自主的に企画、運営、実施する団体に対しては、補助を（4団体 311千円）実施した。「いざ里山」市民活動支援事業においては、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりのため、従来、生活の一部として利用されていた里山を保全する地域住民等の活動に対し補助（6団体 1,481千円）し、また、「ため池守り隊」市民活動支援事業においても、用途地域内のため池について、ため池管理者だけでなく地域住民も参加する清掃活動等に対し補助（10地区 2,328千円）した。たがまつマイロード事業においては、自発的に、市が管理する道路の清掃等を行う道路愛護団体の活動を支援するとともに、新たに2団体を認定した。

成果指標	指標名	環境学習参加者数	H28実績	H28目標	達成度	
			5,970人	5,580人	107.0%	
	状況	環境学習参加者数は目標値より高い数値で推移しており、市民の環境意識の向上につながっている。	達成度の推移			
						
	指標名		H28実績	H28目標	達成度	
状況		達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題
 【環境局】環境学習活動や清掃活動など、市民・事業者・行政が、連携して環境保全活動に取り組む必要がある。
 【創造都市推進局】補助事業終了後も、里山やため池の保全活動が継続して実施されるよう、地域住民へ里山やため池に対する保全の大切さを認識していただくことが必要である。
 【都市整備局】市が管理する道路等の施設管理には、地元市民団体の協力が不可欠であることから、市民との協働事業として、環境意識の向上を図る必要がある。

施策の方向性
 環境展や環境学習講座の実施などの啓発事業や、清掃活動などの環境美化、公害への対策などを継続実施し、環境保全活動の推進を目指す。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	環境保全推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	9,092千円		101.4%	A	B	B	A	継続
	環境局 環境保全推進課	(事業概要、事業実績等) 6月の環境月間に合わせ、環境展を実施するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施をしたことにより、市民の環境意識の向上につながった。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた環境白書を発行した。						
2	南部クリーンセンター環境学習事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	37千円		112.8%	A	A	B	A	継続
	環境局 南部クリーンセンター	(事業概要、事業実績等) 施設見学を通じて、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供した。また、展示ギャラリーでは、環境パネル、環境に関する図書、パソコンなどで環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では、紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクル体験を行った。 エコホテル利用者 3,518人 自主企画講座回数(見学会を含む) 12回						
3	(評価対象外)環境基本計画推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	72千円							
	環境局 環境総務課	(事業概要、事業実績等) 環境審議会を開催し、環境基本計画に基づく取組の状況について審議した。また、本市の環境の状況や、環境保全等のための施策を取りまとめた環境白書を環境審議会に報告するとともに、市HPに掲載するなど広く市民に公表することで、市民の環境意識の向上を推進した。						
4	「いざ里山」市民活動支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,480千円		220.7%	A	A	B	A	継続
	創造都市推進局 農林水産課	(事業概要、事業実績等) 従来、生活の一部として利用されていた里山を保全する地域住民等の活動に対し補助(6団体 1,481千円)し、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりとなった。						
5	「ため池守り隊」市民活動支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,328千円		100.0%	A	B	A	A	継続
	創造都市推進局 土地改良課	(事業概要、事業実績等) 事業開始3年間で補助金上限を毎年5万円ずつ漸減する中で、前年と同様の事業を実施しており、地域住民も参加した自主的かつ継続的な美化保全活動が継続されている。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	衛生組合活動促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,156千円		88.9%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 高松市衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした保険料、及び啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動の促進に寄与した。						
環境局 環境総務課								
7	環境美化推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,494千円		103.3% 100.0%	A	B	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」や「サンポート高松中央通り等一斉清掃」を実施し、市民、事業者、ボランティア、行政の協働による美化活動を促進するとともに、「環境美化推進運動功労者表彰」などを行うことによって、市民の環境美化意識の向上に寄与した。						
環境局 環境保全推進課								
8	たかまつマイロード事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,036千円		100.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 自発的に、市が管理する道路の清掃等を行う道路愛護団体の活動を支援することにより、道路の環境美化だけでなく、道路への愛護意識の高揚を図るとともに、道路利用者のマナー向上の啓発活動を実施した。また、平成28年度は新たに2団体を道路愛護団体に認定し、現在115団体を認定するなど事業の推進に努めた。						
都市整備局 道路管理課								
9	(評価対象外) 公衆便所管理等事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	13,042千円							
		(事業概要、事業実績等) 市内23箇所に設置する公衆便所の衛生的な維持管理を行った。						
環境局 環境施設対策課								
10	(評価対象外) コミュニティ広場管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	606千円							
		(事業概要、事業実績等) まちのオアシスとして、美観上・風致上のモデル地区と位置付けられた、北部コミュニティ広場、兵庫町広場及び田町コミュニティ広場を市民の憩いの場として提供するとともに、道路空間の環境保全に寄与した。						
都市整備局 道路管理課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	(評価対象外) 大気汚染防止対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	33,187千円	(事業概要、事業実績等) 大気環境保全の促進のため、市内の大気環境の常時監視により、その状況を把握するとともに、事業場の立入検査を行った。また、苦情処理による改善指導等を行った。						
	環境局 環境指導課							
12	(評価対象外) 水質汚濁防止対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,872千円	(事業概要、事業実績等) 水質環境保全の促進のため、市内の河川等の水質検査の実施により、水環境の状況を把握するとともに、事業場の立入検査を行った。また、苦情処理による改善指導等を行った。						
	環境局 環境指導課							
13	(評価対象外) 騒音・振動・悪臭規制事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	183千円	(事業概要、事業実績等) 騒音、振動及び悪臭に係る環境保全の促進のため、騒音、振動調査を行い、その状況を把握するとともに、苦情処理による改善指導等を行った。						
	環境局 環境指導課							
14	(評価対象外) 公害対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,431千円	(事業概要、事業実績等) 公害苦情相談員等ブロック会議に出席し、複雑多様化する住民ニーズ等に対応するため、幅広い情報を得た。						
	環境局 環境指導課							

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上

総合評価
A

1 政策の概要

<p>豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、生活道路・公園の整備、緑の保全・創造を始め、良好な居住環境の整備や地籍調査の推進など、生活基盤の整備・充実を図ります。</p> <p>また、自己処理水源の確保を始め、浄水場の老朽設備等の更新や耐震化、県内水道広域化などに取り組み、安定給水の確保を図るとともに、水質検査体制の充実による安全で良質な水の供給や持続可能な水環境の形成に努めます。</p> <p>また、汚水・雨水対策の充実を図るとともに、港湾・漁港の整備や河川・水路環境の保全に努めるなど、都市基盤の充実・強化を図ります。</p>

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
居住環境の整備	91%	A
身近な道路環境の整備	100%	A
河川・港湾の整備	30%	D
みどりの保全・創造	100%	A
水の安定供給	98%	A
汚水・雨水対策の充実	97%	A
平均	86%	A

3 政策の評価

<p>豊かな暮らしを支える生活環境の向上に向けて、6施策に取り組んだ。</p> <p>「居住環境の整備」、「身近な道路環境の整備」の2施策では、設定する3つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。</p> <p>「河川・港湾の整備」では、設定する成果指標の津波・高潮対策施設の整備率において関係機関との協議により事業の一部を繰り越したことにより、目標を大きく下回ったことから、施策の得点率は30%となった。</p> <p>「みどりの保全・創造」、「水の安定供給」及び「汚水・雨水対策の充実」の3施策では、設定する7つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。</p> <p>以上により、政策を構成する施策の平均得点率は86%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。</p>
--

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	総合評価
居住環境の整備	13.0%	19.8%	57.0%
身近な道路環境の整備	29.7%	23.3%	67.6%
河川・港湾の整備	26.9%	13.2%	60.9%
みどりの保全・創造	32.1%	11.8%	55.5%
水の安定供給	46.0%	10.8%	79.7%
汚水・雨水対策の充実	33.4%	16.6%	68.9%
平均	30.2%	15.9%	64.9%

施策	居住環境の整備	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		1,673,836千円	A	満足度	重要度
				13.0%	57.0%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局、市民政策局、創造都市推進局

対象	<p>市民（市営住宅の入居者及び入居申込者、住居表示実施区域内の住民、地籍調査計画区域内の関係権利者、開発行為をしようとする者、建築物を建築しようとする者、空き家所有者等）</p>	<p>意図</p> <p>市営住宅の建設や適切な維持管理、住居表示設定、地籍調査の実施、開発行為や建築に係る許認可事務の適正な実施、空き家等対策の実施をすることにより、居住環境の整備水準の向上を目指す。</p>
----	--	---

概要（実績）	<p>・市営住宅の維持管理、空家修繕、建替事業を行うことにより、低廉な家賃の住宅を供給した。</p> <p>・住居表示実施区域内での新規表示設定を実施したことにより、住所の明確化に効果があった。</p> <p>・地籍調査の実施により、生活基盤の整備充実及び居住環境の整備に役立った。</p> <p>・開発行為の許可等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。</p> <p>・建築確認、完了検査等の事務を適正に実施したことにより、良好な居住環境の向上に寄与した。</p> <p>・空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を推進するなど、総合的な空き家対策を実施したことにより良好な居住環境の向上に寄与した。</p>
--------	--

成果指標	指標名	建築物等の完了検査済証交付率	H28実績	H28目標	達成度	
			83.4%	100%	83.4%	
	状況	<p>建築主や建設業者等に完了検査の受検を周知したほか、追跡調査を実施した結果、完了検査済証交付率は高い値を維持している。</p>	<p>達成度の推移</p>			☁️
指標名	老朽危険空き家除去支援件数	H28実績	H28目標	達成度		
		13件	10件	130.0%		
状況	<p>老朽危険空家の除却について、補助制度を活用し、13件の除却を行った。</p>	<p>達成度の推移</p>			☀️	
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		<p>達成度の推移</p>				

施策の課題	<p>【市民政策局】倒壊の危険性や環境衛生面で問題のある空き家等には、防災、防犯、衛生、環境面などで多くの問題を含んでおり、対策が急がれる。</p> <p>【創造都市推進局】地籍調査は、災害時の復興事業を円滑に進めるためにも有効な事業であるため、調査の進捗率の向上が課題となっている。</p> <p>【都市整備局】市営住宅においては、老朽化による維持管理費等の増加と長寿命化計画に沿った効率的な事業実施が課題となっている。</p>
-------	---

施策の方向性	<p>豊かな暮らしを支える生活・居住環境の向上のため、各事業を引き続き継続し、着実に実施していく。</p>
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 建築指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		25,235千円	(事業概要、事業実績等) 建築基準法等の関係規定に基づき、建築確認申請等の審査、検査、許可、認定、届出、承認、指導、取締り、相談、閲覧、定期報告、統計調査、道路調査等の事業を実施し、良好な居住環境の形成に寄与した。					
都市整備局 建築指導課								
2	(評価対象外) 開発指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1,243千円	(事業概要、事業実績等) 都市計画法に基づく開発許可制度の適切な運用により、無秩序な市街化を防止するとともに、一定の開発行為に対して、道路、公園等の公共施設や必要な整備を義務付けることなどにより、良好な居住環境の形成に寄与した。					
都市整備局 建築指導課								
3	(評価対象外) 住居表示管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		44千円	(事業概要、事業実績等) 市内の中心部において、土地の分合筆により、欠番や飛び番が多くなり、住所が分りにくいことに対応するため、土地所在地とは別に、住居ごとに番号を付す住居表示制度を昭和39年から実施している。この住居表示実施区域について、新旧証明書の発行事務や住居新築時等における住居表示の新規設定を行ったことにより、住所の明確化に寄与した。					
都市整備局 都市計画課								
4	市営住宅建設事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		1,040,379千円	100.0%	A	A	B	A	継続
都市整備局 住宅課		(事業概要、事業実績等) 住宅困窮者に対する住宅セーフティネットとしての公営住宅の役割を担うため、築年数が古く、老朽化が進んでいる市営住宅の建替整備を進めることにより、安全・安心で快適な居住環境を整備した。また、工程調整に日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、市営住宅長寿命化計画(見直し)の策定に係る経費を翌年度に繰り越した。繰越明許費繰越額：4,600,000円(なお、前年度からの繰越事業である上之町第 住宅の建設工事及び香南町北部団地建替に伴う解体工事等業務については完了した。(平成27年度繰越明許事業費：150,532,640円))						
5	(評価対象外) 市営住宅管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		557,982千円	(事業概要、事業実績等) 住宅困窮者に対する住宅セーフティネットとしての公営住宅の役割を担うため、空家集用住宅の改修工事や、浄化槽・上下水道施設・エレベータ・消防施設等の保守等、市営住宅の維持管理を行ったことにより、安全・安心で快適な居住環境を維持した。また、契約の締結に不測の日時を要したこと等により、年度内に事業の完了が不可能となったため、すみれ団地外壁改修工事(11・12号棟)等の一部を翌年度に繰り越した。繰越明許費繰越額：178,589,000円(なお、前年度からの繰越事業である市営住宅の外壁改修工事等については完了した。(平成27年度繰越明許事業費：82,756,104円))					
都市整備局 住宅課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容							
担当課									
6	空き家等対策事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
		特別重点	130.0%	20.0%	A	A	B	C	継続
	20,070千円	(事業概要、事業実績等) 空き家等対策の推進に関する特別措置法に規定する特定空き家等の措置を実施したほか、老朽危惧空き家等の除却・香川県香川市香川地区に空き家バンク登録物件の改修工事を実施し、補助金を交付するなど、総合的な空き家対策に鋭意取り組んだ。							
	市民政策局 くらし安全安心課								
7	(評価対象外)地籍調査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性	
	28,883千円	(事業概要、事業実績等) 平成17年度の本市及び6町の合併に伴い、合併前より地籍調査事業に着手していた塩江町、牟礼町、庵治町の調査業務を、合併時の建設計画、合併基本計画に基づき継続して事業を行い、平成21年度末で塩江町は調査を終了した。平成29年度現在、庵治町地区、牟礼町地区、香川町地区において事業継続している。事業実施により、豊かな暮らしを支える生活環境の向上(政策)、居住環境の整備(施策)等に基礎的、根幹的部分で大きく貢献している。							
	創造都市推進局 地籍調査室								


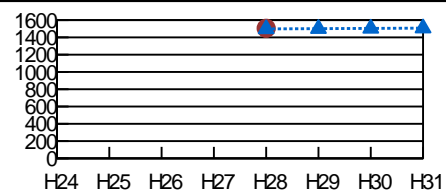
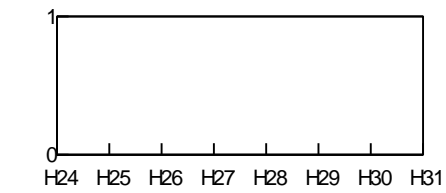
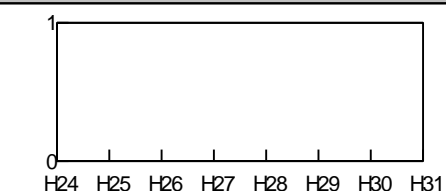
平成 2 8 年度 施策の概要調書

施策	身近な道路環境の整備	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		2,544,988千円	A	満足度	重要度
				29.7%	67.6%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市道利用者	意図	道路の点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、良好な道路環境を確保するとともに、その整備・充実を図る。

概要 (実績)	・道路橋りょう維持管理事業 工事件数：104件 舗装修繕面積：約10万㎡
	・道路新設改良事業（単独） 工事施工路線数：57路線
	・道路整備事業（建設計画等登載路線） 道路整備進捗率の伸び：約3%
	・県施行道路整備事業地元負担金 負担路線数：17路線 27工区
	・橋梁改築修繕事業 修繕等橋梁数 1橋

成果指標	指標名	市道改良延長	H28実績	H28目標	達成度	
			1,505K M	1,498K M	100.5%	
	状況	建設計画登載路線や生活道路の整備を進め、目標を達成できた。 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の修繕や、舗装の補修等を適切に行い、良好な道路環境を確保することができた。	達成度の推移			
						
	指標名		H28実績	H28目標	達成度	
状況		達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題	道路の維持管理は、近隣6町との合併による管理区域の拡大から、より一層のコスト縮減が求められており、今後、橋梁のみならず、舗装についても、維持管理コストの縮減を図っていく必要がある。 また、道路の整備についても、財源を確保しつつ、昨年度創設した生活道路整備事業により効率的な整備が求められている。
-------	--

施策の方向性	道路や橋りょうの点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、安全で安心できる道路環境を確保するとともに、その整備、充実を図る。 一方、舗装修繕に関しては、舗装維持管理計画を策定し、財源を確保して、良好な道路環境を実現する。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 道路橋りょう維持管理事業 1,523,732千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路管理課							
		(事業概要、事業実績等) 道路を保全するための点検、修繕を行ったことにより、安全で安心できる道路環境を確保し、関係機関との協議に日時を要したことで、年度内に事業の完了が不可能となつたため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越明許費繰越額：249,043,000円) (また、前年度からの繰り越事業費である道路修繕工事等については完了した。 (平成27年度繰り越明許事業費：148,276,320円)						
2	橋梁改築修繕事業 176,067千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課	一般重点	81.0%	A	A	B	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋の修繕等を行ったことにより、管理コストを削減するとともに、道路交通の安全性を確保した。年度内に事業の完了が不可能となつたため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越明許費繰越額：325,126,000円) (また、前年度からの繰り越事業費である橋梁修繕工事等については完了した。 (平成27年度繰り越明許事業費：83,293,000円)						
3	(評価対象外) 県管理河川改修関連橋りょう架替事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課							
		(事業概要、事業実績等) 本事業は、県の河川改修にあわせ、橋梁をグレードアップすることにより、生活環境の向上を図るとともに、河川の寄与する地域の活性化を図るため、平成28年度は、橋梁の掛替について、河川管理者である県と協議のうえ、事業主体である県が事業を翌年度に繰り越したことにより、年度内に支出が不可能となつたため、委託料を翌年度に繰り越した。 (繰り越明許費繰越額：7,200,000円)						
4	(評価対象外) 県施行道路整備事業地元負担金事業 80,186千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課							
		(事業概要、事業実績等) 県が施行する道路整備について、道路法第52条に基づき地元負担金として、事業費の10%を負担したことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。年度内に事業の一部を翌年度に繰り越したことにより、年度内に支出が不可能となつたため、負担金の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越明許費繰越額：215,000,000円) (また、前年度からの繰り越事業費である道路整備に係る負担金の支出については完了した。 (平成27年度繰り越明許事業費：33,112,825円)						
5	道路新設改良事業 385,238千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課		100.1%	B	C	C	B	継続
		(事業概要、事業実績等) 適切な道路構造へ改良を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を推進した。年度内に事業の完了が不可能となつたため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越明許費繰越額：216,800,000円) (また、前年度からの繰り越事業費である道路改良工事については完了した。 (平成27年度繰り越明許事業費：148,433,160円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	道路整備事業（建設計画等登載路線） 379,765千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		都市整備局 道路整備課	一般重点	96.8%		A	A	B
		<p>（事業概要、事業実績等） 建設計画等に位置付けられている2車線以上の道路の整備を行ったことにより、地域住民の利便性の向上や安全で安心な走行環境の創出を推進した。なお、地権者との協議に上り、年度内に事業の完了が不可能となつたため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰り越前年度から繰り越額：268,000,000円） （平成27年度繰り越明許事業費：130,292,772円）</p>						


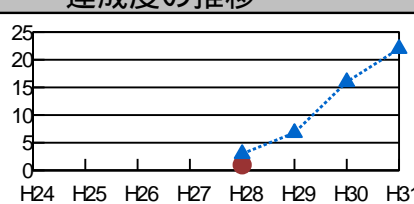
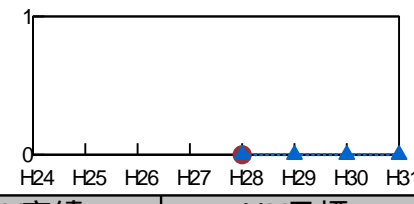
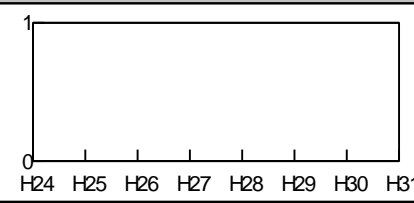
平成28年度 施策の概要調書

施策	河川・港湾の整備	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		559,908千円	D	26.9%	60.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	河川・生活排水路・港湾・漁港・海岸などの施設	意図	各施設の適正管理及び計画整備を行い、その機能を十分に発揮させる。

概要（実績）
 平成16年度の台風による高潮被害を踏まえ、「香川県津波・高潮対策整備推進アクションプログラム」に基づき、高潮による浸水被害を最小限に抑えるため、市管理の港湾・漁港内施設に胸壁、陸こう等を整備した。また、「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、市管理の港湾・漁港において、発生頻度の高い津波に対して、人命と財産を守る防災を目的とした施設整備を推進するとともに、最大クラスの津波に対しては、粘り強い構造により減災を目的とした施設整備事業に着手した。

成果指標	指標名	津波・高潮対策施設の整備率	H28実績	H28目標	達成度	
			1%	3%	33.3%	
	状況	庵治港において、平成30年度からの地震・津波対策事業の施設整備工事に向け、地質調査に着手した。庵治港の地震・津波対策事業を一部繰り越したことから、目標の整備率を達成できなかった。	達成度の推移			
						
	指標名	治水施設の不具合による浸水発生件数	H28実績	H28目標	達成度	
			0件	0件		
状況	老朽化した河川の護岸や排水路の改修及びポンプの更新のほか、適時に堆積土砂のしゅんせつを実施したことで、施設の不具合による浸水発生件数は0件となり、目標を達成した。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題
 事業の実施に当たり、厳しい財政状況を踏まえて、国・県に対し、引き続き補助要望を行い、予算確保に努める。

施策の方向性
 引き続き、豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、計画的に河川・港湾の整備事業を推進する。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	(評価対象外) 河川改良事業							
	137,537千円	<p>(事業概要、事業実績等) 高松市が管理する準用河川及び普通河川において、大雨や台風時の通水機能を確保し、洪水被害を未然に防ぐため、老朽化した護岸構造物の改修やしゅんせつ工事を実施した。関係者との協議に日数を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能なため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越前年度からの繰り越事業費：14,864,000円) (平成27年度繰り越明許事業費：7,880,160円) (内訳) 河川改修延長653m、しゅんせつ 体積32m³</p>						
	都市整備局 河港課							
2	(評価対象外) ポンプ場等整備・維持管理事業							
	87,114千円	<p>(事業概要、事業実績等) 大雨や台風時等にける河川の氾濫浸水を防ぐため、ポンプ場及び水門等の点検整備や維持修繕を実施し、施設の機能を維持した。関係者との協議により、年度内に事業の完了が不可能なため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越前年度からの繰り越事業費：4,794,000円) (平成27年度繰り越明許事業費：26,279,640円)</p>						
	都市整備局 河港課							
3	(評価対象外) 生活排水路整備事業							
	39,262千円	<p>(事業概要、事業実績等) 生活排水等により水質が悪化したり、通水不良となっている生活排水路の改修及びしゅんせつ工事を進め、生活環境の改善に寄与した。関係者との協議に日数を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能なため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越前年度からの繰り越事業費：8,823,000円) (平成27年度繰り越明許事業費：12,582,920円) (内訳) 生活排水路整備延長438m、しゅんせつ 体積670m³</p>						
	都市整備局 河港課							
4	(評価対象外) 漁港施設管理事業							
	133,294千円	<p>(事業概要、事業実績等) 市管理漁港の修繕、改良等を行うとともに、漁港内清掃の実施や漁港施設の適正な使用を求め、環境の改善を図り、漁港機能を維持した。関係者との協議に日数を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能なため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越前年度からの繰り越事業費：1,933,000円) (平成27年度繰り越明許事業費：57,674,360円)</p>						
	都市整備局 河港課							
5	(評価対象外) 港湾施設管理事業							
	44,285千円	<p>(事業概要、事業実績等) 市管理港湾の修繕、改良等を行うとともに、港湾内清掃の実施や港湾施設の適正な使用を求め、環境の改善を図り、港湾機能を維持した。関係者との協議に日数を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能なため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越前年度からの繰り越事業費：96,000円) (平成27年度繰り越明許事業費：6,241,800円)</p>						
	都市整備局 河港課							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	津波・高潮関連整備事業 114,345千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		都市整備局 河港課	一般重点	33.3%		A	A	B
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成16年度の台風による高潮被害を踏まえ、「香川県津波・高潮対策整備推進アクションプログラム」に基づき、市管理の漁港内施設に胸壁、陸ごう等を整備した。また、今後発生が予測されている南海トラフ地震等による浸水被害を想定し、「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、事業に着手した。 なお、関係機関との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：65,370,000円) また、前年度からの繰越事業である高松漁港海岸事業胸壁等建設工事等については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：24,901,000円)</p>						
7	(評価対象外) 県施行海岸改修事業 4,071千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		都市整備局 河港課						
		<p>(事業概要、事業実績等) 「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、香川県が施行する海岸改修事業に対し、費用の一部を負担した。 なお、前年度からの繰越事業である原浜海岸改修事業が完了し、予定していた事業は全て完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：4,070,826円)</p>						

施策	みどりの保全・創造
----	-----------

事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		満足度	重要度
608,623千円	A	32.1%	55.9%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	公園の整備や緑地の保全等により、生活環境の向上を目指す。
----	----	----	------------------------------

概要（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・あじ竜王山公園については計画どおり工事の施工等が完了し、平成28年4月20日から供用開始した。 ・身近な公園（太田南皿井公園・木太えびす公園（仮称））の整備を進め、街のみどりの創造に努めた。 ・ちびっこ広場の整備により、市民が気軽に憩い、ふれあえる場を創出することができた。 ・公園・街路樹の維持管理により、緑豊かで美しい景観の維持に寄与した。 ・名木の保護により、地域のシンボルである名木の保存・育成に寄与した。 ・花壇づくりやフラワーフェスティバルの開催により、快適な生活環境づくりや緑化意識の高揚に寄与した。 ・公共公益施設、民有地の緑化により、温暖化対策に寄与するとともに、市民が憩え、楽しめる空間を創出することができた。
--------	--

成果指標	指標名	市民1人当たりの都市公園等の面積	H28実績	H28目標	達成度
	状況	あじ竜王山公園については計画どおり工事の施工等が完了し、平成28年4月20日から供用開始した。また、身近な公園（太田南皿井公園・木太えびす公園（仮称））の整備を進めたことにより、都市公園等の面積が増加した。	9.05m ²	9.03m ²	100.2%
			達成度の推移		
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況		達成度の推移		
			達成度の推移		
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況		達成度の推移		
			達成度の推移		

施策の課題	<p>第2次緑の基本計画に基づき、緑の保全・創造に取り組んでおり、総合公園であるあじ竜王山公園が竣工し、また街区公園である勅使町御殿ふれあい公園が完成するなど、緑豊かなまちづくりを計画的に進めている。しかし、市民の緑や公園に対する要望が多様化し、また上位計画である都市計画マスタープランの見直しや、立地適正化計画の策定が進められており、これらを踏まえた新たな基本計画の見直しが必要となっている。</p> <p>なお、基本計画の主要事業である「1小学校区1公園」の身近な公園整備事業についても、地域の実情等に留意し、整備基準、整備対象となる小学校区の優先順位等を考慮した第2次実施計画の策定が課題となっている。</p>
-------	--

施策の方向性	<p>環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能等の多様な機能を持つ都市公園の整備や公園・街路樹の維持管理等の緑の保全に関する施策は、潤いと安らぎのある生活環境の創出に不可欠であることから今後とも継続していくものとする。</p>
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 公園・街路緑化事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	86,272千円							
都市整備局 公園緑地課		(事業概要、事業実績等) 公園の高木や街路樹の剪定及び病害虫の駆除等を行い、樹木の育成や樹形を整えたことにより、市民に緑あふれる快適な環境を提供できた。						
2	(評価対象外) 名木保護事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,002千円							
都市整備局 公園緑地課		(事業概要、事業実績等) 郷土の景観やシンボルである貴重な古木・巨木47本を、高松市の名木として指定し、樹木の紹介や管理を支援するとともに、28年度は4本の樹勢診断を行ったことなどにより、市民に自然の恵みを与えてきた名木の保存に寄与した。						
3	(評価対象外) 公園施設管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	261,413千円							
都市整備局 公園緑地課		(事業概要、事業実績等) 公園愛護会による公園の清掃活動のほか、公園施設の安全点検、修繕及び樹木の剪定などの愛護活動を支援したることにより、公園の適切な維持管理ができた。なお、前年度からの繰越事業である番町二丁目公園外8公園遊戯施設改築工事については完了した。(平成27年度繰越明許事業費：5,802,800円)						
4	身近な公園整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	139,657千円	特別重点	66.7%	A	A	A	B	継続
都市整備局 公園緑地課		(事業概要、事業実績等) 第2次緑の基本計画に基づき、太田南皿井公園及び木太えびす公園(仮称)の整備を行うことができた。小学校区に公園がない地域に、気軽に憩いふれあえる場を創出すことにより、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許費繰越額：905,740,000円) また、前年度からの繰越事業である太田南皿井公園の用地取得については完了した。(平成27年度繰越明許事業費：52,960,000円)						
5	竜王山公園整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	84,573千円		100.0%	A	A	A	A	完了
都市整備局 公園緑地課		(事業概要、事業実績等) 平成28年4月20日に供用開始し、新たな市民の憩いの場を創出した。また、トイレの手洗い等の施設整備が完了し、利用者の利便性が向上した。なお、前年度からの繰越事業である竜王山公園(仮称)修景施設整備工事等については完了した。(平成27年度繰越明許事業費：84,572,676円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外)ちびっこ広場整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	3,300千円	(事業概要、事業実績等) 第2次高松市緑の基本計画に基づき、地域に都市公園等がなく、当分の間、公園整備が見込まれない地区へ公園を補完する目的でちびっこ広場の整備を行った。						
	都市整備局 公園緑地課							
7	花いっぱい推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	32,406千円		100.0%	B	A	B	A	継続
	都市整備局 公園緑地課	(事業概要、事業実績等) 駅前広場や道路、商店街の街角の公共花壇や、公園やポケットパーク等の地区花壇の草花管理を推進するとともに、フラワーフェスティバルを開催したことにより、快適な生活環境や潤いのあるまちづくりを推進することができた。						


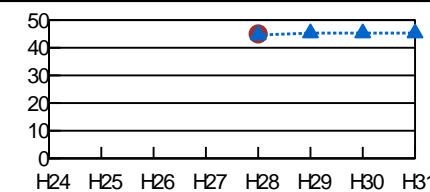

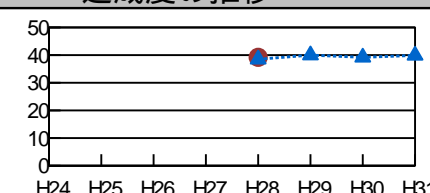

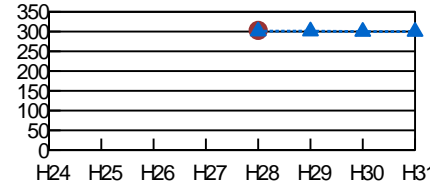
平成28年度 施策の概要調書

施策	水の安定供給	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		286,586千円	A	46.0%	79.7%

まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上
担当局	上下水道局、市民政策局、環境局、都市整備局

対象	市民、事業者	意図	限りある水資源を有効利用することで、持続可能な水環境を形成するとともに、安心して、いつでも、いつまでも使える水道水を供給する。
----	--------	----	---

概要（実績）
 県が行う栴川ダム建設事業に対する負担金の支出を始め、浄水場整備事業や配水管布設工事、布設替工事などを行い、安定給水に寄与した。さらに、水道水を将来にわたり、安定的に供給するため、県と市町で協力しながら、県内水道事業の広域化に取り組んだ。
 安全で良質な水の供給においては、浄水場の適正な運転管理や水質検査を実施するとともに、あらゆる工事機会を捉えた鉛管の取替えや助成制度の利用促進など、鉛製給水管の解消にも積極的に取り組み、安全な水道水を供給してきた。
 なお、給水区域外の居住者に対しては、自家用給水装置の費用の一部を補助し、飲用水を確保する事業に取り組んだ。
 持続可能な水環境の形成においては、「水環境基本計画」を円滑に実施するため、第1期実施計画の実績を検証するとともに、第2期実施計画の取組を進めた。

成果指標	指標名	自己処理水比率	H28実績	H28目標	達成度	
			45%	44.6%	100.9%	
	状況	平成28年8月9日から9月21日までの44日間の夏季湧水により、香川県水道用水供給事業からの受水が制限され、自己処理水量を増量したため、当初の達成度44.6%を上回ることができた。	達成度の推移			
						
	指標名	基幹管路の耐震化適合率	H28実績	H28目標	達成度	
			39.2%	38.5%	101.8%	
状況	管路の布設、布設替を促進したため、目標が達成できた。	達成度の推移				
						
指標名	1人1日当たり水道平均使用水量	H28実績	H28目標	達成度		
		303L	301L	99.3%		
状況	夏季に湧水に見舞われたものの、年間を通して天候に比較的恵まれたことなどにより、水道使用量が増加したと考えられる。	達成度の推移				
						

施策の課題
 【上下水道局】安全な水道水を安定供給するために、自己処理水源の拡充、効率的な施設の整備、更新、耐震化を図るとともに、県内水道事業の広域化を進める必要がある。【市民政策局】水環境に関する取組は広範囲に及ぶため、市内部はもとより、国・県・関係機関等の相互理解の下、連携・協力体制を構築することが必要である。【環境局】生活用水等確保対策事業については、利用件数が伸び悩んでいることから、制度の周知を広く図り、自己の用に供す飲用水の安定的な確保を図る必要がある。【都市整備局】県施行に対する地元負担金については、厳しい財政状況を踏まえ、県に対し、負担率の軽減や、コストの縮減を要望している。

施策の方向性
 引き続き、自己処理水源の確保に取り組むとともに、施設の耐震化や老朽化した施設の更新を計画的に実施して、安全で安定した水道水の供給に努める。
 また、水道事業の広域化に県と他市町と共に取り組み、更なる安定供給を目指す。
 さらに、水環境基本計画第2期実施計画の進行管理を適切に行い、持続可能な水環境の形成の実現に向けた取組を進める。

平成28年度 施策の概要調書

施策	汚水・雨水対策の充実	事業費	総合評価	市民満足度調査結果		
		4,456,967千円	A	満足度	重要度	
				33.4%	68.9%	
まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち					
政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上					
担当局	上下水道局					
対象	市民	意図	生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水被害の軽減・解消、さらには、河川、海域等の公共用水域の水質保全を図る。			
	概要(実績)		汚水管渠の整備を行い、新たに約4haの供用を開始するとともに、西部バイパス幹線や福岡排水区雨水管などの整備を行い、生活環境の改善や浸水被害の軽減に寄与した。 また、下水処理場やポンプ場の適切な運転・維持管理と老朽化の進んだ設備の改築工事により、処理機能を確保するとともに、引き続き、再生水を供給して、下水道資源を有効利用した。 さらに、1,009基の合併処理浄化槽の設置経費に助成を行い、この内178基の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換については、上乗せ助成を行い、生活雑排水による水質汚濁の軽減に寄与した。			
成果指標	指標名	汚水処理人口普及率	H28実績	H28目標	達成度	
			85.9%	85.9%	100.0%	
	状況	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する際の上乗せ補助制度や汲み取りトイレから合併処理浄化槽へ転換する際の補助制度を実施することにより、合併処理浄化槽への転換を促進することができ、その結果汚水処理人口普及率が0.6ポイント上昇して目標を達成することができた。	達成度の推移 			
	指標名	雨水対策整備率	H28実績	H28目標	達成度	
			48.5%	48.8%	99.4%	
状況	中心市街地及び周辺市街地の浸水対策として、バイパス幹線やポンプ場等の整備を計画的に行った。	達成度の推移 				
指標名	下水道管路耐震化率	H28実績	H28目標	達成度		
		35.7%	35.9%	99.4%		
状況	耐震性を確保した下水道管路の新設及び改築・更新を4.0km行い、耐震化率が0.3%上昇した。	達成度の推移 				
施策の課題	生活排水対策をより強化するために、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や、下水道未接続世帯の解消に努めるなど、具体的な取組の継続が必要である。					
施策の方向性	多核連携型コンパクト・エコシティの取組に配慮しつつ、第4次高松市生活排水対策推進計画に基づき、公共下水道の整備や、合併処理浄化槽の設置促進により効果的な生活排水対策を進める。					

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 浄化槽管理指導事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,700千円	(事業概要、事業実績等) 浄化槽の適正な維持管理を推進するために、浄化槽の法定検査未受検管理者に対する受検指導を28680件実施した。 浄化槽管理士の研修会を1回開催した。 新たに浄化槽を設置した浄化槽管理者に対して浄化槽教室を3回実施した。						
	上下水道局 給排水設備課							
2	合併処理浄化槽設置整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	289,896千円	一般重点	100.0%	A	A	A	A	継続
	上下水道局 給排水設備課	(事業概要、事業実績等) 生活排水の処理を行い、川や海などの水質汚濁を軽減するため、原則として、下水道事業計画区域外における、自己の専用住宅の合併処理浄化槽の設置に対し補助を行うほか、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換についても、上乗せ補助を行うことにより、合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率が0.6ポイント上昇した。 合併処理浄化槽設置整備事業補助 1,009基 (単独処理浄化槽撤去178基を含む) (繰越明許費繰越額: 18,938,000円) (平成27年度繰越明許事業費: 15,125,918円)						

(5) 環瀬戸内海圏の中核都市として
ふさわしいまち

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成

総合評価
A

1 政策の概要

コンパクトで魅力ある都市空間の形成を図るため、人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能な集約型都市の構築に向け、都市計画制度等の的確な運用により、適正な土地利用を推進するとともに、地域における拠点性の確保を図るなど、多核連携型コンパクト・エコシティの推進に努めます。

また、自然・都市・歴史・文化の調和した、誰もが暮らしたい、訪れたいと感じる、美しいまちの実現に向け、景観の保全・形成・創出に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	95%	A
景観の保全・形成・創出	100%	A
平均	97%	A

3 政策の評価

コンパクトで魅力ある都市空間の形成に向けて、2施策に取り組んだ。

「多核連携型コンパクト・エコシティの推進」及び「景観の保全・形成・創出」の2施策では、設定する3つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	14.1%	18.6%	47.3%
景観の保全・形成・創出	17.4%	19.0%	55.2%
平均	15.8%	18.8%	51.3%

平成28年度 施策の概要調査

施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		528,858千円	A	満足度	重要度
				14.1%	47.3%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	市民	意図	平成25年2月に策定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。
----	----	----	--

概要（実績）
 人口減少・超高齢社会を見据え、30年、50年後においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるよう、集約拠点への都市機能の集積と市街地拡大を抑制し、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めるため、平成25年2月に多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画を策定した。
 適正な土地利用の推進事業としては、26年8月に都市再生特別措置法の一部を改正する法律が施行され、その推進の後押しとなる立地適正化計画を策定できることとなり、28年度には、居住と都市機能の誘導区域の設定や誘導施設、誘導策などの素案取りまとめを行った。
 集約拠点における都市機能集積事業においては、地域交流拠点となっている仏生山地区における新病院を核としたまちづくりを推進し、事業の確実な進行、管理を行った。

成果指標	指標名	用途地域内の人口比率	H28実績	H28目標	達成度	
			63.9%	64.1%	99.7%	
	状況	前年度と比べ0.1%減少しており、目標値の達成には至っていない。	達成度の推移			
	指標名	中心市街地の居住人口の割合	H28実績	H28目標	達成度	
			4.8%	5%	96.0%	
状況	人数としては、前年度から24人増の20,666人と微増であり、着実に進捗しているものの、居住人口の割合としては前年度と同値の4.8%であり、目標値の達成には至っていない。	達成度の推移				
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				

施策の課題
 適正な土地利用の推進においては、平成29年3月に高松市立地適正化計画（仮称）【素案】を策定した。今後は、市民や関係事業者等との合意形成を図りながら立地適正化計画を策定していくとともに、現行のコンパクト・エコシティ推進計画との整合性を図る必要がある。
 新病院を核としたまちづくりにおける都市機能集積においては、第1期都市再生整備計画が終了となることから、第2期都市再生整備計画の取りまとめが必要となる。また、新病院の開院に合わせた着実な整備を行うため、関係課の総合調整を図る必要がある。

施策の方向性
 適正な土地利用の推進においては、土地利用規制等の施行と併せ、誘導区域へのインセンティブ施策等について先進地の事例を研究するなど、本市が今後取り組むべき施策事業を整理し、立地適正化計画の成案化に向けて取り組んでいく。その中で人口減少・超高齢社会を見据え30年後、50年後においても活力を失わず市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進していく。
 新病院を核としたまちづくりにおける都市機能集積においては、引き続き整備基本計画に基づく施設整備について将来需要等を踏まえた検討を行うとともに交流センター等の整備に向け第2期都市再生整備計画を取りまとめる。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	14,419千円	特別重点	99.7%	96.0%	A	A	C	A
	市民政策局 まちづくり企画課	(事業概要、事業実績等) 多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に掲げる施策の推進に関し、広く市民の意見を聴くための推進懇談会を開催したほか、推進の後押しとなる立地適正化計画について、居住と都市機能の誘導区域の設定や誘導施設などの素案取りまとめを行った。						
2	(評価対象外)都市計画制度運用事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,260千円	(事業概要、事業実績等) 都市の健全な発展と秩序のある整備を図るため、土地利用、都市施設及び市街地開発事業など都市計画の定める都市計画審議会の運営を行った。なお、計画内容の検討に日時を要したため、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：4,540,000円)						
	都市整備局 都市計画課							
3	新病院を核としたまちづくり推進事業(北側エリア整備事業)(地域振興課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,372千円	特別重点	94.2%		A	B	A	継続
	市民政策局 地域振興課	(事業概要、事業実績等) 人が集い賑わいが生まれる場を提供できる地域交流センター(仮称)並びにより身近な場所で、住民福祉や利便性の向上につながる行政サービスを提供する中部総合センター(仮称)を一体的に整備するため、地域住民並びに公募委員を募り、ワークショップを開催し、市民と協働して、施設構想を策定した。						
4	新病院を核としたまちづくり推進事業(北側エリア整備事業)(まちづくり企画課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	86,502千円	特別重点	94.2%		A	A	B	A
	市民政策局 まちづくり企画課	(事業概要、事業実績等) 農業試験場跡地北側エリアでは、引き続き、埋蔵文化財発掘調査を実施するとともに、香川県農業試験場跡地北側エリア調整池工事(交流広場予定地)に伴い用地取得を行った。 なお、関連事業との工程調整に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：77,300,000円) また、前年度からの繰越事業である、埋蔵文化財発掘調査については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：15,197,358円)						
5	新病院を核としたまちづくり推進事業(北側エリア整備事業)(都市計画課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,789千円	特別重点	94.2%		A	A	B	A
	都市整備局 都市計画課	(事業概要、事業実績等) 仏生山駅西口駅前広場用地地権者の移転先となる北側エリア内代替地の造成及び上下水道工事を推進した。日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：37,759,000円) また、前年度からの繰越事業については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：6,546,960円)						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（道路整備課分）	重点 特別重点	成果達成度 94.2%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	148,394千円	（事業概要、事業実績等） 「新病院を核としたまちづくり推進事業」を推進するため、県農業試験場跡地北側エリアの整備計画に基づき、工事の日に道路の用地取得、改良工事等を推進した。なお、地元関係者との協議に日時を要したことなどにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：76,003,000円）						
	都市整備局 道路整備課							
7	新病院を核としたまちづくり推進事業（新病院アクセス道路整備事業）	重点 特別重点	成果達成度 94.4%	妥当性 A	有効性 A	効率性 B	総合評価 A	今後の方向性 継続
	158,189千円	（事業概要、事業実績等） 新病院へのアクセス道路である市道仏生山円座線及び仏生山町8号線の用地買収、及び道路改良工事を推進した。また、前年度から繰越事業である用地取得等については完了した。 （繰越明許費繰越額：64,363,000円） （平成27年度繰越明許事業費：48,913,428円）						
	都市整備局 道路整備課							
8	新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（公園緑地課分）	重点 特別重点	成果達成度 94.2%	妥当性 A	有効性 A	効率性 A	総合評価 A	今後の方向性 継続
	95,933千円	（事業概要、事業実績等） 農業試験場跡地北側エリアでは、埋蔵文化財発掘調査を実施するとともに飲料水兼用耐震性貯水槽設置等の整備を行った。また、前年度から繰越事業である、用地取得及び埋蔵文化財発掘調査については完了した。 （繰越明許費繰越額：55,198,000円） （平成27年度繰越明許事業費：35,656,005円）						
	都市整備局 公園緑地課							

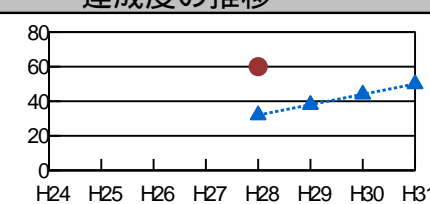

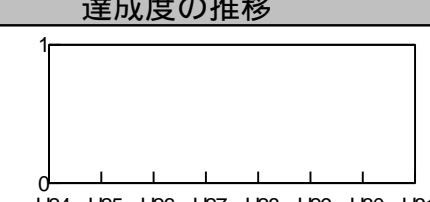
平成28年度 施策の概要調書

施策	景観の保全・形成・創出	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		30,803千円	A	満足度	重要度
				17.4%	55.2%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成
担当局	都市整備局

対象	市民	意図	良好な景観の保全・形成・創出と環境美化を一体的に推進するため、美しいまちづくり条例を制定し、条例に基づく景観施策の指針となる美しいまちづくり基本計画を策定するとともに、景観法に基づく景観計画を策定することにより、地域に即した都市景観の形成を目指す。

概要(実績)	良好な都市景観を保全・形成・創出するとともに、まちの環境美化に取り組むことで美しいまちづくりを推進するため、平成28年4月1日から屋島地区及び讃岐国分寺跡周辺地区を景観計画で定める景観形成重点地区に追加指定した。 また、景観条例に基づく届出対象行為(159件)に対する審査を行ったほか、既存不適格広告物の広告主に対し屋外広告物改修補助制度の活用による早期撤収・改修を促す(利用件数:45件)とともに、電柱広告などの違反屋外広告物について関係者と連携して簡易除去(333件)を行ったことにより、良好な景観の保全・形成・創出に寄与した。
--------	---

成果指標	指標名	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	H28実績	H28目標	達成度
	状況	平成27～28年度にかけて、特別な区域のうち特に栗林公園内の眺望地点から望見される広告物の改修が進み、目標を十分に達成することができた。	60%	32%	187.5%
			達成度の推移		
	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況		達成度の推移		
指標名		H28実績	H28目標	達成度	
状況		達成度の推移			

施策の課題	美しいまちづくりの実現に向けては、市・市民・事業者が適正な役割分担の下で、三者が一体となって地域の魅力や特性を活かしたまちづくりを進めていく必要がある。
-------	--

施策の方向性	良好な都市景観の形成に向け、美しいまちづくり条例に基づく基本計画で定めた目標を達成するため、平成28年4月に一部変更した景観計画の周知・啓発と一定規模以上の建築物等に対する指導・助言により、良好な景観の保全・形成を図るとともに、25年度に改正した高松市屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の規制・誘導を行い、建築物等と一体となった良好な景観形成を推進する。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
1	美しいまちづくり推進事業 29,432千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	62.1%	100.0%	A	B	B	B	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 景観施策の指針である美しいまちづくり基本計画に定める目標を実現するため、景観計画の一部を変更し、景観形成重点地区に屋島と讃岐園分寺跡周辺を追加指定するなどにより、良好な景観形成を誘導した。また、おまつりなどの実施主体の事業が溢れたことにより、年度内に補助金の支出が一部不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額4,494,000円) また、前年度からの繰越事業である既存不適格広告物改修等補助事業については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：22,871,000円)</p>							
2	屋外広告物対策事業 1,371千円 都市整備局 都市計画課	重点	成果達成度		妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			144.8%		A	A	B	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示や掲出物件の設置を規制・誘導したほか、平成26年度に実施した是正指導後においても、違反広告物是正計画書が提出されない広告主に対して督促を行うとともに、市民との協働により簡易な違反広告物の除去活動を行うことにより、良好な景観形成に寄与した。</p>							

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成

総合評価
A

1 政策の概要

多様な交通が有機的に連携した快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存せず、誰もが安全で快適に移動することができるよう、生活バス路線の確保、離島航路への支援など、公共交通機関の充実・強化や主要な駅等におけるパーク・アンド・ライドの推進など、公共交通の利便性の向上を図ります。

また、自転車利用者と歩行者の双方が道路を安全で快適に利用できるよう、駐輪場や自転車走行空間の確保を始め、レンタサイクルや放置自転車対策などの事業を進めるとともに、自転車利用者のマナー向上に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
公共交通の利便性の向上	96%	A
自転車の利用環境の向上	90%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

快適で人にやさしい都市交通の形成に向けて、2施策に取り組んだ。

「公共交通の利便性の向上」及び「自転車の利用環境の向上」に2施策では、設定する4つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
公共交通の利便性の向上	21.0%	43.1%	79.1%
自転車の利用環境の向上	23.6%	26.1%	57.7%
平均	22.3%	34.6%	68.4%

平成28年度 施策の概要調書

施策	公共交通の利便性の向上	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		1,345,122千円	A	満足度	重要度
				21.0%	79.1%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	市民、来訪者	意図	市民の活動を支える多様な移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性の向上により、公共交通の利用促進を図る。
----	--------	----	--

概要（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な公共交通ネットワークの再構築（交通結節拠点等整備及びバス路線再編） ・総合都市交通計画推進協議会の開催及び公共交通利用促進条例の理念を踏まえた施策の実施 ・新交通システムの導入検討 ・市民啓発活動（カーフリーデー高松等）の開催 ・鉄道駅のバリアフリー化、生活交通路線の確保維持 ・パークアンドライド駐車場の管理運営 ・市道東山崎町51号線の改良工事 ・市立駐車場の管理運営
--------	---

成果指標	指標名	公共交通機関利用率	H28実績	H28目標	達成度
	状況	公共交通利用率は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増を目標として掲げている。前年度に比べ、1日当たりの公共交通機関利用者数は、約2,300人増加し、利用率も14.2%から14.7%へと上昇したものの、20年代前半に利用者数が減少したことの影響により、目標値の達成に至らなかった。	14.7%	15.29%	96.1%
			達成度の推移		
	指標名	交通結節拠点におけるバス路線の結節数（中心部を除く）	H28実績	H28目標	達成度
	状況	当該指標は、平成24年度の交通結節拠点におけるバス路線の結節数を目標と掲げている。新たな公共交通の結節拠点整備に併せ、バス路線再編を進める、公共交通ネットワークの再構築の進捗を確認するものであり、昨年度は新たな路線再編までには至っていないが、目標は達成している。	3路線	3路線	100.0%
		達成度の推移			
指標名		H28実績	H28目標	達成度	
状況					
		達成度の推移			

施策の課題	【市民政策局】【都市整備局】過度に自動車に依存した状態から、公共交通への利用転換を図るため、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの再構築については、新たな交通結節拠点整備やバス路線再編はもとより、良好な交通環境の確保が課題となっており、関係機関及び交通事業者との連携により事業推進に努めている。
-------	--

施策の方向性	公共交通の利便性の向上に当たっては、市全域を対象とした公共交通体系の再編と、ハード・ソフトの両面から公共交通の利便性の向上に資する施策を積極的に推進するとともに、都市計画マスタープランに掲げる、「多核連携型コンパクト・エコシティ」の観点から、拠点地域等への都市機能の集約を進めるなど、集約型の都市構造への転換を図り、公共交通の利用を促進していく必要がある。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	地域公共交通再編事業（交通政策課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 交通政策課	特別重点	100.0%	96.1%	A	A	B	A
		（事業概要、事業実績等） 持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指し、地域公共交通網形成計画に基づき、新たな交通結節拠点整備とバス路線再編に関し、関係機関と連携し事業を進めている。なお、新駅（太田～仏生山駅間）整備の基本計画検討業務については、関連する上位計画が見直し中であること等により、年度内に業務の完了が不可能となったため、委託料を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：9,872,000円）						
2	国道11号高松東道路関連整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課		100.0%		B	C	B	A
		（事業概要、事業実績等） 国道11号高松東道路整備に関連した琴電高架化に伴う側道整備として、平成28年度は引き続き東山崎町51号線について、市道東山崎亀田線（長尾街道）から国道11号までの間のうち、約110mの区間の整備を行った。 9,429千円						
3	J R 端岡駅周辺整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 都市計画課	一般重点	80.0%		A	A	B	B
		（事業概要、事業実績等） J R 端岡駅北口回転広場の完成により、駅の利便性及び交通結節機能が向上した。なお、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：1,800,000円） また、前年度からの繰越事業については完了した。 （平成27年度繰越明許事業費：32,804,420円） 32,992千円						
4	地域公共交通再編事業（都市計画課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 都市計画課	特別重点	96.1%		A	A	B	A
		（事業概要、事業実績等） ことでの三條～太田駅間の新駅整備に関し、駅前広場整備については、都市計画決定等法に基づき、事業の実施設計は、それぞれの実施主体である法定協議会及び駅舎と対する補助制度を整え、いずれも実施設計に着手した。なお、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：115,845,000円） 1,114千円						
5	公共交通利用促進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 交通政策課	一般重点	100.0%	96.1%	A	A	A	A
		（事業概要、事業実績等） 「総合都市交通計画」及び「公共交通利用促進条例」の理念を踏まえた施策である。半額制を継続し、また、高松市が、70歳以上の市民を対象とした運行支援のほかに、増一繋がり、特に高松市は、利用促進施策の実施により、公共交通の利用率が、増一繋がり、特に高松市は、1日当たりの利用者数が、約31,500人から33,000人に増加した。なお、国を補助事業の執行に当たり、事業主体の実施期間を確保するため、補助金を翌年度に繰り越した。 （繰越明許費繰越額：156,772,000円） また、前年度からの繰越事業であることでの新駅（三條～太田駅間）基本計画及び（太田～仏生山駅間）基本構想検討業務については完了した。 （平成27年度繰越明許事業費：24,678,000円） 170,262千円						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容							
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性			
							一般重点	100.0%	A
6	新都市交通システム導入検討事業	(事業概要、事業実績等) 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを目指し、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に取り組んでいる。新交通システム導入について、「コンパクト・プラス」の導入検討チームによる、本市中心部における新交通システム導入の検討と、また、「まちなかループバス」の導入促進に向けた、サービス水準向上策を取りまとめた。							4,796千円
	市民政策局 交通政策課								
7	公共交通維持改善事業(交通政策課分)	(事業概要、事業実績等) 生活バス路線の維持充実、利便性の向上を図るための補助を行い、良好な交通環境を確保している。また、地域主導型の持続可能な公共交通を構築するため、コミバス等の導入検討に係る地域組織への支援を2件行った。							94,651千円
	市民政策局 交通政策課								
8	(評価対象外) 駐車場管理運営事業	(事業概要、事業実績等) 引き続き指定管理者による、市営駐車場8施設の管理・運営を行い、利用者の利便性の向上と経費節減につなげた。なお、設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越明許費繰越額：6,027,000円) また、前年度からの繰越事業である中央駐車場南出入口改修工事については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：3,572,640円)							716,921千円
	都市整備局 都市計画課								
9	公共交通維持改善事業(都市計画課分)	(事業概要、事業実績等) 公共交通の維持、良好な交通環境を確保するため、鉄道事業者(琴電(株))が実施するバリアフリー化事業(太田駅 多目的トイレの整備)費の一部を支援した。また、公共交通の利用促進のため、パークアンドライド施設(2箇所)について、適正な管理、運営を行った。							1,316千円
	都市整備局 都市計画課								


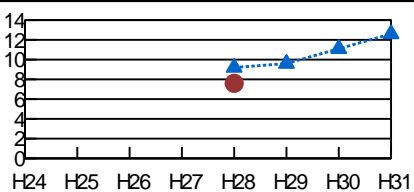

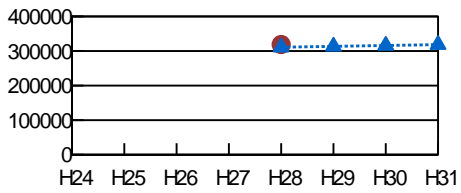
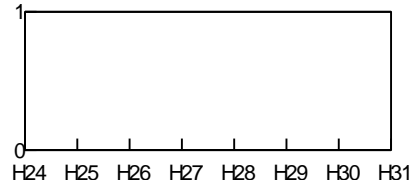
平成28年度 施策の概要調書

施策	自転車の利用環境の向上	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		256,056千円	A	満足度	重要度
				23.6%	57.7%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	快適で人にやさしい都市交通の形成
担当局	都市整備局、市民政策局

対象	市民	意図	市民が安全で快適に自転車を利用することができるための環境を整備し、自転車利用の促進を目指す。
----	----	----	--

概要（実績）
 自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会高松地区委員会を継承する形で、高松市自転車ネットワーク計画推進協議会を創設し、協議会を開催するとともに、平成20年11月策定の「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に示された対象路線のうち、5路線の整備を行い、10路線の詳細設計に着手した。また、放置自転車対策として、規定の期間以上放置された自転車について、警告（51,580台）、移送（5,439台）を行うとともに、レンタサイクル事業の利用促進及びイメージアップのため、引き続き、新規導入車両に新デザインの塗装を行った。さらに、琴電駅前自転車駐車場の整備（15台）や、チャリんこ救急ステーションの継続を行い、これらの実施により、自転車利用環境整備の推進に寄与した。

成果指標	指標名	自転車道等整備済延長（累積）	H28実績	H28目標	達成度	
			7.6km	9.2km	82.6%	
	状況	平成28年度には、丸亀町栗林線など、3.4km区間を供用したが、関係機関との協議に日時を要したことにより、当初の目標を達成することができなかった。	達成度の推移			
						
指標名	レンタサイクル利用者数	H28実績	H28目標	達成度		
		318,793人	311,000人	102.5%		
状況	駅前の地下にあるポートへの案内看板の設置や新デザインの導入などの利用促進の結果、目標を達成することができた。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題
 【市民政策局】
 「チャリんこ便利都市」強化推進事業である、チャリんこ救急ステーション事業について、廃止を含め今後の在り方について検討する。
 【都市整備局】
 道路管理者・鉄道事業者や商店街などが役割分担に基づき関係機関と連携し計画的に事業の推進に努めているが、利害関係者の意見調整に時間を要する。

施策の方向性
 チャリんこ便利都市の推進に向けた事業展開について検討が必要である。
 自転車の走行空間と駐輪スペースの確保を最優先に取り組みとともに、自転車事故対策やマナーアップ等について、警察やその他の関係機関と連携して取り組む必要がある。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	「チャリんこ便利都市」強化推進事業（交通政策課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 交通政策課	一般重点	127.3%	C	B	B	A	改善継続
		（事業概要、事業実績等） 自転車の利便性を高めるため、市内のコンビニエンス・ストアやコミュニティセンター等の協力を得て、自転車用空気入れを配備する「チャリんこ救急ステーション」の拡充に努めたが、コンビニエンス・ストアの減少により7箇所減少し196箇所となった。						
2	自転車利用環境整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 道路整備課	一般重点	82.6%	A	A	B	B	継続
76,118千円		（事業概要、事業実績等） 安全空間確保部会において、平成20年11月策定の「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に示された対象路線のうち、未整備路線の整備手法について検討した結果を踏まえ、5路線の整備を行い、10路線の設計に着手した。 なお、地元関係者及び関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内の事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 （線越明許費繰越額：21,343,000円） また、前年度からの繰越事業である自転車走行指導帯整備工事については完了した。 （平成27年度繰越明許事業費：61,460,640円）						
3	「チャリんこ便利都市」強化推進事業（都市計画課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 都市計画課	一般重点	96.6%	A	B	B	A	改善継続
177千円		（事業概要、事業実績等） 「サイクルアンドバスライド駐輪場整備事業補助金交付要綱」に基づき、路線バス事業者が郊外のバス停付近で行った2箇所の駐輪場整備に対する支援により、自転車と路線バスの乗継利便性の向上に寄与した。						
4	レンタサイクル事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 都市計画課	一般重点	119.4% 102.5%	A	B	B	A	改善継続
64,232千円		（事業概要、事業実績等） 整備員5名による点検整備を行うとともに、平成26年度に公募により決定した新デザインを120台の車両に塗装したことにより、安全安心かつ快適に利用できる交通手段の市民への提供に寄与した。						
5	駐輪場整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 都市計画課		97.0% 100.0%	A	B	B	A	継続
8,181千円		（事業概要、事業実績等） 自転車駐車場の整備及び中央商店街における民間自転車等駐車場の確保に対する支援を行ったことで、自転車利用者の利便確保及び放置自転車の減少に寄与した。 琴電房前駅前自転車等駐車場整備 15台（収容能力）						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
6	(評価対象外) 駐輪場管理事業 68,100千円							
	都市整備局 都市計画課	(事業概要、事業実績等) 引き続き自転車等駐車場の維持・管理を行い、自転車等利用者の利便性の確保に寄与した。						
7	放置自転車等対策事業 39,248千円		120.0%	A	B	B	A	継続
	都市整備局 都市計画課	(事業概要、事業実績等) 放置自転車の警告、移送、保管、返還、処分等を行ったことにより、快適で安全なまちづくりに寄与した。 警告 51,580台 移送 5,439台 返還 2,969台 処分等 2,560台						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実

総合評価
A

1 政策の概要

激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高め、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、高松空港や高松港の機能強化、四国への新幹線の導入促進など、拠点性を高める交通網の整備と利用促進を進めます。

また、都市計画道路等の整備により、道路交通の円滑化・安全性の向上など、拠点性を高める道路ネットワークの整備を進めます。

また、ウォーターフロントの魅力をいかしながら、サンポート高松など中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進し、人々の回遊性を高めるなど、中心市街地の活性化に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	98%	A
拠点性を高める道路ネットワークの整備	100%	A
中心市街地の活性化	88%	A
平均	95%	A

3 政策の評価

拠点性を発揮できる都市機能の充実に向けて、3施策に取り組んだ。

「拠点性を高める交通網の整備と利用促進」、「拠点性を高める道路ネットワークの整備」及び「中心市街地の活性化」の3施策では、設定する7つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	23.0%	28.0%	69.6%
拠点性を高める道路ネットワークの整備	27.0%	24.1%	64.4%
中心市街地の活性化	18.2%	25.4%	60.5%
平均	22.7%	25.8%	64.8%

平成28年度 施策の概要調書

施策	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		460,333千円	A	満足度	重要度
				23.0%	69.0%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	地域経済・産業（人・物・情報）	意図	環瀬戸内海圏の中核都市としての機能を発揮できる陸海空の交通ネットワークの整備と利用促進により、交流人口の拡大、物流の円滑化を促進し、地域経済及び産業の活性化を目指す。

概要（実績）
 高松空港の新規定期路線の就航、既存定期路線の増便を図り、航空ネットワークが拡充され、利用者数も増加している。
 海上輸送網の拡充により、高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数は増加している。
 四国の新幹線の早期実現が図られるよう、県内全市町等で組織する、「香川県」R四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会」等を中心として、シンポジウムや勉強会を開催した。

成果指標	指標名	H28実績	H28目標	達成度
		高松空港の利用者数	185万人	179万人
状況	新規定期路線（香港線週4）が就航し、ソウル線2往復/週（週3 週5）、上海線1往復/週（週4 週5）台北線2往復/週（週4 週6：H28.4～H28.11.28、H29.3.27～のみ）が増便して、航空ネットワークが拡充された結果、利用者数も増加した。		達成度の推移 	
	高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数		971千純トン	969千純トン
状況	平成9年に韓国釜山航路が開設されて以降、順次航路開設が進み、現在4航路週7便が就航しており海上輸送網の拡充により、純トン数も増加した。（中国航路2便、韓国航路4便、フィーダー航路1便 計7便）		達成度の推移 	
	市内JR駅の乗降客数		716万人	722万人
状況	当該指標は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を見込み目標として掲げている。前年度実績に比べ増加したものの、20年代前半に利用者数が減少したことの影響により、目標値の達成に至らなかった。		達成度の推移 	

施策の課題
 【市民政策局】航空路線の拡大により利用者数は増加しているが、平成30年4月からの空港運営の民間委託により更なる交流人口の拡大による地域活性化に取り組む必要がある。
 【都市整備局】海上輸送網の拡充により、純トン数は増加しているが、今後の航路拡充・物流量の増加に向けた地域経済の活性化に取り組む必要がある。
 【市民政策局】四国の新幹線を実現するため、関係団体等との連携により、国土交通省等に調査・研究を要望するなど、整備計画への格上げに向け取り組む必要がある。

施策の方向性
 高松空港の航空ネットワークの拡充については、推進母体である高松空港振興期成会と、運営事業者の役割分担を明確にする中で、より効果的な事業の推進に努める。
 高松港の交通・物流拠点性の向上については、事業主体である香川県と協同し、より効率の良い施設整備及び運営に努める。
 四国の新幹線の整備計画への格上げに向け、関係機関等との連携により、国土交通省等への要望活動と、市民意識の醸成に努める。

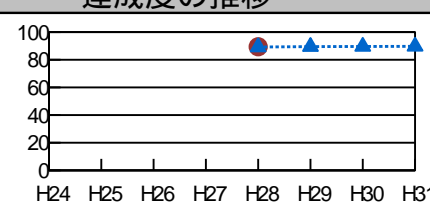

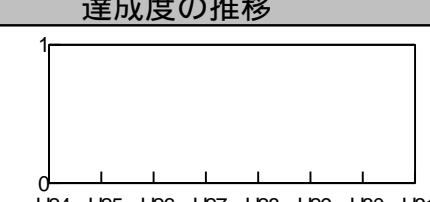
平成28年度 施策の概要調書

施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		680,922千円	A	27.0%	64.4%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	都市整備局

対象	対象施設：都市計画道路 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者・自動車利用者）及び道路周辺住民	意図	中枢拠点都市としての道路ネットワークを強化し、安全安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する。

概要（実績）	コンパクトな都市構造への転換に向けて、中心市街地地区を中心とした集約拠点間のアクセスを向上させるため、都市計画道路の整備により、道路ネットワークの強化を図った。 ・高松海岸線（屋島工区）道路改良工事、舗装工事等 ・木太鬼無線（西春日・鶴市工区）用地取得、道路改良工事等 ・木太木無線（三条工区）用地補償等 ・朝日町仏生山線 用地補償等 ・兵庫町西通町線 用地補償等 ・公園東門線 用地取得、橋梁設計等 ・香西東町香西南町線 用地補償等 ・郷東檀紙西線 用地補償等
--------	---

成果指標	指標名	都市計画道路整備率	H28実績	H28目標	達成度	
			89.4%	89.2%	100.2%	
	状況	道路工事や土地収用法を活用し用地取得を進めるなど、事業を進めたことにより、目標を達成した。	達成度の推移			
	指標名		H28実績	H28目標	達成度	
状況		達成度の推移				
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				

施策の課題	多額の事業費が必要な街路事業においては、将来を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりの視点など、更なる費用対効果の分析・検討が必要である。
-------	--

施策の方向性	本市が目指す、多核連携型コンパクトエコシティの実現に向け、立地適正化計画との整合性を図りつつ、都市の骨格を成す街路や集約拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化が必要となっている。このようなことから、今後、都市計画道路整備プログラムを見直す予定としている。
--------	---

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	街路事業	一般重点	100.2%	A	A	B	A	継続
	680,922千円	<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>都市交通の円滑化及び良好な都市環境の形成により、安全で快適な都市機能を確保するため、高松海岸線、木太鬼無線、及び朝日町仏生山線等、都市計画道路の整備を進めた。なお、地元関係者との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰り越明許費繰り越額：323,630,000円) また、前年度からの繰り越事業である用地取得等については完了した。 (平成27年度繰り越明許事業費：55,744,190円)</p>						
	都市整備局 道路整備課							

平成28年度 施策の概要調書

施策	中心市街地の活性化	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		129,445千円	A	満足度	重要度
				18.2%	60.9%

まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち
政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実
担当局	市民政策局、都市整備局

対象	高松市中心市街地	意図	中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成や、まちなか居住を促進する再開発等の事業を推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。

概要（実績）
 本市を取り巻く環境の変化に伴い、中心市街地の人口減少や商店街の空き店舗の増加など、にぎわい・活力の低下が見られたので、にぎわいを戻すために、国の交付金等を活用するべく、平成19年5月に第1期高松市中心市街地活性化基本計画の国の認定を受けた。第1期計画の計画期間が25年3月で終了したため、第2期計画を策定し、25年6月に国の認定を受けた。
 28年度は、これまでの官民連携の取組により中央商店街の歩行者通行量が増加するなど、中心市街地の活性化に寄与した。

成果指標	指標名	中央商店街の空き店舗率	H28実績	H28目標	達成度	
			17.3%	14.9%	83.9%	
	状況	各商店街でイベント等の実施によるにぎわいの創出や空き店舗活用事業による店舗の出店誘致など、活性化に向けた様々な事業が行われているものの、田町、片原町東部などの空き店舗が増加したことなどから、平成28年度の空き店舗率は、目標値を下回る結果となった。	達成度の推移			
	指標名	中央商店街の歩行者通行量	H28実績	H28目標	達成度	
			130,566人	141,000人	92.6%	
状況	平成28年度の歩行者通行量は、各商店街のイベント等の実施によるにぎわいの創出など活性化に向けた様々な事業が継続的に行われていることなどから、前年度と比べ1,709人増加したものの、目標値を下回る結果となった。	達成度の推移				
指標名	中心市街地の居住人口の割合	H28実績	H28目標	達成度		
		4.8%	5%	96.0%		
状況	人数としては、前年度から24人増の20,666人と微増であり、着実に進捗しているものの、居住人口の割合としては前年度と同値の4.8%であり、目標値の達成には至っていない。	達成度の推移				

施策の課題
 【市民政策局】第2期高松市中心市街地活性化基本計画に掲げた3つの指標において数値目標の達成には至っていない。今後はより一層、官民が連携し、基本計画掲載事業の進捗等に向けて取り組んでいく。
 【都市整備局】民間主導により、丸亀町商店街等で計画された再開発のうち、未着手の街区において、より魅力のある空間を創出することにより、中央商店街全体のにぎわいを取り戻すことを目指しており、事業化に向けた関係権利者の合意形成や事業スキームの確立が課題である。

施策の方向性
 【市民政策局】中心市街地活性化のために必要な事業であり、更なる活性化に向けて引き続き実施するとともに、第2期高松市中心市街地活性化基本計画の未着手事業が着手できるよう、実施主体である民間事業者等の後押しを行い、積極的な推進を図っていく。その中で、現状分析や課題の抽出を行い、次期計画（第3期）の策定を進めていく。
 【都市整備局】激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高めるために、中心市街地の活性化は重要な継続課題であり、社会経済情勢を見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行うことで、効果的に事業に取り組む、拠点性を発揮できる都市機能の充実に努める。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) サンポート高松北側街区整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 政策課							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>11月28日の県議会本会議において、新県立体育館の建設に関し、県教育長から、サンポート高松での建設の方向を進める方針が発表された。本市としては、土地開発公社が所有するサンポート高松A1街区を無償で貸与することを決定した。香川県が中心となつて、県市の関係課で構成する新県立体育館県市合同調整会議を計5回開催し、意思統一を図ると共に想定される課題の解決を図った。</p>						
2	(評価対象外) 瓦町駅ビル利活用事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 市民課							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>本市の中心市街地における公共交通結節点であり、中心市街地南部地域のにぎわいの創出機能を持つコトデン瓦町ビル(瓦町FLAG)8階に、平成27年10月、市民交流プラザI-KODE瓦町を整備した。健康ステーション、アートステーション、市民活動センター、中央図書館サテライトといった機能の異なる5つの施設を配置し、行政サービスの促進を図るとともに、市民の交流及び活動の場として利用されている。28年10月には、各施設において、1周年記念イベントを開催し、幅広い市民層の関心を集め、市民の方々の交流が図られたところである。なお、28年度における8階施設の年間来場者数は、約20万人余りであった。</p>						
3	(評価対象外) サンポート高松管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	都市整備局 都市計画課							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>サンポート高松の市公社が所有しているA1街区等について、サンポート高松のにぎわいの創出に寄与するイベントの用に貸し付けるなど、適正な維持管理を行った。</p>						
4	中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 まちづくり企画課		92.6%	83.9%	A	A	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>本事業では、第2期高松市中心市街地活性化基本計画に掲載されている事業の進行管理をするとともに、基本計画の成果(28年度実績値：中央商店街の歩行者通行量130,566人、中央商店街の空き店舗率17.3%)についてフォローアップを実施した。また、同計画の策定及び変更等の際には、中心市街地活性化協議会において意見を聴取することとなる。同協議会には収益性がないため、本事業において同協議会の運営に対する負担金を支出した。</p>						
5	(評価対象外) 中央商店街調査事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	市民政策局 まちづくり企画課							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高松中央商店街の通行量や店舗立地動向調査については、高松商工会議所が行った2回の調査結果を基にこれまで以上の調査結果と比較分析を行い、現状を把握したほか、中央商店街のにぎわい向上を図るための実施する事業の基礎データとしたことから、関係団体と共に、調査費用の一部を負担した。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外) 中心市街地活性化推進事業(都市計画課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	273千円	(事業概要、事業実績等) I r u C a 電子マネー取扱手数料を支出することにより、中心市街地における施設利用者の利便性が向上した。						
	都市整備局 都市計画課							
7	高松丸亀町商店街再開発事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	16,957千円	特別重点	109.7%	A	A	B	A	継続
	都市整備局 都市計画課	(事業概要、事業実績等) 大工町・磨屋町地区における再開発事業の実施を検討する民間準備組合に対し補助金を交付することで、建物等評価調査業務等が実施され、再開発事業計画の精度が向上した。						

**(6) 市民と行政がともに力を
発揮できるまち**

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生

総合評価
A

1 政策の概要

参画・協働によるコミュニティの再生を図るため、新しい公共の担い手として、地域コミュニティ協議会が地域社会の中心的な役割を果たし、地域のまちづくりが活性化できるよう、組織体制の充実を図るとともに、地域のリーダー養成や地域コミュニティ協議会事業への財政支援などを行い、地域コミュニティの自立・活性化に努めます。

また、多様なパートナーシップの下、市民やNPOなど市民活動団体と行政との協働によるまちづくりを進めるため、市民活動センター機能の拡充や協働の担い手の育成など、協働事業を充実させるとともに、広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供などによる行政の透明性の向上を図り、参画・協働の推進に努めます。

また、女木島、男木島及び大島、それぞれの島の特性や瀬戸内国際芸術祭の経験をいかし、多様な主体が参加・協働して島の魅力をいかした島づくりに取り組むことにより、交流・定住人口の拡大を目指し、離島の振興に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
地域コミュニティの自立・活性化	81%	B
参画・協働の推進	93%	A
離島の振興	91%	A
平均	88%	A

3 政策の評価

参画・協働によるコミュニティの再生に向けて、3つの施策に取り組んだ。

「地域コミュニティの自立・活性化」では、設定する2つの成果指標のうちコミュニティプランの見直し率については目標に届かなかったものの、自治会加入率は目標を概ね達成しており、施策の得点率は81%となった。

「参画・協働の推進」及び「離島の振興」では、設定する4つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は88%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域コミュニティの自立・活性化	30.3%	14.9%	53.0%
参画・協働の推進	19.7%	10.7%	44.8%
離島の振興	20.5%	10.4%	42.8%
平均	23.5%	12.0%	46.9%

平成28年度 施策の概要調書

施策	地域コミュニティの自立・活性化	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		1,660,353千円	B	満足度	重要度
				30.3%	53.0%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局、教育局

対象	市民	意図	各地域コミュニティ協議会及び高松市コミュニティ協議会連合会の活動を支援するとともに組織強化を促すほか、地域コミュニティ活動の拠点整備を促進することにより、地域コミュニティの自立・活性化を目指す。
----	----	----	---

概要（実績）
 11月の自治会加入促進月間における啓発活動などの種々加入促進活動に加え、地域と行政が連携したプロジェクトチームを設置し、より実効性のある加入促進策の検討に取り組んだが、加入率の減少傾向に歯止めがかからなかった。
 また、コミュニティプランの見直しに対応するため、担当課による出前講座や、アドバイザーの役割を担える専門家紹介などによる支援に努めるとともに、地域まちづくり交付金において、コミュニティプランに基づいた中・長期的な取組を支援する「課題解決応援加算」を創設したことにより、コミュニティプランの見直しを促したが、見直した地域は増加しなかった。
 このほか、人材育成としての人材養成事業、活動拠点づくりとしての東植田コミュニティセンター改築工事、活動支援としての地域まちづくり交付金の交付など、地域コミュニティ協議会及び自治会に対する支援を行った。

成果指標	指標名	自治会加入率	H28実績	60.2%	H28目標	62.4%	達成度	96.5%
	状況	種々の加入促進活動はもとより、地域と行政が連携したプロジェクトチームを設置し、より実効性のある加入促進の対策検討に取り組んだが、加入率の減少傾向に歯止めがかからず、目標達成に至らなかった。	達成度の推移				☁️	
	指標名	コミュニティプランの見直し率	H28実績	54.5%	H28目標	77.3%	達成度	70.5%
	状況	各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプランの見直しの支援に努めたが、目標達成に至らなかった。	達成度の推移				☔️	
	指標名		H28実績		H28目標		達成度	
	状況		達成度の推移					

施策の課題
 【市民政策局】地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下が課題となっている。
 また、地域コミュニティ組織の構築からおおむね10年以上が経過し、各地域の活動への理解や取組状況に温度差がみられ、民主的な組織運営、適正な会計処理などが求められている。
 【教育局】学校施設・跡施設利用実施計画に基づき一部事業を実施しているが、今後継続的に利活用するには施設の維持管理等が課題となる。

施策の方向性
 自治会加入促進策について、今日の自治会の役割や目的を検証した上で、地域とともに実効性のある具体的な方策を検討していく。
 また、コミュニティ組織の強化・充実に向けて、高松市コミュニティ協議会連合会や各地域コミュニティ協議会への運営支援を行うとともに、地域の裁量を生かした地域まちづくり交付金等によるコミュニティの活動支援を行う。
 また、活動拠点となるコミュニティセンター施設について、30年度からスタートする次期計画に基づき、計画的な改築及び改修を行う。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	102,106千円	特別重点	100.0%	A	A	B	A	継続
市民政策局 コミュニティ推進課		(事業概要、事業実績等) 地域コミュニティ協議会の事務局職員に対する人件費を補助することにより、事務局体制の強化を支援した。 対象地区 44地域コミュニティ協議会						
2	コミュニティ推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	37,038千円		86.4%	A	A	A	A	拡充
市民政策局 コミュニティ推進課		(事業概要、事業実績等) 高松市コミュニティ協議会連合会への運営補助金を通して、組織の人員体制の強化や地域コミュニティ協議会に対する外部監査に着手するとともに、地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業の実施、コミュニティ活動備品の整備などを行った。						
3	自治会活動推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,257千円		96.5%	A	A	C	A	改善継続
市民政策局 コミュニティ推進課		(事業概要、事業実績等) 高松市連合自治会連絡協議会に対する運営補助金、自治会加入・結成奨励補助金、及び自治会集会所管理運営補助金を交付した。						
4	地域まちづくり交付金事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	288,423千円	一般重点	70.5%	B	A	B	B	拡充
市民政策局 コミュニティ推進課		(事業概要、事業実績等) 地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政との協働による地域自らのまちづくり活動を推進するため、地域コミュニティ協議会に対して交付した。						
5	ゆめづくり推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	20,528千円	特別重点	50.0%	C	A	C	D	統合
市民政策局 コミュニティ推進課		(事業概要、事業実績等) 地域の課題解決やまちづくりのために提案された事業に対して、一地域コミュニティ協議会当たり100万円を上限として補助金を交付した。 実施地区 22地域コミュニティ協議会 なお、事業の継続性や事業実施の目的化などの課題から、より効果的な制度とするため、見直しを行った結果、平成29年度から地域まちづくり交付金に統合し、課題解決応援加算として、制度の発展的な継承を図ることとした。						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	(評価対象外)コミュニティ活動支援システム整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	12,706千円	(事業概要、事業実績等) 行政とコミュニティセンター間の情報伝達並びにコミュニティセンター相互の情報交換や情報共有を図るため、ネットワークシステムを構築するとともに、パソコン及びその周辺機器を配置し、コミュニティセンターの運営の効率化、地域コミュニティ活動の情報発信機能の整備をした。						
市民政策局 コミュニティ推進課								
7	(評価対象外)コミュニティセンター管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	505,465千円	(事業概要、事業実績等) 地域における生涯学習の拠点としての機能を維持しつつ、自助・共助・公助の考えに基づき、市民と行政が協働して住みよいまちづくりを進めるための活動拠点を指定するため、各地区コミュニティセンターについて、各地域コミュニティ協議会と指定管理者に指定し、コミュニティセンター52施設の管理運営を委託した。						
市民政策局 コミュニティ推進課								
8	自治会集会所整備支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	28,922千円	100.0%	A	B	B	A	継続	
市民政策局 コミュニティ推進課		(事業概要、事業実績等) 高松市自治会集会所新築等補助規程に基づき、地域住民の活動拠点である自治会集会所の新築、増築、又は改修に対して助成を行った。 新築・改築補助 3件 増築・改修補助 13件						
9	コミュニティセンター整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	476,062千円	特別重点	100.0%	A	B	B	A	継続
市民政策局 地域振興課		(事業概要、事業実績等) 中期整備指針等に基づき、東植田コミセン改築など、計画的整備を行い、活動拠点づくりに努めた。次期コミセン整備計画策定業務委託については仕様の検討に時間を要したことから、屋島及び川岡コミセンの設計は地元関係者との協議に日時を要したことが、年度内に事業の完了不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。(繰越明許繰越額: 15,540,000円) また、前年度からの繰越事業である東植田コミセン改築工事、西植田コミセン耐震改修工事、木太コミセン改築実施設計、川岡基本設計、国分寺南部コミセン駐車場整備工事、十河コミセン周辺整備工事等については完了した。(平成27年度繰越明許事業費: 270,578,328円)						
10	(評価対象外)集会所施設管理事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	21,694千円	(事業概要、事業実績等) 市民に地域活動、レクリエーション等の交流の場を提供したことにより、コミュニティ活動の活性化に寄与した。						
市民政策局 地域振興課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
11	学校跡地・跡施設再利用事業		100.0%	A	A	B	A	継続
	155,152千円	(事業概要、事業実績等) 旧安原小学校プールにおいては、解体の上、駐車場整備を完了し、施設全体の利活用を担っている。 また、前年度から繰り越した旧日新小学校校舎解体工事については、完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：135,068,796円)						
	教育局 教育局総務課							

平成28年度 施策の概要調書

施策	参画・協働の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		167,188千円	A	満足度	重要度
				19.7%	44.8%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局、総務局

対象	市民	意図	市民活動センター機能の拡充や協働の担い手づくりなど協働事業の充実及び広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供など行政の透明性を図ることにより、市民と行政との参画・協働によるまちづくりの推進を目指す。
----	----	----	--

概要（実績）
 市民活動団体の活動支援強化のため、市民活動センターをI K O D E 瓦町に統合し、講座の開催、情報収集・発信、相談事業等を効果的に実施するなど、センター機能の拡充を行った結果、利用者が大幅に増加した。高松市自治と協働の基本指針に定める「協働の原則」に基づき、協働企画提案事業等に取り組んだ結果、協働への理解が深まることも、新たな「協働の担い手」が地域で事業を展開する等、協働事業の充実にも成果が得られた。「市政出前ふれあいトーク」、「市長まちかどトーク」の開催や、「広報たかまつ」の発行、民放テレビ等での市政情報番組制作など、市民が主体的に市政に参画できる環境づくりに取り組んだ。また、本市ホームページについて、利用者の利便性の向上を図るため、新たなシステムの再構築に着手した。情報公開及び個人情報保護の徹底を図るため、情報公開条例に基づき、情報公開請求に対し適正な公開を行い、また、個人情報保護を適正に取り扱うとともに、個人情報の開示等について適切な措置を講じ、市民の市政に対する理解と信頼性を高めた。

成果指標	指標名	協働事業数	H28実績	H28目標	達成度
			124件	130件	95.4%
	状況	行政と市民活動団体等との協働事業のうち、行政の事業見直し等に伴い廃止となった事業があったことなどから、目標値を5%程度下回る結果となった。	達成度の推移 		
	指標名	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	H28実績	H28目標	達成度
			19,754人	21,000人	94.1%
	状況	市政出前ふれあいトークで実施している施設見学のうち、改修工事により実施できなかった施設があったことから、目標値を6%程度下回る結果となった。	達成度の推移 		
	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況		達成度の推移 		

施策の課題
 【市民政策局】市民活動団体の活動支援のため、市民活動センターの機能強化を図るとともに、協働事業及び講座等を通じた「協働の担い手」の育成が課題となっている。【総務局】市民との情報共有を推進するため、市政に関する情報を積極的に分かりやすく、適時適切に提供するとともに、参画と協働による市政運営が行えるような市民との情報共有のための仕組みづくりが課題となっている。

施策の方向性
 市民活動団体の活動を支援する中間支援組織としての役割を果たせるよう、市民活動センターの機能強化に取り組む。また、協働事業及び講座等の充実を図り、協働意識の醸成と「協働の担い手」の育成に取り組む。様々な媒体を活用し、広報機能の充実に取り組むとともに、市民の意見が市政に適切に反映されるよう、市民が主体的に市政に参画できる環境づくりに取り組む。市民の市政に対する理解と信頼を得るため、個人情報の保護と情報公開の徹底を図る。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
6	市民相談事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,418千円		95.3%	B	A	B	A	継続
	総務局 広聴広報課	(事業概要、事業実績等) 市民から意見や要望等をいただき市政に反映させたほか、日常生活での諸問題について相談に応じるとともに、弁護士・司法書士による法律相談などの各種専門相談を行った。 平成28年度実績 ・市政相談(3,165件) ・一般相談(2,781件) ・専門相談(1,821件)						
7	吹奏楽団事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,843千円		83.6%	B	A	B	B	継続
	総務局 広聴広報課	(事業概要、事業実績等) 地域のイベントや小学校への訪問演奏など、計30公演を行い、演奏活動を通じて、「親しまれる市役所」を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成に寄与した。						
8	テレビ放送等広報事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	23,144千円		108.0%	A	B	B	A	継続
	総務局 広聴広報課	(事業概要、事業実績等) 市政に対する関心や理解を深めるとともに、郷土愛を醸成するため、市の重要施策や制度、市民生活に關する深い事業などを、市民に分かりやすく伝える市政番組や、郷土の歴史や伝統文化などを紹介する歴史番組等を放送した。 ・民放市政番組(6回/年) ・民放歴史番組(2回/年) ・新春特別番組(1回/年) ・ケーブルテレビ番組(3回程度/日、毎月1日・16日更新) ・FMラジオ番組(2回/週(10分番組)、15回/週(3分番組))						
9	ホームページ等管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,653千円		107.9%	A	A	B	A	継続
	総務局 広聴広報課	(事業概要、事業実績等) 本市の広報媒体の中でも、速報性が高く、より広範囲に情報を発信できるホームページを通じて、本市の施策や観光情報等の市政情報などを幅広くタイムリーに発信し、市民の市政への理解・協力を深め、参画を促したほか、本市の持つ、様々な魅力ある資源や情報を積極的に国内外へ発信し、本市のPRを行った。また、民間ソーシャルメディアを活用した動画配信サイト「高松ムービー(動画)チャンネル」を開設し、市政情報を始め、本市の観光情報や地域活性化の取組などを紹介した番組を配信した。						
10	ホームページ管理システム整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	5,929千円	一般重点	107.8%	A	A	A	A	継続
	総務局 広聴広報課	(事業概要、事業実績等) 本市の重要な施策や制度、イベント等の各種市政情報を提供するホームページについて、急速な情報通信技術の発展やJIS規格の改定等に対応できるよう、新たなシステムの再構築に着手した(28、29年度事業)。また、民間の先進的技術やノウハウ等を有効に活用し、より分かりやすく、利用しやすいホームページとなるよう、庁内プロジェクトチームを設置し、様々な課題等について、検討を行った。						


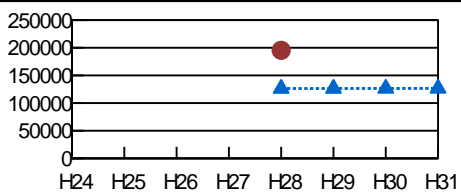

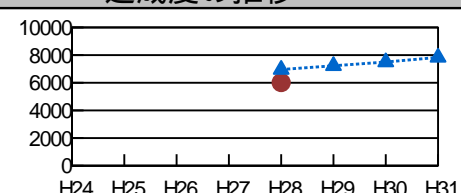
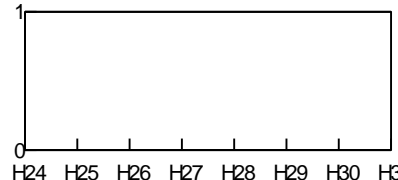
平成28年度 施策の概要調書

施策	離島の振興	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		17,110千円	A	20.5%	42.8%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	参画・協働によるコミュニティの再生
担当局	市民政策局

対象	市民（各島の住民・各島への渡航者）	意図	女木島、男木島及び大島、それぞれの特性をいかした交流・定住人口の拡大を図る。

概要（実績）
 離島の活性化を図るため、交流人口の増加・地域振興・活性化に向けた取組を行う。
 女木・男木島航路に係る利用促進策の実施、離島航路確保維持改善協議会の開催や大島ネットワーク構築に係る情報発信業務や交流ワークショップ開催業務等を行った。

成果指標	指標名	各島への年間来島者数	H28実績	H28目標	達成度	
			195,339人	126,285人	154.7%	
	状況	瀬戸内国際芸術祭2016開催の影響等により各島への渡航者が増加傾向にある。	達成度の推移			
						
	指標名	イベント参加者数	H28実績	H28目標	達成度	
			6,016人	6,958人	86.5%	
状況	大島振興方策等に基づき、大島振興につながる人権学習などを含む交流活動に取り組んだが、前年度と比較してイベント等の参加者数は若干減少した。	達成度の推移				
						
指標名		H28実績	H28目標	達成度		
状況		達成度の推移				
						

施策の課題
 瀬戸内国際芸術祭2016の開催等により、各島への渡航者が増加傾向にあるが、芸術祭期間以外においても航路等の利用促進が図れるような施策の展開が必要である。

施策の方向性
 各島への交流人口を増加させながら、更なる交流・定住を促進するため、多様な主体との連携・協働により各島の魅力を生かした活性化を図る。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	(評価対象外) 男木交流館管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,255千円	(事業概要、事業実績等) 瀬戸内国際芸術祭が男木島を含む瀬戸内海の島々を会場として開催されたこと を契機として、男木島の活性化を図るため、島民と観光客等の交流や、島民によ る地域おこし活動の拠点を目標として整備した男木交流館について、必要な維持管 理を行った。						
	市民政策局 地域振興課							
2	大島振興方策推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,796千円	特別重点	92.6%	A	A	B	A	継続
	市民政策局 地域振興課	(事業概要、事業実績等) 大島振興方策等に基づき、大島ネットワーク事業や大島ワークショップ事業、 大島航路の在り方に関する調査分析業務等を行った。 また、前年度からの繰越事業については完了した。 (平成27年度繰越明許事業費：1,296,000円)						
3	離島航路振興事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	8,059千円		101.5%	A	A	A	A	継続
	市民政策局 交通政策課	(事業概要、事業実績等) 平成24年3月に策定した男木～高松航路改善計画に基づき、島発往割引や ゴールドIrucの提示による高齢者割引の適用、瀬戸内国際芸術祭の開催 による観光客の利用等、航路利用者が21年度の約1.86倍に増加した。おん また、24年3月からの航路状況を踏まえ、運航の改善、老朽化の進むめ の代替建造の方向性等を定めた男木～高松航路改善計画を29年3月に策定し た。						

平成28年度 政策の概要調書

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進

総合評価
A

1 政策の概要

相互の特長をいかした多様な連携を推進するため、近隣自治体と連携し、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を始め、経済成長や高次の都市機能の集積・強化に資する事業の充実に取り組むとともに、香川県との連携強化を図り、連携事業の創出に取り組みます。

また、産・官・学・金・労等、多様な主体との連携強化を図り、地域経済の活性化や各種課題の解決を目指します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
連携の推進	98%	A
平均	98%	A

3 政策の評価

相互の特長をいかした多様な連携の推進に向けて、1施策に取り組んだ。

「連携の推進」では、設定する2つの成果指標について目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
連携の推進	17.0%	11.8%	49.4%
平均	17.0%	11.8%	49.4%

平成 2 8 年度 施策の概要調書

施策	連携の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		9,226千円	A	満足度	重要度
				17.0%	49.4%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進
担当局	市民政策局、総務局

対象	国、県、県内市町、産学など	意図	広域的な課題を始め、基礎自治体の在り方や新たな都市圏域の在り方について調査・研究を進めるなど、効果的な連携を推進する。
----	---------------	----	---

概要（実績）
 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業においては、協約を締結している2市5町と圏域全体の経済成長のけん引や高次の都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上を目指し、関連の事業を実施した。多様な主体との連携事業においては、大学等と特定行政課題に関する調査研究・共同事業を実施するとともに、平成26年度に締結した百十四銀行と連携協力に関する協定に基づき、連携・協力事業を行った。また、市長と学長・校長との懇談会を開催し、大学等との連携強化に取り組んだ。広域都市連携事業においては、知事と高松市長とのトップ会談等を開催した。G7香川・高松情報通信大臣会合開催支援事業においては、県や関係団体等と推進協議会を設置し、連携して取り組んだ。

成果指標	指標名	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数	H28実績	H28目標	達成度
			52事業	50事業	104.0%
	状況	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数が52事業となり、目標を達成した。	達成度の推移		
成果指標	指標名	大学等との連携・協力事業数	H28実績	H28目標	達成度
			75事業	76事業	98.7%
	状況	大学等との連携・協力事業数が75事業となり、目標を概ね達成した。	達成度の推移		
成果指標	指標名		H28実績	H28目標	達成度
	状況		達成度の推移		

施策の課題
 市が広域的な課題に対処するに当たり、高度かつ専門的な内容などを取り扱うことも求められていることから、多様な主体との連携強化などを図る必要がある。

施策の方向性
 引き続き、都市間の広域連携や国・県・産学との連携を図り、社会の変革に即応した行財政運営を推進する。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の構成自治体や大学、金融機関など多様な主体との連携事業の拡充を図る。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
1	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	2,400千円	特別重点	100.0%	A	A	B	A	継続
		(事業概要、事業実績等) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、連携事業に関して意見を伺ったほか、2市5町と協議し、平成29年度から生活機能の強化に係る政策分野において1事業を追加するとともに、戦略的な観光施策及び結びつきやネットワークの強化に係る政策分野においてそれぞれ1事業の内容を拡充することとした。 また、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力を圏域内外に発信するため、ポータルサイトを構築した。						
市民政策局 政策課								
2	(評価対象外) 広域都市連携事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		(事業概要、事業実績等) 県との連携について、県市間の重要課題に対する共通理解や意見交換等を行うため、知事と高松市長とのトップ会談を10月に開催したほか、香川県・高松市政策連携会議を開催し、共通の政策課題等について、効果的に取り組むための意見交換、連絡調整を行った。						
市民政策局 政策課								
3	G7香川・高松情報通信大臣会合開催支援事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	4,882千円		114.3%	A	A	A	A	完了
		(事業概要、事業実績等) 主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)の関係閣僚会合であるG7香川・高松情報通信大臣会合の歓迎気運向上のため、高松中央商店街で、気軽にICTを体験できる市民参加型のICTイベントを市独自事業として実施した。						
総務局 情報政策課								
4	多様な主体との連携推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	1,944千円	一般重点	98.7%	95.7%	A	A	B	A
		(事業概要、事業実績等) 包括協定を締結している大学と特定行政課題に関する調査研究・共同事業を実施するとともに、百十四銀行との連携協力に関する協定に基づき、産業振興による地域活性化及び市民生活の向上に係る事業に取り組んだ。						
市民政策局 政策課								

平成28年度 政策の概要調書

総合計画 画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立

総合評価
A

1 政策の概要

健全で信頼される行財政運営を確立するため、市民から信頼される職員を目指し、高松市職員人財育成ビジョンやコンプライアンス推進施策に基づき、職員の意識改革と資質の向上など職員力の向上を図ります。

また、引き続き、行財政改革計画を策定し、進行管理を行う中で、行財政改革の推進を図るとともに、自主財源の確保に努めながら、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、後年度に過大な債務負担を残さないよう効率的で効果的な行財政運営の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	総合評価
職員力の向上	86%	A
効率的で効果的な行財政運営の推進	91%	A
平均	88%	A

3 政策の評価

健全で信頼される行財政運営の確立に向けて、2施策に取り組んだ。

「職員力の向上」では、設定する3つの成果指標のうち、昇任試験受験者数において、目標に届かなかったものの、他の2指標については、目標を概ね達成した。

「効率的で効果的な行財政運営の推進」では、設定する3つの成果指標のうち、行財政改革計画の目標達成度において、目標に届かなかったものの、他の2指標については目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は88%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
職員力の向上	24.0%	26.6%	74.0%
効率的で効果的な行財政運営の推進	19.3%	19.3%	65.6%
平均	21.7%	23.0%	69.8%


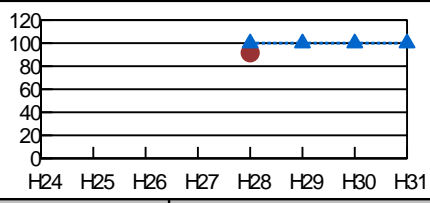

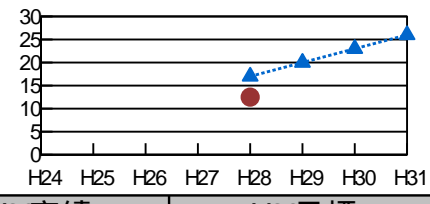

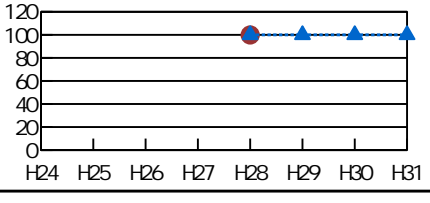
平成28年度 施策の概要調書

施策	職員力の向上	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
				満足度	重要度
		26,203,647千円	A	24.0%	74.0%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局

対象	高松市職員	意図	職員の意識改革、資質向上及び組織の活性化を図るとともに、職員のコンプライアンス意識とモチベーションも向上させる。

概要(実績)	男性職員の育児休業を含む育児に関わる休暇等の取得を促すキャンペーンを実施する等、職員が職務と子育てを両立しやすい環境づくりの推進を図った。昇任試験制度の一部見直しを行うとともに、女性管理職の登用率の向上を図った。自治大学校への派遣研修や公務員倫理研修等の各種研修を行うことで、職員の意識改革とコンプライアンス意識の向上を図った。
--------	--

成果指標	指標名	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	H28実績	H28目標	達成度	
			91.6%	100%	91.6%	
	状況	「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種の取組を進めた結果、前年度に比べ、4.3ポイント上昇したものの、目標値の達成には至らなかった。 26年度：85.1% 27年度：87.3%	達成度の推移			
						
	指標名	昇任試験受験率	H28実績	H28目標	達成度	
			12.5%	17%	73.5%	
状況	近年、昇任試験の受験資格があるにもかかわらず、受験しない職員が増えており、適宜、昇任試験の制度改正を行ったり、各種研修の充実を図っているが、受験者数を増加させることができなかった。	達成度の推移				
						
指標名	職員数の適正化計画の達成率	H28実績	H28目標	達成度		
		99.9%	100%	99.9%		
状況	平成26年6月に、計画を改定したものの、福祉行政など様々な行政需要の対応のため達成できなかった。	達成度の推移				
						

施策の課題	職務に対する職員のモチベーション及びコンプライアンスに対する意識の向上が必要である。加えて、職員一人一人が、公務員としての自覚を持って職務に取り組むことが求められる。
-------	---

施策の方向性	高松市職員人財育成ビジョンに基づき、計画的に研修を実施し、職員力の向上を図るとともに、新コンプライアンス推進施策の各種取組を着実に実施し、信頼される職員を育成する。また、業績評価を盛り込んだ人事評価制度を導入するとともに、昇任試験制度も適宜見直しを行い、組織の活性化と市民サービスの向上を図る。業務に必要な職員数を確保しつつ、人件費を継続的に抑制するため、職員数の適正化に努める。
--------	--

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
1	コンプライアンス推進事務 5,182千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 コンプライアンス推進課		91.6%	B	A	A	A	改善継続
		<p>(事業概要、事業実績等) 高松市の職員倫理及び公正なる職務の執行の確保に関する条例に基づき、内部公 益通報や不正行為に対する職員の倫理及び公正な職務の執行の確保 に努めた。また、コンプライアンス推進施策の策定、実施、見直し等を通じ、全職員を対 象とした研修を実施し、法令遵守の意識を高め、行政問題法律相談を実施した。 1課及び2課の職員研修、ICT推進室、立地・創業・イノベーション支援室、施設 整備室、衛生処理センターを「衛生センター」に変更</p>						
2	(評価対象外) 人材育成事業 20,670千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 人事課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 平成21年2月に策定した「高松市職員を財源とした人材育成事業」に基づき、多 様な人材を育成し、職員を長官に育てることを目指し、平成29年3 月には、高松市職員を財源とした人材育成事業の計画を策定し、実施した。 また、高松市職員を財源とした人材育成事業の計画を策定し、実施した。 また、高松市職員を財源とした人材育成事業の計画を策定し、実施した。</p>						
3	(評価対象外) 職員力向上事業 6,050千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 人事課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 人事評価制度については、平成28年度から全職種において本格実施を行っ た。昇任試験制度については、受験率の向上に向けて受験資格等を見直したが、 受験者を増加させることができなかった。</p>						
4	(評価対象外) 人事管理事務 21,203千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 人事課							
		<p>(事業概要、事業実績等) 厳しい財政状況を踏まえ、職員数の適正化を図るとともに、人事院勧告に準拠 した改定を行い、高松市職員の給与に関する条例等を一部改正した。</p>						
5	(評価対象外) 組織機構・事務所管 等の見直し事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 行政改革推進室							
		<p>(事業概要、事業実績等) 社会状況の複雑な変化や、多様化・高度化する市民ニーズを踏まえ、本市が目 指すべき都市像である「活力にあふれ、創造性豊かな瀬戸の都・高松」を実現 していくために、効率的・効果的な組織体制の見直しを行った。 1課及び室の新設、ICT推進室、立地・創業・イノベーション支援室、施設 整備室、衛生処理センターを「衛生センター」に変更</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
6	(評価対象外) 職員数適正化事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 人事課							
		(事業概要、事業実績等) 平成28年度においては、18人を増員し、計画を4人上回る結果となった。						
7	(評価対象外) 職員福利厚生事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	総務局 人事課							
		(事業概要、事業実績等) 安全衛生委員会を実施し、職場の安全保持及び職員の安全意識高揚を図るとともに、各職場内の一層の自主的な安全活動を推進した。 また、産業医等による、健康・メンタルヘルズ相談を実施し、職員の安全管理と疾病の予防を図った。 さらに、平成28年度から医師・保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施し、職員自身のストレスへの気づきを促すとともに、労働者のメンタルヘルズ不調の未然防止に努めた。						
102,169千円								


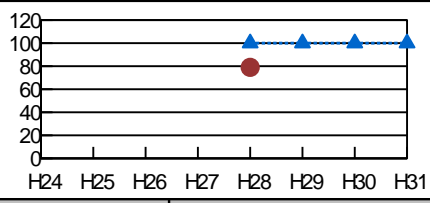

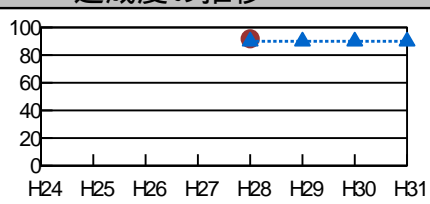

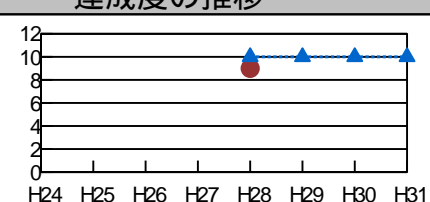
平成28年度 施策の概要調書

施策	効率的で効果的な行財政運営の推進	事業費	総合評価	市民満足度調査結果	
		36,255,438千円	A	満足度	重要度
				19.3%	65.6%

まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
政策	健全で信頼される行財政運営の確立
担当局	総務局、市民政策局、財政局、健康福祉局、創造都市推進局、都市整備局、出納室、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、市議会事務局、公平委員会

対象	市民	意図	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、より質の高い適切な公共サービスの提供を継続する。
----	----	----	--

概要（実績）
 超高速通信網の管理運営、本市の情報システム及び情報インフラの維持・管理、本庁舎ネットワークの再構築を行った。社会保障・税番号制度の円滑な導入・推進のため、システム改修、運用テストを実施したほか、マイナンバーカード取得キャンペーンの実施等によりマイナンバーカードの認知度を高めた。ふるさと高松応援寄附制度のPR、お礼品の見直しにより、魅力が向上した。競輪事業の人件費、業務契約の見直しによりコスト削減を行い、一般会計への繰出を行った。自治基本条例の周知啓発のため、パンフレットの配布及び逐条解説・手引きを作成した。ファシリティマネジメント推進のため、個別施設の再編整備計画策定に向け、全庁的な協議を行った。地域行政組織再編計画に基づき、施設整備、例規改正、職員研修を実施し、4つの総合センターをオープンした。

成果指標	指標名	行財政改革計画の目標達成度	H28実績	H28目標	達成度	
			79%	100%	79.0%	
	状況	計画登載の実施項目100件のうち、関係者等との協議を要する事業等において遅れが生じたことなどから、達成度が「達成」及び「おおむね達成」となった事業は79件となり、目標を下回った。	達成度の推移			
						
	指標名	経常収支比率	H28実績	H28目標	達成度	
			91.8%	90%	98.0%	
状況	経常経費一般財源と経常一般財源ともに減少したものの、経常一般財源の減少率が大きかったため、数値が上昇した。引き続き、経費節減等に努めていく。	達成度の推移				
						
指標名	実質公債費比率	H28実績	H28目標	達成度		
		9%	10%	110.0%		
状況	標準財政規模と基準財政需要額の上昇により、比率としては、昨年より減少した。今後も有利な起債を選択し、財政負担軽減を進めていく。	達成度の推移				
						

施策の課題
 自治基本条例に基づく市民主体のまちづくりを一層推進するとともに、地域行政組織再編計画及び社会保障・税番号制度を推進し、市民の身近な行政機関である地域行政組織における幅広いサービス提供や、オンライン申請等の拡充により、市民の利便性や行政効率を向上させる必要がある。
 また、事業の選択と集中、ふるさと高松応援寄附制度の魅力向上に向けた見直し等を進め、財源を確保するとともに、公共施設については、ファシリティマネジメントの観点から、保有総量の適正化や配置の見直し等を進め、総合的なマネジメントによる更新や長寿命化を実施し、財政負担の軽減化・平準化に努める必要がある。

施策の方向性
 多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、健全で信頼される行財政運営の確立を目指す。

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
1	(評価対象外) 工事請負契約等事務 12,539千円							
	財政局 契約監理課	<p>(事業概要、事業実績等) 工事及び物品に係る入札等について、「かがわ電子入札システム」を利用した契約事務を執行することにより、入札手続の透明性を確保するとともに、市及び入札参加者の入札事務の効率化に寄与した。ことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。 (繰越明許費繰越額：1,330,000円)</p>						
2	(評価対象外) 自動車管理事務 59,120千円							
	財政局 財産経営課	<p>(事業概要、事業実績等) 公用車を一括管理することにより、車検・点検・修繕・保険・燃料関係等を計画的に実施するなど、公用車の適正管理を行った。</p>						
3	(評価対象外) 公有財産管理事務 40,541千円							
	財政局 財産経営課	<p>(事業概要、事業実績等) 公有財産の適正管理を行うとともに、未利用財産の貸付や売払処分などの有効活用により、公有財産管理に寄与した。 売払実績 5件(1,019.1㎡)、売払収入 61,481,111円 (内訳) ・一般競争入札による件数 3件 ・随意契約による件数 2件 貸付実績 53件、貸付収入 11,707,597円</p>						
4	(評価対象外) 庁舎等管理事務 346,202千円							
	財政局 財産経営課	<p>(事業概要、事業実績等) 利用者に安全で快適な環境を提供するため、本庁舎設備の保守のほか、不具合箇所については随時修繕を実施したことにより、庁舎等の適切な維持管理を行った。</p>						
5	(評価対象外) 企画調整事務 2,104千円							
	市民政策局 政策課	<p>(事業概要、事業実績等) 全国的な意見交換会や研修会等に参加するほか、防災や過疎問題など、同様の課題を持つ自治体との協議・意見交換等を行ったことにより、課題の解決及び効率的な事業実施に寄与した。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性		
6	自治推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	244千円		87.9%	A	A	A	A	継続
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>高松市自治基本条例逐条解説の公開や、高松市自治基本条例パンフレット等の配布により、高松市自治推進審議会を1回(8月)開催し、同条例の見直しの検討結果及び地域コミュニティ協議会の運営支援の在り方について議論した。</p>						
市民政策局 政策課								
7	(評価対象外)総合計画推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	983千円							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>市民の意見を市政に反映させるため、第6次高松市総合計画に掲げる施策に対する満足度等について、市民満足度調査を実施した。今年度は人口減少対策等に活用するため、「愛着度」や「市政への関心」等の項目を設けて併せて調査を行った。</p> <p>また、総合計画を市民に広く周知し、本市が目指すべき都市像を共有するため、総合計画の概要版を作成し、市民に配布した。</p> <p>・市民満足度調査回答率 39.5%(987人/2,500人) ・施策全体の満足度 24.7%(前年比-3.1ポイント) ・" 不満足度 17.5%(前年比+0.9ポイント)</p>						
市民政策局 政策課								
8	(評価対象外)たかまつ創生総合戦略推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	49,599千円							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>たかまつ創生総合戦略推進懇談会を開催し、総合戦略に掲載している各事業の進捗状況の評価など、進行管理等を行った。</p> <p>また、前年度からの繰越事業であるたかまつ創生総合戦略推進事業については完了した。</p> <p>(平成27年度繰越明許事業費：49,476,000円)</p>						
市民政策局 政策課								
9	総合センター整備事業(地域振興課分)	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	163,490千円	特別重点	100.0%	98.7%	A	B	B	A
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>総合センター化に伴い、牟礼、香川、国分寺の3支所の改修工事及び名称変更に伴う道路案内標識改修工事等の雑工事、初度調弁、オープニングセレモニーを行った。また、東部南総合センターの調査設計を行った。</p> <p>なお、前年度からの繰越事業については完了した。</p> <p>(平成27年度繰越明許事業費：66,830,000円)</p>						
市民政策局 地域振興課								
10	(評価対象外)支所・出張所管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	107,601千円							
		<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>本庁舎まで出向がなくても、住所地から近い支所・出張所において、各種届出や、各種証明書の交付が可能である等、市民の利便性を担っていることから、引き続き市民サービスの向上に寄与した。</p>						
市民政策局 地域振興課								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
11	総合センター整備事業（長寿福祉課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	180,257千円	特別重点	100.0%	98.7%	A	B	B	A
	健康福祉局 長寿福祉課	<p>（事業概要、事業実績等） 地域行政組織を再編し、市民により近いところで幅広い行政サービスを提供することにより、効率的で効果的な行政運営の推進に貢献するため、平成29年1月の総合センターのオープンに向けて、28年4月から10月まで、総合センターの整備工事を行った。また、前年度からの繰越事業である総合センター等整備事業（長寿福祉課分）については完了した。 （平成27年度繰越明許事業費：42,987,000円）</p>						
12	（評価対象外）戸籍・住民基本台帳事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	163,003千円							
	市民政策局 市民課	<p>（事業概要、事業実績等） 市内に本籍若しくは住所を定める日本人及び外国人に対し、戸籍届出や住民異動届出等を受理し処理すること等により、戸籍簿や住民基本台帳等を適正に管理するとともに、住民票の写し等の証明書を交付するなど、市民サービスに努めた。また、繁忙期中は、平日の受付時間延長と日曜開庁を実施した。 実施期間 平成29年3月23日～4月5日 （1）時間延長による取扱件数 608件 （2）休日開庁による取扱件数 1,094件</p>						
13	（評価対象外）工事検査事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	6,447千円							
	財政局 技術検査室	<p>（事業概要、事業実績等） しゅん工検査に加え、中間検査、出来形部分検査、工事監等を行うことにより、工事監督業務及び検査業務の効率化と実効性を確保した。また、公共工事の円滑な施工と調達の品質化を図るため、関係職員（特に新人職員）に対して、設計積算及び工事監督業務に関する研修会を開催した。</p>						
14	（評価対象外）行政改革推進事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	205千円							
	総務局 行政改革推進室	<p>（事業概要、事業実績等） 平成28年度から4年間を計画期間とする第7次高松市行財政改革計画に基づき、市政全般にわたって行財政改革に取り組み、174,601千円の節減を図ったほか、事務事業の改革・改善の実効性を高めるため、高松市行財政改革推進委員会による外部評価を実施した。</p>						
15	（評価対象外）市有建築物設計監理監督事務	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,089千円							
	都市整備局 建築課	<p>（事業概要、事業実績等） 事業課からの依頼を受け、小中学校校舎棟外壁改修、林地区幼保一体化施設整備等の実施設計を行った。また、下屋島競技場、高松市立みんなの病院、たかまつライオン等の大型案件の工事監理を行い、安全・安心で良質なストック整備事業の支援及び技術的な助言を行った。</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
21	(評価対象外) 議会事務 609,458千円 市議会事務局 総務調査課							
	<p>(事業概要、事業実績等) 議員の調査研究に資するため、政務活動費を交付し、調査活動の充実に寄与した。市民への議会情報の提供として、議会報告会の開催、インターネットによる議会映像の配信や、議会ホームページの掲載、年2回の市議会広報番組の制作・放送などを行い、市民の市議会への関心を高め、高めた。また、主要・新規等事業調べ、議員ハンドブックなどを作成し、議員等に提供した。</p>							
22	(評価対象外) 一般行政事務 41,872千円 総務局 総務課							
	<p>(事業概要、事業実績等) 適正な行政運営を推進するため、情報配信事業者がインターネットを通じてリアルタイムで配信する行政情報サービスを活用したほか、包括外部監査を実施した。また、市長、副市長の秘書業務及び貴賓の接遇を行った。</p> <p>包括外部監査テーマ 上下水道事業に関する財務事務の執行について</p>							
23	(評価対象外) 市政功労者表彰事務 699千円 総務局 総務課							
	<p>(事業概要、事業実績等) 多年にわたり公益の増進や市政の振興発展に寄与され、その功績が顕著な方々に、高松市表彰条例に基づき市政功労者表彰を行った。平成28年度は市政功労者表彰式を平成29年2月15日に開催し、12人と1団体に対し、市長表彰を行った。人目につきにくい分野やボランティア分野など幅広い分野からの候補者の掘り起こしに努めるため、各部署に積極的な呼びかけを行い、各部署からの候補者推薦件数は、昨年度(9人と2団体)より2件増の13件であった。</p>							
24	(評価対象外) 公平委員会事務 813千円 公平委員会							
	<p>(事業概要、事業実績等) 地方公務員法に基づき、中立的かつ専門的な人事機関として、人事行政の公平性・中立性の確保や職員の権利を保護するため、臨時会を開催した。</p> <p>平成28年度実績 1 公平委員会臨時会 4回開催 2 職員勤務条件に関する措置要求及び不利益処分に対する審査請求 0件 3 職員からの苦情相談の実施 0件 4 職員団体の登録等に関する事務 3件</p>							
25	(評価対象外) 文書事務 44,027千円 総務局 総務課							
	<p>(事業概要、事業実績等) 1 本庁舎においてPPC複写機19台を職員の利用に供した(用紙購入枚数約133万枚)。 2 例規審査委員会を4回開催し、175本の例規の制定・改廃を行った。 3 メールカーによる支所・出張所等集配便により約345,000件の文書を集配した。 4 文書管理システムによる電子決裁の割合が98.1%(前年度比0.4ポイント増)となった。</p>							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
		重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
31	(評価対象外) 財政管理事務 6,424千円 財政局 財政課							
	<p>(事業概要、事業実績等) 厳しい財政状況の中、将来を見据え、事業を推進するため、「第1期まちづくり戦略の略案」を掲げ、協力を得るべく、積極的な取り組みを展開する。また、まちづくりの推進に資する予算編成を、着実に進め、前年度に比べ、着実に進捗を遂げる。また、まちづくりの推進に資する予算編成を、着実に進め、前年度に比べ、着実に進捗を遂げる。</p> <p>平成28年度末市債残高(前年度比較) 一般会計 165,347,912千円(+8,128,389千円) 上記のうち臨時財政対策債を除く残高 92,298,452千円(+5,396,544千円) 将来負担比率(見込み)[再掲] 70.1%(-0.7ポイント)</p>							
32	(評価対象外) 市債管理事務 16,806,430千円 財政局 財政課							
	<p>(事業概要、事業実績等) プライマリーバランスに留意し、事業の平準化や市債発行額の抑制に努めたものの、大型建設事業の進捗等により、市債残高が増加した。今後の急激な借入に際しては、交付税措置のある市債を選択するとともに、事業の緊急性や必要性を検討することにより、投資的業務の重点化・効率化、後年度負担の抑制に努める。</p> <p>平成28年度末市債残高(前年度比較) 一般会計 165,347,912千円(+8,128,389千円) 上記のうち臨時財政対策債を除く残高 92,298,452千円(+5,396,544千円) 将来負担比率(見込み)[再掲] 70.1%(-0.7ポイント)</p>							
33	(評価対象外) 予備費管理事務 財政局 財政課							
	<p>(事業概要、事業実績等) 台風16・18号に伴う災害時応急措置等経費や消防団員出動報酬のほか、熊本地震に伴う災害救援費等について、予備費充當を行った。今後とも、突発的な経費の支出又は予算超過の支出に充てるための、予備費の適正な管理に努める。</p>							
34	(評価対象外) 収納管理事務 419,904千円 財政局 納税課							
	<p>(事業概要、事業実績等) 昨年度に引き続き、納税案内センターを設置し、市税現年課税分の納期別滞納者に対し、早期の納付等を呼び掛ける電話催告・文書発送業務を継続し、現年における収納率を維持するとともに、差押処分等行う必要がある滞納繰越件数を削減した。</p>							
35	ふるさと高松応援寄附促進事業 55,765千円 財政局 納税課		71.5%	71.4%	A	A	B	B
	<p>(事業概要、事業実績等) より多くの方々から応援していただけるよう、寄附金用途となる事業をホームページ等を活用し積極的にPRするとともに、お礼品の見直し等を行った結果、寄附の増加につながった。</p>							

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課		事業内容						
36	(評価対象外) 市民税等課税事務 69,237千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	財政局 市民税課							
<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>従業員の納税の利便性の向上や、収納率向上対策の一環として、特別徴収未実施の事業所に対し、制度の利用を推進した。また、特別徴収に心じていない事業所にも引き続き制度の利用を推進した。</p> <p>給与所得者に占める特別徴収の割合 79.1% (前年度比+0.7%)</p>								
37	(評価対象外) 固定資産税等課税事務 214,907千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	財政局 資産税課							
<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>土地、家屋及び償却資産の当初課税事務や課税客体の捕捉事務を行った結果、平成29年度固定資産税の当初調定は、総額で255億756万円(前年度比1.8%増)、納税義務者数で171,583人(前年度比0.7%増)となった。</p>								
38	競輪事業 13,804,361千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	創造都市推進局 競輪場事業課		95.7%	A	A	B	A	継続
<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>昭和25年度から自転車競技に基づき、地方財政の健全な発展を図るため、競輪事業の振興、増進を図っている。厳しい経営環境の中、第1回実施しない、経年35日開催し、このうち本場を平成一場外、発売・ミッドナイトの競輪を合わせて年間35日間開催し、車券売上13,800,340円であった。</p>								
39	(評価対象外) 会計管理事務 42,233千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	出納室							
<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>公金の収納・支払事務を始め、出納員検査等を実施し、適正かつ効率的な会計事務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出納員及び分任出納員等の職務執行状況検査(123件) 審査出納員の職務執行状況検査(32件) 指定金融機関等の公金収納及び支払事務等検査(50件) 								
40	(評価対象外) 債権管理適正化推進事業 1,115千円	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	財政局 債権回収室							
<p>(事業概要、事業実績等)</p> <p>債権所管課において回収に取り組んだものの回収が困難な強制的な徴収強化に取組むことにも、回収の担当者実務研修会を開催するなど各債権所管課の債権管理の取組のレベルアップにつながった。</p> <p>債権回収額32,839,701円 債権管理に関する研修会4回</p>								

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費		事業内容						
担当課								
41	社会保障・税番号制度推進事業（市民課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	180,069千円	特別重点	15.6%	25.2%	A	A	A	D
市民政策局 市民課		<p>（事業概要、事業実績等） 膨大なマイナンバーカードの交付申請数に対応するため、交付窓口の増設や専従人員の配置による追加の円滑な交付のためのシステム改修を実施した。また、平成28年度実績（1）カード交付件数3,947件（2）コンビニ証明書発行数4,881件 また、マイナンバーカード作成等事業の実施主体である国が事業の一部を翌年度に繰り越したため、当該事業を繰り越した。（繰り越し費繰越額：32,491,000円） なお、前年度からの繰越事業のマイナンバーカード作成等事業については完了した。（平成27年度繰越明許事業費：65,864,200円）</p>						
42	（評価対象外）塩江ケーブルネットワーク管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	18,787千円	<p>（事業概要、事業実績等） 平成27年度に再整備した光ファイバーの塩江ケーブルネットワークを民営方式で運営し、塩江地区住民の情報化の推進に寄与した。</p>						
総務局 情報政策課								
43	社会保障・税番号制度推進事業（行政改革推進室分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	114千円	特別重点	15.6%	25.2%	A	A	B	D
総務局 行政改革推進室		<p>（事業概要、事業実績等） 市民の利便性の向上等を図るため、本市独自に個人番号を利用する事務として、法定利用事務と一体的に行う3事務について、高松市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例に追加して定めた。また、マイナンバーカードの普及促進のため、チラシ等による広報活動を行ったほか、キャンペーン期間を設けて、各支所での申請時来庁方式による申請受付などを実施した。</p>						
44	社会保障・税番号制度推進事業（情報政策課分）	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	108,658千円	特別重点	15.6%	25.2%	A	A	B	D
総務局 情報政策課		<p>（事業概要、事業実績等） 情報提供ネットワークシステムの本番運用に向け、総合運用テスト及び福祉保健系システムの改修を実施し、仕様書及び業者の見積を精査することで、当初予定していたよりもコストを削減することができた。 なお、前年度からの繰越事業である社会保障・税番号制度構築事業（福祉保健系システム）については完了した。（平成27年度繰越明許事業費：22,410,000円）</p>						
45	情報処理システム管理運営事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
	713,807千円		108.8%		A	A	B	A
総務局 情報政策課		<p>（事業概要、事業実績等） 情報システムを安定的かつ効率的に運用管理するとともに、平成22年3月に策定した情報システム調達ガイドラインを指標として、公正公平な競争のもと、高品質で効果的な情報システムの調達を実施した。 なお、前年度からの繰越事業である地方公団情報セキュリティ対策事業については完了した。（平成27年度繰越明許事業費：45,447,588円）</p>						

平成28年度 主な事務事業の内容一覧

事務事業名及び事業費 担当課		事業内容						
46	超高速情報通信網整備事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
			100.0%	A	A	A	A	継続
	14,006千円	(事業概要、事業実績等) 池田町の一部、西植田町、東植田町、菅沢町及び庵治町東部については、公設民営方式で整備した光ファイバー網により、電気通信サービス等の安定した利用環境の提供及び設備の運用管理を実施し、地域住民の情報化の推進に寄与した。						
	総務局 情報政策課							
47	庁内ネットワーク再構築事業	重点	成果達成度	妥当性	有効性	効率性	総合評価	今後の方向性
		一般重点	100.0%	A	A	A	A	継続
	136,087千円	(事業概要、事業実績等) 平成26年度に策定した「次期庁舎内及び危機管理センターネットワーク基本設計書」に基づき、平成28年度は4・5・7・8階のOAフロア化を実施した。						
	総務局 情報政策課							

(参考)

**第6次高松市総合計画に
掲げる施策の目標と実績**

(参考)

第6次高松市総合計画に掲げる施策の目標と実績

1 健やかにいきいきと暮らせるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H28)	目標値 (H35)
子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	子どもの成長への支援	1歳6か月児健康診査受診率	1歳6か月児健康診査対象者のうち受診した割合	93.1%	95.0%
		認定こども園数	教育・保育施設のうち認定こども園の施設数	5施設	12施設
		自立支援プログラム策定者の就職率	母子・父子自立支援プログラム策定者のうち就職に至った割合	77.9%	90.0%
	子育て家庭への支援	子育て支援拠点施設設置割合	教育・保育提供区域のうち、子育て支援拠点施設ができていない割合	100.0%	100.0%
		放課後児童クラブ入会率	放課後児童クラブ利用申込者のうち入会した割合	93.0%	100.0%
		保育施設等待機児童数	4月1日現在での保育施設等待機児童数	321人	0人
支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成	地域福祉の推進	民生委員・児童委員の充足率	条例で定める民生委員・児童委員の定数の充足割合	98.3%	100.0%
		指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	指導監査を行う社会福祉法人及び社会福祉施設のうち文書指摘がない法人・施設の割合	41.2%	70.0%
	地域包括ケアシステムの構築	要介護者の在宅比率	在宅での要介護認定者の割合	79.4%	79.2%
		自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合	79.1%	74.6%
		自立後期高齢者率	介護・支援を必要としない75歳以上の高齢者の割合	61.7%	57.3%
	障がい者の自立支援と社会参加の促進	施設入所者の地域生活への移行者数(累系)	障害者支援施設から持ち家、賃貸住宅、グループホーム等へ移行した障がい者数	57人	99人
		福祉施設から一般就労への移行者数	就労系障害福祉サービス事業所から一般就労へ移行した障がい者数	31人	54人
	生活困窮者等への自立支援	勤労収入の増加による生活保護廃止率	生活保護廃止世帯数に占める勤労収入の増加による廃止世帯数の割合	18.6%	22.0%
		支援プラン作成率	自立相談支援センターたかまつでの新規相談受付件数に占める支援プラン作成割合	20.8%	50.0%
	健康で元気に暮らせる環境づくり	健康づくりの推進	介護保険の要介護2～5の認定率	65歳以上で、介護保険の要介護2～5の認定者の割合	10.6%
がん検診受診率			本市が行うがん検診を受診した市民の割合	10.4%	50.0%
内臓脂肪症候群該当者出現率(国保ベース)			特定健康診査受診者に占める内臓脂肪症候群該当者の割合	19.7%	13.7%

健康で元気に暮らせる環境づくり	医療体制の充実	立入検査違反率	立入検査を行った医療施設のうち、違反が認められた施設の割合	20.3%	40.1%
		地域医療機関からの紹介率	市民病院に地域の医療機関から患者を紹介された割合	61.0%	60.0%
		地域医療機関への逆紹介率	市民病院が地域の医療機関に患者を紹介した割合	79.0%	85.0%
	社会保障制度の適切な運営	国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費	保険給付費を国民健康保険の被保険者数で割った数	335,817円	427,000円
		介護保険サービス利用率	要介護（要支援）認定者に占める介護保険利用者の割合（いずれも第2号被保険者含む）	83.1%	84.2%
		1人当たり介護サービス費用額	介護保険サービス利用者1人当たりの介護給付費費用額（いずれも第2号被保険者含む）	143,799円	146,900円

2 心豊かで未来を築く人を育むまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H28)	目標値 (H35)
男女共同参画社会の形成	男女共同参画の推進	審議会等における女性委員の割合	本市審議会等における女性委員の割合	40.1%	44.0%
		事業所における女性従業員の割合	市内事業所における女性従業員の割合（アンケート調査）	30.9%	50.0%
		男性の育児休業者がいた事業所の割合	1年間に男性に育児休業者がいた市内事業所の割合（アンケート調査）	5.1%	6.3%
社会を生き抜く力を育む教育の充実	学校教育の充実	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	各校の評価得点（最高値4点、最低値1点）の平均点	3.15点	3.5点
		学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	各校の評価得点（最高値4点、最低値1点）の平均点	3.23点	3.5点
	学校教育環境の整備	学校施設長寿命化整備の進捗率	学校施設整備計画（仮称）に基づく平成35年度末の長寿命化整備工事計画棟数を100とした場合の進捗率	-%	100.0%
		教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合	教育用PCのうち（PC教室除く）、タブレット端末の配置割合	23.6%	50.0%
	子どもの安全確保	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	15歳未満の子ども人口千人当たりの不審者情報メールを配信した相手先の件数	8.3件	9.1件
		通学路合同点検計画における達成率	高松市通学路交通安全プログラムにおける通学路合同点検の計画目標値に対する達成割合	72.0%	100.0%

社会を生き抜く力を育む教育の充実	青少年の健全育成	子ども会加入率	子ども会会員となっている児童の割合	68.2 %	73.0 %
		少年人口千人当たりの補導人数	5～19歳の少年人口千人当たりの少年育成センター・少年育成委員・高松地域生徒指導推進協議会等による補導活動で補導された人数	13.0 人	17.1 人
	家庭・地域の教育力の向上	地域交流事業を実施している割合	子どもを中心にした地域交流事業を実施している地域の割合	27.3 %	100.0 %
		朝ごはん摂取率	全国学力学習状況調査において、朝ごはんを毎日摂取している小学6年生の割合	85.2 %	91.0 %
	大学等高等教育の充実	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	包括協定を結んでいる大学等の定員に対する学生・生徒数の割合	93.9 %	93.0 %
		包括協定を結んでいる大学等入学生の内出身者割合	包括協定を結んでいる大学等における入学生に占める市内出身者割合	25.3 %	25.0 %
心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	生涯学習の推進	まなびCAN及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	まなびCANの来館者数及びコミュニティセンター講座（女性教室、家庭教育学級を除く）の延参加者数	602,195 人	637,000 人
		市民1人当たりの図書館図書貸出冊数	本市の人口1人当たりの図書館図書の年間貸出冊数	6.8 冊	8.2 冊
基本的人権を尊重する社会の確立	人権尊重意識の普及・高揚	人権啓発事業等参加者数	人権教育市民講座参加者、みんなで人権を考える会、人権啓発推進委員による啓発事業及び人権啓発講演会への参加者数	10,216 人	14,000 人
	平和意識の普及・高揚	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	市が主催する平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	2,462 人	8,250 人

3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H28)	目標値 (H35)
地域を支える産業の振興・地域経済の活性化	商工業の振興	中小企業経営講習会の年間受講者数	本市と高松商工会議所の共催により開催している中小企業経営講習会の年間受講者数	2,198 人	2,500 人
		中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	17.7 %	14.9 %
		企業誘致助成制度指定件数	企業誘致助成制度の指定件数（平成21年度以降の累積指定件数）	54 件	75 件
	農林水産業の振興	認定農業者数	本市が認定した認定農業者数	298 経営体	320 経営体
		農畜産物販売額（JA取扱金額に限る）	市内の農畜産物販売金額（JA取扱金額に限る）	41.6 億円	38.2 億円
		卸売市場の取扱金額	青果、水産物及び花きの取扱金額	345 億円	323 億円

地域を支える産業の振興・地域経済の活性化	特産品の育成・振興とブランド力の向上	販路開拓事業等来場者数	販路開拓事業等の来場者数	19,421 人	23,000 人
		盆栽輸出登録申請者数（EU）	農林水産省神戸植物防疫所坂出支所に申請があった数	19 人	26 人
		伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	伝統的ものづくり親子体験教室や巡回教室等の参加者数	574 人	1,000 人
	就業環境の充実	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者の延べ団体数	64 団体	101 団体
文化芸術の振興と発信	文化芸術の振興	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	文化芸術ホールにおいて開催される全事業の参加者数	198,728 人	225,000 人
		アウトリーチ事業の参加者数	地域に出向いての文化芸術活動（アウトリーチ事業）の参加者数	103,549 人	85,000 人
		美術館来館者数	高松市美術館及び塩江美術館の展覧会観覧者、イベント参加者、講座室利用者等合計人数	161,640 人	174,000 人
	文化財の保存・活用	歴史資料館等利用者数	歴史資料館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の利用者数	144,517 人	145,000 人
		文化財学習会・体験講座参加者数	ふるさと探訪等文化財学習会・体験講座の参加者数	1,146 人	1,400 人
元気を生み出すスポーツの振興	スポーツの振興	社会体育施設利用者数	社会体育施設の延べ利用者数	1,861,146 人	3,137,000 人
		トップスポーツチーム試合観戦者数	トップスポーツ4チームのホームゲーム観戦者数	118,455 人	179,200 人
		トップスポーツ4チームの後援会等会員（高松市民）数	各チームにおける後援会やクラブの会員（個人）のうち、高松市民を抽出した会員数	980 人	1,600 人
訪れたい観光・MICE(マイス)の振興	観光客受入環境の整備	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	6,895 千人	6,640 千人
		香川県への再来訪意向割合	香川県観光客動態調査報告の「香川県への再来訪意向」におけるぜひ来たい人の割合	34.3 %	60.0 %
	観光客誘致の推進	まつり・イベント入込客数	観光イベント振興事業補助対象事業入込客数	922 千人	1,030 千人
		コンベンション数	(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー報告の「コンベンション統計」における開催件数	214 件	306 件
国際・国内交流の推進と定住の促進	国際・国内交流の推進	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	姉妹・友好都市等との交流事業に参加した人数	322 人	400 人
		国内の提携都市との交流事業参加者数	国内の提携都市との交流事業に参加した人数	309 人	400 人
	移住・交流の促進	高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	高松市移住ナビのホームページ閲覧件数	7,491 件	16,000 件
		年間社会増	本市の1年間の転入者数と転出者数の差（社会増減）	590 人	1,570 人

4 安全で安心して暮らし続けられるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H28)	目標値 (H35)
安全で安心して暮らせる社会環境の形成	消防・救急の充実強化	出火率	人口1万人当たりの出火率	2.5%	3.6%
		救命率	心肺機能停止傷病者が社会復帰した割合(暦年)	1.0%	8.0%
	防災・減災対策の充実	地域における防災訓練の実施率	防災訓練を実施したことがある地域の割合	95.0%	100.0%
	交通安全対策の充実	交通事故発生件数	市内の交通事故発生件数	3,217件	3,764件
		人口10万人当たりの交通事故による死者数	県警交通事故統計資料による(市町別交通事故発生状況)	4.28人	3.23人
	防犯体制の整備	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	市内における人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	3.9件	4.0件
	生活衛生の向上	食品衛生等違反指導率	立入監視を行った施設のうち違反等指導を受けた施設の割合	3.0%	1.0%
		犬・猫の殺処分率	引き取った犬・猫のうち、引き取り手がなく殺処分された犬・猫の割合	70.0%	72.0%
消費者の権利保護と自立促進	消費生活相談における解決割合	消費生活センターへの相談のうち、解決に導いた件数(他機関への誘導を含む)の割合	98.6%	99.5%	
環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	ごみの減量と再資源化の推進	1人1日当たりのごみ排出量	ごみ総量に対する1人1日当たりの排出量	937g/人・日	880g/人・日
		1人1日当たりの資源化量	資源化した総量に対する1人1日当たりの量	193g/人・日	207g/人・日
	廃棄物の適正処置	一般廃棄物の年間埋立処分量	一般廃棄物の年間埋立処分量	12,844t	11,270t
		産業廃棄物の不適正保管量	産業廃棄物の不適正保管量	12,116t	12,000t
	不法投棄の防止	不法投棄通報、相談件数	不法投棄通報及び相談件数の合計	123件	100件
		ボランティア清掃の参加者数	地区一斉清掃及びボランティア清掃の参加者数	186,105人	160,000人
	地球温暖化対策の推進	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	3,824kW	5,060kW
		地球温暖化防止のための取組実施率	家庭における地球温暖化防止のための取組の実施率(アンケート調査)	32.1%	57.4%
	環境保全活動の推進	環境学習参加者数	南部クリーンセンターの施設見学者数及び南部クリーンセンター、まなびCAN、環境保全推進課の行う環境学習事業の参加者数	5,970人	6,100人

豊かな暮らしを支える生活環境の向上	居住環境の整備	建築物等の完了検査済証交付率	建築確認済証を交付した建築物等のうち、竣工後に完了検査済証を交付した割合	83.4 %	100.0 %
		老朽危険空き家除却支援件数	老朽危険空き家除却支援制度利用により除却した空き家件数	13 件	85 件
	身近な道路環境の整備	市道改良延長	50m以上連続した幅員4m以上の区間を有する市道	1,505 km	1,519 km
	河川・港湾の整備	治水施設の不具合による浸水発生件数	浸水が発生した件数	0 件	0 件
		津波・高潮対策施設の整備率	香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画における第1期整備計画延長に対する整備済延長の比率	1.0 %	100.0 %
	みどり保全・創造	市民1人当たり都市公園等の面積	市民1人当たりの都市公園等の面積	9.05 m ²	9.28 m ²
	水の安定供給	自己処理水比率	全配水量に対する自己処理水配水量の割合	45.0 %	50.0 %
		基幹管路の耐震化適合率	基幹管路総延長に対する耐震・準耐震管延長の割合	39.2 %	42.6 %
		1人1日当たり水道平均使用水量	給水人口1人1日当たりの水道平均使用水量	303 L	299 L
	汚水・雨水対策の充実	汚水処理人口普及率	総人口に対する生活排水処理施設整備人口の割合	85.9 %	89.3 %
雨水対策整備率		下水道事業計画区域内において雨水による浸水対策が講じられた面積の割合	48.5 %	49.6 %	
下水道管路耐震化率		管路総延長に対する耐震管延長の割合	35.7 %	37.8 %	

5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H28)	目標値 (H35)
コンパクトで魅力ある都市空間の形成	多核連携型コンパクト・エコシティの推進	用途地域内の人口比率	用途地域内の人口の割合	63.9 %	64.9 %
		中心市街地の居住人口の割合	中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.8 %	5.1 %
	景観の保全・形成・創出	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	特別な区域における既存不適格広告物の件数のうち、改修等された件数の割合	60.0 %	80.0 %
快適で人にやさしい都市交通の形成	公共交通の利便性の向上	公共交通機関利用率	本市の人口のうち、公共交通機関利用者数の割合	14.7 %	16.5 %
		交通結節拠点におけるバス路線の結節数(都心部を除く)	交通結節拠点となる鉄道駅に、結節させるバス路線総数(都心部を除く)	3 路線	14 路線
	自転車の利用環境の向上	自転車道等整備済延長(累積)	高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に位置付けられた路線の整備延長	7.6 km	19.0 km
		レンタサイクル利用者数	1年間のレンタサイクルを利用した延べ人数	318,793 人	328,500 人

快適で人にやさしい都市交通の形成	拠点性を高める交通網の整備と利用促進	高松空港の利用者数	高松空港を離発着する定期航空路線の年間利用者数	185 万人	199 万人
		高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	特別とん税の課税基準となる、外国貿易船の純トン数	971千純 トン	1,110千純 トン
		市内 J R 駅の乗降客数	市内にある J R 駅での年間乗降客数	716 万人	785 万人
拠点性を発揮できる都市機能の充実	拠点性を高める道路ネットワークの整備	都市計画道路整備率	都市計画道路の計画延長ベースでの整備進捗率	89.4 %	89.9 %
		中心市街地の活性化	中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	17.3 %
	中央商店街の歩行者通行量		中央商店街の歩行者通行量（休日、15地点）	130,566 人	141,000 人
	中心市街地の居住人口の割合		中心市街地活性化エリア内の人口の割合	4.8 %	5.1 %

6 市民と行政がともに力を発揮できるまち

政策	施策	指標名	指標の説明	現況値 (H28)	目標値 (H35)
参画・協働によるコミュニティの再生	地域コミュニティの自立・活性化	自治会加入率	世帯のうち自治会加入世帯の割合	60.2 %	62.4 %
		コミュニティプランの見直し率	コミュニティプランを見直したコミュニティの割合	54.5 %	100.0 %
	参画・協働の推進	協働事業数	市民活動団体等との協働事業数	124 件	150 件
		市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	19,754 人	21,200 人
	離島の振興	各島への年間来島者数	1年間の女木島・男木島・大島と島外の交流者数	195,339 人	127,000 人
		イベント参加者数	大島で行われる講演会、学習交流、アーティスト・イン・レジデンスの参加者数	6,016 人	9,184 人
相互の特長をいかした多様な連携の推進	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数	圏域における生活関連機能サービスの向上に関する連携事業数	52 事業	55 事業
		大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等と高松市の連携・協力事業数	75 事業	100 事業
健全んで信頼される行財政運営の確立	職員力の向上	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	コンプライアンスに関する職員意識調査の設問の回答	91.6 %	100.0 %
		昇任試験受験率	昇任試験受験資格がある職員が試験を受験した割合	12.5 %	30.0 %
		職員数の適正化計画の達成率	職員数（平成28年4月1日現在）を目標値とし、その達成率を成果指標とする。（職員数が目標を下回れば100%超えとする。）	99.9 %	100.0 %

健全んで信頼される行財政運営の確立	効率的で効果的な行財政運営の推進	行財政改革計画の目標達成度	実績報告に係る達成度について、「達成」及び「おおむね達成」の事業の割合	79.0 %	100.0 %
		経常収支比率	経常的な収入を毎年度必要となる経常的・義務的な経費に使っている割合	91.8 %	90.0 %
		実質公債費比率	経常的な収入を実質的な借入金支払（公債費や公営企業繰出金など）に充てている割合	9.0 %	10.0 %

